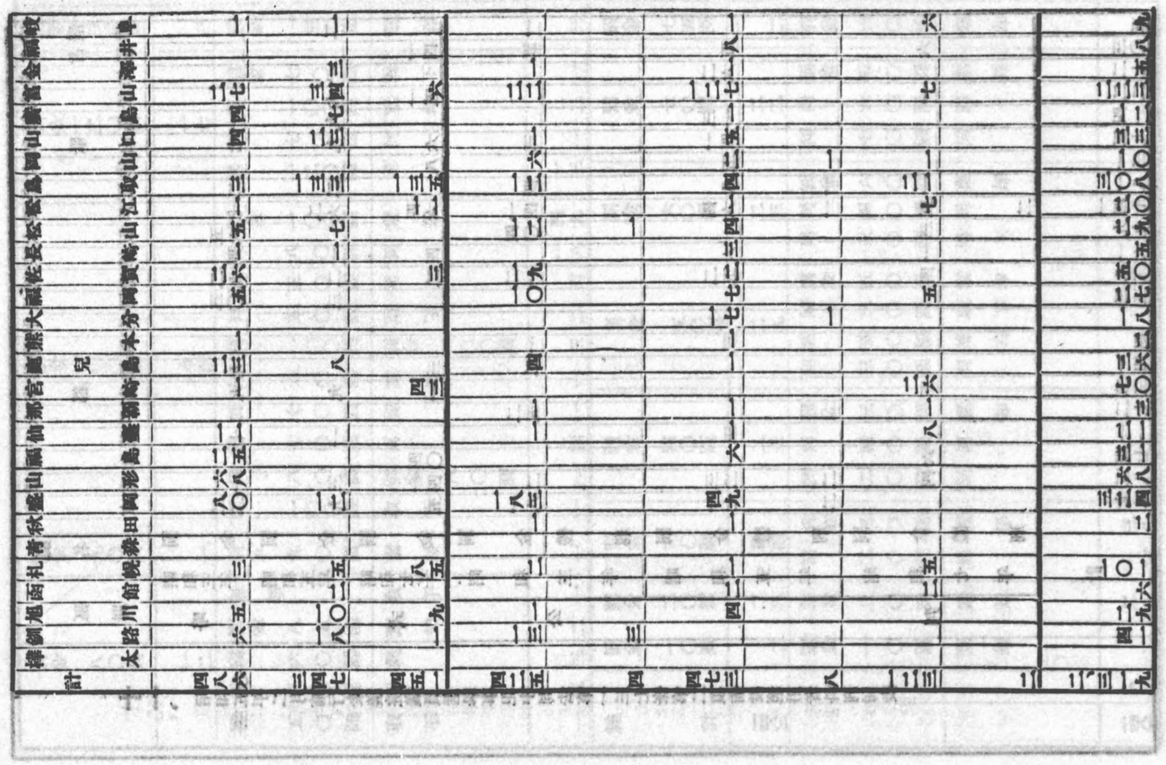

れる。組合の目的は組合員協同一致して營業上の弊害を矯正し其の利益を增進するにある。それで同組合では相接近したところの同業者が親睦を圖る爲めに會を拵へて春秋二期に懇親を温めることにすれば自然人情的に不正の競爭を防止することが出來るといふ意味から或地域地域に會を拵へる事にした。それが所謂部會と云ふのである。そして組合に於て年々部會長會議を開くことになつて居るので組合と部會とは密接の關係があるのである。

當時神戸米穀商同業組合の幹部は

組長　秋山弁助
副組長　鈴木富吉
同　辻覺一
會計主任　木谷周藏
顧問　田村新吉
外六名
評議員　二十四、五名
代議員　六十三名

で組合員は約千三百名あつて其の中議員選擧の有權者は五百二十一名であつた。

本件饗應に付秋山、鈴木の兩候補者の選擧委員長の辻覺一は饗應の動機方法に付豫審廷に於て述べて居る事實は神戸商工會議所の議員選擧には大抵神戸米穀商同業組合の正副組長が選定される事になつて居り前期の改選の際には組長志賀藤吉副組長塚本泰二及組合顧問田村新吉が公認候補となつたが塚本は落選したのである。今回の改選にあつても組長秋山弁助は本年一月頃より立候補の希望を仄めかし、副組長の鈴木富吉も亦立ち度い希望を持つて居た。其の後同月下旬頃組合の豫算案を諮問すべき評議員會を開かれた時組合より從前通り候補者を立て様といふ議が持上つたが評議員會丈けにより候補者を選定することは穩でないといふので其の候補者を選定すべき詮衡委員を部會長、代議員、評議員中より各五名宛を選び同詮衡委員により詮衡したる候補者を組合の代議員會にかけて公認仕様と言ふ事になつたのである。

其の後二月七日神戸商工會議所に於て組合の豫算總會が開かれて其の際豫算審議の後右詮衡委員が決定し其の詮衡委員が協議の結果日本精米製粉株式會社と副組長の鈴木富吉とを組合から候補者として推薦する事になり同會社の代表者を秋山弁助とすることに決定し之を代議員會に提案した處滿場一致之が可決し玆に組合よりの公認候補者が決定したのである。

其の總會の席上で右公認候補者たることを秋山、鈴木の兩氏が承諾し何れも宜敷く頼むといふ挨拶をしたのである。同日引續き午後六時頃から同會議所附屬食堂に於て代議員、評議員全部、部會長中の詮衡委員並に組合の宴會が組長秋山弁助の名に於て開かれた。其の時に各區から三名宛の選擧委員を出すと云ふ事になつたのである。其際選擧委員の決つた區もあり又區の情勢から其の後に於て決めて報告して來た區もあつた。結局石井源次郎外十五名の選擧委員が選ばれたのである。

其の後二月十一日七宮神社々務所に於て選擧委員會が開かれ秋山、鈴木兩候補出席の下に選擧運動方針を協議し、辻覺一は座長に推されて選擧の正副委員長詮衡の委員を各區から一名宛指名した。夫れは

葺合部　板倉藤次郎
神戸部　廣岡新治
湊東部　玉田常吉
湊西部　五百藏芳松
林田部　福本治市
須磨部　村田直太郎

を指名した。右詮衡委員は別室に於て協議の結果

選擧委員長　辻覺一
同　副委員長　板倉藤次郎
同　副委員長　豊村元兵衞

を詮衡決定し、又同詮衡委員により參謀が次の如く

葺合部　石井源次郎
神戸部　岸本米藏
湊東部　玉田常吉
湊西部　五百藏芳松
林田部　福本治市
須磨部　村田直太郎

に決定され、其他の選擧委員が全部副參謀になつた。參謀は選擧本部に居て支部との連絡を執り、副參謀は支部と小部會との連絡を執り、委員長は選擧に關する統轄をし、副委員長は委員長を補佐する事に決めた。選擧本部は組合事務所に置く事にした。

夫れから運動方針を協議し、辻覺一は委員長として前回の選擧の時には組長、副組長、顧問の三名が組合公認候補として推薦されたが不幸にして一名落選したが今度は二名公認したのであるから前回の樣に不覺を取らずに極力運動して兩名共當選せしめ度い。それには部會結束第一主義を取つて部會毎に有權者會を開いて之れに候補者が挨拶に出る事にして貰へば如何と提案した處一同贊成したので尚辻は組合員の結束は勿論であるが組合員外にも運動をして貰はなければならぬから各部會に於て有權者會を開かうと

役員會を開かうと又組合員全部の會を開かうと夫れは部會長に於て適宜遣つて貰ひ度いと依頼したところ參謀の内から人寄せをするには什う云ふ様な方法にすればよいかと質問したので辻は食事時に辨當位出すことは差支ないと思ふと述べ結局具體的の作戰方法としては各部會に於て會合を催し兩候補者は之に出席し主義主張を述べて其の應援を依頼すると云ふ事になり、其の會には酒食の御馳走を出す事位は差支ないと言ふ事になつて夫れは部會長に一任といふ事に決つたのである。そして辻は選擧は玄人であり商工會議所法には五十圓以下の罰金に處せらるゝことあるべしとある丈けで食事位有權者に出す事は差支ない。是れまで商工會議所の議員選擧には違反を檢擧されたことがないといふて其の選擧運動方針を參謀及副參謀が各區の小部會に傳へることにした。

そして其の會議終了後歸途自動車の中で秋山は辻に對し選擧に就て組合の機密で動かさなければならぬが其の方は萬事君に一任する。又何れ金も要る事であるが入用の場合は木田に話して貰ひ度い。自分から木田に對し其の事は話して出させる事にして置かうと申した。

其後二月十四日組合事務所で

辻　覺　一　　岸　米　藏
豊　村　元　兵　衛　　岡　本　治　市
玉　田　常　吉　　村　田　直　太　郎
五　百　藏　芳　松　　橫　田　三　之　助

の八名が參謀會議を開いた。その時の協議は各區に支部を設置し本部と連絡を執ると云ふ事と、各部會に於て競爭が激甚になる迄有權者會を開く事を見合せ暫く形勢を見る事にし各部會より代議員評議員其他の役員會丈けを開いてそれに辨當位出して候補者と顔繋ぎをして貰うといふ事にしたのである。處が此時既に或部會では有權者を饗應して居た。

二月二十日正副委員長、參謀全部、山平久太郎、石坂俊次、木田正太郎、平尾平吉が選擧本部に參集し參謀會議を開いた。其の會議の主たる議題は二月十九日の縣告示に依つて事務所設置の協議と部會へ渡すべき運動費の協議とであつた。日本精米製粉株式會社の取締役木田正太郎が金を扱ふ事になつて居たので同人に通知したところ木田は會計の平尾を連れて選擧本部に來た。そこで辻覺一は座長席に就き部會へ渡すべき運動費の額に就て協議して貰ひ度いと提案した。板倉は候補者は組合から出した候補者であるから經費をなるべく少くして組合員一人當り一圓が良いといふ説を出し或部會では是まで支出した費用を請求し二圓説三

圓説又五圓説を爲す者、或は實費説を出す者があり、議論續出して喧しくなつたので辻は折衷説を出し一圓五十錢説を主張したが二圓説大多數であつたので、辻は此前の選擧の時は有權者一人當り四圓程に付いて居るが之は全部亂戰で爭ふた爲であるが今度はさうでないと説明したが、結局二圓説が有力であつたので辻は自分に委せて呉れ秋山と相談するといふて去つた。木田と平尾は中途で歸つたので辻は其晩木田、平尾に運動費は二圓に極つたと報告した。尚辻は同月二十五日頃に選擧事務所から田村商會へ自動車で秋山候補と一緒に行く途中運動費は組合員一人當り二圓宛に決つたと話したら秋山はさうかと云ふて反對しなかつたのである。鈴木候補には其事を話さなかつた。そしてその金は秋山に報告した後二月二十六日選擧本部から田村商會に居る木田に對し電話で組合員千三百名として二千六百圓請求したところ同人は同日八百圓と其翌日千八百圓を十圓札で選擧本部へ持つて來たので、辻と日原某とが一人二圓の割で二月二十六日から三月一日頃まで各部會へ持參又は人を介して其の金を供與したのである。勿論その金の性質は秋山、鈴木兩候補者の當選を得る爲に部會の有權者等を集合する費用や其饗應費や又部會から二名宛の運動員を出して貰ふ辨當代や十九日縣の告示の出る迄の運動に要して居る費用等を支辨して貰ふ爲に處方を一任して渡したのである。

各部會の幹部は右金員の供與を受けて夫々部會員を一人前一圓乃至一圓七十錢相當の饗應を爲し投票を買收したのである。部會名員數、有權者、供與金額、幹部は次の通りである。

部會名	員數	有權者	供與金額	會長
◎葺合部		七部會		
脇濱米商會	二四	一二	四八	菅田藤四郎
穀友會	二七	一八	五四	池田鹿一
米榮會	三六	一四	八〇	石井源次郎
葺合米正會	四〇	一三	八〇	森幸治郎
葺合米友會	四三	一七	八六	和田三之助
大穀會	六一	三二	一二二	前　福松
穀榮會	五九	一八	一一八	板倉藤次郎
◎神戸部		一部會		
神戸部米穀會	一一九	七二	二三八	岸米藏
◎湊東部		七部會		
湊東穀友會	四二	九	八四	森信藏
平野米友會	二二	九	四四	大島盛之助
石夢米友會	三八	九	七六	山平久太郎
米信會	四四	二三	八八	平山竹次郎
豊正會	三一	一五	六二	玉田常吉
米友會	六二	三二	一二四	圓尾八十治

米友會	四七	二一	九四	竹森伊之助
◎兵庫部		六部會		
第一米和會	三五	一〇	七〇	横田三之助
第二米和會	五四	二六	一〇八	中島彦次郎
ラシク會	四五	一九	九〇	豆谷大吉
親友會	四二	一八	八四	寺尾經二郎
有信會	八四	二九	一六八	豐村元兵衞
◎林田部		九部會		
南友會	一八	六	三六	岸本粂太郎
南部米親會	三七	一五	七四	豐田嘉三郎
有隣會	五四	二四	一〇八	廣岡金太郎
北部米親會	三二	一九	六四	福本治市
交親會	一一	六	二二	津崎大吉
信交會	七七	三二	一五四	則光政太郎
西部米榮會	四九	二〇	九八	糸井京藏
東須磨同業會	一一	八	二二	砂川助雄
西須磨戊申會	一五	一一	三〇	村田直太郎
長田（會名不詳）	八	六	一六	石橋菜
會名不詳	八	一	一六	嵐濱吉

右部會の北部米親會の饗應に就て福本治市は豫審廷に於て述べて居る事實は

會員三十二名に對し二月二十六日午後五時頃神戸市小河通八丁目峯の家に總會名義で部會員二十四、五名を會合せしめ福本は今度同業組合から公認した兩候補の爲めに極力應援して貰ひ度いといふ趣旨の挨拶をして一圓三十錢宛の會席と酒を出した。午後八時頃に秋山候補と鈴木候補が其席に臨まれ各自列席者に結束して投票して貰ひ度いといふ挨拶をして歸られ後は九時頃に散會したのである。

本件買收金の出所に付ては木田正太郎の豫審廷に於て述べて居る事實は

秋山、鈴木の兩候補が同業組合に於て公認された翌日か翌々日であつたと思ふ。秋山の承認を得て日本精米製粉株式會社から其の運動金を出す事に極つたから右二千六百圓は同會社の金を支出したのである。

本件は候補者秋山斧助、選擧委員長辻覺一、木田正太郎及菅田藤四郎以下各部會長等三十一名は起訴されたが、被饗應者は全部起訴猶豫で鈴木候補も不起訴である。

神戸地方裁判所第一審の判決は辻覺一、石井源次郎、板倉藤次郎、岸米藏、玉田常吉、豐村元兵衞、五百藏芳松、村田直太郎は各禁錮一月十五日其他の被告人は各禁錮一月で被告人全部二年間執行猶豫となつたが秋山は控訴し控訴審で無罪になつた。其他の各被告人は一審で確定した。

判決

米穀商　辻　覺一
明治十九年一月十三日生

會社員　木田正太郎
明治十三年五月二十九日生

會社員　秋山斧助
明治十二年九月二十二日生

米穀商　菅田藤四郎
明治四年一月十五日生

米穀商　池田鹿一
明治二十五年九月廿二日生

米穀商　石井源次郎
明治十三年十月二十二日生

米穀商　森幸次郎
明治十年四月二十七日生

米穀商　和田三之助
明治十三年十二月廿八日生

米穀商　櫻野政六
明治十六年十月十三日生

米穀商　板倉藤次郎
明治十九年十二月七日生

米穀商　岸末藏
明治十三年五月一日生

米穀商　上田久太郎
明治十六年十一月十一日生

米穀商　大塚幸太郎
明治十六年三月一日生

米穀商　山平久太郎
明治十六年二月十八日生

米穀商　三輪覺治
明治二十二年七月十九日生

米穀商　玉田常吉
慶應三年二月十日生

米穀商　圓尾八十治
明治十八年五月二十五日生

米穀商　豐村元兵衞
明治七年十二月二十日生

米穀商　竹林伊之介
明治二十一年三月七日生

米穀商　久留磨作藏
明治十八年七月三日生

米穀商　横田三之助
明治十二年十二月七日生

米穀商　中島彦次郎
明治十二年六月五日生

米穀商　豆谷大吉
明治十八年十二月三十日生
米穀商　寺尾經治郎
明治十六年三月九日生
米穀商　五百藏芳松
明治十四年十一月十日生
白米商　岸本粂太郎
明治十年九月三日生
米穀商　豐田嘉三郎
明治十四年八月二十三日生
白米商　廣岡金太郎
明治十八年一月二十八日生
白米商　井口市次郎
明治八年三月二十九日生
米穀商　福本治市
明治二十一年四月廿七日生
米穀商　津崎大藏
明治三年二月十六日生
白米商　則光政太瓦
明治二十年四月十一日生
米穀商　糸井京吉
明治六年四月二日生
白米商　砂川助雄
明治卅三年十二月廿二日生
米穀商　村田直太郎
明治二十五年十一月五日生

右ノ者等ニ對スル各商工會議所議員選擧罰則違反被告事件ニ付檢事齋藤正一關與審理ヲ遂ケ判決スルコト左ノ如シ

主文

被告人辻覺一、石井源次郎、板倉藤次郎、岸米藏、玉田常吉、豐村元兵衞、五百藏芳松、村田直太郎ヲ各禁錮一月十五日其ノ他ノ被告人ハ各禁錮一月ニ處ス

但右各被告人ニ對シ孰レモ裁判確定ノ日ヨリ二年間右刑ノ執行ヲ猶豫ス

理由

被告人秋山斧助ハ神戸市兵庫區今出在家町所在日本精米製粉株式會社代表取締役竝同市北宮內町神戸米穀商同業組合組長ニシテ昭和四年三月十一日施行ニ係ル神戸商工會議所議員選擧ニ際シ前記株式會社代表者トシテ立候補シ同年二月七日同組合總會ニ於テ同選擧候補者タル同組合副組長鈴木富吉ト共ニ同組合ノ公認ヲ受ケ被告人木田正太郎ハ前示株式會社ノ取締役ニテ右選擧ニ於ケル同派ノ最高幹部被告人辻覺一ハ右同業組合副組長ニシテ右兩候補者ノ選擧委員長被告人菅田藤四郎ハ同組合所屬葺合部脇濱米商會會長被告人池田鹿一ハ同上穀友會會長被告人石井源次郎ハ同上米榮會々長ニシテ同派ノ參謀被告人森幸次郎ハ同上米正會々長被告人和田三之助ハ同上米友會々長被告人樫野政六ハ同上大穀會副會長被告人板倉藤次郎ハ同上穀榮會々長ニシテ選擧副委員長被告人岸米藏ハ同上神戸部米穀會々長ニシテ同派ノ參謀被告人山平久太郎ハ同上湊東部石夢米友會々長被告人三輪覺治ハ同上米信會副會長被告人玉田常吉ハ同上豐正會々長ニシテ同派ノ參謀被告人圓尾八十治ハ同上米友會々長被告人上田久太郎ハ湊東穀友會々計被告人大塚幸太郎ハ同上平野米友會々計被告人豐村元兵衞ハ同上湊西部有信會々長ニシテ同派ノ選擧副委員長被告人竹林伊之介ハ同上米友會々長被告人久留磨作藏ハ同會副會長被告人横田三之助ハ同上第一米和會々長被告人中島彥次郎ハ同第二米和會々長被告人豆谷大吉ハ同上ラシク會々長被告人寺尾經治郎ハ同上親友會々長被告人五百藏芳松ハ同會相談役ニシテ同派ノ參謀被告人岸本粂太郎ハ同上林田部南友會々長被告人豐田嘉三郎ハ同上南部米親會々長被告人廣岡金太郎ハ同上有隣會々長被告人井口六次郎ハ同會員被告人福本治市ハ同上北部米親會々長ニシテ同派ノ參謀被告人則光政太瓦ハ同上信友會々長被告人糸井京吉ハ同上西部米榮會會長被告人津崎大藏ハ同上交親會々長被告人砂川助雄ハ同上東須磨同業會々長被告人村田直太郎ハ同上西須磨戊申會々長ニシテ同派ノ參謀ト爲リ孰レモ前示兩候補者ノ爲ニ選擧運動ニ從事中

第一　被告人辻覺一ハ右兩候補者ヲシテ當選セシムル目的ヲ以テ前示各部會毎ニ各部會所屬ノ選擧權者等ヲ會同シ同候補者ヲ之ニ出席セシメ立候補ノ挨拶ヲ爲サシメ其ノ際有權者等ヲ饗應シ之カ結束ヲ圖ラントスル方針ヲ定メ被告人秋山斧助、木田正太郎ノ贊成ヲ得テ玆ニ右三名共謀ノ上組合員一人當リ二圓ノ割合ヲ以テ各部會ニ配付シ饗應費等ニ充當セシメンコトヲ企圖シ同年二月下旬頃被告人秋山斧助ハ神戸市榮町六丁目貿易商田村商會ニ於テ被告人木田正太郎ニ金二千六百圓ヲ交付シ同被告人ハ之ヲ同市北宮內町同派選擧本部ニ於テ被告人辻覺一ニ交付シ同被告人カ之ヲ各部會ニ配付スルコトヲ擔任シ其ノ當時犯意ヲ繼續シ

一　被告人菅田藤四郎ニ對シ同市脇濱町三丁目同人方ニ於テ前示部會所屬有權者饗應費竝同人等ニ對スル選擧運動報酬ヲ込メタル趣旨ヲ告ケ其ノ處分ヲ同人ニ一任シテ金四十圓

二　被告人池田鹿一ニ對シ同市割塚通二丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金五十四圓

三　石井源次郎ニ對シ同市國香通四丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金八十圓

四　被告人森幸次郎ニ對シ同市東雲通二丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金八十圓

五　被告人和田三之助ニ對シ同市北本町六丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金八十六圓

六　被告人樫野政六ニ對シ同市御幸通七丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金百二十二圓

七　被告人板倉藤次郎ニ對シ同市二宮町三丁目同人方ニ於テ前同趣旨金百十八圓

八　被告人岸米藏ニ對シ同市北長狹通一丁目同人方ニ於テ前

同趣旨ノ金二百三十八圓

九 被告人上田久太郎ニ對シ同市北宮内町前示選擧本部ニ於テ前同趣旨ノ金八十四圓

一〇 被告人大塚幸太郎ニ對シ同市平野上三條町打越鶴太郎方ニ於テ前同趣旨ノ金四十四圓

一一 被告人山平久太郎ニ對シ同市熊野町四丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金七十六圓

一二 被告人三輪覺治ニ對シ同市荒田町三丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金八十八圓

一三 被告人玉田常吉ニ對シ同市荒田町一丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金六十二圓

一四 被告人圓尾八十治ニ對シ同市東川崎町七丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金百二十四圓

一五 被告人豐村元兵衞ニ對シ同市須佐野通一丁目同人方ニ於テ金百六十八圓

一六 被告人竹林伊之介、久留磨作藏ニ對シ同市北宮内町前示選擧本部ニ於テ前同趣旨ノ金九十四圓

一七 被告人横田三之助ニ對シ同市中道通一丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金七十圓

一八 被告人中島彦次郎ニ對シ同市下澤通四丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金百八圓

一九 被告人豆谷大吉ニ對シ同市中道通八丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金九十圓

二〇 被告人寺尾經治郎、五百藏芳松ニ對シ同市塚本通八丁目寺尾經治郎方ニ於テ前同趣旨ノ金八十四圓

二一 被告人岸本粂太郎ニ對シ同市和田崎町同人方ニ於テ前同趣旨ノ金三十六圓

二二 被告人豐田嘉三郎ニ對シ同市刈藻通二丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金七十四圓

二三 被告人廣岡金太郎、井口市次郎ニ對シ同市金平町一丁目被告人廣岡金太郎方ニ於テ前同趣旨ノ金百八圓

二四 被告人福本治市ニ對シ同市菅原通五丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金七十圓

二五 被告人津崎大藏ニ對シ同市細田町五丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金二十二圓

二六 被告人則光政太夏ニ對シ同市西尻池町三丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金百五十四圓

二七 被告人糸井京吉ニ對シ同市水笠通五丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金百二圓

二八 被告人砂川助雄ニ對シ同市東須磨上中島二丁目同人方ニ於テ前同趣旨ノ金二十二圓

二九 被告人村田直太郎ニ對シ同市西須磨新田町同人方ニ於テ前同趣旨ノ金三十圓ヲ各供與シ

第二 被告人秋山斧助、木田正太郎、辻覺一ヲ除キタル各被告人ハ夫々前示趣旨ヲ諒シテ右割當金員ノ供與ヲ受ケ

第三 左記各被告人ハ孰レモ尚犯意ヲ繼續シ前記兩候補者ヲシテ當選セシムル目的ノ下ニ

一 被告人菅田藤四郎ハ同年三月二日同市脇濱町三丁目料理屋正宗ニ於テ脇濱米商會所屬有權者廣瀨繁外十數名ニ對シ折詰酒等一人前金一圓七十錢相當

二 被告人池田庭一ハ前同日前記自宅ニ於テ穀友會所屬有權者安田平治郎外十數名ニ對シ辨當竝酒等一人前金一圓二十錢相當

三 被告人石井源次郎ハ前同日前記自宅ニ於テ米榮會所屬有權者長尾米吉外十數名ニ對シ辨當竝酒等一人前金一圓三十五錢相當

四 被告人森幸次郎ハ同月一日同市春日野道春日野倶樂部ニ於テ葺合米正會所屬有權者高田菊松外十數名ニ對シ會席料理竝酒等一人前約二圓相當

五 被告人和田三之助ハ同月二日同市南本町一丁目藤山亭ニ於テ葺合米友會所屬有權者福島福太郎外十數名ニ對シ仕出料理竝酒等一人前金一圓五十錢相當

六 被告人樫野政六ハ同月四日同市小野柄通四丁目在鄕軍人分會々場ニ於テ大穀會所屬有權者寺岡梅吉外十數名ニ對シ料理竝酒等一人前金一圓四十錢相當

七 被告人山平久太郎ハ同年二月十七日同市湊川新開地料亭タイ家ニ於テ石夢米友會所屬有權者山西淸太郎外十數名ニ對シ料理竝酒等一人前約金二圓相當

八 被告人豐村元兵衞ハ同年二月十一日同市吉田新田光明院ニ於テ有信會所屬有權者粟西彌三郎外十數名ニ對シ部會總會ニ名ヲ藉リ折詰竝酒等一人前金一圓五十錢相當

九 被告人竹林伊之介、久留磨作藏ハ共謀ノ上同年二月二十日同市湊町一丁目衞生組合事務所ニ於テ米友會所屬有權者山田庄之助外約二十名ニ對シ吸物辨當竝酒等一人前一圓二十錢相當

一〇 被告人横田三之助ハ前同日前記自宅ニ於テ第一米和會所屬有權者梅本榮外約十名ニ對シ會席料理竝酒等一人前金一圓二十錢相當

一一 被告人中島彦次郎ハ前同日前記自宅ニ於テ第二米和會所屬有權者坂本壽一外約二十名ニ對シ會席料理竝酒等一人前一圓二十錢相當

一二 被告人豆谷大吉ハ前同日前記自宅ニ於テラシク會所屬有權者門口利七外十數名ニ對シ會席料理竝酒等一人前一圓二十錢相當

一三 被告人寺尾經治郎、五百藏芳松ハ共謀ノ上前同日同市羽坂通四丁目被告人五百藏芳松方ニ於テ親交會所屬有權者泉田勘兵衞外十數名ニ對シ料理竝酒等一人前約一圓四十七八錢相當

一四 被告人豐田嘉三郎ハ同年三月三日前記自宅附近ナル藥師堂ニ於テ南部米親會所屬有權者岸野幸吉外數名ニ對シ折詰竝酒等一人前金二圓相當

一五 被告人廣岡金太郎、井口市次郎ハ共謀ノ上同年二月二

十五日同市和田宮通三石神社々務所ニ於テ有隣會所屬有權者宮崎敬二外十數名ニ對シ辨當竝酒等一人前金一圓相當

一六　被告人福本治市ハ同月二十六日同市小河通八丁目料亭峯ノ家ニ於テ北部米親會所屬有權者山本信夫外十數名ニ對シ會席料理竝酒等金一圓三十錢相當

一七　被告人則光政太夏ハ同日同市庄田町二丁目足立逸次方ニ於テ信友會所屬有權者藤池竹次郎外二十數名ニ對スル折詰竝酒等一人前金一圓七十錢相當

一八　被告人村田直太郎ハ同月十八日前示自宅ニ於テ西須磨戊申會所屬有權者上西隆太郎外數名ニ對シ折詰竝酒等一人前金一圓二十錢相當ノ右饗應ヲ爲シタルモノナリ

前判示冒頭記載ノ事實ハ被告人等ノ當公廷ニ於ケル各自關係部分ニ付之ト同趣旨ノ供述ニ依リ之ヲ認メ第一ノ事實中判示ノ如ク二千六百圓ノ受授アリタルコトハ被告人秋山斧助、木田正太郎、辻覺一ノ當公廷ニ於ケル各自關係部分ニ付其ノ旨ノ自供ニ依リ之ヲ認メ被告人覺一カ第一ノ一乃至二十九記載ノ日場所ニ於テ前記金員ヲ前示被告人等ニ交付シタルコトハ被告人辻覺一ノ當公廷ニ於ケル其ノ旨ノ自供ニ依リ之ヲ認メ被告人辻覺一カ右兩候補者ヲ當選セシムル目的ヲ以テ前示運動方針ヲ定メ被告人秋山斧助、木田正太郎、辻覺一カ判示ノ如ク共謀シ被告人辻覺一ニ於テ前記各部分ニ對スル右金員ノ配付方ヲ擔任シ之カ配付ヲ爲シタルモノニシテ右配付金カ判示ノ如キ性質ノモノナルコトハ被告人辻覺一第一回豫審調書中昭和四年二月十一日選擧委員會ニ於テ自分カ選擧委員長ト爲リ運動方針ヲ協議シ各部會ニテ會合ヲ催シ兩候補者カ之ニ出席シ挨拶ヲ爲シ應援ヲ依頼スルコトトシ其ノ會ニテ酒食ノ御馳走ヲ出ス位ハ差支ナクソレハ部會長ニ一任スルコトニ定メタリ其ノ後同月二十日同派ノ參謀會議ニ於テ運動費ノ割當額ニ付協議ヲ爲シタルカ多數ノ意見ハ組合員一人當リ二圓ナリシヲ以テ同日木田ニ運動費ハ組合員一人當リ二圓ニ決リタル旨ヲ報告シ同月二十五日秋山ニモ其ノ旨ヲ話シタリ其ノ金ノ性質部會ノ有權者等ヲ集合シ饗應ヲ爲ス費用其ノ他ニ支辨シテ貰フヘキモノナル旨ノ供述記載被告人木田正太郎第二回豫審調書中秋山、鈴木ノ兩候補者カ同業組合ニ於テ公認セラレタル日ノ翌日頃秋山ノ承認ヲ得テ日本精米製粉株式會社ヨリ其ノ運動費ヲ出スコトト爲リ自分カ其ノ運動費調達ヲ引受ケタリ其ノ後二月十二、三日頃辻覺一ニ選擧運動費用ヲ預リ自分ヨリ出スコトト爲リ居ル故必要ノ場合ハ申出テ呉レ度ク小額ノ會計ノ方ハ平尾ヨリ出サセテ呉レト云ヒタリ而シテ同月二十日組合ノ參謀會議ノアリタル夜辻覺一ヨリ運動費ハ組合員一人當リ二圓ト決リタリト報告ヲ受ケタリ其ノ金ハ各部會ニテ開ク部會ノ費用卽御馳走ノ費用及席料等ノ前渡金トシテ渡シタルモノニシテ其ノ殘リハ返ヘシ呉ルルモ呉レサルモ差支ナキ金ナリ同月二十五日頃秋山ニ對シ組合ノ參謀連中ハ運動費ヲ二千六百圓ト決メ呉レタル旨辻ヨリ報告アリタル由ヲ告ケ其ノ後辻ノ要求ニヨリ二回ニ二千六百圓ヲ辻ニ交付シタル旨ノ供述記載被告人秋山斧助第一回豫審調書中辻及木田ヨリ運動費ハ

組合員一人當リ二圓宛渡スコトト爲リ組合員千三百名ナル故二千六百圓ヲ要スルコトヲ聞キタルカ二月末田村商會ニテ木田カ辻ノ要求ニヨリ二千六百圓ヲ渡スト云ヒシ故之ニ同意シタル旨ノ供述記載被告人秋山斧助ノ第二回豫審調書中選擧ノ表面ノ委員長ハ辻ニシテ同人ニ對シ組合ノ機關ニシテ選擧ノ爲ニ働カシムルコトニ付一切ヲ任セ置キ木田正太郎ハ私ノ内部ニ於テ參謀長トシテ選擧ニ關スル一切ノ事ヲ援助シ呉レタリ私カ組合ヨリ候補ノ公認ヲ受ケタル後辻ニ對シ費用ノ方ハ君ニ於テ取計ヒ難キ事ハ萬事木田ト相談シテ遣リ呉レ同人ニ金ヲ出ス樣ニ話シ置クヘシト云ヒ木田ニ對シテハ費用ハ辻ヨリ要求アラハ同人ト相談ノ上出シ呉レト云ヒ置キタル次第ニテ辻、木田ハ私ノ手足ト爲リ働キ呉レタリ辻ヨリ組合員一人當リ二圓ノ費用ノコトヲ聞キ其ノ出金ヲ承認シ木田ト相談ノ上遣リ呉レト云ヒタリ其ノ金ハ部會ニ遣ルモノニシテ部會ノ會合ノ際要シタル飮食等ノ費用ニ費フ金ト思ヒタリ尙私ハ各部會ニテ有權者會等ヲ開キ其ノ出席者ニ辨當等ヲ饗應シ之ニ私等候補者カ出席シ挨拶ヲ爲スト云フ運動方針ニ決リ居タリト思ヒ默認シ居タル旨ノ供述記載及被告人菅田藤四郎、石井源次郎、森幸次郎、和田三之助、樫野政六ノ當公廷ニ於ケル同被告人等ノ前記ノ如ク配付ヲ受ケタル金員ノ性質カ判示ノ如キモノナル旨ノ各供述ヲ綜合シテ之ヲ認定シ被告人秋山斧助、木田正太郎、辻覺一ヲ除キタル各被告人カ前示第二事實ノ如ク割當ノ金員ノ供與ヲ受ケタルコトハ被告人菅田藤四郎、石井源次郎、森幸次郎、和田三之助、樫野政六、豐村元兵衞ニ付テハ同被告人等ノ當公廷ニ於ケル各自關係部分ニ付之ト同一趣旨ノ自白其ノ他ノ被告人等ニ付テハ同被告人等ノ豫審調書中各自關係部分ニ付之ト同一趣旨ノ供述記載ニ依リ之ヲ認メ第三ノ事實中犯意繼續ノ點ヲ除キタル部分ハ被告人菅田藤四郎、石井源次郎、森幸次郎、和田三之助、樫野政六、豐村元兵衞ニ付テハ同被告人等ノ當公廷ニ於ケル各自關係部分ニ付之ト同趣旨ノ自白其ノ他ノ被告人等ニ付テハ同被告人等ノ豫審調書中各自關係部分ニ付之ト同趣旨ノ供述記載ニ依リ之ヲ認メ犯意繼續ノ點ハ孰レモ短期間内ニ前記犯行ヲ累行シタル事跡ニ徵シ之ヲ認定ス

右被告人秋山斧助、木田正太郎、辻覺一ノ行爲ハ各昭和二年十二月商工省令第十四號商工會議所法第十二條第一號ノ議員ノ選擧ニ關スル規則第三十四條第一號刑法第五十五條右被告人三名ヲ除キタル他ノ被告人等ノ第二ノ行爲ハ各同省令第三十四條第六號第一號第三ノ一乃至十八掲記ノ被告人等ノ行爲ハ各同省令第三十四條第一號ニ該當シ第三ノ一乃至十八掲記ノ被告人等ニ付テハ連續犯ニ係ルヲ以テ刑法第五十五條ヲ適用シ各被告人ニ對シ禁錮刑ヲ選擇シ其ノ刑期範圍内ニ於テ主文掲記ノ刑ニ處シ刑ノ執行ヲ猶豫スヘキ情狀アリト認ムルヲ以テ刑法第二十五條ニ依リ各被告人ニ對シ裁判確定ノ日ヨリ二年間右刑ノ執行猶豫ヲ言渡スヘキモノトシ主文ノ如ク判決ス

被告人岸米藏、大塚幸太郎、三輪覺治、玉田常吉、圓尾八十治豐田嘉三郎、糸井京吉カ夫々昭和四年二、三月中右兩候補者ヲ

當選セシムル目的ヲ以テ各部會所屬有權者等ヲ饗應シタル旨ノ公訴ハ孰レモ其ノ犯罪ノ證明ナキモ同被告人等ノ前判示事實ト連續ノ一罪トシテ公判ニ付セラレタルモノナルヲ以テ無罪ノ言渡ヲ爲サス

昭和四年七月二十六日

神戸地方裁判所刑事第二部

裁判長 判事 加藤健一

判事 向井太郎

判事小西壽賀一ハ賜暇中ニ付署名捺印スルコト能ハス

裁判長 判事 加藤健一

第六章 舊刑法公選投票に依る買收

第一節 概說

衆議院議員選擧に於ける買收に付ては衆議院議員選擧法罰則に依り又北海道會、府縣會、市町村會、區會、北海道一級二級町村會島嶼町村會、水利組合會の議員選擧及び貴族院多額納稅者議員互選に於ける買收に付ては衆議院議員選擧法罰則の準用に依り何れも處罰され尙又商工會議所議員の選擧に於ける買收に付ては「商工會議所法第十三條第一號ノ議員ノ選擧ニ關スル規則」に依つて處罰されるのであるが其の他の議員選擧に於ける買收に付ては特別の規定なき限は舊刑法第二百三十四條に依つて處罰されるのである。舊刑法は明治十三年七月十七日太政官布告第三十六號を以て布告され翌十四年第三十六號を以て明治十五年一月一日より施行された。そして明治四十年四月二十四日法律第四十五號を以て刑法を公布され此の新刑法は明治四十一年勅令第百六十三號を以て同年十月一日より施行されたのである。ところが刑法施行法第二十五條に於て舊刑法第二編第四章第九節公選の投票を僞造する罪の規定は當分の內刑法施行前と同一の效力を有する旨規定されたのである。然るに未だ之に代るべき法律なく刑法施行法第二十五條は依然として存在して居る。從て右に述べた議員選擧以外の議員選擧の買收等には此の舊刑法の規定が適用されるのである。即ち現在活用されて居る舊刑法の公選の投票を僞造する罪の規定は次の通りである。

舊刑法

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ僞造シ又ハ其數ヲ增減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十五條 投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ僞造シ又ハ增減シタル時ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十六條 調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ增減シ其他詐僞ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二百三十四條の投票買收の規定は二月以上二年以下の輕禁錮及び三圓以上三十圓以下の罰金附加であつて之は刑法施行法第十九條第二條第二十條に依つて二月以上二年以下の禁錮に改正された。此の舊刑法の規定の適用に付ては勿論刑法總則の規定は準用されるのである（刑法施行法第二十五條第二項）。舊刑法の遺物たる此の舊刑法第二百三十四條の賄賂投票罪は前に貴族院多額納稅者議員互選の投票買收に就て述べた樣に不都合な點があつて今日の各種議員選擧の投票買收に適用するは其の實情に適しない。何れの議員選擧に於ても其の自由公正を期するが爲には投票買收行爲は嚴罰に處すべきことは言ふを俟たないが舊刑法の賄賂投票罪の適用を受ける公選投票の選擧は國會議員や府縣會議員等の選擧と異なり選擧區も狹く又選擧人も小數である。從て斯種の選擧の買收金は小額であり饗應も小さい。併し大きな選擧に於ける多額の買收も小さい選擧に於ける小額の買收も其の價値に於ては同一であり害毒も同樣であるが一票二十錢乃至一圓位の被買收者に對しても他の選擧取締法の適用を受ける選擧の被買收者であれば罰金刑で濟むが賄賂投票罪には罰金刑がなく體刑のみであるからして體刑を以て之に臨まなければならない樣な不公平が生ずる。と言つて全部起訴猶豫處分に附することも出來まいと思ふ。投票買收に對する選擧取締法規を統一して立法するの必要を感ずるのである。

大正五年から昭和七年まで檢擧された公選投票に關する犯罪者は次表に示す通りであるが大した數でない。此の表は舊刑法の公選の投票を僞造する罪の全部の犯罪者人員であるが其の大部分は投票買收で大正十三年までは貴族院多額納稅者議員互選の買收人員も包含して居る。だから同年までの他の公選投票の買收は僅少なものである。昭和二年から增加し昭和七年度に於て減少してゐ

る。そして大部分は起訴猶豫で起訴された者は少ない。之は云ふまでもなく右に述べた様に僅かな被買收者に對し罰金刑がないから體刑は餘りにも酷と認められ斯くの如く起訴猶豫にされた者が多いものと想像される。

自大正五年至昭和七年 舊刑法公選投票ニ關スル犯罪者調

年別／裁判所別	東京	横濱	浦和	千葉	水戸	宇都宮	前橋	靜岡	甲府	長野	新潟	京都
大正五年												
同六年				一								
同七年										五		
同八年		二			二六							
同九年		一										
同一〇年			五		一			一				
同一一年			二									
同一二年	一一						六			四一 一〇		
同一三年												
同一四年					一〇							
同一五年												
昭和二年			一二 五		一		一一			九 二二		五
同三年											三	
同四年												
同五年					四〇							一九
同六年	二	一			一一		二			一		二 三五
同七年		一七									二	

年別／裁判所別	大阪	神戸	奈良	大津	和歌山	徳島	高松	高知	名古屋	安濃津	岐阜	福井	金澤	富山	廣島	山口	岡山
大正五年																	三
同六年			一				三							二 三			
同七年										七							
同八年	五					一		三 一							三		
同九年								一									
同一〇年						二		一									
同一一年																二	二
同一二年											五		七 六	一 九			二
同一三年																	八
同一四年					一								二		一		
同一五年																	
昭和二年																	
同三年	二										一七						
同四年	三一					七											
同五年	一二					二			七		二 一四	八					一四 三四
同六年			四 一四				五		三		四						
同七年												一					

鳥取								**二五**							**一三**		
松江								**四**								**六**	
松山										**一**							
長崎																	
佐賀																	
福岡												五			六 **四**	**九一**	
大分															八 **二四**	三	
熊本			三									二					
鹿兒島		七										二	一一		**四**	**一二**	
宮崎																	
那覇															一 **二六**		
仙臺							四	**二**							**二〇**		
福島	一 **八**													一			
山形															三		
盛岡													三 **三五**		**五**		二
秋田																	
青森								**二**							一		
函館																	
札幌																	
旭川		一	一														
釧路																	
樺太																	
合計	四 **八**	一五 **三**	四 **一二**	三九 **二**	一 **一**	七 **三**	六 **四**	六〇 **七一**	**八**	一二 **二**		四七 **二七**	一九 **五二**	八 **三一**	八三 **一八四**	一五 **一八一**	三 **一九**

第二節　賄賂投票罪

本罪は公選に際して賄賂を以て投票を爲さしめ又は賄賂を受けて投票を爲したることに因て成立する。

一　公選の意義

公選とは法令の規定に基き公務に從事する者を選擧することを指稱するのである。而して單に法令を以て選擧方法を規定したるものを指稱するのみならず法令に據つて設置せられたる公共團體の規約に基く選擧の投票も亦之に包含する（註一）。故に衆議院議員府縣會議員等の選擧及び貴族院多額納稅者議員の互選等は何れも公選である。然し之等の議員選擧には特別の規定があるから本罪の適用から除外されてゐることは前に述べた通りである。即ち賄賂を以て公選投票を爲さしめ又は賄賂を受けて公選投票を爲す行爲に對しては特別の規定がない限は舊刑法第二百三十四條を適用すべきものであつて縣令選擧に關する罰則が取締罰則の性質を有するものとするも右適用を除外すべきものでない（註二）。

註一　明治三十八年刑事判決錄四七八頁

註二　大正十年五月七日大審院第二刑事部宣告判決錄一八輯一三七五頁。

二　賄賂を以て投票を爲さしめ又は賄賂を受けて投票を爲したることを必要とする。

賄賂とは不法の報酬である。賄賂の目的物は普通人の需要若は慾望を充たすに足るべき一切の利益を包含し該利益は必ずしも確定的若は永續的なることを要しない。單に一時的に人の欲求を滿足

せしむるに足るものも亦均しく賄賂の目的となる（註一）。從て有體物又は經濟上の價格を有することを必要としない。異性間の情交も又賄賂の目的となる（註二）。金錢消費貸借は借主に於て金錢を消費する權利を得るものであるから縱令無利子無期限等特別利益の事情が存しなくとも金融の利益を得るものなれば其の利益は賄賂の目的となる（註三）。舊刑法第二百三十四條に所謂賄賂中には賄賂の約束及び其の受諾をも包含するや否や同法中同條以外に賄賂を以て犯罪構成の要素としてゐる法條は僞證罪中の規定たる第二百二十五條官吏人民に對する罪中の規定たる第二百八十四條乃至第二百八十六條にして右各法條は孰れも賄賂の收受のみならず其の聽許即約束の受諾をも尙收受と等しく處罰せるに拘らず罪質は異るが賄賂が犯罪構成要素たる點は同一歸趣たる第二百三十四條の場合に限り其の制裁を獨り授受の場合にのみ止むるの理由ある筈なく又同條は選擧權行使の自由公正を保護するの目的に出でたる規定にして而して其の一方行爲たる賄賂の提供又は要求に止まる場合は格別既に授受したる賄賂の爲に投票を爲さしめ又は爲したる場合と既に成立したる賄賂の約束又は受諾に依り投票を爲さしめ又は爲したる場合とは其の法益侵害上兩者間に何等擇ぶところなければ彼を罰し之を罰せずして可なるの理由を發見する能はざるのみならず若夫れ事前の約束又は其の受諾に基き投票を爲さしめ又は爲したる場合は處罰せらるることなく事前の授受に依る投票の場合に限り處罰せらるるものとせば何人も事前授受の危險を冒すことなく毎に先づ約束又は其の受諾に依りて投票を爲さしめ又は爲し其の履行は之を事後に讓つて以て法網を免がるるに至り同條の規定は遂に空文に歸し法の目的を達する能はざるべく尙前示第二百八十四條乃至第二百八十六條の文例を觀るに孰れも賄賂を收受し又は之を聽許したる者は云々とあつて賄賂の文詞は其の收受及び聽許の兩者に關するものなること明文上疑を容るるの餘地なきを以て第二百三十四條の賄賂なる文詞も亦之と同趣に其の授受又は約束及び其の受諾を一括包容せるものと解するを相當とする。從て右舊刑法第二百三十四條に賄賂を以て投票を爲さしめ又は賄賂の授與若くは約束を以て投票を爲さしめ又は其の授與を受け若くは約束を受諾して投票を爲したるものとの意義を約言したるに過ぎずして該賄賂中には約束及び受諾をも包含せるものと解釋するを妥當とする（註四）。賄賂の授受又は約束によつて投票を爲さしめ又はなしたることを必要とするが故に賄賂の授受又は約束を爲すも選擧人が投票をしないときは本罪は成立しないものと解する。然し賄賂の授受又は約束に因つて選擧人が其

の自由意思に基き決定せる投票せんとする候補者を變更することを必要としない（註五）。そして自己の爲にすると他人の爲にするとを問はず苟も賄賂を以て投票を爲さしめたる者は本條の制裁を受ける（註六）。又賄賂を以て公務員をして公選の投票を爲さしむる行爲は賄賂罪と賄賂投票罪、公務員が賄賂を受けて投票したる行爲は收賄罪と賄賂投票罪との何れも一箇の行爲にして二罪名に觸れるのである。蓋し舊刑法第二百三十四條の賄賂投票罪は法令に基き公職に從事すべき者の選擧の公正を害する行爲を以て實質と爲すものにして其の犯罪の主體は必ずしも公務員のみに限定せられることとなし。之に反して刑法第百九十七條第一項の賄賂罪は公務執行の公正を害する行爲を以て其の實質と爲すものにして之が犯罪の主體は公務員又は仲裁人である。是を以て前者は選擧の公正を維持することを目的とし後者は公務執行の公正を維持することを目的となすものにして二者其の法益を異にし各獨立して併存することを得べきものなること論を俟たない。此の故に賄賂の授受に依つて投票を爲さしめ又は投票を爲したる者が偶々公務員たりし場合と雖後者は前者の爲に若は前者は後者の爲に吸收せられて何れか一方の存在を失ふべきものに非ずと解するを相當とするが故である（註七）。而して幇助行爲は正犯の實行に必要缺くべからざる關係を有する行爲のみに限るものに非らずして苟も之を容易ならしむるに足る以上は其の態様の如何を問はず幇助行爲なりと謂ふに妨げなきを以て人が賄賂を贈らんとする金錢の不足するを知つて之に金錢を貸與するが如きは贈賄行爲を容易ならしむるものなるが故に贈賄を幇助したるものである（註八）。

註一　大正九年十二月十日大審院第一刑事部宣告　判決錄二十六輯九四九頁

註二　大正四年七月九日同第一刑事部宣告　同二十一輯九九〇頁

註三　大正七年十一月二十七日同第三刑事部宣告　同二十四輯一四三八頁

註四　明治四十四年十一月三十日金澤地方裁判所判決

註五　昭和六年十月二十二日大審院第二刑事部判決　判例集十巻四八三頁

註六　明治三十二年四月十日同刑事部宣告　判決抄錄二巻三〇三頁

註七　大正十三年六月十三日同第六刑事部判決　判例集三巻四九八頁、大正十一年三月一日同第三刑事部判決　同一巻一一一頁

註八　大正十年五月七日同第三刑事部宣告　判決抄錄八十七巻一〇、九八二頁

第三節　判　例

第一　町村農會總代ノ選擧

法人カ公法人ナルヤ否ハ法人存在ノ目的タル事業カ國家ノ事務ニ屬スルヤ否ニ依リテ定マルコトハ當院判例ノ認ムル所ナリ而モ其ノ法人カ國家ノ特別ナル監督ニ服シ其ノ目的トスル事業ヲ遂行スルノ義務ヲ國家ニ對シテ負擔シ且法人ヲ組織スル會員ニ對シテ特別ナル權能ヲ有スルニ於テハ益々其ノ法人ハ國家行政組織ノ一部ヲ爲シ公法人タルコト疑ヲ容レス大正十一年法律第四十號農會法第一條及第二條ニ依レハ農會ハ農事ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トスル法人ニシテ同第三條ニ記載スル農會ノ事業ハ宛モ商事ニ關シ商業會議所ノ目的トスル事業ト均シク農事ニ關スル國家ノ公益事務ニ屬スルモノナルコトヲ認ムルヲ得ヘシ加之國家ハ農會ニ對シ其ノ事業ノ遂行ヲ國家ノ目的ニ適合セシムル爲第三十四條ニ依リ農會ノ決議ノ取消役員議員若ハ總代ノ解任又ハ改選ヲ命シ事業ヲ停止シ得ルノ外農會ヲ解散スルヲ得ルニ至ルマテノ强大ナル監督權ヲ有スルヲ以テ農會ハ國家ニ對シテ其ノ事業遂行ノ公法上ノ義務ヲ負擔スルモノト謂フヘク又第十六條及第三十條ニ依レハ農會會員ハ法律上加入ヲ强制セラレ町村農會會員ノ負擔スル經費又ハ其ノ徵收セラルヘキ過怠金ヲ滯納スルトキハ農會長ノ請求ニ因リ町村稅ノ例ニ依リ滯納處分ヲ受クルヲ見レハ農會ハ其ノ會員ニ對シ公法上ノ權能ヲ有スルコト明カナリ以上ヲ綜合シテ査覈スレハ農會法ノ意ノ存スル所ハ舊法ノ認メタル農會ト異ナリ新法ノ農會ヲ以テ公法人ト爲シタルモノトス是ヲ以テ其ノ附則第三項ニ於テモ舊法ニ依リ設立シタル私法人タル農會ヲシテ新法ニ依ル公法人タル農會ト見做スノ趣旨アル規定ヲ爲スニ至リタル所以ナリ今町村農會總代ナル者ヲ案スルニ農會法第二十六條ニ依リ公法人タル農會ノ決議機關タル總會ニ代ルヘキ總代會ヲ組織スル者ニシテ公務ヲ決議スル會議ノ議員タルヲ以テ總代ノ選擧モ亦公選タルヲ失ハス故ニ農會ノ總代員ノ選擧ヲ以テ舊刑法ノ公選ニ該當スルモノト爲シタル原判決ハ正當ニシテ……被告ノ所爲カ舊刑法第二百三十四條ノ罪ニ該當スルコト疑ヲ容レス而シテ農會法ニハ選擧罰則ナキト同時ニ同法ノ選擧ニ付舊刑法ノ適用ヲ妨クヘキ何等ノ規定モ存在セサルヲ以テ原審カ前示舊刑法ヲ適用處斷シタルハ正當ナリ（大正十二年(れ)第一五三四號（同年十二月十三日第二刑事部判決）判例集二卷九七二頁）

第二　土地賃貸價格調査委員會ノ委員選擧

大正十五年法律第四十五號土地賃貸價格調査法第一條ニ依レハ政府ハ同法ニ則リ土地ノ賃貸價格ヲ調査スヘク同法第四條ニ依レハ政府ハ別ニ定ムル賃貸價格調査委員會ノ議ニ付シ標準賃貸價格ヲ定ムルモノナルヲ以テ賃貸價格調査委員會ハ政府カ該價格ヲ定ムルノ議ニ參與スルモノニシテ同委員會ハ土地賃貸價格調査委員會法第三條ノ規定ニ依リ選擧セラレタル調査委員ヲ以テ組織セラルルモノナレハ同委員ハ公務ニ從事スル者ナルコト明確ナリ然レハ所論判示土地賃貸價格調査委員ノ選擧ハ法令ニ

基キ公務ニ從事スル委員ノ選擧ニ外ナラサルヲ以テ原判決カ判示事實ヲ認メ之ヲ判示法條ニ問擬シタルハ正當ニシテ論旨ハ其ノ理由ナシ（昭和二年(れ)第一六八七號（同二年二月十四日第四刑事部判決）判例集七卷一〇一頁）

第三　畜産組合總代會議員ノ選擧

大正四年法律第一號畜産組合法第三條ニ依レハ畜産組合ハ畜産上ノ改良發達ヲ圖リ組合員ノ利益ヲ增進スルヲ以テ目的トスル法人ニシテ同條及ヒ同法第十一條第九條ニ依レハ畜産組合ノ事業ハ主トシテ畜産ニ關スル國家ノ事務ニ屬スルモノト認メ得ヘシ加之國家ハ畜産組合ニ對シ同法第三十七條ニ依リ右組合ノ議決ノ取消議員若ハ評議員ノ改選ヲ命シ組合長若ハ組合副長ヲ解任シ又ハ組合ノ業務停止若ハ解散ヲ命スルヲ得ヘク又同法第八條ニ依レハ一定ノ地域内ノ有資格者ハ法律上當然ニ組合員タルヲ原則トシ同法第十三條ニ依レハ組合經費ノ滯納者ニ對シ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分シ得ル等同法ノ全趣旨ニ徵スルトキハ國家カ公共ノ福利ヲ增進スル爲畜産組合ノ存在ヲ認メタルモノニシテ同組合ハ公法人タルノ性質ヲ有スルコト明ナリ而シテ畜産組合總代會ハ同法第二十四條ニ依リ組合ノ決議機關タル總會ニ代リテ畜産組合ノ事務ヲ決議スルモノナレハ右總代會議員ノ選擧ノ公選タルヤ言ヲ俟タス去レハ右總代會議員ノ選擧ヲ以テ舊刑法ノ公選ニ該當スルモノトナシタル原判決ニ所論ノ如キ違法存セサルヲ以テ論旨前段ハ其ノ理由ナク記錄ヲ按スルニ原判決カ被告人ニ對シ禁錮三月ノ實刑ニ處シタレハトテ科刑甚シク失當ナリト思料スヘキ顯著ナル事由存スルモノト認メ難ク論旨後段モ亦理由ナシ（昭和四年(れ)第七〇一號（同年八月二十七日第一刑事部判決）判例集八卷四二七頁）

第四節　農會總代員選擧の買收

第二審富山地方裁判所判決認定事實

被告ハ大正十二年三月二十日被告居村役場ニ於テ施行セラレタル同村農會總代員ノ選擧ニ際シ同月十五六日頃ヨリ立候補ヲ爲シタルカ總代員定數二十八名ナルニ對シ立候補者三十名アリテ被告ノ形勢不振ナリシヲ憂ヒ有權者ニ贈賄シ以テ投票ヲ得ント企テ同月十五六日頃ヨリ二十日迄ノ間ニ犯意繼續シテ前後數回ニ亙リ同村内數個所ニ於テ塚本某大西某塚本某勝山某中村某及小川某ニ淸酒一升券一枚宛ヲ贈賄シテ自己ニ投票ヲ爲サシメタルモノナリ

而シテ右事實ニ對シ舊刑法第二百三十四條ヲ適用シタリ

（大正十二年十二月十三日大審院刑事二部判決　判例集二卷九七〇頁）

第五節　村長推薦投票の買收

第二審判決ハ

被告人壽賀郎折次郎ハ孰レモ長野縣東筑摩郡島立村會議員ニシテ被告人和田某ヨリ同人ヲ同村長ニ推薦投票方依賴ヲ受ケ其ノ爲壽賀郎ハ大正十二年一月五、六日頃金百五十圓ヲ被告自宅ニ

於テ受取リ壽賀郎折次郎ハ何レモ同月十一日金五十圓ヲ松本市料理店江戸鰻ニ於テ受取リ收賄シ因テ兩名ハ同月十三日島立村役場ニ開カレタル同村長選擧ノ村會ニ於テ和田某ヲ村長ニ投票シタルモノナリ

トノ事實ヲ認メ被告兩名ノ所爲ハ各刑法第百九十七條第一項前段刑法施行法第二十五條舊刑法第二百三十四條刑法施行法第十九條ニ觸ルルモノトシテ刑法第五十四條第一項第十條ヲ適用シテ處斷シタリ

第六節　所得稅調査委員選擧の買收

第二審京都地方裁判所は左記の如く事實の認定及び法律の適用を爲し被告人兩名を各禁錮三月に處し二年間刑の執行を猶豫する旨の判決を爲した。

被告人長三郎ハ昭和五年十月十五日施行セラレタル所得稅調査委員選擧ニ際シ京都市上京稅務署管內ヨリ立候補シ被告人市兵衞ハ同長三郎ノ爲其ノ選擧運動ニ從事中兩名通謀ノ上同年九月二十八日夜被告人市兵衞所屬ノ同市乾學區民有志ノ懇親會ニ名ヲ藉リ右所得稅調査委員選擧有權者三原藤三郎、鈴木末吉、中川由次郎、山本淸藏及ヒ中村多三郎等ヲ同市木屋町通松原上ル料亭鮒鶴事田中喜三郎方ニ招致シ同所ニ於テ同時ニ同人等ニ對シ被告人長三郎ノ爲運動並ニ投票ヲ依賴シ一人當金三圓餘相當ノ酒食ヲ饗應シ之カ賄賂ヲ以テ右藤三郎ヲシテ被告人長三郎ニ投票セシメタルモノナリ

法律ニ照スニ被告人等ノ判示各所爲ハ孰レモ舊刑法第二百三十四條刑法施行法第二十五條第二條第十九條第二十條ニ各該當スルトコロ右ハ夫々一箇ノ行爲ニシテ數箇ノ罪名ニ觸ルルモノナルヲ以テ各刑法第五十四條第一項前段第十條ニ依リ犯情最モ重シト認ムル三原藤三郎ニ對スル罪ノ刑ニ從ヒ其ノ所定刑期範圍內ニ於テ被告人等ヲ各禁錮三月ニ處スヘク所犯情狀刑ノ執行ヲ猶豫スルヲ相當ト認メ刑法第二十五條刑事訴訟法第三百五十八條第二項ニ則リ各被告人ニ對シ孰レモ二年間右刑ノ執行ヲ猶豫スヘキモノトス

第七節　家屋稅調査委員選擧の買收

本件は昭和五年五月岡山縣下に於て施行の第一次家屋稅調査委員の選擧に於ける買收事犯である。檢擧總數は五十名で其の中主要犯罪者十四名は起訴(內十名拘束)され被買收者三十二名は起訴猶豫其の他四名は證據不十分で何れも不起訴となつた。求刑判決及び犯罪事實は次の通りである。

玉島區裁判所

一、高戶虎一、高戶幸一、松田惣一、渡邊玉市ノ四名ニ對スル

犯罪事實

被告人等ハ昭和五年五月三日施行セラレタル家屋稅調査委員ノ

裁判所名	求刑	判決	職業	氏名	年齡
玉島區裁判所	（不　明）	禁錮三月、三年間刑ノ執行猶豫	農	高戶虎一	五〇
同		同	同	高戶幸市	三三
同		同	同	松田惣一	四二
同		同	荷馬車挽	渡邊玉市	四一
新見區裁判所		禁錮二月、二年間刑ノ執行猶豫	農	辻原甚三郎	五一
同		同	同	森本吉五郎	三八
津山區裁判所	禁錮四月	禁錮二月	農、村會議員	神原喜右衞門	四五
同	禁錮四月、追徵五圓	禁錮二月、沒收五圓	農	末宗林藏	五二
同	禁錮三月、沒收七圓	禁錮一月、沒收七圓 二年間刑ノ執行猶豫	米穀商	近藤淸太郎	五九
同	禁錮二月	禁錮一月、二年間刑ノ執行猶豫	農	近藤正吉	三九
同	禁錮三月、沒收三圓	禁錮一月、沒收三圓 二年間刑ノ執行猶豫	同	安本龜一	五二
同	禁錮四月、追徵十三圓	禁錮二月、追徵十三圓	雜貨商	山本亙太郎	三五
同	禁錮三月	禁錮一月	農	小田亙次郎	四一
同	禁錮二月	禁錮一月、二年間刑ノ執行猶豫	同	池田貞太郎	三七

選擧ニ際シ共有權者ナルトコロ

（一） 被告人虎一、幸市、惣一ノ三名ハ共謀シテ同選擧ノ候補者ヨリ金錢ヲ提供セシメテ投票センコトヲ企テ同月二日被告人虎一、惣一ノ兩名ハ候補者藤澤三平ノ運動員ナル淺口郡鴨方町大字鴨方渡邊玉市方ニ於テ同人ニ對シ該候補者ニ投票スヘキニ付金十五圓ヲ提供スヘシト請求シ同人ヲシテ之ヲ承諾セシメ仍テ右藤澤三平ニ投票シ

（二） 被告人渡邊玉市ハ右選擧ニ際シ候補者藤澤三平ノ選擧運動中同月二日右被告人高戸虎一、松田惣一ノ兩名カ自宅ニ來タリ藤澤三平ニ投票スヘク且ツ町內ノ有權者高戸幸市外二十數名ニモ右三平ニ投票セシムヘキニ付其禮トシテ金十五圓ヲ提供スヘキ旨申込ヲ受クルヤ之ヲ承諾シ仍テ同人等ヲシテ藤澤三平ニ投票セシメタルモノナリ

新見區裁判所

二 辻原甚三郎森本吉五郎ニ對スル犯罪事實

（一） 被告人甚三郎吉五郎ハ共謀シテ昭和五年五月三日岡山縣阿哲郡上市村ニ於テ行ハレタル家屋税調査員選擧ニ於テ候補者辻原幸一ヲシテ當選ヲ得シメンカ爲ニ選擧有權者ニ報酬トシテ金錢ヲ供與シ幸一ニ投票ヲナサシメンコトヲ企テ同年五月二日被告吉五郎ハ同村有權者田口藤一郎、山口新吉、中山仲右衞門、山口竹一ニ對シ報酬トシテ日當ノ二分乃至三分ニ相當スル金三、四十錢ヲ與フヘキニ付辻原幸一ニ投票ヲナシ吳レタキ旨申込仍テ右藤一郎外三人ヲシテ之ヲ承諾セシメ同月三日該選擧ニ於テ辻原幸一ニ投票セシメタルモノナリ

津山區裁判所

三 神原喜右衞門、末宗林藏、近藤清太郎、近藤正吉、安本龜一、山本亘太郎ニ對スル犯罪事實

第一 被告神原喜右衞門ハ本年五月三日施行ノ居村家屋税調査員選擧ニ付立候補シ同選擧權者ニ贈賄シテ自己ニ投票セシメント企テ

（一） 同月二日被告末宗林藏ニ金十圓ヲ交付シテ約二十名ニ對シ右贈賄方委囑シ同人ヲシテ同日ヨリ其翌日三日ニ亘リ同選擧權者ナル同村高田文吉、前原駒藏、前原與吉、及長澤瀧藏ニ對シ孰レモ其伜ヲ介シテ同選擧ニ自己（被告神原喜右衞門）ヲ投票方請託シテ其投票ノ報酬トシテ右金員ノ內ヨリ金五十錢宛ヲ交付贈賄セシメ以テ右高田文吉、前原駒藏、前原與吉及長澤瀧藏ヲシテ孰レモ自己ヲ投票セシメ

（二） 同月三日同選擧權者ナル被告近藤清太郎方ニ於テ同人ニ對シ同選擧ニ自己ニ投票方請託シ其投票ノ報酬トシテ金七圓ヲ贈賄シ以テ同人ヲシテ自己ニ投票セシメ

第二 被告末宗林藏ハ前記ノ如ク被告神原喜右衞門ノ委囑ヲ受ケ同選擧ニ付其ノ選擧權者ナル高田文吉、前原駒藏、前原與吉、及長澤瀧藏ニ對シ贈賄シ以テ同人等ヲシテ孰レモ被告神原喜右衞門ヲ投票セシメ

第三 被告近藤清太郎ハ前記ノ如ク同選擧ニ付被告神原喜右衞門ヨリ請託ヲ受ケ收賄シ以テ同人ニ投票シ

第四 被告山本亘太郎ハ前記選擧ニ付立候補シ前同樣同選擧權者ニ贈賄シテ自己ニ投票セシメント企テ

（一） 同月二日被告近藤正吉ニ金四圓ヲ交付シテ約十名ニ對シ右贈賄方委囑シ同人ヲシテ同日選擧權者ナル被告安本龜一ニ對シ自己（被告山本亘太郎）ニ投票方請託シ且ツ他ノ同選擧權者約九名ニ同樣請託贈賄方ヲ委囑セシメテ同人ノ投票報酬竝ニ他ノ同選擧權者ニ對スル同樣贈賄金トシテ右四圓ヲ交付セシメ以テ同人ヲシテ自己ニ投票セシメ且ツ同人ヲシテ同月二日同選擧權者ナル同村前原澤藏及ヒ安本榮太ニ對シ但シ同人ニ對シテハ其長男ナル安本治平ヲ介シ孰レモ自己ヲ投票方請託セシメ其投票ノ報酬トシテ澤藏竝ニ榮太ニ對シ該四圓ノ內五十錢宛ヲ交付贈賄セシメ以テ澤藏及榮太ヲシテ自己ニ投票セシメ

（二） 同月二日被告近藤正吉ト共ニ同人方ニ於テ同選擧權者ナル同村安本基ニ對シ同選擧ニ自己ヲ投票方請託シ其投票ノ報酬トシテ金一圓ヲ交付シテ贈賄シ以テ同人ヲシテ自己ニ投票セシメ

第五 被告近藤正吉ハ

（一） 前記ノ如ク被告山本亘太郎ノ委囑ヲ受ケ同選擧ニ付被告安本龜一ニ對シ贈賄シテ被告山本亘太郎ヲ投票セシメ且ツ被告安本龜一ヲシテ前原澤藏及安本榮太ニ各贈賄セシメ同人等ヲシテ被告山本亘太郎ヲ投票セシメ

（二） 前記山本亘太郎ノ第二ノ犯罪事實ニ共謀加擔シ

第六 被告安本龜一ハ前記ノ如ク被告山本亘太郎ヨリ被告近藤正吉ヲ介シテ賄賂ヲ受ケ以テ被告山本亘太郎ヲ投票シ尙同人等ノ委囑ヲ受ケ前原澤藏、安本榮太ニ贈賄シ以テ同人等ヲシテ被告山本亘太郎ヲ投票セシメタルモノナリ

四 小田亘次郎、池田貞太郎ニ對スル犯罪事實

昭和五年五月三日施行ノ久米郡龍川村家屋税調査委員選擧ニ際シ

第一 被告人小田亘次郎ハ右選擧ニ立候補シ同選擧有權者ニ贈賄シテ自己ニ投票セシメンコトヲ企テ同日同村ニ於テ被告人池田貞太郎ニ對シ豫テ自己ヨリ同人ニ貸與シ居リタル金十圓ノ返濟ニ替ヘ該金員ヲ以テ同選擧有權者ニ贈賄方委囑シ同人ヲシテ即日同郡弓削町ニ於テ其有權者タル横山卓二、美納彌治及横山俊治ニ對シテ自己ニ投票方請託セシメ其投票報酬トシテ金十圓ヲ交付贈賄セシメ以テ前示三名ヲシテ孰レモ自己ニ投票セシメ

第二 被告人池田貞太郎ハ前記ノ如ク被告人小田亘次郎ノ委囑ヲ受ケテ其選擧有權者タル横山卓二、美納彌治及横山俊治ニ對シテ金十圓ヲ贈賄シ以テ同人等ヲシテ孰レモ被告人小田亘次郎ニ投票セシメタルモノナリ

附錄第一

一、大正十三年五月十日施行衆議院議員總選擧ニ於ケル買收犯罪者ニ對スル訴追進行調

（本表ハ買收犯罪者ハ中間者ヲ[illegible]）

[illegible]

一、大正十三年五月十日施行衆議院議員選舉買收犯罪者ニ對スル訴訟進行調

（本表ハ買收犯罪者ノ中豫審ヲ請求セラレタル者ニ付調査シタルモノナリ）

區名別	人員			強制處分	平均勾留日數	起訴ヨリ豫審終結ニ至ル平均日數	第一審言渡豫審終結後何日目	控訴審言渡				上告審言渡			
	全員	不拘束	勾留					第一審言渡後平均何日目				控訴審言渡後平均何日目			
								控訴人員	取下人員	判決人員	日數	上告人員	取下人員	判決人員	日數
東京	三八	四	三四	二三	三三、一	六二、五	四三四、〇	二八		二八	六四九、一				
橫濱	四二	一三	二九		二〇、七	二七、五	一八五、二	二七		二七	三一五、二	五		五	一〇〇、二
浦和	一一八	二九	八九		八、七	二五、四	二一、二	四		四	一二〇、〇				
千葉	三四	一	三三	二三	三二、六	四三、四	一一〇、八	二一		二一	一二五、八				
水戸	四八		四八	七	四六、三	八五、八	九四、四	六	二	四	一六、八				
宇都宮	五五	一二	四三	一九	九、七	二二、九	三〇、〇	八		八	九七、五	六		六	七八、七
前橋	一〇五		一〇五	四五	三〇、五	七〇、五	八三、四	四三		四三	三〇七、五	一一	二	九	二一二、六
靜岡															
甲府	二二	三	一九	三	二三、五	三九、五	九八、五								
長野	一		一		八、〇	一六、〇	八、〇								
新潟	三〇	九	二一	一四	二二、四	四五、九	一四三、八	一五		一五	一八八、七	一		一	一九二、〇
京都															
大阪	一五八	四	一五四		三〇、一	七二、七	二三五、五	八四		八四	四五七、五	四一		四一	一五六、七
神戸	一五一	二四	一二七	六	三二、八	七〇、九	一五三、七	六一		六一	三六九、五	五六		五六	二二〇、五
奈良	二〇		二〇	一一	一八、一	二二、四	三八、五	一二		一二	一一〇、五	二		二	九八、〇
大津	一〇	一	九		一五、六	三二、一	八五、〇	二		二	二二九、〇				
和歌山	一〇		一〇		三〇、〇	五七、〇	四一、〇	三		三	一七五、〇	三		三	一一七、〇
德島	五		五		八、二	一二、六	三三、〇	二		二	九五、九				
高松	五四	四	五〇	五	二五、六	四八、五	九八、五	三二		三二	二四七、一	六		六	二二二、五
高知	二四	五	一九	一二	二〇、四	二七、三	四三、八	九		九	一一五、一	二		二	一〇四、〇
名古屋	一九		一九		二六、九	四五、九	一〇一、九	九		九	一二五、九	二		二	七八、〇
安濃津	四〇	二	三八	二	三一、三	四一、三	七三、九	三六		三六	一八一、八	二五		二五	一二九、九
岐阜	一二〇	二八	九二		九九、一	四四、五	七八、五	五四		五四	一三〇、一	二四		二四	一五四、九
福井	三二	三	二九	八	一二、二	一八、二	三二、一	一二	四	八	九二、五	四		四	一一一、三
金澤	八五	三八	四七	二六	八、八	三七、七	三九、〇	二三		二三	八五、六	二		二	一〇三、〇
富山	三		三		九、〇	一二、〇	三〇、〇								
廣島	二一	一二	九	九	五、七	三一、〇	四四、〇								
山口	四		四		一七、三	七、〇	一一、〇								
岡山	六四	四	六〇	二九	三七、一	四一、八	八一、二	二四	一	二三	一五六、七	一一	二	九	八一、四
鳥取															
松江															
松山	七	一	六		一五、二	二〇、一	一九、一	四		四	一〇二、〇	二		二	九六、〇
長崎															
佐賀															
福岡	四五		四五	四	一五、七	四〇、六	六四、七	一三		一三	二〇八、六	一一		一一	一四五、七
大分															
熊本															
鹿兒島															
宮崎															
那覇	二一	一七	四		三六、〇	一二〇、六	六二、五					二		二	一六三、〇
仙臺															
福島	一三		一三		二一、三	三四、八	八〇、八	四		四	一三、五	三		三	一三、七
山形	六		六	六	三〇、七	三五、〇	一九、〇	三		三	七二、〇				
盛岡	一四	一	一三		二八、八	二三、七	二九、六	一三	二	一一	一〇、一	一		一	一〇六、〇
秋田	二		二		一二、〇	一八、〇	一九、〇	二		二	八一、〇				
青森	三二		三二		一八、一	三一、三	二一、五	一		一	三四、〇				
札幌															
函館															
旭川	三三	二一	一二		五、一	二一、九	八六、七	二二		二二	九三、〇				
釧路	四		四		一六、五	三八、〇	一〇三、〇	二		二	八三、〇	二		二	九七、〇
合計	一、四九〇	二三六	一、二五四	二五二	二三、三	三九、一	七九、三	五七九	九	五七〇	一四〇、二	二二二	四	二一八	一三六、五

二、昭和五年二月二十日施行衆議院議員選舉買收犯罪者ニ對スル訴訟進行調

（本表ハ買收犯罪者ノ中豫審ヲ請求セラレタル者ニ付調査シタルモノナリ）

區名別	人員			強制處分	平均勾留日數	起訴ヨリ豫審終結ニ至ル平均日數	第一審言渡豫審終結後何日目	控訴審言渡				上告審言渡			
	全員	不拘束	拘留					控訴人員	第一審言渡後取下人員	判決人員	第一審言渡後平均何日目日數	上告人員	控訴審言渡後取下人員	判決人員	控訴審言渡後平均何日目日數
東京	七二八	二八〇	四四八		四八、二	一四八、〇	二八二、四	五八八	一七	五七一	三三八、一	三三〇	一	三二九	一九五、二
横濱	八二	三四	四八		一六、五	五一、二	七一、九	二五		二五	二二二、六	七	一	六	一〇三、八
浦和	一四	一	一三	一	一一、四	二〇、六	八二、六	一一	一	一〇	一二三、四	一〇		一〇	一二五、二
千葉	六三	五	五八	七	一九、五	五五、六	二〇三、三	四五		四五	三三三、八	三六		三六	三二六、二
水戸	五六	九	四七		三一、一	四五、六	五〇、一	三六		三六	一〇七、八	三		三	一〇五、五
宇都宮	二二		二二	四	二九、九	三七、九	七〇、九	八		八	一八三、九	四		四	七八、〇
前橋	二七	七	二〇		一三、二	二四、三	二七、六	一六		一六	一二九、六	一六		一六	一一五、二
靜岡	一四〇	七	一三三	三	三七、八	五〇、九	八一、四	一八		一八	六九、八	一六		一六	一一九、二
甲府															
長野	四一		四一	三	三九、七	五一、二	六一、七	二六		二六	一七九、六	三		三	八七、五
新潟	三六	九	二七	一	二一、九	三〇、九	五七、一	一九		一九	一二六、二	一二		一二	七三、〇
京都	五一	一三	三八		四六、一	八九、六	一三九、八	四四		四四	三四、八	一四		一四	一三一、六
大阪	二三五	一四	二二一	七	二七、八	七一、六	一二九、二	一四六		一四六	一六〇、六	七二		七二	一四一、六
神戸	一三五	一	一三四	一六	二九、八	六三、三	九六、七	一〇〇		一〇〇	一八六、二	五三		五三	一〇六、二
奈良	二二		二二	二	三八、三	一三、七	一六九、一	九		九	一〇五、〇	八		八	一〇六、九
大津	四〇	四	三六	三	二四、〇	四一、五	六三、五	三三		三三	一六六、〇	二〇		二〇	一五五、四
和歌山	一七	一	一六		一七、二	七五、二	二一、七	一二		一二	一四八、六	二		二	一〇五、〇
德島	三四	六	二八		四一、八	八一、一	一二一、八	一三		一三	一三六、〇	六		六	八三、三
高松	三七		三七	六	二四、六	四七、八	二七、〇	一八		一八	一三三、〇	一四		一四	八八、〇
高知	三五		三五		二四、九	三〇、一	五七、六	一六		一六	三七二、八	四		四	一三五、〇
名古屋	三七二	三一	三四一	三	四五、一	一二四、六	三三四、一	三三八	二〇	三一八	四四五、〇	二七六	六九	二〇七	一八四、三
安濃津	一三九	一五	一二四	二	五三、九	一二四、九	一三四、一	八五		八五	四九一、六	七一		七一	三三七、八
岐阜															
福井	二〇八	二五	一八三		三八、七	八四、三	九八、九	一三三	一〇	一二三	三六一、〇	一〇〇	三	九七	二九二、二
金澤	一二六	二五	一〇一	四六	二八、七	四五、三	四三、九	三三		三三	二八七、二	一二		一二	一二四、三
富山	二七		二七		四五、七	五九、〇	八〇、四	一三		一三	一八〇、六	四		四	三七、〇
廣島	四六八	一七九	二八九	二	三八、六	八二、三	八九、三	一八一		一八一	二九四、九	二九		二九	八八、四
山口	八	一	七	六	一〇、一	二一、四	二六、五	二		二	一〇九、〇	一		一	九二、〇
岡山	一五	一	一四	二	二六、六	五三、一	九〇、四	一〇	二	八	二五四、四	八		八	六四、一
鳥取	二四	二	二二	三	一四、七	二八、五	二七、一	五		五	六三、八	五		五	七四、六
松江															
松山	一八	一	一七	一	二六、〇	二〇、二	三三、六	一〇		一〇	一〇七、九	七		七	一〇三、九
長崎	八二	一	八一		四〇、七	七〇、七	八七、六	四三		四三	一九七、一	三		三	一七三、四
佐賀															
福岡	八四	一六	六八	一二	四三、三	七一、九	五九、二	七〇		七〇	一四七、二	五六		五六	二三九、五
大分	一二四	九	一一五	一二	四四、三	一二八、六	二四〇、〇	八三	一六	六七	四七二、〇	四三	四	三九	二三四、八
熊本															
鹿兒島	一四三	三四	一〇九		四五、八	八一、九	七一、五	七二	九	六三	三三〇、六	四八	一一	三七	一七三、二
宮崎	一八	八	一〇	一	三七、〇	四一、七	八一、七	六	五	一	七四、〇				
那覇	三三	三	三〇		五一、八	三三、九	二七、一	一九		一九	一三三、八	一五		一五	一三三、七
仙臺	一八		一八		二三、七	四二、二	九二、八	七		七	二三六、〇	一		一	一四六、〇
福島	六六		六六		二六、〇	三三、九	六〇、九	五四	二	五二	一六二、八	五〇	一	四九	一二一、二
山形	一二		一二		一〇、八	一七、三	二五、三	八		八	六七、三	二		二	一〇五、〇
盛岡	二六	六	二〇		二〇、〇	二四、五	四七、四	一三	一	一二	七五、二	六	二	四	一〇三、三
秋田	一七〇	五五	一一五	七	二〇、〇	四九、九	七〇、六	六四		六四	一四三、一	五七		五七	一一八、〇
青森	九		九	三	二九、九	五二、三	二一、七	四		四	一七三、八	一		一	七六、〇
札幌	八四	一二	七二	七二	五一、二	一三三、三	二四〇、九	七〇		七〇	二三五、〇	五〇		五〇	二九九、〇
函館	八		八	四	二七、〇	三七、八	八四、〇	六		六	一二七、五	三		三	一〇七、〇
旭川	三		三	三	六〇、〇	五一、〇	三八、〇	二		二	一六五、〇	一		一	九三、〇
釧路	二		二	二	一二、〇	八四、〇	二八、〇	二		二	九一、〇	二		二	六一、〇
樺太															
合計	四、〇九九	八〇三	三、二九六	二一七	三二、五	五七、六	九四、四	二、五〇二	八三	二、四一九	一九七、〇	一、五三三	九二	一、四四一	一三八、〇

三、昭和三年二月施行衆議院議員選擧違反者ニ對スル科刑別表（體刑ノ分）

區名＼區別	懲役									禁錮								計
	一月以下	二月以下	三月以下	四月以下	五月以下	六月以下	八月以下	十月以下	一年以下	一月以下	二月以下	三月以下	四月以下	五月以下	六月以下	八月以下	十月以下	
東京										八	八	八	四					二八
横濱										二	三	六	五	四	二			二二
浦和										四		二						六
千葉			一								二							三
水戸			一								一							二
宇都宮											一							一
前橋			一								一							二
靜岡		一										一						二
甲府										一		一						二
長野											九	一						一〇
新潟			一								七	二	二					一二
京都																		
大阪		二								二七	一二	六	三		三	一		五四
神戸	三									四	二		一					一〇
奈良		一									一							二
大津						四				一七	二三	一三	三	六	二			六八
和歌山										二	四	一						七
徳島				一			二	一	一	一六	一四	九		三	六		一	五四
高松																		
高知						一												一
名古屋	二									六	一五	五	四					三二
安濃津	一	二								七	三	二	一					一六
岐阜										二	八	一〇	三		二	一	一	二七
福井												一	一					二
金澤											八	二	二					一二
富山		四	四							二	四	二						一六
廣島											一	一						二
山口										九		二						一一
岡山									一	一	一	四			一			八
鳥取		一								一								二
松江											四							四
松山	二	二		一						一	三	一						一〇
長崎										一	五	五	一					一二
佐賀				一						二	五	二						一〇
福岡			二							一八	一八	四	一	一				四四
大分			一					一		一一	九	五	一	一	一			三〇
熊本		二												二	一			五
鹿兒島											二	七						九
宮崎																		
那覇																		
仙臺																		
福島					一	一				一	六	一二	五	二	一			二九
山形		一	二							七	四	一	一	一				一六
盛岡											三	二	二					七
秋田												二	四	二				八
青森																		
札幌																		
函館																		
旭川																		
釧路			三								一							四
樺太																		
計	八	一六	一六	三	一	六	二	二	二	一四九	一八八	一二〇	四四	二一	一八	二	二	六〇一

四、昭和三年二月施行衆議院議員選擧違反者ニ對スル科刑別表（罰金刑ノ分）

區別／區名	罰金												計
	二百圓未滿	二百圓	二百五十圓以下	三百圓以下	三百五十圓以下	四百圓以下	四百五十圓以下	五百圓以下	五百五十圓以下	六百圓以下	七百圓以下	八百圓以下	
東京	二四一	一〇	四	四		一		一					二六一
横濱	一二〇	一	一										一二二
浦和	一八三	三		二		二		一		五			一九六
千葉	四六	三		四									五三
水戸	二一四	九	一	七	一	一二	一	一			一	四	二五一
宇都宮	七〇	六											七六
前橋	二四三												二四三
静岡	一、〇一六	一六	三	一四	一	二							一、〇五二
甲府	一七〇	二	二	三		一							一七八
長野	三七七	六	三	二	二	六		三		二			四〇一
新潟	二四八	一											二四九
京都	三九			一									四〇
大阪	二九四	一一	二	一二	一	一		一		一		一	三二四
神戸	一三八	三	三	一六									一六〇
奈良	一四	一						一			一		一七
大津	二一八	三	二										二二三
和歌山	六八	一											六九
徳島	七一	八	六	七	六			三		二	一		一〇四
高松	五八												五八
高知	一一〇	六	一		一		一		一				一二〇
名古屋	四四七	一〇	三	一六		一							四七七
安濃津	九五	六		一									一〇二
岐阜	六七四	二四	九	二〇	三	六							七三六
福井	四六		一										四七
金澤	一五一		一										一五二
富山	一九〇	九		二		一							二〇二
廣島	六四												六四
山口	二七五	八	一	二		一							二八七
岡山	五二	二		一									五五
鳥取	六二												六二
松江	六〇												六〇
松山	一〇二												一〇二
長崎	五二五	一											五二六
佐賀	一一九												一一九
福岡	一六六	一		二									一六九
大分	一二八												一二八
熊本	七四												七四
鹿兒島	一六九	一		一									一七一
宮崎	三												三
那覇	一												一
仙臺	八六	三	一										九〇
福島	三八一	五		一									三八七
山形	二一四			六									二二〇
盛岡	四〇九	七	一	三	三	一							四二一
秋田	四六八	一八	五	六	四	二		一					五〇四
青森	一一四	三	一										一一八
札幌	三〇												三〇
函館	二一	一											二二
旭川	八												八
釧路	二二												二二
樺太													
計	九、〇九五	一八九	五一	一三三	二〇	三六	二	一二	一	一〇	三	五	九、五五七

五、昭和五年二月施行衆議院議員選擧違反者ニ對スル科刑別表（體刑ノ分）

區別	懲役								禁錮									計
區名	一月以下	二月以下	三月以下	四月以下	五月以下	六月以下	七月以下	八月以下	一月以下	二月以下	三月以下	四月以下	五月以下	六月以下	七月以下	八月以下	十月以下	
東京									三	九	九	三	二					二六
横濱			一						一	二	二			一				七
浦和									二	九	一							一二
千葉										七								九
水戸		八	三	一						一								一三
宇都宮											一							一
前橋										一								一
静岡		二								一	二							五
甲府									二	一								三
長野										一		三						四
新潟	一	一		一					三	六								一二
京都	二		一			一					二							六
大阪	二	一	一	一		一		一	一二	六	七	三	一					三六
神戸	九	六	五	一					二三	二一	一〇	二		一				七七
奈良		一								五								六
大津		一									一	一	一	二				六
和歌山										一								一
徳島									一	一	二							四
高松										九	五	五						一九
高知									一一	七	二	一	一	一				二三
名古屋		五	二	一					一九	五七	五一	二九	六	五	三	三		一八一
安濃津		三						一	一	一三	一三	六	六	一	二			四六
岐阜			一	二					一	九	六	二	一	一	一	一	一	二六
福井	五	五	九	四	二		一		一	二二	一二	七	三	一	二			七四
金澤										九	九	二		一				二一
富山										六	二			一				九
廣島		一	一						二	七	七	四	一					二三
山口		一																一
岡山										二		一						三
鳥取	二	一								二								五
松江										一	一							二
松山									二	三	二	二						九
長崎			一						一三	一〇	四	四						三二
佐賀	一	二																三
福岡									三	二七	二四	二	二		三			六一
大分		一	三						三二	八四	二五	七	二					一四四
熊本				一		六	三	一		一		九	一					二二
鹿兒島									五	二二	二〇							四七
宮崎																		
那覇		一		一					五	一七	三							二七
仙臺			一		二					一								四
福島									一	三	一							五
山形			一															一
盛岡									三	六	一							一〇
秋田										三	四	二	一					一〇
青森										三								三
札幌		一								一五	一四	三	一	一				三五
函館		一							一	三								五
旭川										三	一							四
釧路			一						一	三								五
樺太																		
計	二〇	四三	三二	一三	四	八	四	三	一四七	四一〇	二四四	一〇〇	二九	一六	八	七	一	一、〇八九

六、昭和五年二月施行衆議院議員選擧違反者ニ對スル科刑別表（罰金刑ノ分）

區別 區名	罰金													計
	二百圓未満	二百圓	二百五十圓以下	三百圓以下	三百五十圓以下	四百圓以下	四百五十圓以下	五百圓以下	五百五十圓以下	六百圓以下	七百圓以下	八百圓以下	千圓以下	
東京	七二九	三九	一四	四五	四	二二	二	一七		一四	三	一	三	八九三
横濱	一五一	一〇	一	二										一六四
浦和	三三一	七	一											三三九
千葉	二三三	七	三	一八	一	三		一			一		一	二六八
水戸	二五三	八	二	七	一	二				一				二七四
宇都宮	三六六	四	二	五	一			三						三八一
前橋	三六七	七	四		二	一				一				三八二
静岡	八一九	一一	二	一四	一			三						八五〇
甲府	四七	一												四八
長野	三六八	四	一〇	八	二	六		七		四	二	一		四一二
新潟	二六八	二		四		一		二			一			二七八
京都	四九	九				二								六〇
大阪	一六四	一六	一〇	二三		二	一	八		四	一		一	二三〇
神戸	一六七	四二	八	一七		七		三		一		一		二四六
奈良	四四	七		二				一		一	一			五六
大津	二二	七	四	二	二	四		四		五	一			五一
和歌山	七四	七	二	五		一	一	二		一	一			九四
徳島	四一		三					二						四六
高松	五四	三												五七
高知	五二		六	三										六一
名古屋	九六七	三八	一四	四一	二	一五		一五		五		二		一、〇九九
安濃津	三九二	一九	六	七	二六	一五				一				四六六
岐阜	二〇二	四	六	三	三			一						二一五
福井	二四七	一一	六	六		七		一		一五		二		二九五
金澤	一八〇	一一	二	一〇	一	二								二〇六
富山	一九三	二												一九五
廣島	一、三二六	二九	五	二一	一	四	二	三			四	四		一、三九九
山口	四六													四六
岡山	三二	一		二										三五
鳥取	一六七		一	二										一七〇
松江	一五			一										一六
松山	二二八	九		三		一								二四一
長崎	八一九	四	一											八二四
佐賀	二七													二七
福岡	一、七六二	五												一、七六七
大分	一、一七二	一五		一										一、一八八
熊本	二一													二一
鹿兒島	五五八	一九	二	五		一				一				五八六
宮崎	七〇	二		一										七三
那覇	二六四	四	一	一										二七〇
仙臺	一一〇	三	一	四		一								一一九
福島	五八八	七	二	三	二			五						六〇七
山形	六五	二	二	二				二						七三
盛岡	一八二	三	一	三			一							一九〇
秋田	七二三	一九	四	一〇		五		一八		六	一	二		七八八
青森	二五六	六	五	三		三		二						二七五
札幌	一八二	一四	二	二										二〇〇
函館	四六	一		二										四九
旭川	二〇	一												二一
釧路	一八													一八
樺太														
計	一五、四七二	四三一	一二三	二八八	四九	一〇六	六	一〇〇		六〇	一六	一三	五	一六、六七〇

七、昭和七年二月施行衆議院議員選擧違反者ニ對スル科刑別表（體刑ノ分）

廳名＼區別	懲役				禁錮				計
	一月以下	二月以下	三月以下	四月以下	一月以下	二月以下	三月以下	四月以下	
東京									
橫濱									
浦和						二			二
千葉									
水戸									
宇都宮						一	一	二	四
前橋									
靜岡									
甲府									
長野									
新潟									
京都									
大阪						一			一
神戸	三	一三	六		一		一		二四
奈良						四			四
大津			三			二		一	六
和歌山		一							一
德島									
高松						一			一
高知									
名古屋									
安濃津									
岐阜				一	一	五	二		九
福井									
金澤									
富山						二		一	三
廣島					一	一	一		三
山口									
岡山		二							二
鳥取									
松江		一							一
松山						三	一	一	五
長崎									
佐賀						二	二	一	五
福岡						五	二		七
大分					二				二
熊本						四	三	二	九
鹿兒島		二				一			三
宮崎									
那覇						一	二		三
仙臺							二		二
福島									
山形					三	一三			一六
盛岡									
秋田									
青森						六			六
札幌									
函館									
旭川									
釧路									
樺太									
計	三	一九	九	一	八	五四	一七	八	一一九

八、昭和七年二月施行衆議院議員選擧違反者ニ對スル科刑別表（罰金刑ノ分）

區別 廳名	罰金											計
	二百圓未滿	二百圓	二百五十圓以下	三百圓以下	三百五十圓以下	四百圓以下	四百五十圓以下	五百圓以下	六百圓以下	七百圓以下	八百圓以下	
東京	二三八			二								二四〇
横濱	二一一	三										二一四
浦和	二四一	三	一	二								二四七
千葉	七七	三	一	二		一						八四
水戸	五二	四	二	二				一	一		二	六五
宇都宮	一〇四		一									一〇五
前橋	二〇七	三		一								二一一
靜岡	九二											九二
甲府	一二											一二
長野	二〇四	一	三	二		一						二一〇
新潟	一六											一六
京都	六〇											六〇
大阪	三九											三九
神戸	二九九	三								一		三〇三
奈良	一五											一五
大津	四四	六	五	一	一	一						五八
和歌山	一九											一九
徳島	一〇											一〇
高松	二七			二								二九
高知	六	五										一一
名古屋	二〇二	一		一								二〇四
安濃津	一二二											一二二
岐阜	二〇一	一一		一				一				二一四
福井												
金澤	一五			一		二			一			一九
富山	一〇三	一	一二	一								一一七
廣島	一一三	一		二			一					一一七
山口												
岡山	二〇〇	二	二		一			二		一		二〇八
鳥取	一四九					二						一五一
松江	二〇五	一										二〇六
松山	四三	七	三	三		一						五七
長崎	一											一
佐賀	七二											七二
福岡	一一六	四		一								一二一
大分	二七六											二七六
熊本	五〇一											五〇一
鹿兒島	一三六											一三六
宮崎	七九	一										八〇
那覇	四六一	二	一									四六四
仙臺	五九	二		一								六二
福島	八九	三	二	二		一						九七
山形	五											五
盛岡	八四											八四
秋田	一五三	三	一	二					一			一六〇
青森	二五											二五
札幌	四	三	二	一								一〇
函館	三〇八			一								三〇九
旭川	一一											一一
釧路	一三											一三
樺太												
計	一、七二五	六七	三六	三一	二	九	一	四	三	二	二	五、八八二

九、大正十三年五月十日施行衆議院議員選擧買收犯罪者ニ對スル處刑移動表

（本表ハ豫審ヲ經タル被告ノ中上告ヲ爲シタル者ニ付審級毎ノ移動ヲ調査シタルモノナリ）

原審言渡	總人員	控訴審言渡	上告審言渡	人員
懲役十月	一	懲役十月	棄却	一
同八月	一	同五月	同	一
同四月	一	同四月	同	一
同三月	三	同三月	同	三
同二月	一	同二月	同	一
禁錮七月	一	禁錮七月	棄却	一
同六月	一	同六月	同	一
禁錮五月	四	同三月	免訴（大赦）	二
		同三月	禁錮三月	一
		同二月	罰金二〇〇圓	一
禁錮四月	一三	同三月	免訴（大赦）	二
		同一月	罰金二〇〇圓	二
		同三月	禁錮三月	二
		同四月	棄却	四
		同二月	同	一
		同二月	罰金二〇〇圓	一
		同二月	免訴	一
禁錮三月十五日	一	禁錮一月廿日	免訴	一
禁錮三月	三二	禁錮二月	免訴（大赦）	七
		罰金二〇〇圓	同（大赦）	一
		禁錮三月	罰金二〇〇圓	三
		同二月十五日	棄却	三
		同二月十五日	禁錮二月十五日	二
		同二月	罰金一〇〇圓	一
		同二月	棄却	三
		同三月	同	六
		同三月	禁錮二月	一
		同一月十五日	棄却	一
		無罪	取下	一
		禁錮一月十五日	免訴	二
		同一月十日	同	一
禁錮二月十五日	四	罰金二〇〇圓	免訴	二
		禁錮一月	同	一
		同一月十五日	棄却	一
禁錮二月	三三	禁錮二月	免訴（大赦）	三
		同二月	棄却	一〇
		罰金二〇〇圓	免訴	四
		禁錮一月十五日	棄却	二
		同二月	罰金一五〇圓	二
		罰金二〇〇圓	棄却	一
		禁錮二月	禁錮一月	一
		同一月	棄却	四
		罰金一二〇圓	取下	一
		無罪	同	二
		罰金一五〇圓	棄却	三
禁錮一月十五日	四	罰金二〇〇圓	棄却	一
		禁錮一月十五日	同	二
		同一月	罰金一二〇圓	一
禁錮一月	三二	禁錮一月	棄却	一一
		罰金一二〇圓	同	一三
		同一五〇圓	同	五
		同一〇〇圓	同	二
		禁錮一月	罰金二〇〇圓	一
罰金二百圓	二九	罰金二〇〇圓	免訴	七
		同一五〇圓	免訴（大赦）	二
		同一三〇圓	同（大赦）	一
		同一二〇圓	同（大赦）	一
		同一五〇圓	棄却	二
		同二〇〇圓	罰金二〇〇圓	一
		同二〇〇圓	棄却	一二
		同二〇〇圓	罰金一五〇圓	一
		同一〇〇圓	棄却	一
		同二〇〇圓	取下	一
罰金百九十圓	一	罰金一九〇圓	免訴	一
罰金百八十圓	八	罰金一八〇圓	棄却	三
		同一八〇圓	免訴	五
罰金百七十圓	四	罰金一七〇圓	免訴	四
罰金百五十圓	二〇	罰金六〇圓	免訴	一
		同一二〇圓	免訴（大赦）	一
		同一〇〇圓	棄却	三
		同一五〇圓	同	九
		同一五〇圓	罰金一五〇圓	一
		同一五〇圓	同一〇〇圓	一
		同五〇圓	棄却	一
		同一五〇圓	免訴	三

罰金百二十圓	四	罰金一二〇圓	免訴	三
		同 一二〇圓	棄却	一
罰金百圓	一三	同 一〇〇圓	棄却	九
		同 一〇〇圓	免訴	一
		無罪	取下	三
罰金八十圓	五	罰金八〇圓	棄却	二
		同 五〇圓	無罪	一
		無罪	取下	二
罰金六十圓	一	罰金六〇圓	棄却	一
罰金五十圓	五	罰金五〇圓	棄却	四
		同 三〇圓	同（大赦）	一
總計	二二二			二二二

十、昭和五年二月二十日施行衆議院議員選擧買收犯罪者ニ對スル處刑移動表

（本表ハ豫審ヲ經タル被告人ノ中上告ヲ爲シタル者ニ付審級毎ノ移動ヲ調査シタルモノナリ）

原審	總人員	控訴	上告	人員
懲役一年	二	懲役六月	棄却	一
		同 八月	同	一
懲役十月	一	同 五月	棄却	一
同 八月	一	禁錮六月	棄却	一
懲役七月	三	同 三月	棄却	二
		同 二月	棄却	一
同 六月	一	懲役四月	棄却（大赦）	一
懲役五月	五	禁錮三月	棄却	一
		同 五月	同	一
		懲役四月	同	一
		同 三月	同	二
懲役四月	一五	罰金二〇〇圓	棄却	一
		懲役三月	同	二
		罰金五〇〇圓	同	一
		禁錮二月	同（大赦）	六
		同 四月	同（大赦）	一
		同 四月	禁錮四月	一
		懲役二月	棄却（大赦）	一
		罰金二〇〇圓	同	一
		禁錮三月	禁錮三月	一
懲役百二十日	一	禁錮四月	棄却	一
懲役三月	一七	罰金三〇〇圓	棄却	二
		禁錮二月	同	五
		同 三月	同	一
		懲役二月	同	一
		罰金四〇〇圓	同	三
		懲役一月	同	二
		同 三月	同	三
懲役二月	二三	懲役二月	棄却	三
		罰金五〇〇圓	同	一
		禁錮一月	同	一
		罰金四〇〇圓	同	七
		同 二〇〇圓	同	三
		同 一五〇圓	同	一
		同 一五〇圓	取下	一
		禁錮二月	禁錮二月	二
		罰金三〇〇圓	棄却	一
		同 三〇〇圓	罰金三〇〇圓	一
		同 二五〇圓	棄却	二
懲役一月	五	罰金五〇〇圓	棄却	一
		同 三〇〇圓	同	一
		禁錮一月	同	二
		罰金三五〇圓		一
小計				
禁錮十月	一	禁錮六月	禁錮六月	一
禁錮八月	八	禁錮四月	棄却	一
		同 五月	同	五
		同 二月	同	二
禁錮七月	一六	禁錮六月	棄却	一
		同 四月	同	四
		同 三月	同	三
		同 三月	取下	二
		同 七月	棄却	二
		同 五月	同	四
禁錮六月	四六	禁錮五月	取下	三
		罰金六〇〇圓	棄却	一五
		禁錮二月	同	一
		罰金四〇〇圓	同	一
		同 八〇〇圓	同	二
		禁錮三月	禁錮三月	六
		同 二月	同 二月	一
		僞證併合罰金 懲役四月五〇〇圓	同上	一
		禁錮四月	取下	二
		同 五月	棄却	二
		同 四月	同	一二
		同 六月	同	一

禁錮五月	二三	罰金七〇〇圓	同	一
		同五〇〇圓	同	一
		禁錮三月	同	八
		同四月	同	二
		罰金八〇〇圓	同	二
		禁錮五月	禁錮五月	一
		同二月	同二月	一
		同五月	棄却	五
		同二月	同	一
禁錮四月十五日	三	罰金一〇〇圓	棄却	一
		禁錮四月十五日	同	一
		同二月	免訴	一
禁錮四月	八一	同三月	禁錮三月	一
		同四月	棄却	二〇
		同二月	同	一五
		同三月	同	一九
		罰金六〇〇圓	同	七
		禁錮三月	取下	三
		罰金三五〇圓	同	二
		禁錮二月	同	一
		罰金一〇〇圓	棄却	一
		同三〇〇圓	罰金三〇〇圓	一
		禁錮二月	禁錮二月	二
		罰金二五〇圓	罰金二五〇圓	一
		同八〇〇圓	棄却	一
		同四〇〇圓	同	四
		同五〇〇圓	同	三

禁錮三月十五日	四	禁錮三月十五日	棄却	二
		同二月十五日	同	一
		同三月	同	一
禁錮三月	一五八	罰金六〇〇圓	棄却	四
		禁錮二月	取下	一六
		罰金二〇〇圓	棄却	七
		禁錮一月	同	四
		罰金二五〇圓	取下	一
		同三五〇圓	同	一
		同一〇〇圓	棄却	三
		禁錮二月	罰金二〇〇圓	一
		同二月	禁錮二月	一
		罰金三〇〇圓	罰金三〇〇圓	一
		禁錮四月	棄却	一
		同二月十五日	同	一
		同三月	禁錮三月	一
		罰金五〇〇圓	罰金五〇〇圓	一
		同四〇〇圓	同四〇〇圓	一
		同三五〇圓	棄却	一
		同二五〇圓	同	三
		禁錮三月	同	四三
		同三月	禁錮二月	一

禁錮三月	一五八	禁錮三月	罰金五〇〇圓	一
		罰金一五〇圓	棄却	二
		同五〇〇圓	同	一二
		同七〇〇圓	同	二
		同四〇〇圓	同	一二
		同一〇〇〇圓	同	一
		同三〇〇圓	同	八
		禁錮二月	同	二三
		同三月	取下	五
禁錮二月廿日	一	禁錮二月廿日	棄却	一
禁錮二月十五日	一三	禁錮二月	棄却	二
		同三月	同	一
		同二月十五日	同	七
		同二月十五日	取下	二
		罰金一〇〇圓	棄却	一
禁錮二月	一八三	罰金二〇〇圓	取下	一
		同一〇〇圓	棄却	七
		禁錮二月	禁錮二月	二
		罰金七〇圓	棄却	三
		同八〇圓	同	三
		禁錮二月十五日	同	一
		罰金一二〇圓	同	二

禁錮二月	一八三	罰金四五〇圓	棄却	一
		同三〇圓	同	一
		同四〇〇圓	同	一八
		禁錮二月	取下	一〇
		罰金六〇〇圓	同	一
		同五〇〇圓	同	八
		同三〇〇圓	同	二
		禁錮二月	罰金二五〇圓	一
		罰金二〇〇圓	棄却	一二
		禁錮一月	同	三
		罰金一五〇圓	取下	四
		無罪	禁錮二月	一
		罰金八〇〇圓	棄却	一
		同三〇〇圓	同	一六
		同七〇〇圓	同	一
		禁錮三月	同	一
		罰金六〇〇圓	同	八
		同二五〇圓	同	五
		禁錮二月	同	七〇
禁錮一月廿日	二	禁錮一月廿日	棄却	一
		同一月	同	一
禁錮一月十五日	九	罰金七〇圓	棄却	一
		同一〇〇圓	同	二
		同五〇圓	同	一
		禁錮一月十五日	取下	一
		同一月十五日	棄却	四

禁錮一月十日	一	罰金二五〇圓	棄却	一
禁錮一月	四〇	罰金六〇〇圓	同	四
		禁錮二月	同	二
		罰金二五〇圓	同	四
		同 一〇〇圓	同	一
		同 三〇〇圓	同	八
		同 四〇〇圓	同	一
		同 五〇〇圓	同	二
		禁錮一月	同	一六
		罰金二〇〇圓	同	二
無罪	一	禁錮二月	無罪	一
				三八
罰金九〇〇圓	一	禁錮二月	棄却	一
罰金七〇〇圓	八	罰金五〇〇圓	同	三
		同 六〇〇圓	同	五
罰金六〇〇圓	一八	罰金五〇〇圓	同	一一
		禁錮二月	同	一
		罰金六〇〇圓	同	三
		同 三〇〇圓	同	一
		同 五〇〇圓	取下	一
		同 四〇〇圓	棄却	一
罰金五五〇圓	二	罰金四〇〇圓	棄却	一
		同 二四〇圓	同	一
罰金五〇〇圓	三六	同 四〇〇圓	棄却	一三
		同 五〇〇圓	同	一三
		同 三〇〇圓	同	六
		同 二〇〇圓	同	一
		同 一五〇圓	同	一
		同 五〇〇圓	罰金五〇〇圓	一
		同 二五〇圓	棄却	一
罰金四五〇圓	三	同 二〇〇圓	棄却	一
		同 二四〇圓	同	一
		同 三〇〇圓	同	一
罰金四〇〇圓	五一	罰金三五〇圓	棄却	八
		同 三〇〇圓	同	二〇
		同 二〇〇圓	同	三
		同 二五〇圓	同	一
		同 四〇〇圓	同	一七
		同 四〇〇圓	罰金三〇〇圓	一
		同 一八〇圓	棄却	一
罰金三五〇圓	一三	同 三五〇圓	棄却	八
		同 三〇〇圓	同	二
		同 一八〇圓	同	一
		同 四〇〇圓	同	二

罰金三〇〇圓	八六	罰金二五〇圓	棄却	一一
		同 一五〇圓	同	八
		同 三〇〇圓	同	三四
		同 一八〇圓	同	二
		同 一七〇圓	同	一
		同 二〇〇圓	同	一四
		同 三〇〇圓	取下	三
		同 一五〇圓	同	一
		同 二五〇圓	同	五
		禁錮二月	同	二
		罰金二〇〇圓	罰金一五〇圓	一
		禁錮三月	棄却	一
		罰金二五〇圓	罰金二五〇圓	一
		禁錮一月	棄却	二
罰金二五〇圓	五八	罰金二〇〇圓	棄却	一三
		同 一五〇圓	同	一五
		同 一二〇圓	同	二
		同 二五〇圓	同	一七
		同 二〇〇圓	取下	一
		同 六〇圓	棄却	一
		同 一八〇圓	同	七
		同 二〇〇圓	罰金二〇〇圓	一
		同 一〇〇圓	棄却	一
罰金二〇〇圓	一三〇	罰金八〇圓	棄却	一
		同 五〇圓	同	一
		同 一五〇圓	罰金一五〇圓	二
		同 一六〇圓	棄却	一一
		同 一五〇圓	取下	六
		同 一五〇圓	棄却	四
		同 一二〇圓	同	一〇
		禁錮二月	同	二
		罰金四〇圓	同	一
		同 一〇〇圓	同	一六
		同 二〇〇圓	同	五〇
		同 二〇〇圓	罰金二〇〇圓	七
		同 一五〇圓	棄却	一九
罰金一八〇圓	一二	罰金一八〇圓	棄却	八
		同 一〇〇圓	同	四
罰金一五〇圓	一一三	罰金一〇〇圓	棄却	二九
		同 一五〇圓	同	五三
		同 一五〇圓	罰金一五〇圓	二
		同 七〇圓	棄却	三
		懲役一月	同	二
		罰金一四〇圓	同	一
		同 八〇圓	同	七
		同 五〇圓	同	一
		同 一二〇圓	同	三
		同 一〇〇圓	取下	九
		同 一三〇圓	棄却	二
		同 一〇〇圓	罰金一〇〇圓	一

罰金一三〇圓	三	罰金一三〇圓	棄却	三
罰金一二〇圓	一七	罰金七〇圓	取下	一
		同一〇〇圓	棄却	二
		同七〇圓	同	一
		同一二〇圓	同	一三
罰金一〇〇圓	八四	罰金一〇〇圓	棄却	四九
		同八〇圓	同	一八
		同五〇圓	同	四
		同五〇圓	取下	二
		同一〇〇圓	罰金一〇〇圓	三
		同六〇圓	棄却	一
		同七〇圓	同	一
		同七〇圓	同	四
		同八〇圓	罰金八〇圓	一
		同一〇〇圓	取下	一
罰金九〇圓	一	罰金九〇圓	棄却	一
罰金八〇圓	一二	無罪	取下	一
		罰金八五圓	棄却	二
		同六〇圓	同	三
		同五〇圓	同	五
		同五〇圓	取下	一
罰金七五圓	二	罰金六〇圓	棄却	二
罰金七〇圓	二二	罰金五〇圓	棄却	三
		同六〇圓	同	三
		同七〇圓	同	一六
罰金六〇圓	二三	罰金六〇圓	棄却	一九
		同四〇圓	同	三
		同三〇圓	同	一
罰金五〇圓	二九	罰金五〇圓	棄却	二二
		同三〇圓	取下	一
		同四〇圓	棄却	五
		同三〇圓	同	一
罰金四〇圓	二三	罰金三〇圓	棄却	一一
		同四〇圓	同	一一
		同二〇圓	同	一
罰金三〇圓	四四	罰金三〇圓	棄却	三八
		同二〇圓	同	六
罰金二〇圓	二八	罰金二〇圓	棄却	二八
罰金一〇圓	二	罰金一〇圓	棄却	二
				八三
總計	一四八二			一四八二

十一、昭和（三五七）年二月施行衆議院議員選擧事犯中同法第一三七條第二項前段適用者科刑別表

區別 廳名	略式 昭和三年 罰金	略式 昭和五年 罰金	略式 昭和七年 罰金	公判 昭和三年 罰金	公判 昭和三年 體刑	公判 昭和五年 罰金	公判 昭和五年 體刑	公判 昭和七年 罰金	公判 昭和七年 體刑	計
東京	二二	九	五	一八		一七	二			七三
橫濱	一	三	一四	二		三二	二	四		五八
浦和			四〇			一		六		四七
千葉	七	一				三				一一
水戸	二			二五						二七
宇都宮	九	九	一			一		三		二三
前橋	九		三	二						一四
靜岡				一		三				四
甲府										
長野	三〇	三								三三
新潟	二九	二	二	二一		二五		四		八三
京都	四	一	四			六		一		一六
大阪	五六			四〇				三		九九
神戸	七	二六	四六	一四		四六	一	五	二	一四七
奈良	二	二		四		八	一	一		一八
大津			八			五				一三
和歌山	七	九	六	三		一四				三九
德島	一	九				三一				四一
高松		六	一五					一		二二
高知		一				二六				二七
名古屋			一四	五		五		六		三〇
安濃津		二		一						三

岐阜	一	一				一		六		九
福井						八				八
金澤		三		一		一				五
富山	二七	三四	六	三二		一二七		七		二三三
廣島	四	七				一				一二
山口	四	二三		一		五				三三
岡山				六		二	一	一		一〇
鳥取	三	一三三	一三五	一二		四		二一		三〇八
松江	一		一一			一		七		二〇
松山	五	七		一二	一	四				二九
長崎	一	一				三				五
佐賀	二六		三	一九		二				五〇
福岡	五			一〇		七		五		二七
大分						一七	一			一八
熊本	一					一				二
鹿兒島	二三	八		四		一				三六
宮崎	一		四三					二六		七〇
那覇				一		一		一		三
仙臺	一一			一		一		八		二一
福島	二五					六				三一
山形	六八									六八
盛岡	八〇	一二		一八三		四九				三二四
秋田				一		一				二
青森										
札幌	三	五	八五	二		一		五		一〇一
函館		二				二		二		六
旭川	五	一〇	九	一		四				二九
釧路	六	一八	一	一三	三					四一
樺太										
計	四八六	三四七	四五一	四二五	四	四七三	八	一二三	二	二、三一九

十二、昭和三五七年二月施行衆議院議員選擧事犯中同法第一三七條第二項前段適用者違反事項別

區別		略式			公判						計
違反事項		昭和三年	昭和五年	昭和七年	昭和三年		昭和五年		昭和七年		
		罰金	罰金	罰金	罰金	體刑	罰金	體刑	罰金	體刑	
選擧人運動者ニ對スル買收（一一二）	買收（一號）	一一	一八	二七	一七	一	五〇	四	一六	一	一四五
	利害關係利用（二號）	一	一	一	一						四
	事後ノ報酬供與（三號）			一	一						二
	以上ノ行爲ノ受諾要求（四號）	二〇六	二二一	三二七	二一二		三一三		六七	一	一、三四七
	以上ノ周旋勸誘（五號）						一		三		四
暴行威力拐引（一一五ノ一號）					一						一
交通、集會演說妨害（一一五ノ二號）		一二	九	二	二四	二	三		一		五三
投票關渉（一一八ノ一項前段）		三	二	二							七
投票函侵害（一一八ノ二項）					一						一
不正投票（一二七）		五	七	一			七	一			二一
立會人ノ義務違背（一二八）					二						二
第百二十九條	第三者ノ選擧運動禁止違反（九六）	九八	四四	四三	九五		四二		四		三三六
	個別運動禁止違反（九八）	一〇三	二七	二二	四二		四七	一	一四		二五六
第百三十一條	事務所、委員、事務員濫設違反（八九ノ一項）	三		三							六
	關係官吏ノ選擧運動（九九ノ二項）		三	五	九		三		一		二一
第百三十二條	事務所、設置、異動、運動員ノ異動屆出懈怠（八九ノ四項）						一				一
	運動用文書圖畫ニ關スル命令違反（一〇〇）	四四	一五	一七	一八	一	六		七		一〇八
運動費用不法支出（一三四）					二			二			四
計		四八六	三四七	四五一	四二	四	四七	八	一二三	二	二、三一九

十三、昭和三五七年二月施行衆議院議員選擧事犯科刑別比較表

科刑	昭和三年	昭和五年	昭和七年
罰金二百圓未滿	九、〇九五	一五、四七二	一、七二五
罰金二百圓	一八九	四三一	六七
罰金二百五十圓以下	五一	一二三	三六
罰金三百圓以下	一三三	二八八	三一
罰金三百五十圓以下	二〇	四九	二
罰金四百圓以下	三六	一〇六	九
罰金四百五十圓以下	二	六	一
罰金五百圓以下	一二	一〇〇	四
罰金五百五十圓以下	一		
罰金六百圓以下	一	六〇	三
罰金七百圓以下	三	一六	二
罰金八百圓以下	五	一三	二
罰金千圓以下		五	
懲役一月以下	八	二〇	三
懲役二月以下	一六	四三	一九
懲役三月以下	一六	三二	九
懲役四月以下	三	一三	一
懲役五月以下	一	四	
懲役六月以下	六	八	
懲役七月以下		四	
懲役八月以下	二	三	
懲役十月以下	二		
懲役一年以下	二		
禁錮一月以下	一四九	一四七	八
禁錮二月以下	一八八	四一〇	五四
禁錮三月以下	一二〇	二四四	一七
禁錮四月以下	四四	一〇〇	八
禁錮五月以下	二一	二九	
禁錮六月以下	一八	一六	
禁錮七月以下		八	
禁錮八月以下	二	七	
禁錮十月以下	二	一	

附錄第二

一　英國選擧法規

（衆議院事務局譯）

[illegible]

一 英國選擧法規

（衆議院事務局譯）

一、一八七二年ノ投票法

第一章 國會議員選擧

選擧手續

第一條 郡（County）又ハ市（Borough）ヲ代表スル國會議員ノ候補者ハ書面ニテ指名セラルルコトヲ要ス

前項ノ指名書ニハ同一郡又ハ市ノ登錄選擧人二名推薦者トシテ署名スル外尙八名ノ登錄選擧人指名同意者トシテ之ニ署名スルコトヲ要ス

指名書ハ選擧ノ爲ニ定メラレタル期限内ニ候補者自身又ハ其ノ推薦者ヨリ選擧長ニ提出スヘシ

指定期限滿了後一時間ニ至ルモ尙指名サレタル候補者ノ數カ補闕スヘキ人員ノ數ヲ超過セサルトキ選擧長ハ其ノ候補者ノ當選人タル旨ヲ宣言シ其ノ氏名ヲ内大臣祕書官（Clerk of the Crown in Chancery）ニ報告スヘシ

第四項ニ該當セサル場合ハ選擧長ハ直ニ選擧ヲ延期シ本法ノ定ムル所ニ從ヒ其ノ投票ヲ行ハシムヘシ

候補者ハ選擧ノ爲定メラレタル期間内ニ限リ立候補ノ意思表示ヲ取消スコトヲ得取消ハ書面ニ依リテ爲シ且之ヲ選擧長ニ提出スルコトヲ要ス但シ候補者カ本國ニ在ラサル間ニ指名セラレタル場合ハ其ノ推薦者ハ自己ノ署名シタル文書及候補者ノ不在屆ヲ選擧長ニ提出シテ取消スコトヲ得

選擧延期後投票開始前ニ於テ候補者中ニ死亡セル者アルトキハ選擧長ハ死亡ノ事實ヲ確メタル上投票公告ヲ取消シ死亡ノ確證ヲ得タル日以後ノ一切ノ選擧手續ヲ更新スヘシ但シ投票公告取消ノトキニ於テ既ニ指名セラレタル候補者ハ再ヒ指名セラルルコトヲ要セス

第二條 選擧ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ候補者ノ氏名ヲ記載シタル投票用紙ヲ以テス

投票用紙ノ裏面ニハ番號ヲ附シ且同一番號ヲ記入シタル附箋ヲ連續セシム可シ

投票ヲ爲サシムルニ際シ投票用紙ノ兩面ニ公印ヲ押捺シ投票所内ニ於テ之ヲ投票者ニ交付ス

選擧人名簿ニ記入セラレタル各選擧人ノ番號ハ附箋ニ記入スヘシ

選擧人ハ投票用紙ニ自己ノ投票セントスル者ノ氏名ヲ密ニ認メ之ヲ折疊ミ投票管理者ノ面前ニ於テ密閉セル函ニ投入スヘシ但シ投入ニ先チ押捺ノ公印ヲ投票管理者ニ示スコトヲ要ス

投票用紙ニシテ裏面ニ公印無キモノ、被選擧權ヲ有セサル候補者ニ投入セラレタルモノ、裏面ノ番號以外ニ選擧人ヲ推知セシム可キ文字其ノ他ヲ記入シタルモノハ無效トシテ算入セス

投票終結シタルトキハ投票函ニ封印ヲ施シテ爾後ノ投票ヲ防止シ選擧長之ヲ保管スヘシ

選擧長ハ開票ニ立合フ候補者代理人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ各候補者ノ得票數ヲ計算シ最多數ヲ得タル一名以上ノ者ノ當選シタル旨ヲ宣言シ其ノ氏名ヲ内大臣祕書官ニ報告スヘシ

選擧長ハ投票ニ關スル一切ノ異議ヲ決定ス此ノ決定ニ對シテハ不服ノ申立ヲ許サス但シ此ノ決定ハ選擧又ハ當選ニ關スル請願ニ基キテ取消サルルコトアル可シ

數名ノ候補者カ同シ得票數ヲ得タルトキハ選擧長ノ決スル所ニ依ル但シ選擧長カ同一郡又ハ市ノ登錄選擧人タル場合ニ限ル

指名用紙投票用紙及投票函ニ關スル違法行爲

第三條 左ノ各號ニ該當スル選擧長其ノ他ノ公務員ハ二年以下、私人ハ六箇月以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

一 候補者指名用紙ヲ僞造變造又ハ破棄シ若ハ僞造ト知リテ之ヲ選擧長ニ交付シタルモノ

二 投票用紙又ハ投票用紙ノ公印ヲ僞造變造若ハ毀損シタルモノ

三 正當ノ事由無クシテ投票用紙ヲ他人ニ交付シタルモノ

四 詐僞ノ意思ヲ以テ投票用紙以外ノ紙片ヲ投票函ニ投入シタルモノ

五 詐僞ノ意思ヲ以テ投票所外ニ投票用紙ヲ持出シタルモノ、

六 正當ノ事由無クシテ投票函又ハ投票用紙包ヲ毀損開披竊取シ其ノ他侵害ヲ加ヘ之ヲ選擧ノ目的ニ供シタルモノ

前項ノ行爲ヲ爲サントシタル者亦同シ

候補者指名用紙投票函投書用紙其ノ他ノ公文書ニ關スル公訴ニ於テハ選擧長ヲ以テ其ノ所有者ト看做スコトヲ得

第四條 選擧事務ヲ擔當スル公務員ハ投票ニ關シテ祕密ヲ保持シ及其ノ保持ヲ助ク可シ

投票終結前ニ於テハ法令ニ依リテ許サレタル場合ノ外投票用紙ヲ請求シ又ハ請求セサル若ハ投票シタル選擧人ノ氏名番號及公印ニ關シテハ漏泄スルコトヲ得ス

公務員タルト私人タルトヲ問ハス投票人ノ選擧權ノ行使ヲ妨害シ又ハ妨害セントスルコトヲ得ス

選擧人ノ投票シタル又ハ投票セントスル候補者ノ氏名ヲ（投票所内ニ於テ）知得セントスルコトヲ得ス

選擧人ノ投票シタル又ハ投票セントスル候補者ノ氏名若ハ投票人ノ取得シタル投票用紙ノ裏面ノ番號ニ關シ投票所内ニ於テ知得シタル祕密ハ漏泄スルコトヲ得ス

開票ニ立會フ公務員ハ投票ニ關スル祕密ヲ保持シ又ハ其ノ保持ヲ助クヘシ

開票ニ當リ投票用紙裏面ノ番號ヲ窺視スルコトヲ得ス

開票ニ當リ選擧人ノ投票シタル候補者ニ關シテ得タル祕密ヲ漏泄スルコトヲ得ス

何人ト雖漏泄ノ目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ他人ヲ勸誘シ其ノ者

ノ投票シタル又ハ投票セサリシ候補者ノ氏名ヲ知得スルコトヲ得ス

本條ノ規定ニ違反シタル者ハ保安官 (Justice of the Peace) 二名ノ即決處分ニ因リ六月以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第五條 地方官廳 (Local Authority) ハ投票區設置方法ヲ計畫シ投票ヲ便ナラシムル爲數個ノ投票區ヲ設クルコトヲ得

地方官廳カ投票區設置ニ關シ命令ヲ發セントスル場合ニ於テハ其ノ謄本ヲ內務大臣ニ送付シ兩議院ニ提出セシムヘシ

本條ニ於テ地方官廳ト稱スルハ一八六七年人民代表法 (Representation of the People Act) 第三十四條及同條ノ修正ニ關スル法令ニ依リ管轄地域ヲ數個ノ投票區ニ分割シ得ル權能ヲ賦與セラレタル官廳ヲ指示ス

地方官廳ハ同法律ノ趣旨ニ從ヒ其ノ權能ヲ行使スヘシ

二個以上ノ自治市 (Municipal Borough) ヲ結合シテ成レル選擧市ニ關スル前揭法律ハ一個ノ自治市ト他ノ地域ヲ結合シテ成レル選擧市ニ之ヲ準用ス

市會ヲ以テ地方官廳ト爲サス且保安區 (petty session) 外ニ跨ル選擧市ニ付テハ之ヲ管轄スル地方團體ノ保安官總會又ハ例會ヲ構成シテ地方官廳ノ權能ヲ行使シ其ノ選擧市ノ全部ヲ管轄ス

本條又ハ投票區若ハ投票所ニ關スル規定ニ違反セルコトヲ理由トスル選擧訴訟ハ之ヲ許サス

投票區又ハ投票所ニ關シテ地方官廳ノ發セル命令ハ同日以後ニ調製セラレタル選擧人名簿之ニ基ケル選擧人登錄簿及其ノ登錄簿確定以後ニ行ハルル選擧ニノミ適用セラル但シ此ノ命令カ七月一日ヨリ十一月一日ニ至ル間ニ發セラレ且特別ノ貧民救助稅 (poor rate) ヲ賦課セラルル教會區 (parish) ノ二以上ノ投票區間ニ新ナル投票區ヲ設ケサル場合ニ於テハ其ノ命令ハ命令公布後確定セル選擧人登錄簿及之ニ基キテ行ハレタル選擧ニ適用ス

保安書記 (Clerk of the Peace) 又ハ市書記ハ前項ノ命令ニ準據シタル選擧人登錄簿ヲ調製スル爲選擧人名簿ニ關スル事務ヲ取扱フ

第六條 選擧長ハ國會議員ノ選擧ヲ行フニ當リ官公立學校ノ房屋ヲ無償ニテ使用スルコトヲ得

前項ノ使用ニ因リ生シタル損害ハ之ヲ塡補シ且房屋取締人ノ支出シタル費用ハ之ヲ辨償スルコトヲ要ス

住居人無キ家屋ハ無償ニテ使用スルコトヲ得

第七條 選擧人登錄簿ニ登錄セラレサルモノハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

登錄簿ニ登錄セラレタルモノハ投票用紙ヲ請求シ投票ヲ爲スコトヲ得但シ他ノ法令ニ依リ投票ヲ禁セラレタル者及投票ニ關シ刑罰ヲ科セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

選擧事務擔當者ノ義務

第八條 選擧長ハ本法ノ定ムル所ニ從ヒ指名用紙、投票用紙、投票函、打印機、選擧人登錄簿ノ副本其ノ他必要ナル物品ヲ投票所ニ備付ケ選擧ヲ行フニ必要ナル公務員ヲ選任シ其ノ俸給ヲ定ムル等一切ノ行爲ヲ爲ス

第九條 投票管理者ハ臨場又ハ附近駐在ノ警察官吏若ハ自己ノ代理人ヲシテ投票所ニ於テ違法ノ行爲ヲ爲シ又ハ正當ナル命令ニ從ハサル者ヲ退去セシムルコトヲ得退去セシメラレタル者ハ投票管理者ノ許可ヲ得ルニ非サレハ同日中再ヒ投票所ニ入ルコトヲ得ス

退去セシメラレタル者刑事ノ訴追ヲ受ク可キトキハ保安官ニ引渡サルル迄之ヲ監置スルコトヲ得但シ本條ノ賦與スル權能ヲ濫用シテ選擧人ノ投票ヲ妨害スルコトヲ得ス

第十條 投票管理者ハ投票ヲ延期シ又ハ投票ニ關スル法令ヲ施行スルニ付選擧長ノ代理人ト同一ノ權能ヲ有ス

投票管理者及選擧長ノ任命セル書記ハ本法ノ定ムル所ニ從テ投票人ニ質問ヲ發シ又ハ宣誓ヲ爲サシムル權ヲ有ス

保安官及選擧長ハ本法ノ定ムル宣言ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 故意ヲ以テ本法ニ違反シ他人ニ損害ヲ加ヘタル選擧長投票管理者及書記ハ刑事ノ訴追ヲ受クル外被害者ニ對シ百磅未滿ノ賠償ヲ爲ス責ニ任ス

一八六七年人民代表法第五十條（選擧長又ハ其ノ書記カ候補者ノ代理人ト看做サルル場合）ハ選擧長及本法施行ノ爲任命セラレタル官吏竝其ノ補助者ニ適用ス

罰則

第十二條 何人ト雖選擧訴訟又ハ當選訴訟ニ於テ自己ノ投票シタル候補者ノ氏名ヲ陳述スル義務ナシ

第十三條 第一附則ノ規定又ハ第二附則ノ書式ニ違反スルモ選擧ノ效力ヲ妨ケス但シ裁判所ニ於テ本法ノ趣旨ニ反セサルコトヲ認メタル場合及前記ノ違反カ選擧ノ結果ニ影響ヲ及ホササル場合ニ限ル

第十四條 同一地域ノ全部又ハ一部カ同時ニ選擧市(Parliamentary Borough)及自治市(Municipal Borough)タルトキハ投票函其ノ他選擧ノ爲ニスル什器ハ無償ニテ共有スルコトヲ得

通常ナラサル破損ハ選擧費用ノ一部トシテ賠償ス

第十五條 本章ノ規定ハ其ノ趣旨ニ反セサル限リ人民代表及國會議員選擧登錄ニ關スル現行法令其ノ他本章ノ規定事項ト關係アル法令ト包括的ニ解釋スヘシ

本章ノ用語例ハ前揭法令ニ於ケルモノト同シ

本法ノ定ムル投票方法ハ前揭法令ノ定メタル投票方法ヲ改廢シタルモノト看做ス本法ニ從ヒ投票用紙ヲ請求シタル者ハ前揭法令ニ所謂投票ヲ提供シ (To tender his vote) 又ハ投票セントシタル (To assume to vote) 者ト看做ス

本法ニ用フル投票用紙ノ請求 (application for ballot paper) 及其ノ關係語ハ前揭法令ノ用ヰシ投票 (Voting) 及其ノ關係語ト同一意義ヲ有ス

前揭法令ノ投票場 (polling booth) ハ本法ノ投票所 (polling station) ヲ含ミ前揭法令ノ布告 (proclamation) ハ本法ノ公告 (public notice) ヲ含ムモノト看做ス

第二章　削除

第三章　詐称

第二十四條　他人ノ名義ヲ以テ投票用紙ヲ請求シ又ハ一旦投票シタル後自己ノ名義ヲ以テ再度投票用紙ヲ請求シタル者ハ詐称ノ罪ヲ以テ論ス

選擧長ハ詐称ヲ爲シタル者又ハ詐称ヲ教唆幇助シタル者在リト思料スルトキハ告發スヘシ

本法ノ第三附則ニ列擧シタル選擧人登錄法ノ規定ハ「イングランド」及「アイルランド」ニ於ケル本法ノ定ムル詐称ニ之ヲ準用ス

第二十五條　選擧請願ニ於ケル審査ニ於テ候補者ガ直接又ハ間接ニ選擧人ニ贈與饗應威逼（undue influence）シタル事實又ハ候補者自身若ハ候補者ノ運動員ニ依リ選擧ノ爲ニ抑留又ハ雇傭セラレタル者カ投票シタル事實判明シタルトキハ投票點檢ヲ行ヒ其ノ得票ヨリ受贈其ノ他ノ者一人ニ付一票ヲ控除ス

第二十六條　本章ハ左ノ規定ニ反セサル限リ之ヲ「スコツトランド」ニ適用ス

詐称ハ之ヲ刑事犯罪ト爲シ逮捕（Apprehension）拘留（Detention）證人訊問（Precognition）收監（Commitment）責付（Bail）ニ關スル「スコツトランド」ノ法令ヲ準用ス

被告人ヲ皇室檢事長（Lord Advocate）ノ請求ニ依リ「イジンボロー」裁判所又ハ巡回裁判所（Circuit）ノ裁判ニ付シ若ハ下級裁判所檢事（Procurator Fiscal）ノ請求ニ依リ區裁判所（Sheriff Court）ノ裁判ニ付スルコトヲ得

第二十七條　本章ノ規定ハ國會議員ノ選擧ニ限リ一八六八年ノ國會議員選擧法（The Parliamentary Elections Act）ト包括的ニ解釋シ一大學又ハ大學聯合ヲ代表スル議員ノ選擧ニ之ヲ適用ス

第四章　雜則

第二十八條　本法ノ附則（Schedule）及其ノ附註又ハ注意書（Direction）ハ總テ本法ト同一ノ效力ヲ有ス

第三十一條　本法ハ第三章ヲ除クノ外一大學又ハ大學聯合ヲ代表スル議員ノ選擧ニ之ヲ適用セス

第三十三條　本法ヲ引用スヘキトキハ一八七二年ノ投票法ト稱ス

第一附則

第一章　國會議員選擧規則

選　擧

第一條　選擧長ハ郡代表議員選擧ノ場合ハ選擧執行命令ヲ受ケタル日ヨリ二日以内ニ市代表議員選擧ノ場合ハ當日又ハ翌日ニ選擧ノ期日場所時刻指名方法ニ依リテ決セサル場合ニ行フ可キ投票ノ期日及指名書式ヲ請求シ得ル場所時刻ヲ午前九時ヨリ午後四時ニ至ル迄ノ間ニ公告スヘシ

前項ノ公告書ハ郡代表議員選擧ノ場合ハ「選擧公告」ト表記セル封筒ニ入レ各投票區ノ主要ナル郵便局ノ局長ニ送付（郵税無料）スヘシ

郵便局長ハ通常ノ郵便告示ト同一方法ニ依リ之ヲ公告ス

第二條　選擧ノ期日ハ左ノ規定ニ從テ之ヲ定ム

郡又ハ特別市（District Borough）ヲ代表スル議員ノ選擧期日ハ選擧執行命令ヲ受ケタル日ヨリ九日以内トス但シ選擧公告ヲ爲シタル日ト選擧期日トノ間ニハ滿三日以上ノ猶豫アルヘシ」

特別市以外ノ市ヲ代表スル議員ノ選擧期日ハ選擧執行命令ヲ受ケタル日ヨリ四日以内トス但シ選擧公告ヲ爲シタル日ト選擧期日トノ間ニハ滿二日以上ノ猶豫アルヘシ

第二條ノ二　新國會ニ選出セラルヘキ議員ノ選擧期日ハ國會召集ノ宣言ノ布告アリタル日ヨリ八日目タルコトヲ要ス

第三條　選擧場ハ本法成立前ト雖選擧ノ行ハル可カリシ市ノ適當ナル場所ヲ以テ之ニ充ツ

前項ノ市ナキトキハ選擧長ノ便宜ト認ムル所ニ依ル

第四條　選擧ノ時刻ハ午前十時ヨリ午後三時ニ至ル間ニ於テ選擧長ノ定メタル二時間トス選擧長ハ前項ノ二時間及其ノ經過後ノ一時間臨席スヘシ

第五條　候補者ヲ指名スルニハ各別ノ指名書ヲ以テスヘシ但シ選擧人ハ補闕スヘキ議員ト同數ノ指名書ニ署名スルコトヲ得

第六條　候補者ヲ指名スルニ當リテハ選擧長ヲシテ人違セシメサル爲其ノ氏名住所官位職業ヲ記入スヘシ氏ハ氏名表ノ冒頭ニ書ス

指名書ノ記入ヲ不充分又ハ違法ナリトスル異議ノ申立ハ指名書ノ提出ト同時ニ又ハ提出後直ニ選擧長其ノ他ノ者ヨリ之ヲ爲スニ非サレハ其ノ效ナシ

第七條　選擧長ハ選擧公告ヲ爲シタル日ヨリ選擧期日ニ至ル迄午前十時乃至午後二時ノ間ニ於テ自己ノ定メタル二時間ニ登錄選擧人ノ請求ニ依リ指名書式ヲ交付スヘシ但シ選擧長ノ交付シタル指名書ヲ使用スル要ナシ本法ノ規定スル書式ヲ具備スルヲ以テ足ル

第八條　指名書ハ選擧期間選擧場ニ於テ選擧長ニ交付スヘシ

選擧手續ニ參加シ得ル者ハ指名サレタル候補者其ノ推薦者及候補者ノ選任シタル者一名ニ限ル

選擧長ヲ補助スル者ハ前項ノ規定ニ拘ラス選擧手續ニ參加スルコトヲ得

第九條　指名方法ニ依リテ當選人定マラサル場合ハ選擧長ハ直ニ當選決定ヲ延期シ投票ヲ行フ期日指名セラレタル候補者ノ氏名推薦者ノ氏名竝投票用紙記入ノ樣式ヲ公告スヘシ

郡ヲ代表スル議員ノ選擧ニ於テハ選擧長ハ指名セラレタル候補者ノ氏名及投票ノ期日ヲ記載シテ署名捺印シタル文書ヲ選擧地ノ主要ナル郵便局ノ局長ニ送付スヘシ（郵税無料）局長ハ電報無料ヲ以テ其ノ趣旨ヲ郡内ノ電信局ニ通達スヘシ

電信局ハ通常ノ郵便公告ト同一ノ方法ヲ以テ公示スヘシ

第十條　本法ノ定ムル所ニ從ヒ立候補ヲ取消シタル候補者アルトキハ選擧長ハ其ノ候補者及推薦者竝他ノ指名セラレタル候補者ノ氏名ヲ公告スヘシ

第十一條　選擧長指名書ヲ受理シタルトキハ直ニ選擧場外ノ見易キ所ニ指名セラレタル候補者及推薦者ノ氏名ヲ揭示シ又ハ揭示

セシムヘシ

第十二條　本法ノ定ムル所ニ從テ指名セラレタル者ニ非サレハ候補者トシテ投票用紙ニ記入セラルルノ權ナシ

選擧長ノ受理シタル指名書ニ記入セラレタル者ハ選擧期間及其ノ經過後一時間以内ニ選擧長其ノ他ノ者ヨリ指名書ニ關スル異議ノ申立在ラサル限リ本法ノ規定ニ從テ指名セラレタル者ト看做ス

第十三條　選擧長ハ指名書ニ關スル異議ヲ決定ス

異議ノ理由無シトスル決定ニ對シテハ更ニ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

異議ノ理由アリトスル決定ハ選擧又ハ當選ニ關スル請願ニ基キヲ取消サルルコトアルヘシ

投　票

第十四條　投票ハ選擧期日後六日以上八日以内ニ於テ選擧長ノ定ムル日ニ之ヲ行フ

第十四條ノ二　新國會ニ選出セラルヘキ議員ノ選擧ニ於ケル投票日ハ選擧期日後九日目タルコトヲ要ス

第十五條　選擧長ハ各投票區ニ於テ投票ヲ便ナラシムルニ足ル數ノ投票所ヲ配置スヘシ

但シ特別市ニ於テハ一個ノ徵税區（contributory place）ニ對シ少クトモ一個ノ投票所ヲ設ク可シ

第十六條　投票所ニハ投票人カ祕密ニ投票ヲ認メ得ルニ足ル可キ數ノ隔室ヲ設クヘシ

一隔室ハ百五十名ノ投票人ヲ容ル

第十七條　一個ノ建造物内ニ一個又ハ數個ノ投票所ヲ設クルコトヲ得

第十八條　何人ト雖指定サレタル投票所外ニ於テ投票スルコトヲ得ス

第十九條　選擧長ハ投票所ノ位置各投票所ニ於テ投票ヲ爲シ得可キ選擧人ノ氏名及投票方法ヲ公告スヘシ

第二十條　選擧長ハ各投票所ニ選擧人カ投票ヲ認ムルニ必要ナル物品投票用紙公印押捺機及其ノ投票所ニ於テ投票シ得可キ選擧人ノ氏名簿ノ副本ヲ備付ク可シ

選擧長ハ公印ヲ保管シ七個年以上ノ年月ヲ隔テテ之ヲ使用スヘシ

第二十一條　選擧長ハ投票管理者ヲ選任ス

投票管理者ハ投票所内ノ秩序ヲ保持シ一回ニ入場スヘキ選擧人ノ人數ヲ定メ書記候補者代理人及職務ヲ行フ警察官吏以外ノ者ヲ退去セシム可シ

第二十二條　各投票用紙ニハ指名書ニ於ケルト同シク候補者ノ氏名ヲ記入シ之ヲ氏ノ「アルフアベット」順ニ整理スヘシ（氏ノ同シキ者數人アルトキハ名ニ從フ）其ノ樣式ハ本法附則第二ニ規定セル樣式又ハ事情ノ許ス限リ之ニ近キ樣式タルコトヲ要シ且折疊ミ得ルコトヲ要ス

第二十三條　投票函ハ開鎖スルニ非サレハ一旦投入シタル投票用紙ヲ取出シ得サル裝置ノモノタル可シ選擧長ハ投票ヲ爲サシム

ルニ先チ投票所ニ參集シタル者ニ投票函ノ空虛ナルコトヲ示シタル後鎖鑰ヲ施シ且封印ヲ爲シテ之ヲ自己ノ面前ニ置ク可シ

第二十四條　投票用紙ヲ選擧人ニ公付スルニ先チ用紙ノ兩面ニ公印ヲ押捺シ選擧人登錄簿ノ副本ニ記載サレタル選擧人ノ番號氏名職業ヲ讀ミ上ケ選擧人ノ番號ヲ投票用紙ノ附箋ニ記入シ選擧人ニ投票用紙ヲ交付シタルコトヲ示ス爲選擧人登錄簿ニ標點ヲ附加スヘシ但シ選擧人ノ取得シタル特定ノ投票用紙ヲ表示スヘカラス

第二十五條　選擧人投票用紙ヲ收受シタルトキハ投票所内ノ隔室ニ至リ投票ヲ認メ他人ノ窺覗ヲ防ク爲之ヲ折疊ミテ投票函ニ投入スヘシ投票終了セハ遲滯ナク投票所ヲ退出スヘシ

第二十六條　盲目其ノ他身體ノ故障ニヨリ本法ノ規定シタル方法ニ從テ投票シ得サル選擧人又ハ投票日カ土曜日ナルニ依リ本法ノ規定シタル方法ニ從テ投票スヘキ宗教上ノ根據ナシトスル猶太教徒ノ選擧人若ハ後條ニ規定シタル讀書不能ノ宣言ヲ爲ス選擧人ノ請求アルトキハ選擧管理者ハ候補者代理人ノ面前ニ於テ前記投票人ノ指示ニ從ヒ其ノ投票用紙ニ標點ヲ附加シ後之ヲ投函セシムヘシ

選擧管理者ハ前項選擧人ノ登錄簿上ノ番號氏名及理由ヲ記入スル爲簿冊ヲ調製スルコトヲ要ス

前項ノ簿冊ハ本法ニ於テ「投票管理者附點投票簿」（List of votes marked by the presiding officer）ト稱ス

讀書不能ノ宣言ハ選擧人投票ニ先チ後條ノ規定ニ從ヒ投票管理者ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

前項ノ宣言ニ關シテハ手數料印代料等ヲ徵收スルコトヲ得ス

前記宣言ハ投票ニ際シ投票監理者ニ提出スヘシ

第二十七條　他人カ投票シタル後自己ヲ選擧人登錄簿上ノ眞正ナル選擧人ナリト主張シテ投票用紙ヲ請求スル者アルトキハ本法ノ定ムル質問宣誓ヲ爲サシメタル後投票セシムヘシ

前項ノ投票ハ他ノ投票用紙ト異ル著色ヲ爲シタル投票用紙ヲ以テ爲サシメ且投票函ニ投入スルコトナク投票管理者ニ交付セシム可シ

前項ノ投票用紙ハ本法ニ於テ提供投票用紙（Tendered ballot paper）ト稱ス

投票管理者ハ提供投票用紙ニ選擧人ノ氏名番號ヲ記入シテ署名シ之ヲ別個ノ函ニ保存スヘシ

選擧長ハ提供投票ヲ算入スルコトヲ得ス

提供投票ヲ爲シタル者ノ氏名番號ハ本法ニ於テ「提供投票簿」ト稱スル簿冊ニ記入スヘシ

第二十八條　投票人誤テ自己ノ投票用紙ヲ使用シ得サルニ至ラシメタルトキハ之ヲ投票管理者ニ返還シ過失ノ事實ヲ證明シテ其ノ引換ヲ請求スルコトヲ得（本法ニ於テハ汚損投票用紙ト稱ス）

汚損投票用紙ハ直ニ廢棄スヘシ

第二十九條　投票管理者投票ヲ完結シタルトキハ左ノ規定ニ從テ封包ヲ造リ封印ヲ施シテ（候補者代理人ノ封印ヲモ附加スルヲ妨ケス）之ヲ選擧長ニ送致スヘシ

一　投票所ニテ使用シタル投票函ニハ鎖鑰ヲ施シタル儘ニシ其ノ鍵ヲ添附スルコト

二　使用セサリシ投票用紙及汚損セル投票用紙ハ同一包裝タルコト

三　提供投票用紙ハ別個ノ包裝タルコト

四　投票人登錄簿ノ副本及投票用紙ノ附箋ハ同一包裝タルコト

五　提供投票簿、投票管理者附點投票簿、生理的缺陷猶太教義及讀書不能ノ爲管理者ニ依リ附點セラレタル投票數ノ報告書、讀書不能宣言書ハ同一封裝タルコト

第三十條　前條ノ封包ニハ投票管理者カ委託ヲ受ケタル投票用紙ノ數、不使用投票用紙、汚損投票用紙及提供投票用紙ノ數ヲ明記シタル報告書ヲ添附スヘシ

前項ノ報告書ハ本法ニ於テ投票用紙計算書ト稱ス

投票計算

第三十一條　各候補者ハ投票ノ計算ニ立會ハシムル爲代理人ヲ選任スルコトヲ得

第三十二條　選擧長ハ投票結了後速ニ投票ノ計算ヲ爲スニ必要ナル準備ヲ爲シ各候補者代理人ニ對シ投票計算ヲ行フ場所及時刻ヲ書面ヲ以テ通知スヘシ

第三十三條　選擧長其ノ補助者書記及候補者代理人ノ外ハ選擧長ノ許可ナクシテ何人モ投票計算ヲ參觀スルコトヲ得ス

第三十四條　選擧長ハ投票ノ計算ヲ開始スルニ先チ候補者代理人ノ面前ニ於テ各投票函ヲ開キ各函在中ノ投票數ヲ點檢シタル後全投票函ノ投票ヲ混同スヘシ

選擧長ハ投票ヲ點檢スル間投票ノ表面ヲ上ニシテ把持シ裏面ノ番號ヲ窺視セシムヘカラス

第三十五條　選擧長ハ成ルヘク投票ノ計算ヲ中斷スヘカラス但シ小憩及午後六時ヨリ翌朝九時ニ至ル間ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ト雖選擧長及候補者代理人ノ協定ニ依リ投票計算ヲ繼續スルコトヲ得投票計算中斷ノ間ハ選擧長ハ投票用紙其ノ他選擧ニ關スル一切ノ書類ニ封印ヲ施シ（候補者代理人ノ封印ヲ附加スルヲ妨ケス）其ノ確保ニ必要ナル注意ヲ爲スヘシ

第三十六條　選擧長ハ無效ノ爲除外サル可キ投票ニ「除外」ノ裏書ヲ爲ス可シ

除外決定ニ對シテ候補者代理人ヨリ異議ノ申立アル時ハ「除外」不服申立ノ裏書ヲ附加スヘシ

選擧長ハ左ノ規定ニ從テ除外セラレタル投票ノ數ヲ內大臣秘書官ニ報告スヘシ

一　公印ナキ投票

二　被選擧權無キ者ニ對スル投票

三　投票人ヲ推知セシムル投票

四　記入無キ投票又ハ記入不明瞭ナル投票

前項ノ報告書ハ內大臣秘書官ニ送致スル迄候補者代理人ニ復寫スルコトヲ許可スヘシ

第三十七條　投票ノ計算終了シタルトキハ選擧長ハ算入セラレタル投票ト除外セラレタル投票トヲ別個ノ封包ニ造ル可シ

選擧長ハ提供投票ノ封包、選擧人登錄簿ノ副本及附箋ノ封包ヲ開披スルコトヲ得ス

選擧長ハ候補者代理人ノ面前ニ於テ投票管理者ノ投票用紙計算書ト自己ノ算入セル投票及占有スル不使用投票用紙並汚損投票用紙ノ數及提供投票簿ヲ對照シ點檢ノ後再封印ヲ施スヘシ

選擧長ハ點檢ノ結果ヲ內大臣秘書官ニ報告スヘシ但シ報告以前ニ於テ候補者代理人ニ復寫スルコトヲ許可スヘシ

第三十八條　選擧長ハ自己ノ所有スル總テノ投票用紙ノ封包及各投票管理者ノ送致シタル投票用紙計算書、提供投票簿、附點投票簿、之ニ關スル說明書、讀書不能宣言書、附箋ノ封包、選擧人登錄簿ノ副本ニ夫々內容、年月日、選擧區ヲ記入シタル上前條ノ報告書ト共ニ投票送致ニ關スル現行附屬法令ニ從ヒ之ヲ內大臣秘書官ニ送致スヘシ

現行附屬法令ニ於テ投票書類トハ本條ニ依リテ送致スヘキ一切ノ書類ヲ包含スルモノト看做ス

第三十九條　內大臣秘書官ハ本法ニ依リ選擧長ノ送致セル一切ノ書類ヲ一箇年間保存スヘシ

一箇年經過シタル後ハ衆議院又ハ高等法院ヨリ別段ノ命令無キ限リ之ヲ廢棄スヘシ

第四十條　何人ト雖內大臣秘書官ノ保管スル除外投票ヲ點檢スルコトヲ得ス

但シ投票ニ關シテ公訴ヲ提起シ又ハ維持シ若ハ選擧又ハ當選ニ關シテ請願ヲ爲ス爲其ノ點檢ヲ必要トスル旨ヲ宣誓證明シ衆議院又ハ高等法院ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ點檢命令ヲ發スヘキ條件ハ衆議院又ハ高等法院ノ適當ト認ムル所ニ依ル

內大臣秘書官ハ點檢命令ニ從フコトヲ要ス

法曹院ノ判事ハ本法ニ依リ裁判所ニ賦與セラレタル權能ヲ行使スルコトヲ得

第四十一條　何人ト雖附箋ノ封包ヲ開披シ又ハ內大臣秘書官ノ保管スル點檢濟ノ投票用紙ヲ閲覽スルコトヲ得ス但シ選擧又ハ當選ニ關スル請願ニ基キ衆議院又ハ裁判所ノ許可セル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項但シ書ノ許可ヲ與フ可キ條件ハ衆議院又ハ裁判所之ヲ定ム

前項ノ許可ヲ與フルニ當リ選擧人ノ種類ヲ覺知セシメサルニ必要ナル注意ヲ爲ス可シ但シ裁判所カ其ノ投票ヲ無效ナリト判決シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條　本法ノ定ムル所ニ從ヒ選擧長カ內大臣秘書官ニ送致シタル一切ノ書類ハ投票用紙及附箋ヲ除ク外內大臣秘書官カ衆議院議長ノ同意ヲ得テ定メタル方法ニ從テ公示スヘシ

內大臣秘書官ハ大藏省ノ認可シタル手數料ヲ納付スル者ニ對シ前項書類ノ謄本又ハ抄本ヲ交付スヘシ

第四十三條　內大臣秘書官又ハ其ノ代理者カ裁判所ノ命令ニ基キテ提出シタル選擧書類ハ當該選擧ノ確定的證據トス

提出セラレタル投票用紙ノ封包ニ記載シアル文字ハ其ノ內容ヲ表示スルモノト看做ス

特定ノ選擧ニ使用セラレタルモノトシテ提出セラレタル投票用紙及印刷番號ト記入番號ト同シ附箋アルトキハ其ノ投票用紙使用者カ選擧人登錄簿ニ附箋ト同一番號ヲ附加セルモノト看做ス

一般規定

第四十四條　國會議員ノ當選報告書ハ選擧長カ選擧執行命令書ニ其ノ議員ノ氏名ヲ記入自署シテ作製ス

前項ノ證書ハ現行法上ノ報告書ト同一效力ヲ有ス

選擧長必要ト認ムルトキハ前項ノ證書ヲ選擧地ノ主要ナル郵便局ノ局長又ハ其ノ代理人ニ送付シ之ニ對スル受領證書ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ局長又ハ其ノ代理人ハ此證書ヲ「選擧執行命令及當選報告」ト表記セル封筒ニ入レ無料郵便ノ第一便ヲ以テ内大臣祕書官ニ送致スヘシ

第四十五條　選擧長ハ速ニ當選議員ノ氏名ヲ公示シ投票方法ニ依リタル場合ハ各候補者ノ得票數ヲモ併セテ公示スヘシ

第四十六條　本法ニ依リ選擧長カ公告ヲ爲ス權利ヲ得義務ヲ負フ場合ハ新聞紙揭示引札其ノ他選擧人ニ告知スルニ適當ナル方法ヲ以テ之ヲ爲ス可シ

第四十七條　選擧長ハ便宜投票所ヲ管理スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ投票管理者ニ關スル規定ハ必要ナル修正ヲ加ヘ選擧長ニ之ヲ準用ス

第四十八條　投票ヲ行フ可キ場合ハ選擧長ハ投票計算ヲ補助セシムル爲書記ノ外仍適當ナル者ヲ選任スルコトヲ得

第四十九條　選擧ニ關シ既ニ他人ノ爲ニ傭ハレタル者ハ同一選擧ニ於テ前條ノ受任者タルコトヲ得ス

第五十條　投票管理者ハ補助ノ書記ヲシテ本法ニ依ル自己ノ權利義務ヲ行使又ハ履行セシムルコトヲ得但シ他人ヲ逮捕シ又ハ投票所外ニ退去セシムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條　候補者ハ自ラ其ノ代理人ノ義務ヲ履行シ又ハ履行ヲ助ケ且本法ニ依リ代理人カ立會ヒ得ル場所ニ出席スルコトヲ得

第五十二條　開票ニ立會フ候補者代理人ハ其ノ住所氏名ヲ投票期日ヨリ少クトモ一日前ニ選擧長ニ通知スヘシ

選擧長ハ前項ノ通知ヲ爲ササリシ候補者代理人ノ開票所ニ入ルコトヲ拒絶スル權ヲ有ス

選擧長カ候補者代理人ニ書面ヲ送達スヘキ場合ハ第一項ノ住所ニ向テ發スルコトヲ得

第五十三條　投票所又ハ開票所ニ立會フ可キ候補者代理人カ死亡其ノ他ノ事由ニ因リ其ノ事務ヲ行フコト能ハサルニ至リタルトキハ候補者ハ更ニ他ノ代理人ヲ選任スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ新ニ選任セラレタル代理人ノ住所氏名ハ直ニ書面ヲ以テ選擧長ニ通知スヘシ

第五十四條　選擧長其ノ他投票所又ハ開票所ニ立會フ可キ者ハ投票開始前祕密ヲ守ル旨ノ宣誓ヲ爲ス義務ヲ負フ

宣誓ヲ爲ス可キ者カ選擧長ナルトキハ保安官若シ其ノ他ノ者ナルトキハ保安官又ハ選擧長ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス可シ

宣誓ハ第一項ノ場合ニ爲スヲ以テ足ル

第五十五條　本法ニ於テ候補者代理人ノ立會ヲ以テ爲ストハ其ノ者カ立會フ權利ヲ有シ現ニ立會ヒタル場合ヲ謂フ

候補者代理人不立會ノ效力ハ溯及セス

第五十六條　本法ニ從ヒ期間ヲ計算スヘキ場合ハ日曜日大祭日（降誕及受難日）其ノ他ノ休日（公共ノ精進日及感謝日）ヲ除外ス

前項ニ該當スル日ニ爲ス可キ行爲ハ之ヲ其ノ翌日ニ於テ爲スヘシ

第五十七條　本法ニ於テ特別市トハ「モンマウス」市及ウキリアム第四世即位第二年乃至第三年法律第四十五號「イングランド、ウエールス人民代表修正ノ件」附則Eニ列擧セラレタル市ヲ謂フ

本法ニ於テ投票地（Polling place）トハ市代表議員選擧ノ場合ニ於テハ其ノ市又ハ法令ニ依リ投票所ヲ設クル市ノ區劃ヲ謂フ

本法ニ於テ候補者代理人トハ投票所ニ關スル場合ニ付テハ現ヴイクトリア女皇即位第六年乃至第七年法律第十八號第八十五條ニ從ヒ選任セラレタルモノヲ謂フ

附則第一章ヲ「スコツトランド」ニ適用スル場合ノ特例

第五十八條　「スコツトランド」ニ於テハ本法ノ成立前ト雖選擧執行命令ノ發セラル可キ市内ノ適當ナル房屋ヲ以テ選擧場ニ充ツ

第五十九條　「スコツトランド」ニ於テハ各候補者ハ投票所ニ立會ハシムル爲代理人ヲ選任スルコトヲ得投票用紙及内大臣祕書官ニ依リテ保管セラルヘキ當選報告書以外ノ書類ハ「スコツトランド」ニ於テハ區裁判所書記ニ依リテ保管セラル

内大臣祕書官ニ關スル規定ハ區裁判所書記之ヲ準用ス

第六十條　「スコツトランド」ニ於テ特別市トハウヰリアム第四世即位第二年乃至第三年法律第六十五號「スコツトランド人民代表修正ノ件」附則E及一八六八年「スコツトランド人民代表法」附則Aニ列擧セラレタル市ヲ謂フ

第六十一條　ウヰリアム第四世即位第二年乃至第三年法律第六十五號「スコツトランド人民代表法修正ノ件」ノ規定ハ選擧期日ノ指定、告示、選擧執行命令ヲ受ケタル日ヨリ選擧ノ期日ニ至ル間ノ猶豫期間「オルクネー」及「セツトランド」ニ付又ハ「キルクウオル」「ウヰツク」「ドルノツク」「テイングオール」「テーン」「クロマルテイ」ヨリ成ル地域ニ付投票ヲ行フ場合ノ延期々間「オルクネー」及「セツトランド」ニ於ケル二日間ノ投票繼續ニ關スル限リ本法其ノ他ノ現行法令ニ拘ラス其ノ效力ヲ存續ス

前項ノ地域ハ本法ノ定メタル權利ヲ失ヒ又ハ義務ヲ免ルルコトナシ

附則第一章ヲ「アイルランド」ニ適用スル場合ノ特例

第六十二條　第一附則ニ於ケル内大臣祕書官ハ「アイルランド」ニ在リテハ尙書祕書官（Clerk of the Crown and Hanaper）

ニ設クス

第六十三條　郡代表議員選擧ニ於テ投票ニ立會フ可キ投票管理者ハ不動產所有者（Freeholder）タルコトヲ要セス

第三章　市會議員選擧規則（省略）

第二　附則

本則中必ス準據スヘキ書式及成ルヘク準據スヘキ書式ハ之ニ關スル總テノ場合ニ通ス

國會議員選擧執行命令

聯合國王ニシテ信徒擁護者タル朕ジョージハ天祐ニヨリ何郡（市）長（選擧長）ニ宣ス

朕樞密院ノ上奏ニ從ヒ來ル何月何日「ウエストミンスター」ニ國會ヲ召集ス

仍テ選擧ノ期日及場所ヲ告示シテ何郡（市）代表議員ノ選擧ヲ執行シ當選議員ノ氏名ハ當選ノ諾否ニ拘ラス遲滯ナク內大臣府ニ報告スヘシ

紀元何年即位第何年何月何日

ウエストミンスターニ於テ

御名御璽

選擧執行命令ノ裏紙

何郡（市）代表議員選擧執行命令

選擧執行命令ノ末尾

此ノ命令ハ何月何日之ヲ受領シタリ

郡（市）長何某署名

選擧執行命令ニ裏書セル當選報告書

表記選擧執行命令ニ從ヒ選擧ヲ行ヒタル所甲區ニ於テ何某乙區ニ於テ何某當選セリ仍テ茲ニ之ヲ證ス

郡（市）長何某署名

選擧執行命令ハ各選擧區每ニ一通ヲ發ス

國會議員選擧公告ノ樣式

何郡市ノ選擧長ハ來ル何月何日何時ヨリ何時ニ至ル間何所ニ於テ何郡市代表議員ノ指名ヲ行ヒ且競爭選擧ト爲ラサル場合ハ當選人ヲ定ム

指名書式ハ何月何日何時ヨリ何時ニ至ル間ニ之ヲ交付ス

指名書ニハ推薦者トシテ登錄選擧人二名指名同意者トシテ登錄選擧人八名ノ署名アルコトヲ要ス

指名書ハ指名サレタル候補者又ハ其ノ推薦者ヨリ何月何日何所ニ於テ選擧長ニ提出セラル可シ

指名サレタル候補者推薦者及候補者ノ選任セル者一名ノ外選擧場ニ入ルコトヲ得ス

指名方法ニ依リテ決セサル時ハ何月何日投票ヲ行フ

何　月　何　日

郡（市）長何某署名

選擧ニ際シ賄賂饗應脅迫詐稱其ノ他ノ不正行爲ヲ爲シタル者ハ一八五四年不正行爲豫防法一八八三年不正違法行爲豫防法一八七二年投票法及修正法令ニ定メタル罰則ニ依リ處斷セラル

國會議員選擧ニ於ケル指名書ノ樣式

私共儀何區選擧人ニ候處左記ノ者ヲ何郡（市）代表國會議員タルニ適當ナル者トシテ指名致候也

氏	名	住所	職業
安藤	一郎		
伊藤	二郎		
宇野	三郎		
江島	四郎		

何某署名

何某署名

私共儀何區登錄選擧人ニ候處右記ノ者ヲ何區代表國會議員トシテ指名スルコトニ同意致候也

何某署名

何某署名

何某署名

何某署名

何某署名

何某署名

何某署名

投票用紙ノ樣式

（表面）

附箋第何番	1	安藤 一郎 住所　職業	
	2	伊藤 二郎 住所　職業	
	3	宇野 三郎 住所　職業	
	4	江島 四郎 住所　職業	

附箋ノ番號ハ投票用紙裏面ノ番號ト同一ナルヘシ

（裏面）

第何番

何郡（市）代表議員選擧

何年何月何日

裏面ノ番號ハ附箋ノ番號ト同一ナルヘシ

投票用紙印刷ニ關スル注意

本則ニ記載セサル事項ヲ印刷スヘカラス

候補者ノ氏（氏ヲ同シクスル者二人以上アルトキハ名）ハ大文字

ニテ名、住所、職業投票用紙裏面ノ番號ハ小文字ニテ印刷スヘシ

投票人ニ對スル注意書ノ樣式

（注意書ハ大文字ニテ明瞭ニ印刷シ各投票所ノ戸外及投票所内ノ投票記載所ニ揭示スヘシ）

一　投票人ハ何某何某何某ノ候補者ニ投票スルコトヲ得

二　投票人ハ投票記載所ニ入リ備付ノ鉛筆ヲ以テ自己ノ投票セントスル候補者ノ氏名ノ右側ニ×印ヲ附スヘシ

三　投票人ハ投票用紙ヲ折疊ミ裏面ノ公印ヲ外ニスヘシ

四　投票記載所ヲ出テ投票用紙ノ表面ヲ何人ニモ示スコトナク裏面ノ公印ノミヲ投票管理者ニ示シ其ノ面前ニテ投票函ニ投入シ直ニ投票所ヲ退去ス可シ

五　誤テ投票用紙ヲ汚損シタルトキハ之ヲ投票管理者ニ返還シ其ノ引換ヲ請求スルコトヲ得

六　投票人カ被選擧權ヲ有スル候補者以外ノ者ニ投票シ又ハ投票人ヲ推知セシム可キ符號ヲ記入シタルトキハ其ノ投票ヲ無數トシテ算入セス

七　投票人カ投票用紙ヲ投票所外ニ持出シ又ハ投票管理者ヨリ交付セラレタル用紙以外ノ紙片ヲ投函スルトキハ六月以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラル可シ

（右注意書ハ投票用紙ヲ以テ圖解スヘシ）

祕密保持宣言樣式

當選擧ニ於テ唯今讀聞ケラレタル一八七二年投票法第四條ノ禁止事項ヲ嚴守スヘキコトヲ宣誓ス

（宣誓ヲ命スル者ハ同條ヲ讀聞カスヘシ）

讀書不能宣言ノ樣式

私儀何郡（市）ノ第何番登錄選擧人ニ候處讀書不能ナルコト實正也

何年何月何日

何　某捺印

當郡（市）ノ第何番投票所ノ管理者ハ右宣言書ヲ何某ニ讀聞カセ直ニ捺印セシメタリ

何年何月何日

何郡（市）第何番投票所

管理者　何　某署名

第三　附則

本法第三章ニ引用セラレタル登錄ニ關スル法規左ノ如シ

議決番號	ヴイクトリア女皇即位第六年乃至第七年法律第十八號
名稱	選擧權登錄方法ヲ修正シ選擧權行使ノ範圍及イングランド、ウエールスニ於ケル議員選擧手續ヲ定ムル件
適用部分	第八十五條乃至第八十九條

ヴイクトリヤ王朝第五十八及五十九議會第四十章

一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法修正ノ法律

「一八九五年七月六日」

女皇陛下ハ茲ニ召集セラレタル議會ノ僧官及非僧官貴族院議員及庶民院議員ノ勸告ニ依リ及其ノ承諾ヲ得テ此ノ議會ノ權威ニ依リ次ノ如ク制定ス

（候補者ニ關スル虛僞ノ聲明書ハ不法行爲タルコト。ヴイクトリア第四十六及四十七議會第五十一章）

（一）個人ハ團體若ハ社團法人ノ監理者ニシテ國會議員選擧以前或ハ其ノ選擧施行中ニ於テ其ノ選擧ニ於ケル一候補者ノ選擧報告ニ影響ヲ及ボスノ目的ヲ以テ其ノ候補者ノ個人的人格或ハ行爲ニ關シテ虛僞ノ聲明書ヲ作成シ又ハ發表スル者ハ一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法ノ規定ニ所謂不法行爲ヲ犯セル者トシテ該法中ノ不法行爲及其ノ犯行ノ結果ニ對シテ課セラレタル總テノ處罰ヲ受クヘシ而シテ該法ハ此ノ法ノ規定スル不法行爲ヲ含メルガ如ク修正セラレタルモノト見做サル

（該法ニ依ル告發管理ニ於ケル證據）

（二）何人ト雖モ自己ノ作成セル聲明書ヲ眞實ナリト信ズ可キ相當ノ理由ヲ有シ且眞實ナリト信ジタル事ヲ證明シ得ル者ハ斯ノ如キ不法行爲ノ罰ニ問ハルヽコト無シ

此ノ法律ニ依ル犯罪ヲ告發セラレタル者及各場合ニ依リ斯ノ如キモノヽ夫又ハ妻ハ斯ノ如キ告發ニ對シテ註（O）證據ヲ提供スルコトヲ得

（虛僞ノ聲明書作成者ニ對スル禁止命令）

（三）上述ノ如ク虛僞ノ聲明書ヲ作成シ又ハ發表シタル者ハ高等裁判所ノ一時的或ハ終身的禁止命令ニ依リテ斯ノ如キ候補者ニ關スル斯ノ如キ虛僞ノ聲明又ハ同樣ナル虛僞ノ聲明ヲ反覆スルコトヲ禁止セラル而シテ一時的禁止命令ヲ發スル爲ニハ一見明白ナル虛僞ノ聲明タル證據ヲ存スルヲ以テ足ル

（候補者ハ代理人ニ依ル不法行爲ノ或ル場合ニ於テ免罪サル）

（四）選擧代理人ニ非ザル代理人註（P）ニ依テ犯サレタル此ノ法律ニ據ル不法行爲ハ候補者又ハ其ノ選擧代理人ガ斯ノ如キ他ノ代理人ニ依ル斯ノ如キ不法行爲ノ犯行ヲ委任又ハ承認シ或ハ不法行爲ヲ構成スル虛僞ノ聲明書ノ流布ノ爲ニ支拂ヒヲ爲シタルコトガ證明セラレ又ハ選擧裁判所ガ選擧請願ヲ審理シテ斯ノ如キ候補者ノ選擧ガ斯ノ如キ虛僞ノ聲明書ノ作成或ハ公表ノ結果トシテ行ハレ又ハ著シク援助セラレタルコトヲ認メテ報知スルニ非ザレバ候補者ハ何等責任ヲ負ヒ又ハ無資格ニセラレルコトナク其ノ選擧ハ無效タルコト無シ

（略稱）

（五）此ノ法律ハ一八九五年腐敗及ビ不法行爲防止法トシテ引用サレ一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法ト共ニ解釋セラル可キモノニシテ彼ノ法律ト此ノ法律トハ一八八三年及一八九五年ノ腐敗及不法行爲防止法トシテ共ニ引用サルベシ

註（O）ヴイクトリア王朝第四十六及四十七議會五十一章五十二項（２）ノ前部及同六十一及六十二議會第三十六章

註（P）又ハ副代理人ヴイクトリア王朝第四十六及四十七議會

第二十五項(2)ノ前部及五項ノ下文

エドワード七世第八議會第六十六章

一九〇八年公會法

「一九〇八年十二月二十一日」

（公會ニ於テ暴行ヲ爲ス者ニ對スル刑罰。ヴィクトリア王朝第四十六及四十七議會第五十一章）

(一)(イ) 合法ニ行ハレタル公會ニ於テ其ノ集合ノ目的タル事務ノ處理ヲ妨ゲル爲ニ暴行ヲ爲ス者ハ有罪トス若シ其ノ犯行ガ國會議員選擧區ニ於テ其ノ選擧區ノ國會議員ノ選擧報告請求令狀發行日ト斯ノ如キ令狀ニ對スル選擧報告書作成日トノ間ニ開催セラレタル政治的集會ニ於テ爲サレタル場合ニ於テハ其者ハ一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法ニ所謂不法行爲ノ罪アル者トシ其ノ他ノ場合ニ於テハ即決罪ニ依リ五ポンドヲ超エザル科料又ハ一月ヲ超エザル禁錮ニ處セラルベシ

(ロ) 他人ヲ煽動シテ此ノ項ニ規定スル罪ヲ犯サシムル者ハ同様ノ刑ニ處セラルベシ

(二) 此ノ法律ハ一九〇八年ノ公會法トシテ引用セラル可シ

ジョージ五世第三及四議會第六章

一九一三年ノ投票時間延長法

（時間延長法。ヴィクトリア王朝第四十八及四十九議會第十章）

(一)(イ) 國會議員選擧ニ於ケル候補者又ハ候補者代理人ガ指名期間又ハ爾後一時間内ニ選擧管理者ニ屆書ヲ提出シテ其選擧ニ於ケル投票場ヲ

(a) 午前七時ニ開クコト或ハ

(b) 午後九時迄開クコト或ハ

(c) 午前七時ニ開キ午後九時迄開クコトヲ希望スル場合ニ於テハ一八八五年ノ選擧(投票時間)法ハ其ノ選擧ニ關スル限リ斯ノ如ク屆書ニ指定セラレタル投票場開始或ハ閉鎖時間ガ該法ニ明記セラレタル開始閉鎖時間タル午前八時又ハ午後八時ト代ヘラレタル如ク各場合ニ應ジテ解釋サルベシ

（ヴィクトリア王朝第三十五及三十六議會第三十三章）

(ロ) 此ノ法律ニ於ケル投票時間延長ノ公告ヲ爲ス目的ノ爲ニ一八七二年ノ無記名投票法ノ第一別表第九段ハ此ノ法律ノ適用サルル選擧ニ關シテ投票ノ行ハレ又ハ行ハル可キ日ニ關スル規定(References)ガ投票ノ開始又ハ閉鎖ニ關スル時間ニ關スル規定ヲ包含スルモノトシテ之ヲ解釋ス可キモノトス

(ハ) 本項ニ於ケル候補者ノ屆出ハ若シ其ノ候補者ガ一八七二年ノ無記名投票法ノ規定ニ依リ撤回セラレ又ハ撤回セラレタルモノト看做スベキ時ハ此ノ目的ニ對シ無效タル可シ

(二) 此ノ項ニ於テ——

「代理人」ナル語ハ一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法ニ所謂選擧代理人ヲ意味ス

（ヴィクトリア王朝第四十六及四十七議會第五十章）

「指名期間」ナル語ハ一八七二年無記名投票法ニ所謂選擧ノ爲ニ指定セラレタル期間ヲ意味ス

（略稱）

(三) 此ノ法律ハ一九一三年ノ投票時間延長法トシテ引用サルル可シ

ジョージ五世第八議會第六十四章

一九一八年ノ國民代表法

國會並ニ地方議會ニ關スル選擧權、選擧人登錄及ビ選擧管理ニ關スル法律ヲ修正シ國會議員選擧ニ於ケル議席ノ再配分及此ニ關係アル他ノ事項ヲ規定スル法律

「一九一八年二月六日」

第一

（現役ニアル者ノ爲ノ特別規定）

(五)(イ) 本章ノ適用ヲ受クル個人(此ノ法律ニテハ「陸海軍投票者」ト指稱スル者)ハ本章ニ規定セラルル職業ノ故ニ非ザレバ必要ナル資格ヲ持ツベカリシ選擧區ノ國會議員選擧人トシテ登錄サルル資格ヲ有ス

(ロ) 本章ハ此ノ法律ノ下ニ要求セラレタル年齡ニ達シ且何等法律上ノ無能力ニ屬セザル次ノ者ニ之ヲ適用ス而シテ

(I) 皇帝ノ海、陸、空軍ノ何レカノ一員トシテ現役俸ヲ受ケ勤務スル者又ハ

(II) 皇帝ノ爲ス戰爭ニ關聯シテ外國或ハ海上ニアリ而シテ

(a) 國會ノ規定セル基金或ハ(其ノ者ガ就職ノ當時英國ニ居住セル場合) 皇帝ノ領土ノ一部ノ公金ヨリ支出サルル俸給ヲ受ケ海軍或ハ陸軍ノ勤務ニ服シ或ハ商船々員、水先案内又ハ漁夫トシテ服務スル者及商船漁船ノ船長及ビ斯ノ如キ船舶ノ見習生

(b) 英國赤十字社或ハ英國ニ於ケル聖ジョンエルサレム騎士團又ハ斯ノ如キ目的ヲ有スル他ノ團體ノ事務ニ從事スル者或ハ

(c) 海軍省、軍事參議院或ハ航空會議ニ依テ戰爭ニ關シテ國家的重大ナル事務トシテ承認セラレタル事務ニ從事スル者

ニ適用ス

（投票登錄セラレタル者ノ權利）

(八)(イ) 一選擧區ノ國會議員選擧人トシテ登錄セラレタル者ハ選擧人トシテ登錄セラレタル限リ(而シテ婦人ノ場合ニ於テハ其ノ未婚既婚ヲ問ハズ) 其ノ選擧區ヲ代表スル議員ヲ選擧スル資格ヲ有ス然シテ男子ハ總選擧ニ於テ居住資格ニ依リテ登錄セラレタル一選擧區以上又ハ如何ナル他ノ資格ニ依ルモ其レニ依リテ登錄セラレタル一選擧區以上ニ投票スルヲ得ズ婦人ハ總選擧ニ於テ自己及ソノ夫ノ地方的政治資格ニ依リテ登錄セラレタル一選擧區以上又ハ他ノ資格ニ於テ登錄セラレタル一選擧區以上ニ投票スルヲ得ズ

(ハ) 現職ノ故ニ非ザレバ有スベカリシ資格ノ爲ニ登錄セラレタル海、陸軍投票者ハ本章ノ目的ノ爲ニ其資格ニ依テ登錄セラレタルモノト見做サル可シ

（資格剝奪ニ關スル規定）

(九)(イ) 自己及自己カ生活維持ノ責任ヲ有ス可キモノガ貧民救濟或ハ他ノ施物ヲ受ケタルコトヲ以テ國會或ハ地方政治選擧人トシテ登錄セラレ又ハ投票スル資格ヲ失フコトナシ

(ハ) 英國ノ臣民ニ非ザル者ハ國會又ハ地方政治選擧人トシテ

登錄セラレ又ハ投票スル資格ヲ有セズ而シテ此ノ法律ニ明白ナル規定ナキ限リ國會又ハ地方政治選擧人トシテ登錄セラレ又ハ投票スル法律上ノ無資格者ニ登錄セラレ又ハ投票スル權利ヲ與フルコトナシ

（ニ）國會或ハ地方政治選擧ニ於テ一候補者ニ依リ又ハ其ノ爲ニ賃銀ヲ以テ雇傭セラルル場合該雇傭ガ合法タル限リ國會又ハ地方政治選擧人トシテ選擧ニ投票スル資格ヲ剝奪セラレズ

（ホ）貴族ガ貴族トシテノ地位ニ基ク選擧ニ於ケル投票ノ無資格ハ自身ニ權利ヲ有スル貴族夫人ニ及ボサズ

第二

登　錄

（自由民ノ登錄ニ關スル特別規定）

（十七）（イ）「ロンドン」同業組合會員ニシテ「ロンドン」市內ニ於ケル事務所資格ニ關シテ國會議員選擧人トシテ登錄サルル資格ヲ有スル「ロンドン」市ノ自由民ハ自己ガ適當ト思料スルトキハ國會議員選擧人ノ登錄簿ノ同業組合員ノ別表ニ記入セラレ其ノ國會投票ヲ同業組合員ノ投票トシテ記錄セラルル權利ヲ有ス

（ロ）上記ノ規定ハ市會ノ決議ヲ經ルトキハ何レノ市邑ノ自由民ニモ適用ス而シテ「自由民」ナル語ハ名稱ノ如何ヲ問ハズ其ノ市邑ニ於テ「ロンドン」ノ自由民ガ「ロンドン」市ニ於テ享有スルト同ジ權利ヲ享有スル者ヲ含ム

第三

選擧ノ方法及費用

（ハ）（或大學選擧區及選擇計畫ノ承認サレタル他ノ或ル選擧區ニ於ケル比例代表）

（二十）（イ）二名若クハ三名ノ議員ノ選擧セラル可キ大學選擧區ノ競爭選擧ニ於テ全議員ノ選擧ハ比例代表ノ原則ニ據リ而テ各選擧人ハ此ノ法律ノ規定スル如ク移讓サルベキ一票ヲ有ス

（ロ）（a）皇帝陛下ハ、此ノ法律ノ通過後可及的速ニ總選擧ニ於テ可及的百名近クノ庶民院ニ屬スベキ委員ガ英國內ノ三名以上ノ議員ヲ選擧スル選擧區ノ爲ニ比例代表ノ原則ニ據テ選出サルル計畫ヲ樹立スル委員ヲ任命サル可シ

（b）此ノ法律ニ依リ定メラレタル庶民院議員ノ定數ハ斯ノ如キ計畫ニ依テ增加セラルルコトナシ斯ノ如キ計畫ヲ樹立スル爲ニ委員ハ（必要ナリト思料スル地方調査ヲ爲セル後）其選擧ニ依リ此ノ法律ノ第九別表ノ選擧區トシテ規定セラレタル區域ニシテ其選擧ニ依リ三名以上七名以下ノ議員ヲ選出スル單獨選擧區ニ併合スベシ但シ此等ノ區域ヲ選擇スルニ當テ市邑竝ニ地方ニ比例代表ノ原則ヲ適用スルニ就テノ可否ニ注意ヲ拂フ可シ

（c）委員ニ依テ提案サレタル計畫ハ議會ノ兩院ニ提出サレ兩院ガ決議ニ依テ其ノ計畫ヲ採用スル時ハ其ノ計畫ハ兩院ノ協贊ヲ經タル修正或ハ附加ト共ニ此ノ法律中ニ制定セラレタルト同樣ノ效力ヲ有シ其ノ計畫ニ依テ定メラレタル選擧區ハ必要ナル限リ此ノ法律ノ第九別表ニ依テ定メラレタル選擧區ト同等ノ效力ヲ有ス

（d）此ノ如キ選擧區ニ於ケル全議員ノ競爭選擧ハ比例代表ノ原則ニ據リ各選擧人ハ此ノ法律ニ規定セラレタル如ク移讓サルベキ一票ヲ有ス

（e）皇帝陛下ハ勅令ニ依リ該計畫ノ採用ノ結果必要ト思料スルトキハ登錄或ハ選擧ノ機關ニ關スル此法律ノ規定ヲ變更スルコトヲ得

（ロ）（ヴィクトリア王朝第三十五及三十六議會第三十三章）

（ハ）皇帝陛下ハ勅令ニ依リ移讓投票ノ原則ニ據ル選擧ノ投票方法及投票ノ移讓及計算ヲ規定シ一八七二年ノ無記名投票法ノ規定及國會議員選擧ニ關係アル他ノ法律ノ適用及其レニ關聯セル選擧管理者ノ義務ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得、然シテ斯ノ如キ規定ハ此ノ法律中ニ制定セラレタルト同樣ノ效力ヲ有ス

（ニ）此ノ法律ハ其規定中明白ナル規定無キ限リ此ノ法律通過ノ當時施行サルル國會議員選擧ノ執行方法ニ對シ何等影響ヲ及サズ

（ロ）（總選擧投票ハ一日ニ行ハル等）

（二十一）（イ）總選擧ニ於テ總テノ投票ハ一日ニ行ハレ、指名受付ノ指定日ハ全選擧區ヲ通ジテ同一ニシテ從テ一八七二年ノ無記名投票法ノ第一別表ハ此ノ法律ノ第二別表（註8）ノ第一ニ示サレタルガ如ク修正ス補缺選擧ノ場合投票ハ選擧管理者ノ指定スル日ニシテ候補者指名日ト定メラレタル日ヨリ滿四日以上八日以下ヲ經タル時ニ行ハレ一八七二年無記名投票法ノ第一別表ハ從テ修正サル

（ロ）國會議員選擧ノ爲ニ發セラレタル令狀ノ公電報ハ樞密院ニ於ケル皇帝陛下ノ命ズル場合及人々ニ依テ與ヘラレ令狀受理ニ依リ或ハ其レニ次イデ爲サル可キ選擧施行ノ手續ハ發セラレタル令狀ノ公電報ヲ受理シタル時或ハ其ノ後ニ行ハルベシ

（ハ）國會集合ノ時期ハ國會召集ノ宣言ヨリ滿二十日以上ヲ經ルヲ要ス而シテ一八五二年ノ國會集合法ハ玆ニ廢止セラル

（ニ）本章ハ

（ヴィクトリア王朝第十五及十六議會第二十三章）

（a）一候補者ノ死亡ニ因ル選擧手續ノ更新ニ關スル一八七二年ノ無記名投票法第一項ノ規定ニ影響セズ又更新セラレタル手續ニ適用セズ又ハ

（b）大學選擧ニ適用セズ

（總選擧ニ於テ許可セラレタル以上ノ選擧區ニテ投票スル者ノ刑罰）

（二十二）（イ）何人モ總選擧ニ於テ此ノ法律ニ依テ投票權ヲ與ヘラレタル以上ノ選擧區ノ爲ニ投票シ又ハ其ノ目的ノ爲ニ投票用紙ヲ請求スル者ハ一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法ニ所謂不法行爲ヲ犯セル者トス「不法行爲」ナル語モ其ニ從テ解釋サルベシ

（ヴィクトリア王朝第四十六及四十七議會第五十一章）

（a）此ノ項ニヨリ有罪判決ヲナス裁判所ハ其ノ事件ノ特別事情ニ照シテ正當ト考フル時ハ一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法ノ第十項ニヨリ課セラレタル無資格ヲ輕減シ或ハ全ク免除スルヲ得而シテ

（b）一八七二年無記名投票法ノ第一別表第一ノ第二十七規則ニ從テ與ヘラレタル投票紙ニ單ニ記號ヲ以テ指示スル權利ヲ與ヘラルル事情ノ下ニ一選擧區ニテ投票紙ヲ請求シタル事實ハ該權利

ヲ行使セザル場合ハ他ノ選擧區ニ於ケル投票或ハ投票紙ノ請求ヲ妨ゲズ而シテ

（c）投票ガ同數ノ場合一八七二年ノ無記名投票法第二項ニ從テ選擧管理者ガ一票ヲ與ヘ又ハ此ノ投票ノ目的ノタメ投票紙ヲ請求スルコトハ此ノ項ノ目的ノ爲ニハ國會議員選擧人トシテ投票ヲ與フルコト又ハ其ノ投票ノ爲ニ無記名投票紙ヲ請求スルコトト見做サレズ

註（g）現在ノ庶民代表法一九二〇年ジョージ五世第十及十一議會第三十五章三項ヲ見ヨ

（ロ）既ニ公定セラレタル尋問ノ外此ノ法律ノ第二別表第二ニ示サレタル尋問ハ總選擧ノ投票場ニテ如何ナル投票者ヨリモ聽取スルコトヲ得而シテ否定的回答ガ與ヘラレザル限リ其ノ者ハ（其ノ表ニ規定無キ限リ）投票スルヲ得ズ

（二十三）（イ）不在投票者名簿ニ記載セラレタル者ニ國會議員選擧（大學選擧以外）ノ投票スル機會ヲ與フル爲競爭選擧ノ行ハルル處ニ於テハ選擧管理者ハ無記名投票用紙ヲ選擧延期後可及的速ニ登錄官ニ依テ記錄サレタル各自ノ住所ニ宛テテ規定ノ形式ニ依ル身分宣言ヲ添付シテ送付スベシ

（ロ）不在投票者ニ依テ記入サレ正當ニ調印且認識セラレタル身分宣言書ヲ添付セラレタル無記名投票用紙ハ投票場ノ閉鎖以前ニ選擧管理者ニ依テ受理セラルルトキハ投票ノ計算及其他總テノ點ニ於テ普通ノ方法ニテ投票函ニ投セラレタル投票紙同樣ニ取扱ハルベシ

（ハ）（ジョージ五世ノ第十及十一議會第三十五章タル一九二〇年ノ國民代表（第二）法第一項ニ依テ廢止セラル）

（ニ）註（I）不在投票者名簿ニ記載セラレ國會議員選擧ノ時海上或ハ英國外ニ居住スル見込ナルコトヲ規定ノ形式ニテ證明シ其ノ聲明ノ信實ニ就テ登錄官ヲ滿足セシムル者ハ其ノ希望ニ依テ此ノ法律ノ規定ニ從ヒ及其ノ制限ヲ受ケテ代理人ヲ任命シ或ハ代理權ニ依テ投票スル代理人ヲ任命スルコトヲ得

無記名投票用紙ハ此ノ規定ニ依リ代理ヲ任命シ其ノ任命ガ有效期間中ニアル者及ビ登錄官ニ依テ記錄セラレタル住所ガ英國內ニ在ルモノニ非ザレバ郵便投票ノ目的ヲ以テ送付サルルヲ得ズ

此ノ法律ノ第三別表ニ示サレタル規定ハ代理人ニ依ル投票ニ關シテ效力ヲ有ス

（ホ）不在投票者名簿ニ記載セラレタル者ハ本項ニ據ル不在投票者トシテノミ投票スル資格ヲ有ス

（ヘ）皇帝陛下ハ勅令ニ依リ本項ノ目的ニ用ヒラルル樣式ヲ規定シ委任狀ノ提出、取消及投票用紙ヲ郵便投票ノ爲ニ投票者ニ送付スル方法及記入投票紙ノ認證ニ關シ及一般ニ本項ヲ施行スル爲竝ニ此ニ關スル投票ノ祕密ヲ維持スル爲ニ必要ナル諸規定ヲ設クルコトヲ得

（二十四）一選擧區ノ投票者（大學選擧區以外ノ）ガ其ノ選擧區ノ選擧管理者ニ依テ其ノ選擧區ノ選擧ニ關スル目的ノ爲ニ雇傭サレ且其ノ投票者ノ事務ノ性質ガ選擧管理者ノ見解ニ依レバ該雇傭ノ故ニ非ザレバ投票スベキ投票場ニ於テ投票スルコトヲ妨グルモノナルトキハ選擧管理者ハ規定ノ形式ニ依ル證明書ヲ與ヘ其ノ選擧區ノ他ノ投票ニ於テ投票スルコトヲ許可スルコトヲ得其ノ場合其投票場ハ一八七二年ノ無記名投票法第一別表第一ノ規則十八ノ目的ニ對シテ該選擧者ニ割リ宛テラレタル選擧場ト見做サルベシ

（小學校使用ノ權利）

（二十五）（イ）國會議員選擧ニ於ケル議員（大學選擧以外ノ）ハ其候補者資格促進ノ爲公會ヲ開ク目的ヲ以テ選擧令狀受理日ト投票日トノ間ノ適當ナル時期ニ於テ自己ノ立候補セル選擧區內ノ公立小學校ノ適當ナル室ヲ使用スル權利ヲ有ス

然レトモ法律ハ個人ノ住宅ノ一部トシテ使用サルル室ノ使用ヲ許サズ又小學校或ハ夜學校ノ授業時間ヲ妨グルコトヲ許サザルモノトス

（ロ）其ノ集會以前ニ爲ス準備及集會後ノ授業目的ノ爲及暖房燈火淸潔等室ノ準備ニ關シ地方學務當局又ハ學校管理者ニ依テ濟發セラレタル實費及必要ト認ムベキ費用ハ之ヲ賠償スベシ

（ハ）此ノ法律ニ依ル室ノ使用ノ爲校舍、裝具、附屬具、器具、等ノ損傷セラルル場合其ノ損傷ハ集會ヲ爲シタル者又ハ自己ノ利益ノ爲ニ集會ヲ爲シタルモノ之ヲ賠償スベシ

（註）（I）此ノ規定ハ一九二〇年ノ國會代表（第二）ジョージ五世第十及十一議會第三十五章二項（1）ニ代ヘラル

（國會選擧ニ於ケル候補者供託金）

（二十六）（イ）國會議員選擧ノ候補者又ハ其ノ利益ヲ代表スル者ハ選擧ニ指定セラレタル期間內ニ百五十ポンドノ金額ヲ選擧管理者ニ供託シ或ハ供託セシムルヲ要ス而シテ若シ是ヲ爲サザレバ該候補者ハ一八七二年ノ無記名投票法ノ範圍內ニテ撤回セラレタルモノト見做サルベシ

（ロ）供託金ハ法貨ヲ以テ之ヲ爲スカ又ハ選擧管理者ノ承諾ヲ得テ他ノ方法ニ依リテ之ヲ爲スベシ

（ハ）供託金納付後候補者ガ一八七二年ノ無記名投票法ノ規定ニ從テ撤回セラルル時ハ其ノ供託金ハ供託セル者ニ返還サルベシ而シテ若シ候補者ガ供託後投票開始以前ニ死亡シ其ノ供託金ガ該候補者ニ依テ爲サレタル時ハソノ法定代理人ニ返還サルベク然ラザルトキハ其ノ供託者ニ返還サルベシ

（或ル場合ニ於ケル供託金ノ沒收）

（二十七）（イ）所要ノ供託金ヲ供託シタル候補者ガ當選セズ其ノ獲得セル票數ガ一名又ハ二名ノ議員ヲ選出スル選擧區ニテ全投票數ノ八分ノ一、或ハ二名以上ノ議員ヲ選出スル選擧區ニテ選擧サル可キ議員數ニテ除シタル全投票數ノ八分ノ一ヲ超エザル場合供託セラレタル金額ハ皇帝陛下ニ沒收セラル可キモノトス然ラザル場合ハ候補者ガ當選セル時ハ議員トシテノ宣誓ヲ爲シタル後候補者ガ當選セザル時ハ選擧結果ノ宣言後可及的速ニ返還サルベシ

一候補者ガ總選擧ニ於テ一選擧區以上ニテ指名サルル場合供託金ノ返還ハ一回限リ之ヲ受クルコトヲ得斯カル場合供託金ハ大藏省ガ候補者ニ返還ヲ命ジタルモノヲ除キ皇帝陛下ニ沒收セラル可キモノトス

（ロ）本項ニ於テ獲得セラレタル投票數トハ（無效投票紙ヲ除キ）算定セラレタル投票紙ノ數ト見做サルベク而シテ選擧ガ移讓投票制度ニ依テ行ハレタル時ハ一候補者ニ依テ獲得セラレタル投票數ハ第一選擇トシテ獲得セル投票數タルベシ

（二十八）國會議員選擧（大學選擧以外ノ）ニ於ケル選擧管理者ハ他ノ法律中ノ何レノ規定ニモ拘ラズ――

（イ）一行政州ニ接シ又ハ全ク其州ニ包含サルル國會議員選擧區タル州ノ執行官

（ロ）一執行官ヲ有スル市或ハ町ノ州ニ接シ或ハ全ク其中ニ包含サルル國會議員選擧區タル市邑ノ執行官

（ハ）自治市邑（執行官ヲ有スル市或ハ町ノ州ニ非ザル）或ハ首都、或ハ市區ニ接シ或ハ其ノ中ニ全ク包含サルル國會議員選擧區タル市邑ノ場合ニハ其ノ時ニ應ジテ市長タリ或ハ市會議長タリ、又

（ニ）其ノ他ノ場合ニハ其ノ目的ノ爲ニ自治局ノ指名スル執行官市長或ハ議長タル可シ

（大藏省ニ依ル選擧管理者入費ノ支拂）

（二十九）（イ）國會議員選擧（大學選擧以外ノ）ニ於ケル選擧管理者ハ本項ニ規定セラレタル代償ノ最高限ニ關スル等級表ニ列擧セラレタル「諸種ノ業務及費用ニシテ選擧ノタメ及之ニ關聯シテ適法ニ行ヒ又ハ支拂ヒタル」モノニ就キ該表ニ明記セラレタル額ヲ越エザル範圍ノ代償ヲ受クル權利ヲ有ス

（ロ）前項ノ代償ハ本項ノ規定ニ從テ大藏省ニ提出セラレタル計算書ニ基キ請求サレ國債整理基金又ハ其ノ利殖ヨリ支拂ハルベシ然レドモ大藏省ハ適當ト認ムルトキハ該代償支拂以前ニ本項ノ規定ニヨル裁判所ニ計算書ニ對スル課税ヲ申請シ得而シテ該裁判所ハ其ノ適當ト認ムル方法、時期及場所ニ於テ其ノ計算書ニ課税シ最終ノ效力ヲ以テ選擧管理者ニ支拂フ可キ額ヲ決定スル權限ヲ有ス

選擧管理者ヨリ代償ニ對スル前拂ノ要求アリタルトキハ大藏省ハ適當ト認ムルトキハ相當ナル條件ノ下ニ此ノ如キ前拂ヲ爲シ得

（ハ）選擧管理者ノ計算書ニ對スル課税ノ申請アリタル場合選擧管理者ハ計算書記載事項ニ關シテ爲サレタル反對要求ノ審理ヲ裁判所ニ申請シ得而シテ裁判所ハ要求者ニ通告ヲ與ヘ又管理者ニ口頭辯論及證據提供ノ機會ヲ與ヘタル後訴訟費用ヲ負擔セシメ或ハセシメズシテ異議ヲ申立テラレタル要求ヲ許可、不許可或ハ減額シ得而シテ該裁判所ノ判決ハ總ベテノ目的及總ベテノモノニ對シテ決定的タル可シ

（ニ）大藏省ハ本項ノ適用ノ爲代償ノ最高限ニ關スル等級表ヲ定メ且適當ト認ムル時期及方法ニ於テ該表ヲ改正スルコトヲ得且又代償支拂ノ爲計算書ヲ提出スル時期、方法及形式ニ就キ規定ヲ設クルコトヲ得

（ホ）本項ノ目的ノ爲ニスル裁判所ハ「ロンドン」市ノ選擧ニ關シテハ市長裁判所タル可ク他ノ英國內及「アイルランド」內ニテハ選擧指名ノ場所ニアル州裁判所ガ該選擧ニ關スル裁判手續ニ就キ管轄權ヲ有シ而シテ「スコットランド」ニ關シテハ「該裁判所」ハ高等法院會計檢査官ヲ意味ス

（選擧管理者ノ職責ノ臨時選擧管理者ニヨル履行）

（三十）玆ニ規定セラレタル以外ノ國會議員ノ選擧（大學選擧以外ノ）ニ於ケル選擧管理者ノ職務ハ臨時選擧管理者トシテノ登錄官ニ依テ行ハレ臨時選擧管理者ハ國會議員選擧ニ關スル總テノ法令ニ據リ選擧管理者ノ有スベキ總テノ權限、職務、權利及責任ヲ有シ從テ其等ノ法令（此ノ法律ヲモ含ム）ハ有效ニシテ臨時選擧管理者ハ代理人ヲ任命スル權限ヲ有ス

本項ハ選擧管理者ガ自身ニ保留シ自ラ行フコトヲ約シタル職責ニ適用セズ

臨時選擧管理者ニ依ル代理人ノ任命ハ地方自治局ノ承認ヲ受クルモノトス

國會議員選擧ニ於ケル選擧管理者ハ若シ其ノ職責ノ總テガ臨時選擧管理者ニ依テ遂行セラルル時ハ選擧管理者タルコトニ依リ選擧ニ於ケル候補者タル資格ヲ奪ハルルコトナシ

（選擧ノ場所）

（三十二）選擧ノ場所ハ選擧管理者ニ依リ各選擧區（大學選擧區以外ノ）ニ對シテ定メラル而シテ――

（a）選擧區ガ國會議員選擧區タル市邑或ハ市邑ノ一區劃ナル時ハ其ノ市邑內ノ場所タルコト而シテ

（b）選擧區ガ國會議員選擧區タル州又ハ州內ノ一區劃ナル時ハ其ノ州內或ハ其ノ州ニ接續スル國會議員選擧區タル市邑內ノ場所タル可シ

（選擧ノ費用表）

（三十三）（イ）此ノ法律ノ第四別表ニ示サレタル規定ハ一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法ノ第一別表第四及第五ノ第三節（選擧費ノ最高限等級表ニ關スル）ニ代ハルベキモノニシテ從テ該法律ハ前記ノ規定ニ從ヒ效力ヲ有ス

（ロ）國會議員選擧ニ於ケル候補者ハ遞信大臣ノ定ムル規定ニ從テ無料郵便ヲ以テ選擧區ノ登錄セラレタル各選擧人ニ宛テテ選擧ニノミ關スル事項ヲ記載セル重量二オンスヲ超エザル各一通ノ通信ヲ爲ス權利ヲ有ス

候補者ハ遞信大臣ノ要求スルガ如キ萬一指名セラレザル場合ノ郵便料保證金ヲ納ムルニ非ザレバ適法ニ指名サルル迄本項ニ規定スル無料郵便ノ權利ヲ行使スルヲ得ザルモノトス

此ノ規定ノ目的ノ爲一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法第一別表第五項ノ第四節ニ依テ選擧ニ於ケル共同候補者ト見做サルル者ハ一候補者トシテ取扱ハルベシ

（不認可者ニ依ル費用）

（三十四）（イ）候補者ノ選擧代理人以外ノ者ハ選擧代理人ヨリ文書ヲ以テ認可ヲ得ザル限リ國會議員選擧ニ於ケル候補者ノ選擧ヲ助長シ又ハ獲得スルガ爲ニスル公會開催及廣告、廻狀又ハ出版物ノ發行ノ爲ニ支出スルコトヲ得ズ

（ロ）本項ノ規定ニ違反スル者ハ身分詐稱ヲ除キ一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法ニ所謂ユル腐敗行爲ノ罪アリ從テ「腐敗行爲」ナル語モ右ノ如ク解釋スベシ

本項ノ下ニ有罪決定ヲ爲ス裁判所ハ其ノ事件ノ特別事情ニ鑑ミテ正當ト思考スルトキハ一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法第六項ニ依テ課セラレタル無資格ヲ輕減シ又ハ全然宥免スルコトヲ得

（ハ）候補者ノ選擧代理人ノ認可シタル前記ノ目的ノ爲ニ支出セラレタル費用ハ其ノ候補者ノ選擧費ノ一部トシテ當然返還セラルル可シ

（ニ）註（t）本項ノ規定ニ違反セルノ責ヲ負フベキモノカ團體又ハ社團法人ナルトキハ其ノ團體又ハ社團法人ノ指揮者又ハ理事者ハ該犯罪ヲ構成スル行爲ガ理事者不知ノ間ニ行ハレ又ハ其ノ承諾無クシテ行ハレタルコトヲ證明シ得ザル限リ責ヲ免ルルコトヲ得ズ

（三十五）左記ニ擧ゲル法律卽チ、——

（永久法律。ヴィクトリア王朝第三十八及三十九議會第八十四章）

一八七二年ノ無記名投票法

（ヴィクトリア王朝第四十一及四十二議會第四十一章、ヴィクトリア王朝第四十二議會第十八章）

一八七五年ノ國會議員選擧（選擧管理者）法

一八七八年國會議員選擧管理者費用（スコットランド）法

一八八〇年ノ國會議員選擧及腐敗行爲法

一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法

（ヴィクトリア王朝第四十七及四十八議會第七十章）

一八八四年ノ自治制選擧（腐敗及不法行爲）法

一八九六年ノ地方自治（選擧）法

（ヴィクトリア王朝第五十九及六十議會第一章）

等ハ永久法律トナリ此ノ法律通過ノ當時效力ヲ有スル法律中ノ規定ニシテ其等ノ法律ニ對シテ效力存續期間ヲ限定シタルモノハ效力ヲ失フ

註（t）一九二二年ノ國民代表法（第二）ニ依テ附加セラル

（大學選擧區ノ選擧施行）

（三十六）（イ）此ノ法律ノ第五表第一章ニ含マルル規定ハ「スコットランド」ノ大學選擧以外ノ大學選擧區ノ選擧ニ就イテ效力ヲ有シ其ノ表ノ第二章ニ含マルル規定ハ「スコットランド」ノ大學選擧區ノ選擧ニ就テ效力ヲ有シ皇帝陛下ハ勅令ニ依リ其等ノ規定ニ十分ノ效力ヲ與フル爲及其等ノ選擧ノ有效且ツ適當ナル執行ノ爲必要且希望スベキト認メタル規定ヲ設クルコトヲ得

斯ノ如キ規定ハ大學選擧區ノ一般選擧及特定大學選擧區ノ特別選擧ニ適用スル如ク規定スルコトヲ得

（ロ）此ノ法律ノ本章ノ規定ハ明白ナル規定無キ限リ大學選擧區及大學選擧ニ適用ス

（ハ）大學選擧區及其等選擧區ノ大學選擧ニ適用サルベキ此法律ノ規定ノ適用ニ就キテハ次ノ修正ヲ有效トス

（a）「投票紙」ハ「無記名投票紙」ニ代ルベク一八七二年ノ無記名投票法ニ關スル規定ハソレニ相應スル此ノ法律ノ規定又ハ此法律ノ下ニ於ケル大學選擧區或ハ大學選擧ニ關スル規定ニ代ルベキモノトス

（b）不在投票者名簿ヲ備フル必要ナシ然レドモ若不在投票者名簿ニ記載セラレタル場合代理人ニ依テ投票スル資格ヲ有スベキ者ハ代理人ニ依テ投票スルヲ得ルスベテノ條件ノ備ハル限リ代理人ニヨリ投票スル權利ヲ行使スルコトヲ得

（c）候補者ノ供託金ガ「沒收セラルル場合、該供託金」ハ大學之ヲ保存スベシ

第五

一般

（英國外ニ於ケル犯罪ノ處罰）

（三十八）英國内ニテ爲サレタル行爲ニシテ一八七二年ノ無記名投票法或ハ一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法（其ノ後ノ法律ニテ修正セラレタル）又ハ此ノ法律ニ據テ告發及刑罰ヲ受クル場合斯ノ如キ行爲ヲ英國外ニテ犯セル場合ハ其ノ者ハ其ノ行爲ガ恰モ英國ニテ爲サレタルガ如クニ其ノ當時ノ居所ニ於テ告發サレ且罰セラル可シ

斯ノ如キ告發ノ目的ノ爲手續開始ノ期限トシテ規定サルル期間ハ告訴セラレタル者ガ犯行後ニ英領土ニ歸著セル日ヨリ計算ス

（國會ニ提出セラル可キ諸規定）

（四十）（u）（イ）此ノ法律ニ從テ勅令ニ依テ設ケラレタル總テノ規則、規定或ハ「條項ハ直チニ國會ノ兩院ニ提出セラル可シ而シテ斯ノ如キ規則、規定或ハ」條項ノ提出セラレタル次ノ二十一日以内ノ該規則、規定或ハ條項ノ廢止ヲ何レカ一院ニヨリ陛下ニ奏請スルニ非ザレバ又ハ奏請スル迄ハ右ノ規則、規定或ハ此ノ法律中ニ制定セラレタルト同樣ノ效力ヲ有ス

（u）一九一八年國民代表法（修正）第二項、一八九三年規定發表法ハ此ノ法律ノ下ニ作ラレタ規定ニ適用セズ

（ロ）此ノ法律ニ基ク勅令ハ必要ニ應ジテ次ノ勅令ニ依テ廢止又ハ變更サルルヲ得

（解釋）

（四十一）此ノ法律ニ特別ノ規定ナキ限リ

（イ）「選擧區」ナル語ハ同會ニ選出サルベキ一議員ヲ選出スル州、市邑、或ハ數地域ノ聯合、或ハ大學、或ハ數大學ノ聯合ヲ意味ス而シテ一州或ハ市邑ガ國會議員選擧ノ目的ノ爲ニ分割セラルル場合ハ其ノ區分セラレタル州或ハ市邑ノ一區劃ヲ意味ス而シテ斯ノ如キ區劃ニ於ケル選擧ハ分割セラレザル州或ハ市邑ノ選擧ニ於ケルト同樣ノ方法且同樣ノ規定ニ從テ行ハルベシ

（ハ）「總選擧」ナル語ハ英國ノ新議會ニ選出スル議員ノ選擧ヲ意味ス

（ニ）「大學選擧區」ナル語ハ一大學或ハ數個ノ大學ヨリ成ル選擧區ヲ意味ス而シテ「大學選擧」ナル語ハ一大學選擧區ノ爲ニスル一名若クハ數名ノ議員ノ選擧ヲ意味ス

（ヘ）「移讓投票」ナル語ハ

（a）候補者順位ニ對スル投票者ノ選擇ヲ示ス爲ニ與ヘラルル投票又

（b）第一選擇ニ必要ナル投票ノ持分ヲ與フル爲ニ其ノ投票ヲ要セザル時又ハ第一選擇ニ與ヘラレタル投票數ノ不足ノ爲其ノ選擇ガ候補者名簿ヨリ除去セラレタル時次ノ選擇ニ移讓サルルヲ得

ル投票ヲ意味ス

（ヌ）「海上ニ於ケル」ナル字句及海陸軍投票者ニ關シテ海上ニ於ケル勤務ニ關スル辭句ハ、此點ニ關スル海軍省ノ規定ニ從テ解釋サル可シ

（ル）「命セラレタル」ナル字句ハ勅令ニ依リ皇帝陛下ニ依リ命セラレタルヲ意味ス

（シリイ島ニ對スル法律ノ適用）

（四十五）此ノ法律ノ條項ハシリイ諸島ニ對シテ之ヲ行政州トシ又其島會議ハ之ヲ州會トシテ適用ス而シテ此ノ法律ニ基キ該州會ノ必要トスル費用ハ州會ノ一般費用トシテ支拂ハルベシ

別表

第二別表

第一章

一八七二年無記名投票法ノ修正

（第二十一項（一））

（第一別表）

以下ノ條項ヲソレゾレ一八七二年無記名投票法規則第二及第十四ノ次ニ挿入ス、即チ――

「（二）（イ）a英國新議會ニ選出セラルル議員ノ選擧ニ於テ選擧管理者ニ依テ定メラルベキ選擧ノ期日ハ必ズ陛下ノ議會召集宣言日ヨリ算エテ第八日タル可シ」

「（十四）a英國新議會ニ選出セラルル議員ノ選擧ニ於テ選擧管理者ニ依テ投票日ト指定セラルル日ハ必ズ定メラレタル選擧日ヨリ算エテ第九日タル可シ」

第二

質問

（第二十二項）

（一）住所資格ニ於テ投票スル男子ノ場合―

貴君ハ此ノ總選擧ニ住所資格ニ於テ既ニ投票セラレシヤ

（二）住所資格ニ非ザル資格ニ於テ投票スル男子ノ場合―

貴君ハ此ノ總選擧ニ住所資格ニ非ザル資格ニ於テ既ニ投票セラレシヤ

（三）大學選擧ニ非ザル選擧ニ投票スル婦人ノ場合―

貴女ハ此總選擧ニ既ニ投票セラレシヤ

「注意―問ニ對スル答ガ否定的ナラザル場合其ノ婦人ハ監督官ヲシテ彼ノ女ノ以前ノ投票ガ大學選擧ニ於テ爲サレタルコトヲ確信セシムルニ非ザレバ投票スルヲ得ズ」

大學選擧ニ於ケル宣言

（總選擧ニノミ適用サルルモノ）

（男子ノ場合）―「私ハ住所資格以外ノ資格ニ關シテ此ノ總選擧ニ投票セシコト無シ」

（婦人ノ場合）―「私ハ此ノ總選擧ニ於テ他ノ大學選擧區ノ爲ニ投票セシコト無シ」

第三別表

代理人ニ依ル投票規定

（第二十三項）

（一）代理人ハ此ノ此律ニ基ク規定ニヨル選擧人ノ申請又ハ選擧人ノ委任ニヨル申請ニヨリ該選擧人ノ登錄サルル選擧區ノ登錄官ニ依テ選擧人、選擧人ヲ代表スル者、又ハ代理人トシテ指名セラレタル者ニ宛テテ發セラルル委任狀ニ依テ任命サルルヲ要ス

（七）不在投票者ノ夫、妻、親、兄弟、又ハ姉妹トシテ投票スルニ非ザレバ何レノ選擧區ノ選擧ニ於テモ二名以上ノ不在投票者ノ爲ニ代理人トシテ投票スルヲ得ズ

（九）國會議員選擧ノ施行ヲ規定シ、其等ノ選擧ニ關スル刑罰ヲ課スル條項ヲ含ム一八七二年ノ無記名投票法及其ノ他ノ法律ハ其等ノ法律ノ內容如何ニ拘ハラズ其等ノ法律ノ規定ヲ代理人ニ依ル投票ニ適應セシムルタメノ修正ト共ニ投票者同樣此ノ法律ニ從テ代理人トシテ投票スル人々ニ適用サル而シテ其等ノ法律中ノ記名投票紙或ハ無記名投票紙上ノ官印ニ關スル犯罪ニ刑罰ヲ課スル條項ハ其ノ規定ニ依テ委任狀及委任狀ニ在ル官印ニ適用サル

（十）何人ト雖モ

（a）此ノ法律ノ下ニ一選擧區ニ於テ代理人ニ依テ臨時的ニ投票スル資格ヲ有スルモノガ其ノ選擧區ノ國會議員選擧ニ於テ委任狀ガ有效ナル間ニ委任狀ニ依ラズシテ自ラ投票シ或ハ投票セント企ツル者又ハ

（b）一選擧ノ選擧ニ於テ不在投票者ノ夫、妻、親、兄弟又ハ姉妹トシテ投票スルニ非ズシテ二名以上ノ不在投票者ノ爲ニ代理人トシテ投票シ或ハ投票セント企ツル者又ハ

（c）委任狀ガ取消サレ或ハ本人又ハ其名義人ニ對シ委任狀ヲ發行セラレタル選擧人ガ死亡シ或ハ最早其ノ選擧ニ投票スル權利ヲ有セザルコトヲ知リ又ハ其等ノ事實ヲ推定ス可キ正當ノ理由アル場合其ノ委任狀ニヨル權限ニ依テ投票シ或ハ投票セント企ツル者

一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法ニ所謂不法行爲ノ罪アリ「不法行爲」ナル語ハ其レニ從テ解釋セラルベシ此ノ條項ニ依テ有罪決定ヲ爲ス裁判所ハ事件ノ特殊事情ニ鑑ミ正當ト思考スル時ハ一八八三年ノ腐敗及不法行爲防止法ノ條項ニ依テ課セラレタル無資格ヲ輕減シ又ハ全然免恕シ得ルモノトス

（十一）代理人トシテ投票スル者ガ其ノ投票ノ爲ニ無記名投票紙ヲ要求スル場合ハ其ノ投票場ニテ監督官ニ委任狀ヲ提出スルニ非ザレバ之ガ交付ヲ受クルヲ得ズ而シテ國會議員選擧ニ於テ選擧人ノ代理人トシテ投票スルコトヲ要求スル者ニ就イテハ（既ニ質問事項トシテ認可セラレタルモノニ加フルニ）規定セラレタルカ如キ質問ヲ爲シ得

（十二）此ノ法律ニ據ル委任狀ニハ印紙稅ヲ課セラルルコトナシ

第五別表

第一、―「スコットランド」ノ大學選擧以外ノ大學選擧ニ關スル條項

選擧管理者

（一）選擧管理者ハ―

（a）「オックスフォード」「ケンブリッヂ」「ロンドン」等ノ大學選擧區ノ場合ハ各其ノ大學ノ大學副總長

（b）聯合英國大學選擧區ノ場合ハ其ノ目的ノ爲ニ學務局ニ依テ任命サルル聯合大學ノ一タル大學ノ副總長、校長又ハ相當官而シテ

（c）「ウエールズ」大學選擧區ノ場合ハ其ノ大學ノ大學副總長タル可シ

　而シテ大學選擧區ニ對スル一名乃至數名ノ國會議員ノ選擧令狀ハ其ノ選擧管理者ニ宛テテ送付スベシ

（二）候補者ノ指名、投票及投票ノ計算等總テノ選擧準備ヲ爲シ令狀ニ從ヒ選擧ノ結果ヲ證明スルコトハ選擧管理者ノ責任タル可シ

指名

（三）指名ハ令狀受理後四日以上十日以內ニ於テ選擧管理者ノ定ムル日時及場所ニテ行ハル而シテ選擧管理者ハ其ノ定メラレタル日時及場所ヲ令狀受理ヨリ二日以內ニ公告ス可キモノトス

（四）候補者ハ提議者及助成者トシテノ二名ノ選擧人及其ノ指名ニ贊成スル他ノ六名ノ選擧人ニ依テ文書ヲ以テ指名サルルヲ要ス而シテ其ノ指名ハ或選擧人ニ依テ選擧管理者ニ交付サルルヲ要ス

（五）定メラレタル指名期間ノ滿了ノ際缺員數以上ノ候補者ガ指名セラレザル時ハ選擧管理者ハ指名候補者タル候補者ヲ當選ト宣言シ其レニ從テ選擧ノ結果ヲ證明スベシ

（六）定メラレタル指名期間ノ滿了ノ際缺員數以上ノ候補者ガ指名候補者タルトキハ、選擧管理者ハ行ハル可キ投票ノ準備ヲ爲スベシ

（七）候補者ハ此ノ法律ニ基キ設ケラレタル規定ニヨル方法ニテ撤回サレ得而シテ若シ指名後ニ於ケル候補者ノ撤回ノ爲ニ投票ガ不必要トナルトキハ選擧管理者ハ投票ヲ取消シ指名未ダ確定セザル候補者ヲ當選ト宣言ス

（八）若シ候補者ノ一人ガ指名後投票開始前ニ死亡スルトキハ選擧管理者ハ投票及其ノ選擧ノ爲ノ手續ヲ取消シ其ノ死亡ノ事實ヲ確知セル日ニ選擧令狀ヲ受理セルモノトシテ投票及選擧手續ヲ更新スベシ

　投票取消ノ際指名候補者タル候補者アルトキハ新タニ指名ヲ爲スヲ要セズ

投票

（九）投票ハ五日間公開セラレ指定ノ日ヨリ正味三日以上十二日以下ノ間ニ開始スル樣選擧管理者ニ依テ定メラレタル日ニ行ハルベシ

（十）選擧管理者ハ投票ノ爲相當ノ便宜ヲ與フルト思考スル場所ヲ指定シ又選擧者ニ割宛テラルベキ投票場ニ付特別ノ命令ヲ與フルコトヲ得

（十一）選擧人ハ投票場ニテ（指名以後其ノ投票者ニ於テ署名サレタル）投票紙ヲ本表ノ本章ニ附加セラレタル形式又ハ同趣旨且ツ同樣ノ宣言ヲ伴フ形式ニヨル投票紙ヲ交付シテ投票シ得又ハ選擧管理者ノ反對命令無キ限リ直接投票スルコトヲ得而シテ其ノ投票スルヤ何レカノ投票場ニ割リ當テラレザル者ハ何レノ投票場ニテモ又ハ割リ宛テラレタルトキハ其ノ割リ宛ラレタル投票場ニテナシ得

　選擧管理者ハ其ノ選選ニ於ケル直接投票ノ禁止又ハ直接投票ヲ爲スコトヲ得ル日ニ付特別命令ヲ爲スコトヲ得

（十二）投票紙ハ其ノ投票者ノ爲ニ選擧人ニ依テ投票場ニテ交付セラルベク又ハ其ノ投票場ノ監督官ニ郵送シ之ニ依リ交付セラルベシ而シテ該選擧人ノ投票シ得ル投票場ノ監督官ニ依テ投票場閉鎖以前ニ受理セラレタル投票用紙ハ無效トシテ拒否セラレザル限リ有效ニ計算セラルベシ

　又投票紙ハ郵便ニ依テ選擧管理者ニ送達サレ得而シテ斯クシテ選擧管理者ニ依テ受理セラレタル投票紙ハ當該監督官ニ送達セラルベシ

（十三）前項ノ目的ノ爲直接投票ノ場合ヲ除キ午前八時ヨリ午後八時マデノ間ニ於テ四時間ヲ下ラザル範圍ニ於テ選擧管理者ノ命ズル時間開カル直接投票ノ場合ト雖モ投票期間中何時ニテモ受理セラルルニ非ズシテ斯ノ如キ受理ノ日ニ就イテハ四時間ノ代リニ六時間ガ此ノ條項ニ依ル最低限トス

（十四）選擧管理者ハ指名セラレタル選擧ノ日時及場所並ニ投票ノ日時又ハ投票場ニ對スル選擧人ノ割リ宛テニ關シテ發シタル命令ヲ公告スベシ

（十五）選擧管理者ハ自ラ監督官トシテ行爲セザル總テノ投票場ニ對シテ監督官ヲ任命ス而シテ該監督官ハ其ノ投票場ニ於ケル投票施設ニ對シテ一切ノ管理ヲナシ直接投票ヲ爲ス選擧人ノ投票ヲ記錄シ及投票紙ヲ受理スベシ

（十六）各候補者ハ各投票場ニ於テ其ノ代表者タル者ヲ任命シ得而シテ候補者ノ代表者ハ其ノ投票場ニテ受理セラレタル投票紙又ハ直接投票スルコトヲ要求スル者ノ投票ニ異議ヲ唱フルヲ得而シテ監督官ハ斯ノ如キ異議ヲ選擧管理者ニ提出シテ其ノ裁決ヲ求ムベシ

（十七）選擧管理者ハ異議ヲ申立テタル投票紙ノ效力又ハ直接投票スル權利ニ就キ裁決ヲ爲ス而シテ選擧管理者ノ裁決ハ投票紙或ハ投票權ヲ承認スル場合ニハ最終ノ效力ヲ有スベク投票紙或ハ投票權ヲ拒否スル場合ニハ其裁決ハ選擧或ハ選擧報告ニ關スル訴訟手續ニ於テ廢棄サルルコト在ル可シ

（十八）此ノ法律ニ從テ保存セラルル登錄簿ハ投票場ニテ投票セントスル者ノ權利ニ就キテ決定的タル可シ然レドモ此ノ規定ハ法律上無資格ニ屬スル者ニ投票ノ資格ヲ與フルコトナシ

　大學當局者ガ學位ノ授與ノ確實ナルコトヲ確信スル迄卒業者トシテ登錄簿ニ記載サルル資格ヲ有セズ

投票ノ計算

（十九）投票締切リノ後各投票場ニテ受理セラレタル總テノ投票紙及（若シアレバ）選擧人ノ直接投票ニ對スル記錄ハ適當ノ容器ニ收メラレ且封ジラレテ選擧管理者ニ送付スベシ而シテ選擧管理者ハ總テノ投票場ヨリ投票ヲ受理スルヤ可及的速ニ投票ヲ計算シ其ノ結果ヲ發表スベシ

（二十）　計算セラレタル投票紙及（若シアレバ）選擧人ノ直接投票ニ對スル記錄及無效トシテ排除セラレタル投票紙及（若シアレバ）自身ニ投票紙ヲ提出シタレドモ投票不許可トナリタルモノノ名簿ハ各別ニ包裝セラレ選擧管理者ニ依テ投票締切リ後十二ケ月ノ間保存セラルベシ

（二十一）　選擧管理者ハ投票計算ノ時及場所ニ就キテ候補者ニ通知シ且候補者又ハ候補者ノ承認セル代表ニ計算ニ臨席スルコトヲ許可スベシ

　選擧管理者、助手、書記、候補者及候補者ノ公認セル代表者ノ外ハ選擧管理者ノ許可ヲ得ルニ非ザレバ投票ノ計算ニ臨席スルコトヲ得ズ

（二十二）　最後ノ計算ニ於テ何レカノ候補者ノ間ニ同數投票アルコトヲ發見シ一票ノ增加ガ其レ等候補者ノ一人ヲ當選ト宣言セシムル場合選擧管理者ハ選擧人ナルト否トニ拘ラズ決裁投票ヲナシ得然レドモ他ノ場合ニ於テ選擧管理者ハ選擧投票スル資格ヲ有セズ

聯合大學選擧區ニ對スル特別規定

（二十三）　聯合大學選擧區ニ於テ聯合ヲ構成スル各大學ノ大學副總長或ハ大學副總長事務取扱ハ投票ノ準備及管理ヲ爲ス爲ニ其ノ大學ニ於テ選擧管理者ノ權限ヲ有シ職責ヲ履行スベシ（投票紙ノ效力及投票權ヲ裁決スル權限及職責ヲ含ム）

（二十四）　聯合大學選擧區ノ選擧ニ於テ移讓投票ヲ用ヒザル場合ノ投票計算ノ準備及聯合大學選擧區ノ選擧管理者ヲシテ選擧ノ結果ヲ確認且宣言セシムル爲之ニ送付スベキ各大學ニ於テ計算サルル投票ニ對スル記錄ノ準備ハ聯合ヲ構成スル各大學ニ於テ爲スコトヲ得

一般

（二十五）　選擧管理者ハ選擧ノ適當ナル施行ニ必要ト思考スル代理及書記ヲ任命シ選擧人ノ申請スル如キ投票用紙ヲ供給シ種々ナル形式ノ指名紙ヲ供給ス

　大學ノ幹部ハ選擧管理者ノ缺員ナル場合又ハ選擧管理者カ其ノ代理ヲ任命シ能ハザル場合ハ大學職員中ヨリ臨時選擧管理者タルベキ者ヲ指名スルコトヲ得

（二十六）　大學選擧及其ノ管理ニ關スル準備ニ關聯シテ選擧管理者ノ支出セル正當費用ハ大學之ヲ該選擧管理者ニ支拂フベシ

　聯合大學選擧區ノ場合各大學ノ大學副總長或ハ相當官ノ支出セル前記ノ費用ハ其ノ費用ヲ支出セル副總長或ハ相當官ノ在職スル大學之ヲ支拂フベク又其ノ他ノ費用ハ聯合ヲ構成スル諸大學之ヲ平等ニ負擔スベシ

　聯合大學選擧區ニ於テ大學ニ沒收サル可キ候補者ノ供託金ハ聯合選擧區ノ選擧管理者タル大學副總長又ハ他ノ官吏ノ在職スル大學ニ保留シ又ハ之ニ支拂ハレ而テ該大學ハ之ヲ此ノ規定ノ下ニ聯合ヲ構成スル大學ニ依テ平等負擔ニテ支拂ハルル入費ノ支拂ニ充當スベシ

（二十七）　投票紙ハ一九一三年文書僞造法第四項第三款ニ所謂公文書ト見做サレ一九一一年ノ僞證法ヲ其ノ投票紙中ノ宣言又ハ聲明ニ適用ス

（二十八）　投票紙ハ印紙税ヲ課セラルルコトナシ

（二十九）　選擧人ヲシテ大學選擧ニ於テ投票スルコトヲ得シムル爲該選擧人ガ登錄セラルル爲或ハ投票ノ資格ヲ與ヘラルル爲ニ支拂フコトヲ要スル料金ヲ該選擧人ノ利益ノ爲不正ニ支拂ヒタル者ハ一八八三年ノ腐敗及不正行爲防止法ニ所謂不正行爲ノ罪アルモノトス其ノ法律ハ右ノ如ク適用セラルベシ

（三十）　本表中ノ諸條項ノ適用ノ爲時ヲ計算スル場合ハ日曜日、基督降誕祭、基督受難日及銀行休日、公ノ祝日、精進日又ハ感謝祭日ト定メラレタル日ヲ除クモノトス而シテ是等ノ條項ニ依テ斯ノ如キ日ニ爲サルルコトヲ要スルモノハ斯ノ如キ日ニ當ラザル次ノ日ニ爲サルベキモノトス

（三十一）　此ノ法律ニ依リ本表ノ條項ニ從テ與ヘラル可キ公告ノ方法ニ關スル規定ノ存スルトキハ公告ハ右規定ノ有效ナル限リ右規定ノ命ズル方法ニ依テ爲サル可ク右ノ如キ規定存セザルトキハ選擧管理者ハ利害關係者ニ公告ヲ爲スニ最モ適當ト認ムル方法ニ依テ公告ヲ爲スベシ

（三十二）　選擧ガ是等ノ條項ニ準據セザルモ其ノ事件ヲ審理スベキ裁判所ニ依テ該選擧ガ是等ノ條項ノ原則ニ從テ爲サレ是等條項ニ準據セザルモ選擧ノ結果ニ影響セズト認ムルトキハ此等ノ規定ニ準據セザルヲ理由トシテ選擧ノ無效ヲ宣言スルコトヲ得ズ

投票紙ノ形式

余甲某（玆ニ彼ノ大學學位及若シアレバ「カレツヂ」ノモ添ヘテ姓名ヲ略サズニ認ムルコト）ハ次ニ示サレタル如キ投票ヲ爲ス

*候補者	選擇順序
A	
B	
C	
D	

＊此ノ形式ハ選擧ニ移讓投票ヲ用ヒザル處ニテハ修正ヲ要ス

余ハ他ノ投票用紙ニ署名シタルコト無ク此ノ選擧ニテ――ノ大學選擧區ノ爲自ラ投票セザリシコトヲ宣言ス

余ハ又宣言ス

（男子ノ場合ニテハ）此ノ總選擧ニ於テ住居資格以外ノ資格ニ就イテ投票セザリシコトヲ

（婦人ノ場合ニテハ）此ノ總選擧ニテ他ノ大學選擧區ノ爲ニ投票セザリシコトヲ

署名　甲　某

居所

一九　年　何月何日

◎此ノ宣言ハ總選擧ニ於テノミナサル可キモノナリ

余ハ此ノ投票紙（其ノ投票紙ハ以前ニ書入セラル）ガ余ノ面前ニテ余ノ知己ナル甲某ニ依テ一九―年何月何日ニ署名サレタルコトヲ宣言ス

署名　乙　某

居所

第二

「スコットランド」大學選擧ニ關スル條項

第六別表

法律ノ採用

（一）此ノ法律ニ從テ登錄セラレタル國會議員選擧人ニ關スル規定ハ他ノ法律ニ於ケル國會議員選擧人、國會議員投票者或ハ國會議員選擧ニ投票スル資格ヲ有スル者等其ノ名稱ニ拘ラズ斯カル者ニ關スル規定ニ代ヘラルベシ

（三）此ノ法律ニ從テ保存セラルル登錄簿ニ關スル規定ハ國會議員選擧人ニ關スル限リ他ノ法律中ノ選擧人ノ國會登錄簿、或ハ國會登錄簿、或ハ國會議員選擧人ノ登錄簿、或ハ國會議員選擧人ニ投票スル資格ヲ有スルモノ、登錄簿等、其ノ名稱ニ拘ラズ斯カル登錄簿ニ關スル規定ニ代ヘラルベシ

（七）地方自治廳ハ訓令ニ依リ何レノ法律ノ條項ニ對シテモ（何レノ地方的法律及假命令ヲ認可スル何レノ法律及爾後ノ法律ニ依ル修正ニ從フ一八八二年ノ市自治體法ヲ含ム）其等ノ條項ヲ此ノ法律ノ諸條項ニ適應セシムルニ必要ト思料セラルル程度ノ變更ヲ加フルコトヲ得而シテ右ノ訓令ハ此ノ法律ニ制定セラレタルト同樣ノ效果ヲ生ズ「スコットランド」ニ關シテハ「スコットランド」長官「アイルランド」ニ就イテハ「アイルランド」地方自治廳ガ此ノ表ニ於ケル地方自治廳ニ代ヘラル

第八別表

廢止セラレタル法令

第九別表

議席ノ再配布

第三

大學選擧區ノ種類	議員數
イングランド及ウエルス	
オックスフォード大學、	2
ケンブリッヂ大學、	2
ロンドン大學、	1
ウエールズ大學、	1
デューハム大學、マンチェスターノーヴィクトリア大學、リヴァプール大學、リーズ大學、シェフィールド大學、バーミンガム大學、ブリストル大學	2
スコットランド	
聖アンドリュース大學、グラスゴー大學、アバーディーン大學、エディンバラ大學	3

大學

ジョージ五世第九議會第二章

官職承諾ニ依ル庶民院議員再選擧ノ必要ヲ制限スル規定ヲ設ケ庶民院ニ議席ヲ有スル若干大臣ノ權利ニ關スル規定ヲ設クル爲ノ法律

「一九一九年二月二十七日」

皇帝陛下ハ玆ニ召集セラレタル議會ノ僧官及非僧官貴族院議員及庶民院議員ノ勸告ニ依リ及其ノ承諾ヲ得テ右議會ノ權威ニ依テ次ノ如ク制定ス

（議員再選ノ必要ニ關スル法律ノ修正）

（一）（イ）何レノ法律ノ規定ニ拘ラズ、庶民院議員ハ利益ヲ得ル官職ヲ受諾シタリトモ若シ其ノ官職ガ其ノ就任者ヲシテ庶民院ニ選擧サレ又ハ議席ヲ有シ又ハ投票スル事ヲ可能ナラシムル場合（k）「而シテ此ノ如キ受諾ガ新議會ノ召集宣言發布後九ケ月以內ニ起リタル時ハ」其ノ受諾ノ故ノミニヨリテ其ノ議席ヲ失ハシムルコトナシ

本項ハ此ノ法律ニ附加セラレタル別表中ニ揭ゲラレタル官職ノ受諾ニ適用セズ又庶民院ニ議席ヲ有シ投票シ得ル大臣又ハ次官ノ數ニ制限ヲ課スル法律ノ條項ニ影響セザルモノトス

（ヴィクトリア王朝第三十及三十一議會第百二章、ヴィクトリア王朝第三十一及三十二議會第四十八章、ヴィクトリア王朝第三十一及三十二議會第四十九章）

（ロ）本項ニ依テ爾後ノ法令ノ修正ニ據ル一八六七年ノ國民代表法ノH表、及一八六八年ノ國民代表（スコットランド）法H表、及一八六八年ノ國民代表（アイルランド）法ノE表等ニ揭ゲラレタル官職ヲ受諾セルコトニ依テ其ノ議席ヲ失ハザル庶民院議員ハ其等ノ法律ノソレゾレ五十二項、五十一項及十一項ノ目的ニ對シテ恰モ斯ノ如キ官職ノ受諾後議會ニ選出セラレタル如クニ取扱ハルベシ

（ハ）本項ハ一九一九年一月一日ヨリ效力ヲ有セルモノト見做サルベシ

（若干大臣ノ庶民院ニ議席ヲ有スル權利）

（二）此ノ法律ノ通過以前或ハ以後ニ樞密院議員ノ一人ガ他ニ官職ヲ割リ宛テラレズシテ俸給ヲ受クル陛下ノ大臣ニ任命サレ又ハ任命サレントスル場合右ノ事實ヲ理由トシテ庶民院ニ選擧サレ議席ヲ有シ又ハ投票スル資格ナカリシト又ハ無シト見做サルルコトナシ而シテ斯ノ如キ大臣ノ官職ハ上記ノ表中ニ含マルル官職ト見做サル

本項ノ適用スル大臣ハ三名以上同時ニ庶民院ニ議席ヲ有シ得ズ

（略稱）

（三）此ノ法律ハ一九一九年ノ大臣再選擧法トシテ引用サレ得

別表

（一項）

除外サレタル官職

「ストーク」「デスブラ」及「バーナム」ノ三邑ノ主事ノ職

「イースト・ヘンドレッド」「ノースステッド」或ハ「ヘンフォールム」ノ貴族領地ノ主事又ハ土地管理人ノ職

註（k）以下括弧內ノ規定ハ一九二六年ノ大臣再選擧法（一九一九年）修正法一項（1）四七九頁後部ニ依テ廢止サル

ジョージ五世第十及十一議會第三十五章

大學選擧ニ於ケル投票計算ノ時期ニ關シテ更ニ規定シ、代理人ニ依ル投票權ニ關スル法律ヲ修正シ及其レニ關

スル諸事項ヲ規定スル法律

「一九二〇年八月十六日」

皇帝陛下ハ玆ニ召集セラレタル議會ノ僧官及非僧官ノ貴族院議員及庶民院議員ノ勸告ニ依リ及ソノ承諾ヲ得テ此ノ議會ノ權威ニ依リ次ノ如ク制定ス

（議會選擧ニ於ケル投票計算ノ時期。ジョージ五世第八議會第六十四章）

（一）一九一八年ノ國民代表法（下文ニハ主要法令トシテ參照サル）ノ二十三項及第三款及一九一八年ノ國民代表（修正）法ノ第一項（本項ハ或ル選擧ニ於テ投票締切後勅令ニ依テ定メラレタル時期ニ投票ノ計算ニ關スル暫定的規定ヲ設クルヲ得）ハ其ノ效力ヲ停止スベシ

（ジョージ五世第八及九議會第五十章）

（二）（イ）主要法令ノ第二十三項ハ其ノ第四款ニ對シテ次ノ如キ款ヲ代ヘラレタルモノトシテ效力ヲ有ス―

（代理人ニ依ル投票權利ノ擴張）

「（二）不在投票者名簿ニ其ノ姓名ヲ記載サレ且規定ノ書式ニテ國會議員選擧ノ時海上或ハ英國外ニ居住スル見込ナルコトノ聲明書ヲ作成シ登錄官ヲシテ其ノ聲明ノ眞實ニ就イテ確信セシムル者ハ希望ニ依リ代理人ヲ任命シ及代理人ヲ任命シテ此ノ法律ノ條項ニ依リ及其ノ制限ノ下ニ代理人ニ依テ投票スル資格ヲ有ス

此ノ規定ニ從テ代理人ヲ任命セル者ハ其ノ任命ノ有效ナル間及登錄官ノ記錄セル住所ガ英國領土内ノ住所ニアラザルモノハ郵便投票ノ爲ニ投票紙ノ送達ヲ受クルコトナシ」

此ノ法律ノ第三別表中ニ示サレタル諸條項ハ代理人ニ依ル投票ニ關シテ效力ヲ有ス

（ロ）主要法令ニ加ヘラレタル第三別表ハ第四節ニ對シテ以下ノ項ガ代ヘラレタルモノトシテ效力ヲ有ス

「（二）委任狀ハ取消サレザル限リ該選擧人ガ同ジ資格ニ就キテ登錄セラレ且不在投票者名簿ニ記載セラルル間有效ナル可シ」

（ハ）此ノ法律ガ效力ヲ發生セル日ニ有效ナル委任狀ハ恰モ此ノ法律ニ依テ修正サレタル主要法令ニ從ツテ發セラレタルト同樣依然效力ヲ有ス

（三）國會補缺選擧ノ場合―

（補缺選擧ニ於ケル投票日）

（a）市邑ニ於テ指名ノ爲ニ定メラルル日ハ選擧管理者ガ令狀受理後第七日以内タルベク選擧管理者ガ豫告スル日ト指名日トノ間ニハ滿二日以上ノ間隔ヲ置クベシ而シテ

（b）投票ハ指名ノ爲ニ定メラレタル日ヨリ算ヘテ滿六日以上八日以下ノ範圍ニテ選擧管理者ノ指定スル日ニ行ハル可シ

（ヴィクトリア王朝第三十五及三十六議會第三十三章）

而シテ一八七二年ノ無記名投票法ニ附加セラレタル第一別表及主要法令ノ第二十一項第一款ハ其レニ從テ修正サルルモノトス

（略稱及既短）

（四）（イ）此ノ法律ハ一九二〇年ノ國民代表（第二）法トシテ引用サルルヲ一九一八年ヨリ一九二〇年迄ノ國民代表法トシテ引用サレ得ル法律ノ中ニ含マル

ジョージ五世第十五及十六議會第四十九章

一八七三年ヨリ一九一〇年ニ至ル裁判所法及英國ニ於ケル高等法院及該法院ニ於ケル裁判ノ管理ニ關スル法律ヲ統一スル爲ノ法律

「一九二五年七月三十一日」

（三十一）―控訴ハ、

上告其ノ他ニ依テ一八六八年ノ國會議員選擧法又ハ一八八二年ノ市自治體法ノ第五及是等法律ヲ修正スル法律ニ基キ法律上ノ疑義ニ關シ下サレタル高等法院ノ判決ニ依ル該法院ノ特別許可無クシテハ提起セラレズ而シテ控訴ノ許可ガ與ヘラルル時ハ控訴院ノ判決ハ其ノ事件ニ於テ終結的且ツ決定的タルベシ

（六十七）―（イ）英國ニ於ケル選擧訴願ノ審問ノ爲ニ毎年一八六八年ノ國會議員選擧法又ハ之ヲ修正スル法律ノ條項ニ基キ名簿ニ記載セラルル判事ハ裁判所規則ニテ規定サルルカ如キ方法ヲ以テ該規則ニ從ヒ高等法院刑事部ノ判事中ヨリ次ノ如ク選出サル即チ高等法院刑事部ノ判事ハ毎年十一月四日又ハ其レ以前ニ投票ノ過半數ヲ以テ其ノ部ノ陪席判事ヨリ次年度ノ選擧訴願審問ノ爲名簿ニ記載セラル可キ三名（何レモ貴族院議員タラザルコト）ヲ選ブ

（ロ）斯ノ如キ選擧ノ會合ノ時判事ガ名簿ニ記載セラル可キ判事ノ選擇ニ於テ平等數ニ分カルル場合高等法院長又ハ其ノ不在ノ時ハ出席セル上席判事ガ第二又ハ決定投票ヲ爲ス

（ハ）名簿上ノ臨時缺員ヲ補充ス可キ選擇又ハ名簿上ノ判事ヲ補助判事トシテ補助ス可キ判事ノ選擇モ同樣ノ方法ニテ行ハルベシ

（ニ）本項ノ下ニ判事ガ任命セラレタル年度ノ終了ニ際シ審問又ハ他ノ事件ヲ該判事單獨又ハ他ノ判事ト共ニ解決セザルトキ又ハ審問又ハ訴訟審理ノ後判決ガ言渡サレザル時ハ其ノ判事ハ其ノ年度ノ終了後總テノ點ニ於テ恰モ其ノ任命セラレタル期間ガ終了セザルモノトシテ未決審問又ハ他ノ事件ヲ進行シ終結シ判決ヲ與フルヲ適法トス

ジョージ五世第十六及十七議會第十九章

スコットランド長官ノ權限ヲ陛下ノ國務大臣ノ一人ニ移シ、庶民院ニ議席ヲ有シ投票スルコトノ可能ナル大臣次官ノ數ヲ增加シ及右事項ニ關係スル諸事項ヲ規定スル法律

「一九二六年七月十五日」

皇帝陛下ハ玆ニ召集セラレタル議會ノ僧官及非僧官貴族院議員及庶民院議員ノ勸告ニ依リ及其ノ承諾ヲ得テ此ノ議會ノ權威ニ依リ次ノ如ク制定ス

（スコットランド長官ノ權限及義務ハ國務大臣ニ移讓サル）

（一）（イ）此ノ法律ノ通過後追加國務大臣ガ最初ニ任命（陛下ガ此ノ任命ヲ嘉納シ給フトキハ）セラルル時ハ「スコットランド」長官ノ總テノ權限及職責ハ此法律ニ依リ國務大臣ノ權限及職責トナルベシ「スコッツトランド」長官ノ官職及「スコットランド」

保健政務次官ノ官職ハ廢止セラル

（庶民院ニ於ケル國務大臣及次官ノ數ノ増加。ヴィクトリア王朝第二十一及二十二議會第一〇六章。ヴィクトリア王朝第二十七及二十八議會第三十四章。ジョージ五世第七及八議會第五十一章。略稱）

（三）庶民院ニ議席ヲ有シ投票シ得ル國務大臣及次官ノ數ハ六名ニ増加セラレ從テ一九一七年ノ空軍（憲法）法第十一項ノ修正ニ依ル一八五八年ノ印度統治法第四項及一八六四年ノ庶民院（議席空缺）法第一項ハ修正ニ依ル其等ノ中ニ存スル總テノ五ノ文字ニ對シテ六ノ文字ガ代ヘラレタルモノトシテ效力ヲ有ス

（四）（イ）此ノ法律ハ一九二六年ノ國務大臣法トシテ引用サレ得

（

ジョージ五世第十六及十七議會第十九章

官職受諾ニ依ル庶民院議院再選ノ必要ヲ除ク爲ノ法律

「一九二六年七月十五日」

皇帝陛下ハ茲ニ召集セラレタル議會ノ僧官及非僧官貴族院議員及庶民院議員ノ勸告ニヨリ及其ノ承諾ヲ得テ此ノ議會ノ權威ニ依リ次ノ如ク制定ス

（一）（イ）一九一九年ノ大臣再選擧法ノ第一項第一款ニアル「而シテ此ノ如キ受諾ガ新議會ノ召集宣言發布後九ケ月以内ニ起リタル時ハ」ノ語句ハ削除サレ其ノ項ハ此ノ法律ノ通過以後上記ノ語句ガ其ノ項ノ一部ヲナサザルモノトシテ效力ヲ有ス

（ロ）此ノ法律ニ附加セラレタル表中ニ擧ゲラレタル法令ハ茲ニ其ノ表ノ第三行ニ指示サレタル範圍ニテ廢止サル

（二）此ノ法律ハ一九二六年ノ大臣再選法（一九一九）修正法トシテ引用サレ得

別表

廢止サレタル法令

會期及章	略稱	廢止ノ範圍
ヴィクトリア第三十及三十一議會第一〇二章	一八六七年ノ國民代表法	第五十二項及H表
ヴィクトリア第三十及三十一議會第四十八章	一八六八年國民代表（スコットランド）法	第五十一項H表
ヴィクトリア第三十一及三十二議會第四十九章	一八六八年ノ國民代表（アイルランド）法	第十一項及E表
ヴィクトリア第四十八及四十九議會第六十一章	一八八五年ノスコットランド長官法	第三項ノ「一八六七年ノ國民代表法H表ニ於ケル、一八六八年ノ國民代表（スコットランド）法ノH表ニ於ケル、一八六八年ノ國民代表（アイルランド）法ノE表ニ於ケル、及」ナル語句
ヴィクトリア第五十二及五十三議會第三十章	一八八九年ノ農務省法	第八項第一款ニ於ケル「而シテ一八六七年ノ國民代表法H表、一八六八年ノ國民代表（スコットランド）法及一八六八年ノ國民代表（アイルランド）法E表ニ含マルル官職ト見做サル」ナル語句
ヴィクトリア第六十二及六十三議會第三十八章	一八九九年ノ教育省法	第八項ノ第一款ニ於ケル「一八六七年ノ國民代表法H表、一八六八年ノ國民代表（スコットランド）法、一八六八年ノ國民代表（アイルランド）法及……ニ於ケル」ナル語句
ジョージ五世第六及七議會第六十五章	一九一六年ノ恩給大臣法	第七項ノ第一款ニ於ケル「一八六七年ノ國民代表法H表、一八六八年ノ國民代表（スコットランド）法H表、一八六八年國民代表（アイルランド）法ニ於ケル及、」ナル語句
ジョージ五世第六及七議會第六十八章	一九一六年ノ新國務大臣法	第十二項第二款
ジョージ五世第九及十議會第二章	一九一九年大臣再選擧法	第一項第一款ノ「而シテ此ノ如キ受諾ガ新議會ノ召集宣言發布後九ケ月以内ニ起リタル時ハ」ノ語句及第二款第二項ニ於ケル「斯ノ如キ大臣ノ職ハ上述ノ表中ニ含マレタル官職ト見做サル」ノ語句

制定ノ規定及命令

一九一八年ノ修正ニ依リ再版サレタル一八一三號

國民代表命令

「其ノ四十一規則ニ從テ印刷サレ一九二〇年ノ十二月二十一日ヲ含メル其日マデニ爾後ノ勅令ニ依テ命ゼラレタル追加、省略及代用ヲ示ス」

（其法律ノ第一別表規則十九ノ修正）

（十三）次ノ但書ハ該法律（登錄官ニ依テ記錄セラルヘキ不在投票者ノ住所記錄ヲ規定ス）ノ第一別表規則十九ノ第一節ニ加ヘラル

「陸軍又ハ空軍ノ將校以外ニ陛下ノ軍隊ニ勤務スル不在投票者ノ場合該投票者又ハ海軍省、軍事參議院或ハ空軍ニ依テ選擧ニ於ケル候補者指名ノ三十日以上以前ニ與ヘラレタル住所ハ不在投票者ノ記錄セラレタル住所ト見做サレズ」

第三章

郵便ニ依ル投票（法律第二十三項ヲ見ヨ）一般

（前文）

（十四）（イ）此ノ命令ノ本章ニ於テ「代理人」ナル語ハ候補者ノ選擧代理人及投票紙ノ交付及開票ニ臨席スルタメニ斯ノ如キ選

擧代理人ニ依テ任命サルル者ヲ含ム

（ロ）一八七二年ノ無記名投票法ノ第四項及第十一項ハ投票場ニ出席スル官吏、助手、書記又ハ代理人ニ適用スルト同時ニ必要ナル修正ヲ加ヘテ投票紙ノ交付或ハ投票紙ノ受理ニ出席スル官吏、助手、書記或ハ代理人ニ適用ス

（ハ）此ノ命令ノ本章ニ於テハ本章中特別ノ定ナキ限リ「交付」ナル語ハ最初及其ノ後ノ交付ヲ含ム

（投票紙ノ形式及同一ノ宣言）

（十五）（イ）不在投票者ニ送付サル可キ投票紙ハ他ノ選擧人ニ交付サルル投票紙ト同シ書式ニシテ其ノ間ニ區別アル可カラズ

（ロ）投票者ニ投票紙ト共ニ送付セラルル身分宣言ハ此ノ命令ノ第四別表ニ示サレタル第一號書式又ハ同樣ノ趣旨ノ書式ニ依リ其ノ裏面ニハ該表ニ示サレタル投票者ヘノ訓示ヲ印刷シ其ノ訓示ハ此ノ命令ノ此ノ章ニ含マレタルト同樣ノ效力ヲ有ス

（代理人ノ出席）

（十六）（イ）選擧管理者、其ノ助手、書記各候補者ノ選擧代理人又ハ此ノ如キ代理人ニ依テ任命サレタル者ノミ投票紙ノ交付及不在投票者投票函及其ノ中ニ含マレタル封筒ノ開封ニ臨席スルヲ得

（ロ）同時ニ二組或ハ其レ以上ノ組ニ別レテ投票紙ヲ交付シ或ハ不在投票者投票箱ヲ開ク場合各候補者ノ選擧代理人ハ其等ノ組ノ數ヲ越ヘザル範圍ニテ選擧管理者ノ許可セル人數ヲ選擧代理人ト共ニ又ハ選擧代理人ノ代理トシテ交付或ハ開封ニ臨席スルタメニ任命スルヲ得

選擧管理者ハ選擧代理人カ他ノ選擧代理人以上ニ多數ノ人々ヲ任命スルヲ許可スルヲ得ズ

（無記名投票法ノ適用）

（十七）一八七二年ノ無記名投票法ノ次ノ如キ條項、即チ第三項及第一別表第一ノ規則三十九ヨリ四十二迄、四十八、四十九、五十一ヨリ五十五迄、五十九及六十二ハ此ノ命令ノ此ノ章ノ條項ニ適用スルニ必要ナル修正ヲ加ヘ特ニ規則五十二及五十四ニ於テ投票開始ニ代フルニ不在投票者投票箱ノ開封ヲ以テスルコトニヨリ此ノ章ニ合併サレタルモノト見做サル

（不在投票者ノ番號）

（十八）（イ）不在投票者名簿ニ於ケル一選擧人ノ番號ハ一八七二年ノ無記名投票法ノ第一別表第一ノ第二項及規則二十四ニ所謂番號ニシテ郵便投票ヲ目的トシ代理人ニ依ル投票ヲ目的トセズ

（ロ）郵便投票ニ依ル不在投票者ノ場合投票區ノ區別ヲ示ス封書ハ「スコットランド」ヲ除キテハ一八七二年ノ無記名投票法ノ第一別表第一ノ第二項及規則二十四ニ所謂選擧人ノ番號ノ一部ト見做サレズ

投票用紙ノ交付手續

（投票紙ノ配付）

（十九）（イ）選擧管理者ハ選擧ニ於ケル候補者指名ノ日マデニ各候補者ノ選擧代理人ニ對シテ投票用紙ヲ交付セントスル場所、日時及各代理人ガ其ノ交付ニ臨席ヲ命ジ得ル人數ニ就キテ通知スベシ

第二次ノ投票紙交付ガ行ハルル場合選擧管理者ハ可及的速ニ各候補者ノ選擧代理人ニ對シテ此ノ如キ第二次交付ヲ爲サントスル日時、場所及斯ノ如キ交付ニ代理人ガ臨席ヲ任命シ得ル人數ニ就キテ通知ス可シ

（ロ）各投票紙ハ兩面ニ穿孔若シクハ捺印ニ依ル官章ヲ附シ不在投票者名簿ニ指示サレタル選擧人ノ番號、姓名其他詳細ヲ轉載シ右ノ番號ヲ控ニ記入シ又不在投票者名簿ノ寫シノ選擧人ノ番號ニ投票用紙ガ選擧人ニ交付セラレタルコトヲ表示スベシ然レドモ選擧人ニ交付セラレタル特殊ノ投票紙ニ就キテハ右ノ必要ナシ

（ハ）選擧管理者ハ身分宣言ノ書式ニ投票紙ノ番號ヲ記入シ又ハ記入セシムベシ

（ニ）選擧管理者ハ不在投票者ノ登錄セラレタル住所ニ宛テタル封書ノ中ニ

（a）投票紙

（b）身分宣言ノ書式

（c）選擧管理者ニ名宛セル封筒（今後外被封筒トシテ言及サル）

（d）「投票紙封筒」ト記載サレ投票紙ノ番號ヲ記入セル小封筒、ヲ容レ此ノ第一ニ指示セル封筒ヲ有效ニ密封スベシ

前述ノ封筒ハ此ノ命令ノ第四別表ニ示サレタル各第二、第三及第四ノ書式ニ依ルベシ

（ホ）一選擧區ニ於テ二以上ノ記入事項ガ同一人ニ關スルコトヲ選擧管理者ガ確知セル場合ハ其等ノ記入事項ニ關シテ一枚以上ノ投票紙ヲ配付セズ

（ヘ）選擧管理者ハ不在投票者ニ宛テラレタル總ベテノ封皮ヲ計算セル後直チニ最寄ノ主タル郵便局或ハ主タル郵便局局長ト協定セル他ノ郵便局ニ交付シ郵便局長ハ選擧管理者ノ提出セル右交付ノ封皮數ヲ記載セル受領書ニ郵便局日附印ヲ押捺スベシ而シテ直チニ右封皮ヲ名宛人ニ配達スル爲差出スベシ

（ト）投票紙及此ノ規則中ニ規定セラレタル他ノ書類ヲ含ム封皮ガ不在投票者ニ配達不能ノ故ヲ以テ選擧管理者ニ返戻セラレタル場合、選擧管理者ハ該封皮ヲ投票者ニ最初ニ送附スルモノトセズ之ヲ名宛スベキ場所ニ前記ノ封皮ヲ再名宛スルコトヲ得

（不在投票者投票函ノ規定）

（二十）（イ）選擧管理者ハ投票ニ依テ返送セラレタル外被封筒ヲ受理スル爲ニ一個又ハ數個ノ投票函ヲ備フベシ

（ロ）總テ斯ノ如キ投票函ハ臨席ノ代理人ニ開放且空函ノ儘ヲ示シ然ル後選擧管理者ノ封印又ハ之ト共ニ封印ヲ爲スコトヲ望ム代理人ノ封印ヲ以テ封緘サレ選擧區名ト共ニ「不在投票者投票函」ト記入スベシ選擧管理者ハ各投票函ノ安全ナル保管ノ爲ニ措置ヲ爲スベシ

投票紙ノ受理

（不在投票者投票函ニ入レラルル封筒）

（二十一）選擧管理者ハ外被封筒ヲ受理シタルトキハ直チニ封ノ

儘不在投票者投票函ニ收ムベシ

（不在投票者投票函ノ開函）

（二十二）（イ）不在投票者投票函ハ投票計算ノ爲ニ指定セラレタル期日以前ニ代理人ノ面前ニテ選擧管理者之ヲ開クベシ

（ロ）選擧管理者ハ各候補者ノ選擧代理人ニ少クトモ二十四時間前ニ文書ヲ以テ不在投票者投票函及其ノ中ニ含マレタル封皮ヲ開封セントスル日時、場所及右代理人ガ其ノ開封ニ臨席ヲ任命シ得ル人數ニ就キテ通知スベシ

（ハ）不在投票者投票函ガ開カレタル場合選擧管理者ハ封皮ノ數ヲ計算シ之ヲ書留メ更ニ各外被封筒ヲ各別ニ開キ身分宣言ヲ點檢シ其ノ上ニ記入セラレタル番號ト投票紙封皮上ノ番號トヲ比較スベシ

（ニ）番號ガ一致シ身分宣言ガ適法ニ署名セラレ且證明セラレタルコトガ判明シタルトキハ選擧管理者ハ身分宣言ト投票紙封皮トヲ各別ノ容器ニ收ムベシ

（ホ）身分宣言ガ適法ニ署名セラレ證明セラレタルコトヲ確信セザル場合選擧管理者ハ其ノ身分宣言ニ「投票棄却」ト裏書シ開封セザル投票紙封皮又ハ此ノ如キ封皮無キ場合ハ投票紙ヲ添附スベシ

（ヘ）選擧管理者カ身分宣言及投票紙封皮上ノ番號ガ一致セズト認メタル時又ハ該封皮ニ番號無キ時ハ其ノ封皮ヲ開クベシ而シテ投票紙「ノ番號ト身分宣言ノ番號トガ一致セルトキハ其ノ投票紙」ヲ此ノ命令ノ二十四規則(2)ニ規定セラレタル投票函ニ收ムベシ

（ト）總テ投票紙ノ番號ガ身分宣言ノ番號ト一致セザル場合選擧管理者ハ該投票紙ヲ再ビ其ノ封皮（若シアラバ）ニ容レ各場合ニ應ジ右ノ封皮又ハ投票紙ヲ身分宣言ニ添附シ身分宣言ニ「投票棄却」ト裏書スベシ

（チ）身分宣言ガ投票紙封皮ニ含マレザルト思料セラルル場合「選擧管理者ハ該封皮ヲ開キ若シ身分宣言ヲ含ムト判明セル場合」ハ斯ノ如キ宣言及投票紙ニ對シテ此ノ命令ノ此ノ章ノ規則ニ從ヘル處置ヲ取ルベシ

（リ）投票紙ヲ伴ハザル身分宣言及身分宣言ヲ伴ハザル投票紙ニハ「棄却」ト記載スベシ

（ヌ）投票紙及身分宣言ガ共ニ受理セラレ其ノ番號ガ一致スル場合該投票紙ハ此ノ命令ノ第四別表ニ示サレタル投票者ヘノ訓示ノ第五節ニ從ハザルノ理由ノミニテ棄却セラルルコトナシ

（二十三）（イ）選擧管理者ハ適法ニ署名セラレズ且證明セラレザル理由ニ依テ棄却セントスル身分宣言ヲ代理人ニ示スベシ而シテ若シ其ノ決定ニ對シ代理人ガ抗議ヲ爲シタル時ハ其ノ裏書ニ「抗議セラレタル棄却」ナル語句ヲ附加スベシ

（ロ）選擧管理者ハ總テノ宣言ヲ各場合ニ應ジ其ノ添附セラレタル封皮又ハ投票紙ト共ニ他ノ書類ト區別シテ保管スベキモノトス

（二十四）（イ）不在投票者投票函中ノ外被封筒ガ開カレ其ノ內容ガ前記ノ二規則ニ從テ處置セラレタル時選擧管理者ハ開封セラレザル投票紙封皮ヲ開キ其ノ封皮上ノ番號ト投票紙上ノ番號トヲ比較スベシ

（投票函ニ收メラル可キ投票紙）

（ロ）若シ番號ガ一致スルトキハ選擧管理者ハ其ノ投票紙ヲ此ノ命令ノ規則二十ニ規定セラレタル方法ニテ豫メ示サレ且封緘セラレタル投票函ニ收ムベシ該投票箱ハ爾後一八七二年無記名投票法ノ第一別表第一ノ規則三十四ノ目的ニ對スル投票箱トシテ取扱ハル可シ

（ハ）若シ番號ガ一致セザル時ハ其ノ投票紙ニ「棄却」ト記載シ其レヲ封皮ニ添附スベシ

大法官部官吏ニ送付セラルベキ書類

（二十五）（イ）選擧管理者ハ投票紙交付ノ完了後可及的速ニ代理人ノ面前ニテ不在投票者名簿ノ寫シ及投票紙ノ控ヲ管理者自身ノ印鑑及管理者ト共ニ捺印セント欲スル代理人ノ印鑑ニテ封緘シ各別ノ小包ニ作成スベシ

第二次ノ投票紙交付ガ行ハルル時不在投票者名簿ノ記入セル寫シヲ包含スル前記小包ハ選擧管理者其ノ配付ノ目的ノ爲ニ開披スルコトヲ得而シテ其ノ配付ノ完了スルヤ該名簿及其ノ交付ニ於ケル投票紙控ハ此ノ規則ニ從テ封緘且包裝セラルベシ

（ロ）選擧管理者ハ各別ノ小包ニ(1)適法ニ受理セラレタル投票紙ニ伴フ身分宣言、(2)棄却セラレタル身分宣言、及(3)棄却セラレタル投票紙、（後ノ二者ノ場合ニハ若シ在ラバ其レニ添附セラレタル封筒ト共ニ）ヲ封緘ス

（ハ）投票箱締切後選擧管理者ガ外被封筒ヲ受理セル場合又ハ不在投票者ニ宛テラレタル封筒ガ配達不能トシテ返却セラレタル場合選擧管理者ハ斯ノ如キ封筒ヲ開封スルコトナク（其ノ宛名ヲ書キ直シ得ル權限ニ從テ）各別ノ小包ニ封緘スベシ

（ニ）選擧管理者ハ一八七二年ノ無記名投票法第一別表第一ノ規則三十八ニ擧ゲラレタル書類ヲ送達スルト同時ニ

（a）此ノ規則ノ前記ノ條項中ニ規定セラレタル小包及

（b）保健大臣（或ハ「スコットランド」ニテハ「スコットランド」長官、或ハ「アイルランド」ニテハ「アイルランド」地方自治廳）ノ指示セル書式ニテ不在投票者ニ送附セラレタル投票紙ノ數ヲ表示シ且斯ノ如キ投票紙ニ關シテ其ノ書式ノ要求スル特殊事項ヲ擧ゲタル聲明書、ヲ大法官廳書記官ニ宛テテ送達スベシ

（ホ）配達不能トシテ返却セラレタル封筒及上記ノ小包ガ大法官廳書記官ニ送達セラレタル後ニ選擧管理者ニ依テ受理セラレタル外被封筒ハ未開封ノ儘保留サレ後ニ至リテ送達サルベシ

第四

代理人ニ依ル投票

（法令二十三項及第三別表規則九及十一）

（代理人任命ト申請ノ書式）

（二十六）選擧人ノ委任狀配付ノ申請ハ此ノ命令ノ第五別表第一ノ書式又ハ同ジ趣旨ノ書式ニ依ルベキモノトス

（代理人ノ任命）

（二十七）（イ）登錄官ハ委任狀交付ノ申請ヲ受ケタル場合代理

人ガ任命セラルルト確信スルトキハ第一選擧トシテ指名セラレタル者ニソノ者ガ代理人トシテ任命セラルル資格無キカ又ハ代理人トシテ行動スル意思無キコトヲ知ラザル限リ該選擧人ノ爲ニ代理人トシテ任命セラルルコトガ推薦セラレタルコトヲ通知シ七日以內ニ本人ガ該選擧人ノ代理人トシテ行動スル意志無キコト又ハ代理人トシテ行動スルコト能ハザルコトノ通告ナキトキハ委任狀ハ該指名人ニ交付セラレ且代理人名簿ニ記載セラルベシ

登錄官ガ委任狀ノ交付ヲ爲ス爲ニ更ニ詳細ノ報道ヲ必要トスル場合交付ノ申請ノ書式ニ指名セラレタル者ニ委任狀ノ交付ヲ可能ナラシムルニ必要ナル更ニ詳細ノ報道ヲ與フル申請ヲ爲スコトヲ承認セラレタル者ノ姓名ガ指示セラレタル場合選擧管理者ハ其ノ指名サレタル者ニ付更ニ詳細ナル報道ヲ請求スベシ上記ノ七日ノ期限滿了ノ際第一選擧トシテ指名セラレタル者ガ代理人トシテ行動スルコト不可能ナルカ又ハ斯ノ如キ意志無キコトノ通告ナキ場合登錄官ハ選擧人ノ反對ナル指示無キ限リ委任狀ヲ其ノ者ニ郵送又ハ送達シ其ノ氏名ヲ代理人名簿ニ記載スベシ登錄官ハ第一選擧トシテ指名セラレタル代理人トシテ行動スルコトヲ欲シ且ツ行動スルコトノ可能ナルコトヲ確信スル場合上記ノ七日ノ滿了以前ニ上述ノ如ク委任狀ヲ郵送又ハ送達シ其ノ氏名ヲ代理人名簿ニ記載スルコトヲ得

（ロ）　通知書郵送ノ日ヨリ七日以內ニ登錄官ガ第一選擧トシテ指名セラレタル者ガ代理人トシテ行動スルコトノ不可能ナルカ又ハ意志無キコトノ通知書ヲ受理シタルトキハ登錄官ハ申請書ニ第二選擧トシテ指名セラレタルモノアルトキハ其ノ指名セラレタル者ニ就キテハ同樣ニ取扱フベシ

（ハ）　第一選擧トシテ指名セラレタル者及第二選擧トシテ指名セラレタル者何レモ代理人トシテ行動スルコトノ不可能ナルカ又ハソノ意志無キカ又ハ行動スル資格無キ時或ハ理由ノ如何ヲ問ハズ登錄官ガ申請ニ應セズ委任狀ヲ交付セザル場合登錄官ハ該選擧人ニ委任狀ノ發セラレザリシコトヲ告ゲ其ノ理由ヲ說明スル通知書ヲ送附スベシ

（ニ）　登錄官ハ委任狀ノ交付後可及的速ニ選擧人ニ其ノ旨ヲ告ゲ同時ニ委任狀ヲ受ケタル者ノ氏名及住所ヲ記載セル通知書ヲ送附スベシ

（委任狀書式）

（二十八）　登錄官ノ交付ス可キ委任狀ハ此ノ命令ノ第五附表第二號書式或ハ同樣ノ趣旨ノ書式ニ據ルベシ

（遲レタル申請）

（二十九）　登錄官ガ選擧ニ於ケル候補者指名日ヨリ滿一日以內ニ委任狀交付ノ申請ヲ受ケタルトキハ其ノ申請ハ其ノ選擧ノ目的ニ違シ無效タルベシ

（取消書式）

（三十）　委任狀取消ノ爲登錄官ニ提出サルル通知書ハ此ノ命令ノ第五附表第三號書式或ハ同樣ノ趣旨ノ書式ニ據ルベシ

（三十一）　委任狀ガ取消サレタル場合登錄官ハ前記取消サレタル委任狀ノ下ニ任命セラレタル代理人ニ取消通知ヲ送附シ其ノ氏名

ヲ代理人名簿ヨリ抹殺スベシ

（代理人ニナス質問）

（三十二）　國會議員選擧ニ於テ選擧人ノ代理人トシテ投票スルコトヲ要求スルモノニ問ヒ得ルモノハ

（イ）　一八四三年ノ議會投票者登錄法第八十一項ノ質問ニシテ次ノ如ク修正セラレタルモノ

（a）「貴君ハ此ノ委任狀ニ乙某ノ爲ニ投票スル資格ヲ有スル甲某トシテ記載セラレタル本人ナリヤ」

（b）「貴君ハ乙某ノ爲ニ此ノ選擧ニ於テ此處又ハ他所ニテ某々（郡）（市邑）或ハ某々ノ（郡）（市邑）ノ區ノ爲ニ投票セリヤ」

（ロ）　該法令ノ第二別表第二ノ質問ニシテ下ノ如ク修正セラレタルモノ

（a）　住居資格ニ依テ登錄セラレタルモノノ爲ニ代理人トシテ投票スルモノノ場合

「貴君ハ此ノ總選擧ニ於テ住居資格ニ就キテ乙某ノ爲ニ既ニ投票セリヤ」

（b）　住居資格以外ノ資格ニ依テ登錄セラレタルモノノ爲ニ代理人トシテ投票スルモノノ場合

「貴君ハ此ノ總選擧ニ於テ住居資格以外ノ資格ニ就キテ乙某ノ爲ニ既ニ投票セリヤ」

（c）　大學選擧ニ非ザル選擧ニ於テ婦人ノ爲ニ代理人トシテ投票スルモノノ場合

「貴君ハ此ノ總選擧ニ於テ乙某ノ爲既ニ投票セリヤ」

注意―其ノ答ガ否定的ナラザレバ前投票ガ大學選擧ニ於テ爲サレタルコトヲ監督官ガ確信セザル限リ代理人ハ投票スルヲ得ズ

此ノ規則ヲ「スコットランド」ニ適用スルニハ一八八〇年ノ國會議員選擧及腐敗行爲法ノ三項及此ノ規則ヲ「アイルランド」ニ適用スルニハ一八五〇年ノ國民代表（アイルランド）法ノ八十八項ヲ一八四三年ノ國會投票者登錄法ノ八十一項ニ代用ス

（代理人ニ立テサスル宣誓）

（三十三）　上記ノ質問ニ關シ代理人トシテ投票スルコトヲ要求スルモノニ爲サシムル（スコットランド以外ノ地ニテ）宣誓ハ次ノ如シ

「余ハ全能ノ神ニ依テ誓フ（或ハ余ハ誠實ニ眞實ニ宣言シ斷言ス）（何レニシテモ其ノ場合ニヨル）余ガ……ニ就キテ交付セラレタル委任狀ニ……トシテ記載セラレタル本人タルコト及余ガ此ノ選擧ニ於テ……ノ國會議員選擧區タル州ノ爲ニ（或ハ……ノ國會議員選擧區タル州ノ……區ノ爲ニ）或ハ……ノ國會議員選擧區タル市邑ノ爲ニ（或ハ……ノ國會市邑ノ……區ノ爲ニ）（何レモ其ノ場合ニヨル）此處又ハ他所ニテ……ノ爲ニ未ダ投票セザリシコトヲ」

（委任ノ制限）

（三十四）　此ノ命令ノ第六附表第一欄ニ指示セラレタル法令ハ其ノ表ノ第二欄ニ掲ゲラレタル制限ヲ受ケタル法令ニ從ヒテ代理人トシテ投票スルモノニ適用ス

（無記名投票法ノ適用）

（三十五）　一八七二年ノ無記名投票法第三項ハ委任狀ニ關シテ投

票紙ニ關スル其ノ項ノ第二節或ハ第三節ニ明記セラレタル行爲ヲ爲スモノニ適用ス

第五

様（命令十三項（2）及二十四項ヲ見ヨ）

（法令第二十四項ニ依ル證明書）

（二十七） 法律ノ第二十四項ニ從テ選擧管理者ニ依テ與ヘラルル證明書ハ此ノ命令ノ第八表ニ揭ゲラレタル書式又ハ同様ノ趣旨ニ基ク書式ニ據ルベシ

（法令第一別表ノ規則ノ修正）

（三十九） 此ノ命令ノ規定ニシテ同法律ノ第一別表ニ揭ゲラレタル規則ノ何レカニ矛盾シ又ハ齟齬スル場合斯ノ如キ規則ハ此ノ命令ニ一致スル如ク修正セラル可キモノト見做サルベシ

（解釋法ノ適用）

（四十二） 一八八九年ノ解釋法ハ此ノ命令解釋ノ目的ニ對シテ其レガ國會法ノ解釋ニ適用サルルト同様ノ方法ニテ適用セラル

（略稱）

（四十三） （イ） 此ノ命令ハ國民代表命令トシテ引用サルルヲ得

（施行）

（3）此ノ命令ハ大學選擧區ニハ適用セズ

（規則十五及十九）

第四別表

郵便投票ニ對スル書式

第一號書式——身分宣言ノ書式

「書式ノ表面」

投票紙第一號

身分宣言

余ハ上記ノ番號ノ投票紙及其ノ封入セラレタル封筒（其ノ兩者ヲ余ハ今提出ス）ノ送附セラレタル本人タルコトヲ宣言ス

投票者署名……………

余ノ個人的ニ知己ナル上記ノ氏名ノ者ハ上述ノ投票紙及封筒ヲ提出シ上記ノ宣言ヲ余ノ面前ニテ署名セリ

證人署名……………

若シ證人ガ軍隊ニ現役中ナル時ハ番號（若シアレバ）、船、部隊及軍隊、地位等若シ軍隊ニ現役中ナラザレバ居所ヲ記セ……………

（此ノ書式ノ裏面ノ訓示ヲ見ヨ）

（書式ノ裏面）

投票者ヘノ訓示

1、添附セラレタル投票紙ニ記ス前ニ投票者ハ

（i）上ニ番號ノアル投票紙

（ii）此ノ用紙及

（iii）投票紙ヲ受取レル時ノ封筒ヲ投票者ト知己ノ間柄ニシテ身分宣言ヲ證明スル者ニ提出スルヲ要ス（他面ヲ見ヨ）

2、投票者ハ證人ノ面前ニテ署名スルヲ要ス

3、投票者ハ……………候補者（等）ノミノ爲ニ投票スルヲ得

4、投票者ハ投票紙ノ右側ニソノ投票セシトスル（其）（各）候補者ノ氏名ノ反對側ニ十文字ヲ印スルコトニ依テ投票スルヲ要ス

投票者ハ自己カ如何ニ投票セシカヲ他人ニ見セシムベカラズ

5、投票ヲ終ルヤ直チニ投票者ハ其ノ記號セラレタル投票紙ヲ同封ノ「投票紙封筒」ト印刷セラレタル小封筒ニ入レ其レヲ結束スベシ次ニ其ノ投票紙封筒ヲ此ノ用紙ト共ニ選擧管理者ヘ宛テラレタル同封ノ他ノヨリ大ナル封筒ニ入レ遲滯ナク郵便ニテ發送スルヲ要ス選擧人ガ其ノ投票紙ヲ直ニ返送スルニ非ザレバ計算セラレザルベシ

6、投票者ガ一枚以上ノ投票紙ヲ受理シタルトキハ居所資格ニ關シテ一度ノミ投票シ得ルコトヲ記憶スルヲ要ス然シ他ノ一選擧區ニ於ケル事務所資格ニ關シテ又ハ大學選擧者トシテ第二ノ投票ヲナシ得

第二號書式—不在投票者ニ宛テラル可キ封筒書式

國會選擧——投票紙

投票者ハ此ノ封筒ヲ直ニ開キ彼ガ投票シ終ル迄保管ス可シ

（封入ノ訓示ヲ見ヨ）

配達不能ナレバ未開封ニテ左記ニ返戻ス可シ

……………………

第三號書式―選擧管理者ニ宛テラル可キ封筒書式

國會選擧……………………選擧區

選擧管理者行

（居所）……………………

第四號書式―投票紙封筒書式

投票紙封筒

番號……………

投票紙ハ此ノ封筒ニノミ封入サル可シ此ノ封筒ハ身分宣言ト共ニ選擧管理者ニ宛テラレタル封筒ニ入レラルルヲ要ス

……………………選擧區

第五別表

代理人ニヨル投票ニ對スル書式（規則二十六、二十八、三十）

第一號書式―代理人申請書式

一九一八年ヨリ一九二〇年ニ至ル國民代表法

選擧管理者ヘ―

余（選擧人ハ玆ニ彼ノ姓及其ノ他ノ名ヲ略サズニ書ケ、）……………………ハ玆ニ國會議員選擧ノ際多分余ガ海上或ハ英國外ニ在ルコト及余ガ斯ノ如キ選擧ニ余ノ爲ニ投票スル爲ニ下記ノ如ク第一選擇トシテ指名セル者ヲ代理人トシテ任命スルヲ欲スルコトヲ陳述ス

代理人トシテ任命サル可キ者

選擧人ハ玆ニ書キ入ルルヲ要ス
- 第一選擇人ノ氏名……………………
- 第一選擇人ノ郵便配達先……………………
- 若シアレバ第一選擇人ノ選擧人ニ對スル關係……………………

2、選擧人ハ第一選擇人ガ意志無キカ或ハ其ノ資格無キ場合ノ爲ニ玆ニ書キ入ルルヲ要ス
- 第二選擇人ノ氏名……………………
- 第二選擇人ノ郵便配達先……………………
- 若シアレバ第二選擇人ノ選擧人ニ對スル關係……………………

3、選擧人ハ此ノ欄ヲ出來ル丈充スベシ
- 選擧人ガ其ノ爲ニ登錄セラレタル邸宅ノ郵便配達先……………………

余ハ上ニ指名セラレタル者或ハ其ノ一人ヲ余ノ代理人トシテ任命スル委任狀ノ配付ヲ申請ス而シテ選擧管理者ニ依テ更ニ詳細

ナル報告ガ要求セラルル場合ノ爲ニ余ハ玆ニ……

4、選擧人ハ玆ニ英國内ニ在住シテ選擧人ガ海上或ハ海外ニ在ル場合要求サルル更ニ詳細報告ヲナシ得ル者ノ氏名及住所ヲ書キ入ルル可シ右ノ如ク承認サルル者ハ上ニ代理人トシテ指名セラレタル者ノ一人タリ得

氏　名……

郵送名宛先……

ヲ承認シテ其ノ者或ハ指名ノ一人ニ委任狀ガ配付サルルニ必要ナル更ニ詳細ノ報告ヲ爲サシム書式ハ適當ニ署名サレ證明サレ

日附ヲ入ルルヲ要ス

若シ選擧人ガ軍隊ニ在ル時ハ（若シアレバ）番號、船、部隊及軍隊地位等級等ヲ記セ若シ軍隊ニ在ラザル場合ハ職業ノ性質例ヘバ商人海員、行商人等ヲ記セ

選擧人ノ署名……

選擧人ノ事務或ハ職業……

玆ニ選擧人ガ軍隊ニ在ル場合認ムル要ナシ

郵便送達ノ爲ノ英國内ノ選擧人住所或ハ英國内ノ他ノ郵送番地……

證人ハ選擧人ノ知己ナルヲ要シ選擧人ガ軍隊ニアル場合出來レバ將校タル可シ若シ證人ガ軍隊ニアル場合ニハ（若シアレバ）番號、船、部隊及軍隊、地位、等級等ヲ記セ

證人……

證人ノ事務或ハ職業……

玆ハ證人ガ軍隊ニ在リ特別ノ任務ノ知レタル場合認ムル要ナシ

證人ノ郵送番地……

日　附……

第二號書式―委任狀書式

一九一八年ヨリ一九二〇年ニ至ル國民代表法

委　任　狀

選擧區……

投票區……

（氏　名）……

（住　所）……

ハ玆ニ下記ノ代理人トシテ任命サレ

（選擧人氏名）

下記ニ關シテ國會議員選擧人トシテ登錄セラレタル

（資格ヲ與フル邸宅ノ番地）……

此ノ委任狀ガ有效ナル間上記ノ選擧區ノ總テノ國會議員選擧ニ於ケル斯ノ如キ選擧人ノ爲ニ投票スルモノナリ

選擧管理者ノ署名……

日　附……

注意―委任代理人トシテ任命セラレタル者ハ此ノ狀ヲ注意シテ保存スルヲ要ス是ハ各選擧毎ニ投票場ニテ選擧管理者ニ提出サル可キモノニシテ選擧管理者ハ其レニ依テ通常ノ方法ニテ記載サル可キ投票紙ヲ交付ス

第六別表

法律ノ修正一覽表（代理人ニ依ル投票）

法律	修正
一八七二年ノ無記名投票法	
第二項……	代理人トシテ投票スル者ニ交付セラルル投票紙ノ控ニ記入セラルル番號ハ該代理人ヲ任命セル者ノ番號タルヲ可シ
第七項……	氏名ヲ投票者登錄簿ニ記載セラルルニ非ザレバ投票スル資格無シトスル此ノ項ノ規定ハ代理人トシテ投票スル者ニ適用セズ
第二十四項……	此ノ項ノ第二節ハ一選擧ニ於テ代理人トシテ投票シタル者ガ投票スル資格アル場合同選擧ニテ彼自身ノ權利ニ於テ投票スル目的ノ爲ニ投票紙ヲ申請スルヲ禁セズ是ハ此ノ反對ノ場合ニモ適用ス
第一別表 規則二十四……	此ノ規則ニテ最初ニ來ル「選擧人ナル」字句ハ代理人トシテ投票スル者ニ言及スト見做サレ、次ニ來ル「選擧人」ナル辭句ハ該代理人ヲ任命セル者ニ言及スト見做サル
第一別表 規則二十七……	提出セラレタル投票紙ノ裏書ハ代理人トシテ投票スル者ノ場合ニテハ斯ノ如クシテ投票スル者ノ氏名及投票者登錄簿ニ記載セラルル代理人任命者ノ氏名及番號ヲ含ム、而シテ同一事項ハ提出セラレタル投票者名簿ニ記載セラル
第二別表（文盲ノ宣言）	文盲ノ宣言ハ代理人トシテ投票スル者ニアリテハ次ノ如クニ修正サル…… 「……ノ甲某タル余ハ……ノ乙某ノ爲ニ代理人トシテ投票スルノ資格ヲ與ヘラレ……選擧區ノ投票者名簿ニ……ノ番號ヲ記載セラレタル者ニシテ玆ニ余ガ文盲ナルコトヲ宣言ス 甲某、　印

規則三十七

第八別表

法律第二十四項ニ據ル證明書

選擧區……

上記ノ選擧區ノ選擧管理者タル余ハ玆ニ上記ノ選擧區ノ……投票區ノ選擧人登錄簿ニ……ノ番號ヲ記載セラレタル甲某ガ余ニ依テ前記ノ選擧區ノ選擧ニ關スル目的ノ爲ニ傭ハレタルコト及其ノ事務ノ性質ガ余ノ意見ニ依レバ其ノ事務ノ故ニ非ザレバ投票スル資格アル投票場ニテ投票スルコトヲ妨ゲルモノナルコトヲ證明シ從テ余ハ彼ガ……投票地ニ於ケル投票場ニテ投票スルコトヲ承認ス

署名……

選擧管理者

（注意ヲ要ス）—代理人トシテ投票スル資格アル者ノ場合上記ノ證明書ハ次ノ如シ

前記ノ選擧區ノ選擧管理者タル余ハ玆ニ……投票區ノ選擧人登錄簿ニ……ノ番號ヲ記載セラレタル甲某ノ爲ニ代理人トシテ投票スル資格ヲ與ヘラレタルコトヲ證明シ云々

一九二四年　一〇三〇號

英國ノ國會選擧

選擧管理者ノ費用

一九二四年九月九日ノ日附ニシテ一九一八年ノ國民代表法（ジョージ五世第七及八議會第六十四章）ノ第二十九項ニ據ル大藏省々令ハ「イングランド」及「ウェールズ」ニ於ケル國會議員選擧ノ選擧管理者ノ最高費用表ヲ規定ス

A選擧管理者ノ職務ノ爲

（一）競爭選擧ニ於テ

（i）選擧ヲ執行スル爲及一般的ニ國會議員選擧ニ關スル總テノ法律ニテ選擧管理者ガ履行ヲ要求サレタル總テノ職務（此ノ表ニ依テ別ノ報酬ヲ規定サルル不在投票者ノ投票ニ關スル職務以外）ヲ果ス爲ノ報酬、

	磅	志	片
（イ）國會議員選擧區タル州ニ於ケル總テノ選擧區ノ爲……			
（a）登錄セラレタル選擧人ノ數ガ二萬五千ヲ越エザル場合……	五〇	〇	〇
（b）二萬五千以上三萬五千ニ至ル間ニ於テ一千或ハ其ノ端數ガ加ハ			

ル毎ニ追加……	一	〇	〇
(c)三萬五千以上四萬五千ニ至ル間ニテ一千或ハ其ノ端數ガ加ハル毎ニ追加……		一五	〇
(d)四萬五千以上ニテ一千或ハ其ノ端數ガ加ハル毎ニ追加……		一〇	〇
(ロ)一選擧區一議員ノ選擧ニ於ケル國會議員選擧區タル市邑ノ各選擧區ノ爲ニ			
(a)登錄セラレタル選擧人ノ數ガ二萬五千ヲ超エザル場合……	四〇	〇	〇
(b)二萬五千以上三萬五千ニ至ル間ニテ一千或ハ其ノ端數ガ加ハル毎ニ追加……	一	〇	〇
(c)三萬五千以上四萬五千ニ至ル間ニテ一千或ハ其ノ端數ガ加ハル毎ニ追加……		一五	〇
(d)四萬五千以上ニテ一千或ハ其ノ端數ガ加ハル毎ニ追加……		一〇	〇
(ハ)一選擧區二議員ノ選擧ニ於ケル國會議員選擧區タル市邑ノ各選擧區ノ爲ニ			
(a)登錄セラレタル選擧人ノ數ガ五萬ヲ越エザル場合……	六〇	〇	〇
(b)五萬以上六萬ニ至ル間ニテ一千或ハ其ノ端數ガ加ハル毎ニ追加……	一	〇	〇
(c)六萬以上七萬ニ至ル間ニテ一千或ハ其ノ端數ガ加ハル毎ニ追加……		一五	〇
(d)七萬以上ニテ一千或ハ其ノ端數ガ加ハル毎ニ追加……		一〇	〇
(ii)不在投票者ノ投票紙ノ發送及ビ受理ニ關スル勤務ノ爲ノ追加……			
報酬——			
國會議員選擧區タル州又ハ市邑ノ各選擧區ノ爲ニ——			
(a)選擧區ニ於ケル不在投票者(代理人投票者ヲ除ク)ノ數ガ一千ヲ			

	磅	志	片
越エザル場合……			
(b)一千ヲ越ユレドモ二千ヲ越エザル場合……	一〇	〇	〇
(c)二千ヲ超ユレバ五十或ハ其ノ端數ノ加ハル毎ニ追加……		一	〇

（二）無競爭選擧ニ於テ

競爭選擧ノ爲ニ承認セラレタル額ノ四分ノ一

選擧管理者ノ一般職務ガ臨時選擧管理者ニ依テ履行セラルル場合上記ノ報酬ハ斯ノ如キ臨時選擧管理者ニ支拂ハル可キモノニシテ臨時選擧管理者ニ割リ宛テラルル職務遂行ノ爲臨時選擧管理者代理ニ支拂ハルル者ヲモ含ム

B出　費

（一）競爭選擧ニ於テ

——	國會議員選擧區タル州ノ選擧區ニ於テ			國會議員選擧區タル市邑ノ選擧區ニ於テ		
	磅	志	片	磅	志	片
(イ)投票場ニ備ハレタル監督官ニ宛テラレ此ノ表ノ承認スル旅費以外ノ總テノ出費ヲ含ム……	三	三	〇	三	〇	〇
然シ若シ投票時間(普通十二)ガ延長サルル時ハ次ノ如ク支拂ヒ得						
(a)一時間ノ延長ニ對シテノ追加限度……	〇	五	〇	〇	五	〇
(b)二時間ノ延長ニ對シテノ追加限度……	〇	七	六	〇	七	六
(ロ)六百名以上ノ投票者ガ割リ宛テラレザル各投票場ニ於ケル一書記ニ對シテ……	一	五	〇	一	五	〇
投票場ニ對シテ最初ニ割リ宛テラレタル六百名ヲ超ユル六百名或ハ其ノ端數毎ニ對スル一名ノ追加書記ニ對シテ……	一	五	〇	一	五	〇
(斯ノ如キ投票場ニ割リ宛テラレタル投票者數ノ計算ニハ代理人投票者以外ノ不在投票者ヲ除外スルヲ要ス)						
若シ投票時間(普通十二)ガ延長サルル時ハ各書記ニ對シテ次ノ如ク支拂ヒ得						

(a)一時間ノ延長ニ對シテノ追加限度	〇	二	六	〇	二	六
(b)二時間ノ延長ニ對シテノ追加限度	〇	四	〇	〇	四	〇
(ハ)投票計算ニ從事スルモノノ報酬トシテ						
(a)其ノ選擧ニ於ケル登錄セラレタル選擧人ノ數ガ二萬ヲ超エザル時ノ總額	一四	〇	〇	一四	〇	〇
(b)選擧人ノ數ガ二萬ヲ超エル時ハ各二千名或ハ其ノ端數毎ニ追加	〇	一五	〇	〇	一五	〇
(ニ)不在投票者ノ投票數ガ發送及受理スル爲ニ傭ハレタルモノノ報酬トシテ						
(a)若シ不在投票者(代理投票者ヲ除ク)ノ數ガ二百ヲ超エザル時ハ	三	〇	〇	三	〇	〇
(b)若シ不在投票者(代理投票者ヲ除ク)ノ數ガ二百ヲ超エル時ハ各百名或ハ其ノ端數毎ニ追加	〇	一五	〇	〇	一五	〇
(ホ)臨時選擧管理者或ハ臨時選擧管理者代理ニ依テ選擧ノ目的ノ爲ニ傭ハレタル總テノ書記或ハ其ノ他ノ手傭ニシテ此ノ表ニ報酬ノ規定無キ總テノ勤務ヲモ含ム 若シ登錄セラレタル選擧人ノ數ガ						
(a)二萬五千ヲ超エザレバ	三〇	〇	〇	二五	〇	〇
(b)二萬五千ヲ超ユレバ、各一千名或ハ其ノ端數毎ニ追加	一	二	六	一	〇	〇
(ヘ)選擧管理者或ハ臨時選擧管理者或ハ臨時選擧管理者代理ノ選擧施行ニ關シテ投票準備或ハ其ノ他ノ爲ニ必要ナル場合ノ旅費	職務ノ爲必要已ムヲ得ズ五日以内出張セル場合一晩一ポンドノ食事手當ト共ニ鐵道一等旅費或ハ鐵道ノ利用不能ノ場所ニテハ實際必要ナル費用			職務ノ爲必要已ムヲ得ズ五日以内出張セル場合一晩一ポンドノ食事手當ト共ニ鐵道一等旅費或ハ鐵道ノ利用不能ノ場所ニテハ實際必要ナル費用		
(ト)監督官及投票書記ノ旅費 (監督官或ハ投票書記ガ投票函ヲ投票場ニ運ビ來リ或ハ運ビ去ル責任ヲ有スル場合ニ於ケル投票函運搬ノ費用ヲ含ム)	」職務ノ爲必要已ムヲ得ズ自宅外ニ過セル各一夜ニ對シテ監督官ニハ一ポンド、投票書記ニハ十シルリングノ食事手當ト共ニ鐵道ノ三等旅費或ハ鐵道ノ利便無キ處ニテハ實際必要ナル費用			」監督官或ハテ投票書記ガ投票函運搬ノ責任ヲ有スル場合(然ラザル時ハ然ラズ)實際必要ナル費用		
(チ)臨時選擧管理者或ハ臨時選擧管理者代理ニ依テ選擧施行ニ關シテ投票準備或ハ其ノ爲ニ傭ハレタル計算手傭人以外ノ書記其ノ他ノ手傭人ノ旅費	職務ノ爲必要已ムヲ得ズ自宅外ニテ過サレタル各一夜ノタメ十シルリングノ食事手當ト共ニ鐵道三等旅費或ハ鐵道ノ利便無キ處ニテハ實際必要ナル費用					
(リ)投票紙ノ印刷及供給ノ爲	實際必要ナル費用					
(ヌ)選擧或ハ投票ニ於テ其レノ爲必要ナル通知書及其ノ他ノ書類ノ印刷及供給ノ爲及其ノ發行費用	實際必要ナル費用					
(ル)選擧ノ目的ノ爲ノ一建物或ハ一室ノ借賃一建物或ハ一室ノ暖房點火及掃除ノ爲	實際必要ナル費用					
(ヲ)選擧ノ目的ノ爲建物或ハ一室ヲ改變シ及其ノ平常ノ使用ニ適フ樣ニ其レヲ復舊セシメル爲ノ費用ニシテ投票室ノ準備及他ニ求メ難キ必要ナル裝具ノ損料ヲ含ム	實際必要ナル費用					
(ワ)貸借或ハ修復スル必要アル各投票函ノ爲ニ、	實際必要ナル費用					
(カ)B(一)(ト)ニ依ル監督官或ハ投票書記ノ旅費ニ投票函ノ運搬ガ含メラレザル場合ノ投票函、投票紙云々ノ運搬ノ爲						
(ヨ)購入、賃借變更或ハ修覆ヲ必要トスル捺印器具ノ爲	實際必要ナル費用					
(タ)登錄ノ寫ノ爲	實際必要ナル費用					
(レ)一般書輸並及封筒、郵便料、電報及電話音信等ノ爲	實際必要ナル費用					

(二)ー無競爭選擧ニ於テ

總テノ必要ナル豫備的事務ノ爲	上記ノ表ノ範圍内ノ實際必要ナル費用ニシテ書記及其ノ手傳ニ對シテハB(一)ホ項下ノ競爭選擧ニ支拂ハルル報酬ノ四分ノ一ヲ越エザルベシ

上記ノ表ノ目的ニ對シテ市邑内ノ一區ハ國會議員選擧區タル州内ノ一選擧區トシテ取扱ハル

大學選擧

一九一八年一四六四號

2 英國聯合大學選擧區ニ於テ沒收サルル候補者ノ供託金ハ選擧區ヲ構成スル各大學ノ間ニ平等ニ分割サレ各大學ノ受理セル供託金ノ持分ハ其ノ大學ノ入費ヲ支拂フ基金ノ中ニ繰リ入レラルベシ

一八一八年一三四九號

（一） 本法律ノ第二十六項ヲ大學選擧ニ適用スルニ當リ選擧管理者ニ依テ指名ノ爲ニ指定セラレタル時ヲ選擧ノ爲ニ指定セラレタル時ニ代用ス

（二） 直接投票ヲ許サレ且選擧ガ移讓投票ノ原則ニ依テ行ハルル場合ハ投票紙ハ直接投票ヲ爲ス選擧人又ハソノ利益ノ爲ニスル選擧管理者ニ依テ記入サレ其ノ書式ハ郵便投票ヲナス選擧人ノ爲ニ規定セラレタルモノト同一ニシテ其レト同一ノ宣言ヲ含ム但シ證人ノ要無シ

（三） 候補者ハ指名ノ爲ニ指定セラレタル日ノ何時ニテモ但シ其ヨリ遲レザル樣自身署名セル撤回ノ通知書ヲ選擧管理者ニ提出スルコトニ依テ其ノ立候補ヲ撤回スルコトヲ得

英國外ニ不在中指名セラレタル候補者ノ提議者ハ指名日ト指定セラレタル日マデハ何時ニテモ自身署名セル通知書ヲ候補者ノ不在宣言書ト共ニ選擧管理者ニ送達スルコトニ依テソノ候補者ヲ撤回スルコトヲ得

（四） 大學選擧區ノ爲ニ國會ニ選出セラレタル一名又ハ數名ノ議員ノ選擧報告ハ選擧管理者ノ署名ノ下ニ選擧令狀ニ裏書セラレタル斯ノ如キ議員又ハ議員等ノ氏名ノ證明書ニ依テ爲サレ選擧管理者ハ適當ト思考スル時ハ斯ノ如ク裏書セラレタル證明書ヲ伴フ令狀ヲ投票ガ計算サルル土地ノ主要郵便局ノ局長又ハ其ノ代理ニ交付スルコトヲ得其ノ場合選擧管理者ハ右令狀ニ對シ局長又ハ代理人ヨリ受領書ヲ受ク可キモノトス而シテ斯ノ如キ局長又ハ代理人ハソレヲ封ジ「選擧令狀及選擧報告」ノ文字ヲ記載シテ無料ニテ第一便ニ托シテ陛下ノ書記官又ハ「アイルランド」大學選擧區ノ場合ハ陛下及（英國大法官廳ノ）文書局ノ書記官ニ宛テテ遞送スベシ

（五）「スコツツトランド」大學選擧區ノ場合沒收セラレタル候補者ノ供託金ハ「スコツトランド」大學選擧區ヲ構成スル大學ノ間ニ平等ニ分割サレ各大學ニ依テ受理セラレタル供託金ノ持分ハ其ノ大學ノ選擧費ヲ支出スル基金ニ繰リ入レラルベシ

（六） 本法律ノ第五別表第二ノ規則十八ハ其ノ終リニ次ノ如キ但書ガ挿入セラレタルモノトシ讀マル可シ

「海軍又ハ陸軍投票者ニシテ登錄官ニ英國又ハ『チヤネル・アイランズ』外ノ居所ニ投票紙ノ送付ヲ文書ヲ以テ申請セル者アル場合登錄官ハ投票紙ヲ其ノ居所ニ送付スベシ

（七） 此ノ命令ハ此ノ日附ヨリ效力ヲ發生シ且「スコツトランド」ニ關スル外ハ一八九三年ノ規則公布法第二項ノ條項ニ從テ暫定的效力ヲ有ス

（八） 此ノ命令ハ一九一八年ノ大學選擧（雜規則）命令トシテ引用サレ得

一九二一年二〇〇二號

一九二一年ノ委任狀（大學）命令

（一九一八年ノ國民代表法第三別表ノ適用）

（六） 法律（一九二〇年ノ國民代表（第三）法ニ依テ修正セラレタル）ノ第三別表ハ大學選擧區及大學選擧ニ適用サルル場合次ノ修正ニ從テ效力ヲ有ス

（イ）第四節ハ適用セズ

（ロ）第八節中規定セラレタル表ノ代リニ登錄官ハ代理人ヲ任命セル者及任命セラレタル者及委任狀ノ有效期限終了ノ日附ノ表ヲ登錄簿ニ記載シ該節ノ不在投票者ニ關スル條項ハ右ノ如クシテ記載サルル表ニ適用ス

（ハ）次ノ節ハ第十一節ニ代用サル

「代理人トシテ投票スルコトヲ要求スル者ハ選擧管理者ノ要求アル場合委任狀ヲ提出シ之ヲ提出スルコト能ハザル場合ハ其ノ投票ハ無效トナリ選擧管理者ハ委任狀ニ其ノ拒否ノ理由ヲ裏書スベシ」

「選擧管理者ハ代理權ニ依テ投票スルコトヲ要求スル者ヨリ投票紙ノ書式ニ揭ゲラレタル宣言ニ加フルニ大學選擧區以外ノ選擧區ニテ代理人トシテ投票スルコトヲ要求スルモノニ尋問シ得ル質問ニ相當スルト思料セラルル宣言ヲ要求スルコトヲ得」

（ニ）第十五節ハ適用セズ

（國民代表命令第五別表ニ據ル相當ノ書式ヲ用フル樣）

（七） 國民代表命令第五別表ニ規定セラレタル書式ハ何レモ此ノ命令ニ依テ規定セラレタル其レニ對應スル書式ト同樣ノ趣旨ノ書

式ト見做サルヘシ登錄官ノ意見ニ依リ英國ヨリ不在ノ理由及期間ニ就キテノ報告ヲ會ム必要ナル報告ヲ爲シタリト認ムル時是等ノ書式ニ代用スルコトヲ得

（遣レタル申請）

（八）登錄官ガ代理人ヲ任命スル委任狀下附ノ申請ヲ指名日ノ滿二日前マデニ受理セザル時ハ其ノ申請ハ其ノ選擧ノ目的ヨリ觀テ却下サル可キモノトス

（投票紙ノ送ラル可キ先）

（九）法律ノ第五則表第二ノ規定ニ從テ投票紙ヲ選擧人ニ送付スルコトガ要求サレ且其ノ選擧人ガ代理人ニ依テ投票スル資格ヲ有スル場合投票紙ハ其ノ選擧人ニ送付サルル代リニ代理人ニ送付サルベシ

（登錄官）

（十）此ノ命令ノ「登錄官」ナル語ハ大學ニ關シテハ其ノ大學ノ幹部ニ依テ登錄簿準備ノ目的ノ爲ニ登錄官トシテ指名セラレタル者又ハ官吏ヲ意味ス

（一方式ニ從フ規定ノ變更）

（十一）他ノ一法律又ハ若干ノ法律ガ他ノ集合的名稱ニ依テ一九一八年ヨリ一九二一年迄ノ國民代表法ト共ニ引用サルル法律中ニ包含サルル場合其ノ名稱ハ條令ニ於テ此命令ニ依テ規定セラレタル方式ニ從テ代用サル可シ

（略　稱）

（十三）此ノ命令ハ一九二一年ノ委任狀（大學）命令トシテ引用サルルヲ得

一九一八年一三四八號

（選擧施行）

（一）二名又ハ其レ以上ノ議員ノ選出サルル大學選擧區ノ競爭選擧ニ於テ全定員ノ選擧ハ第一別表ニ明示セラレタル次ノ規定ニ從ヒ行ハルベシ

（選擧ノ方法）

（二）（イ）各選擧人ハ只一票ノミヲ有ス

（ロ）選擧人ハ投票スルニ當リ―

（a）投票用紙ニソノ投票セントスル投票用紙ニソノ投票セントスル候補者氏名ノ反對側ノ正方形內ニ1ノ數字ヲ附スルコトヲ要ス

（b）右ノ外投票紙ニ2ノ數字又ハ2、3、等ノ數字ヲ選擧順ニ他ノ候補者氏名ノ反對側ノ正方形內ニ1附スルコトヲ得

（無效投票紙）

（三）次ノ如キ投票紙ハ無效タル可シ

（a）其ノ上ニ1ノ數字ノ記入セラレザルモノ又ハ

（b）1ノ數字ガ一名以上ノ候補者氏名ノ反對側ニ記入サレタルモノ又ハ

（c）1及其ノ他ノ數字ガ同一候補者ノ氏名ノ反對側ニ記入セラレタルモノ

（投票紙ノ書式）

（四）、法律第五別表ノ規定セル投票紙ノ書式ニ次ノ如キ趣旨ノ注意ヲ附ス

「要注意、―投票用紙ヘソノ投票セントスル候補者氏名ノ反對側ノ正方形內ニ1ノ數字又ハ2、3、等ノ數字ヲ選擇順ニ他ノ候補者ノ氏名ノ反對側ノ正方形內ニ附スルコトヲ得ベシ

次ノ如キ投票紙ハ無效ナリ

（a）1ノ數字ヲ記入セラレザルモノ又ハ

（b）1ノ數字ガ一名以上ノ候補者ノ氏名ノ反對側ニ記入セラレタルモノ又ハ

（c）1及其ノ他ノ數字ガ同一候補者ノ氏名ノ反對側ニ記入セラレタルモノ

從テ用ヒラル可キ投票紙ノ書式ハ是等ノ規定ノ第二別表ニ掲ゲラレタルモノタル可シ

（投票紙ノ整理）

（五）選擧管理者ハ投票紙（無效投票紙以外ノ）ヲ各候補者ノ爲ニ記錄セラレタル第一選擇ニ從テ小包ニ包裝スベシ

聯合大學選擧區ノ場合選擧管理者ハ右包裝ヲ爲ス前ニ各構成大學ヨリ受理セル投票紙ノ全部ヲ混合スベシ

（投票計算）

（六）選擧管理者ハ各包裝中ノ投票紙ノ數ヲ算シ第一選擇ヲ記入セラレタル各有效投票紙ニ就キテ各候補者ニ一票ヲ記入シ然シテ有效投票紙ノ總數ヲ確ム

（當選標準點ノ調査）

（七）選擧管理者ハ缺員數ニ一名超過スル數ニ依テ有效投票紙ノ總數ヲ除シ其ノ商ニ一ヲ加ヘ端數ハ之ヲ切捨テタル數ヲ候補者ノ選擧ヲ確得スルニ必要ナル投票數（下文ニ「當選標準點」ト稱ス）トス

（當選標準點ヲ得タル候補者ノ當選）

（八）一候補者ノ得タル投票數ガ當選標準點ニ等シキカ又ハ超過スル場合其ノ候補者ハ當選者トス

（過剩移讓）

（九）（イ）一候補者ノ得タル投票數ガ當選標準點ヨリ大ナル時ハ其過剩ハ此ノ規定ノ條項ニ從テ其ノ當選セル候補者ノ包裝中ノ投票紙ニ投票者ノ選擇順位トシテ示サレタル候補者ニ順次移讓サルベシ

（ロ）―（a）一當選候補者ノ得タル投票ガ原投票ノミヨリ成ルトキハ選擧管理者ハ其ノ當選候補者ノ包裝中ニアル過剩ヲ移讓シ得可キ總テノ投票紙ヲ調査シ、移讓投票紙ヲ其ノ上ニ記載セラレタル選擇順位ニ從テ再包裝スベシ

（b）一當選候補者ノ得タル投票ガ原投票及移讓投票ヨリ成リ又ハ移讓投票ノミヨリ成ル時ハ選擧管理者ハ其ノ當選候補者ニヨリテ最後ニ受理セラレタル再包裝中ノ投票紙ヲ調査シ其ノ中ノ移讓投票紙ヲ其ノ上ニ記載セラレタル選擇順位ニ從テ更ニ再包裝スベシ

（c）何レノ場合ニ於テモ選擧管理者ハ非移讓投票紙ヲ別個ノ再包裝トシ移讓投票紙ノ各再包裝及非移讓投票紙ノ再包裝中ノ投票紙ノ數ヲ調査ス

（ハ）移讓投票紙ノ再包裝中ノ投票紙ノ總數ガ過剩數ニ等シキカ

其レヨリ尠キ時選擧管理者ハ移讓投票紙ノ各再包裝ヲ投票者ノ選擇順位トシテ示サレタル次ノ候補者ニ移讓スベシ

(ニ)―(a)移讓投票紙ノ總數ガ過剩數ヨリ大ナルトキハ選擧管理者ハ各再包裝中ヨリ過剩數ガ移讓投票ノ總數ニ對スルト同ジ割合ノ投票數ヲ移讓スベシ

(b)各再包裝中ヨリ移讓サル可キ投票紙ノ數ハ其ノ包裝中ノ數ニ過剩數ヲ乘ジ其ノ積ヲ移讓投票紙ノ總數ニテ除シテ得ラル斯クシテ得ラレタル各數ノ端數アラバ之ヲ記錄ス可シ

(c)斯ノ如キ端數ノ存在ノ爲ニ移讓サル可キ投票紙ノ數ガ過剩數ヨリ尠キ時是等ノ端數大ナル順ニ取リ過剩數ニ等シキ移讓投票總數ヲ作ルニ必要ナルモノ迄最大ノ數ヨリ始メテ一完數トシテ算ヘ殘リノ端數ヲ切リ捨ツベシ

(d)各再包裝中ヨリ移讓サル可キ特定ノ投票紙ハ其ノ再包裝中ニ最後ニ挿入セラレタルモノタル可シ

(e)移讓セラレタル各投票紙ハ移讓ヲ爲ス候補者又ハ移讓ヲ受クル候補者ヲ示ス如ク記サル可シ

(ホ)―(a)一名以上ノ候補者ガ過剩投票ヲ有スル場合ハ最大ノ過剩ヲ第一ニ取扱フベシ

(b)二名以上ノ候補者ガ同數ノ過剩ヲ有スル場合各候補者ガ獲得セル原投票數ニ注意シ原投票ノ最大數ヲ得タル候補者ノ過剩ヲ最初ニ取扱フベシ而シテ若シ原投票數ガ等シキ時選擧管理者ハ何レノ過剩ヲ先ニ取扱フ可キカヲ決定ス可シ

(c)一當選候補者ノ過剩ガ移讓セラレザル他ノ過剩ト合計シテ其ノ投票ニ最低位ヲ得タル他ノ二候補者ノ得タル投票總數ノ差ヲ超エザル場合ハ選擧管理者ハ其ノ過剩ヲ移讓スルヲ要セズ

(十)―候補者ガ過剩ヲ有セズ(又ハ前記ノ規定ニ依リ存在スル過剩ヲ移讓スル要無ク)且一又ハ一以上ノ缺員アル場合選擧管理者ハ其ノ投票ヨリ最低投票ヲ得タル候補者ヲ排除シ其ノ候補者ノ全投票ヲ調査シ移讓シ得可キ投票ヲ其ノ上ニ記載セラレタル後順位候補者ニ對スル選擇順位ニ從テ再包裝シ各再包裝ヲ其選擇ヲ記載セラレタル候補者ニ移讓ス

選擧管理者ハ移讓不能ノ投票紙ヲ別個ノ再包裝トナスベシ

(ロ)投票ニ於テ最低位ニアル二名以上ノ候補者ノ投票總數ガ移讓セラレザル他ノ過剩ト合シテ次ノ低位候補者ノ得票ヨリ尠キ時選擧管理者ハ運算ノ後其等ノ候補者ヲ投票ヨリ排除シ其ノ投票ヲ前記ノ規定ニ從テ移讓ス

(ハ)此ノ規定ニ依リ一候補者ガ排除サル可キ場合二名以上ノ候補者ガ同數投票ヲ有シ且投票ノ最低位ニアルトキハ其等候補者各自ガ得タル原投票ニ注意シ原投票數ノ最モ尠キモノガ排除サル而シテ原投票數ノ等シキ時ハ不平等ニ得タル第一移讓トシテノ投票總數ニ注意シ其ノ移讓ニ於テ最低數ヲ得タルモノガ排除サル而シテ總テノ移讓ニ於テ得タル其等ノ候補者ノ票數ガ等シキ時ハ選擧管理者ハ何レヲ排除ス可キカヲ決定ス

(移讓後ノ投票紙ノ處置)

(十一)―(イ)移讓ガ前記諸規定ノ何レカニ從テ爲サルル場合ニ移讓セラレタル各投票ノ再包裝ハ其ノ移讓ヲ受ケタル候補者ノ投票

紙包(若シアレバ)ニ附加セラル而シテ其ノ候補者ハ移讓セラレタル各投票紙ニ就キテ一票ヲ得移讓セラレザル投票紙ハ最後ノ處置ヲナサレタルモノトシテ取リ除ケラレ其レニ依テ爲サレタル投票ハ爾後計算ニ入レラレズ

(ロ)移讓ヲ受ケタル後一候補者ガ過剩ヲ有スルニ至レルトキハ其ノ過剩ハ他ノ候補者ガ排除サルル以前ニ規則(九)ニ含マルル諸條項ニ從テ處置サル可シ

(最後ノ空席ノ補充)

(十二)(イ)後順位候補者ノ數ガ缺員數ト同數トナリタルトキハ其ノ順位候補者ハ當選ス

(ロ)缺員數一ナル場合候補者ノ投票數ガ移讓セラレザル過剩數ト合シテ他ノ後順位候補者ノ總投票數ヲ超過スル場合其ノ候補者ハ當選ス

(ハ)此ノ規則ニ依テ最後ノ缺員ヲ補充シ得ル場合最早移讓ノ要ナシ

(選擧ノ結果ノ公表)

(十三) 選擧ノ結果ヲ公布スルニ當リ選擧管理者ハ是等ノ規定ニ從テ爲サレタル投票ノ移讓ニ就キテ及ビ斯ノ如キ移讓ノ後各候補者ノ獲得セル投票總數ニ就テノ告示ヲナスベシ斯ノ如キ告示ハ是等ノ規定ノ第一別表ニ掲ゲラレタル書式ニ從フコトヲ得

(再計算ノ規定)

(十四)(イ)一候補者又ハ其ノ代理人ハ投票計算中何時ニテモ投票移讓ノ開始前又ハ完了後ニ(過剩又ハ其ノ他)選擧管理者ニ全候補者又ハ一部ノ候補者ノ投票紙(最後ノ處置トシテ取扱ハレタル投票紙ニ非ザル者)ヲ再調査竝ニ再計算スルコトヲ要求スルコトヲ得選擧管理者ハ其レニ從テ直チニ再調査竝ニ再計算ス可キモノトス選擧管理者ハ亦從前ノ計算ノ正確ニ就テ確信無キ場合ハ任意ニ一度又ハ其レ以上投票ノ再計算ヲ爲スコトヲ得但シ是ハ同一投票ヲ一度以上再計算スルコトヲ選擧管理者ノ義務タラシメザルコトヲ要ス

(ロ)選擧請願ニ於テ

(i)選擧管理者ニ依テ計算セラレタル投票紙ガ無效トシテ棄却セラレ又ハ

(ii)棄却セラレタル投票紙ガ有效ト宣言セラレタルトキハ

裁判所ハ投票紙ノ全部又ハ一部ノ再計算及是等ノ規則ニ從テ選擧ノ結果ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

(ハ)原計算ニ於ケル誤謬ノ爲ニ必要ナル可キ變更ヲ加フルベキ再計算ニ於テ各投票紙ハ原計算ニ於ケルト同樣ノ方法ヲ採ル可キモノトス

(投票移讓ヨリ起ル問題ノ決定)

(十五)―(イ)投票ノ移讓ニ就テ疑問アリタルトキハ選擧管理者ノ明示セル又ハ行動ニ於テ暗默ニ示サレタル決定ガ其ノ投票ノ結果ノ宣言以前ニ候補者又ハ其ノ代理人ニ依テ抗議セラレザル限リ決定的タル可ク若シ抗議アリタル場合ハ選擧管理者ノ決定ハ選擧請願ニ依テ覆サルルヲ得

(ロ)若シ選擧管理者ノ決定ガ右ノ如クシテ覆サレタルトキハ問

題ノ移讓及其ノ後ノ總テノ計算ハ無效ニシテ裁判所ハ問題ノ移讓ノ代リニ如何ナル移讓ヲ爲ス可キカヲ命ジ其ノ後ノ運算ヲ行ハシメ選擧ノ結果ヲ是等ノ規則ニ從ツテ調査セシム

（定　義）

（十六）　是等ノ規則ニ於テ

（イ）「順位候補者」ナル語ハ當選セズ且投票ヨリ排除セラレザル候補者ヲ意味ス

（ロ）「第一選擇」ナル語ハ「1」ノ數字ヲ意味シ、「第二選擇」ナル語ハ「2」ノ數字ヲ意味シ、「第三選擇」ナル語ハ候補者氏名ノ反對側ニ記載セラレタル「3」ノ數字ヲ意味ス等

（ハ）「移讓投票紙」ナル語ハ第二又ハ其ノ次ノ選擇ヲ順位候補者ノ爲ニ記載セラレタル投票紙ヲ意味ス

（ニ）「移讓不能投票紙」ナル語ハ順位候補者ノ爲ニ第二又ハ其以下ノ選擇ヲ記載セラレザル投票紙ヲ意味ス

次ノ如キ場合ニ於ケル投票紙ハ移讓不能投票紙ト見做サル可キモノトス

（a）二名以上ノ候補者（順位ニ依ルト否トニ拘ラズ）ノ氏名ガ同一數字ヲ記サレ選擇順ニ於テ順序ナル時又ハ

（b）選擇順ニ於ケル次位ノ候補者名（順位タルト否トニ拘ラズ）ガ

（i）投票紙上他ノ或ル數字ニ連續セザル數字ニテ記サレ又ハ

（ii）二個以上ノ數字ニテ記サレタル時

（ホ）一候補者ニ關スル「原投票」ナル語ハ其ノ候補者ノ爲ニ第一選擇ヲ記サレタル投票紙ヨリ取得セラレタル投票ヲ意味ス

（ヘ）一候補者ニ關スル「移讓セラレタル投票」ナル字句ハ投票紙ニ其ノ候補者ノ爲ニ第二又ハ其ノ次ノ選擇ヲ投票紙ヨリ取得セラレタル投票ヲ意味ス

（ト）「過剩」ナル語ハ一候補者ノ得タル原投票及移讓投票ノ總數ガ標準點ヲ超過スル數ヲ意味ス

（卽時ノ暫時的實施）

（十七）　是等ノ規定ハ此ノ日附ヨリ效力ヲ發生シ「スコットトランド」ニ關スル外ハ一八九三年ノ規則公表法ノ第二項ノ條項ニ從テ一時的ニ效力ヲ有スルモノトス

（略　稱）

（十八）　是等ノ規定ハ一九一八年ノ大學選擧（單記移讓投票式）規定トシテ引用スルヲ得

別表

第一別表

上揭ノ單記移讓式投票ノ制度ニ據テ施行セラレタル選擧ノ例證

A、二議員ノ選擧サルル場合

（投票紙ノ排列（規則五））

A、B、C、D及Eノ五候補者ヲ假定セヨ

投票紙（聯合大學選擧區ノ場合混合セラレタル後）ハ調査サレ有效投票紙ハ1ノ數字ヲ記サレタル候補者名ノアル各別ノ包ニ排列サル

第一　計算

（投票計算（規則六））

各別ノ包ハ計算サレ各候補者ハソノ爲ニ第一選擇ヲ記サレタル各投票紙ニ就テ一票ヲ得計算ノ結果ヲ次ノ如ク假定スルヲ得

	投票數
A	二、六七八
B	一、六七〇
C	三、一四二
D	八四八
E	二、〇五六
計	一〇、三九四

當選標準點

（當選標準點ノ調査（規則七））

有效投票ノ總數ハ一〇、三九四ト判明ス此ノ總數ヲ三（卽チ定員數ニ一ヲ超過セル數）ニテ除シ三、四六五（卽チ商三、四六四ニ一ヲ加ヘ端數ヲ切捨テタル者）ガ當選標準點又ハ一議員ノ當選ニ十分ナル得票數トス

Dノ得票移讓

（最低得票候補者ノ投票紙移讓（規則十（イ）））

當選標準點ニ等シキ又ハ其レヨリ大ナル票數ヲ受ケタル候補者無シ

故ニ選擧管理者ハ最モ得票尠ナキ候補者ノ投票紙ノ配分ニ着手ス依テ八四八票ヲ有スルD氏ノ包ヲ調ベ其ノ上ニ記サレタル第二選擇ニ從テ各別ノ包ニ排列ス

移讓不能投票紙卽チ次ノ順次候補者ノ爲ニ有效ナル選擇ヲ記サレザルモノニ就テモ別ノ小包分ヲ作ル結果ハ次ノ如ク判明ス

Aノ爲ニ第二選擇ヲ示サレタル者	一八票
Bノ爲ニ第二選擇ヲ示サレタル者	六二票
Cノ爲ニ第二選擇ヲ示サレタル者	三五票
Eノ爲ニ第二選擇ヲ示サレタル者	五八二票
移讓投票ノ總數	六九七票
移讓不能投票紙ノ總數	一五一票
Dノ投票數ノ總數	八四八票

（移讓後ノ配置（規則十一（イ）））

移讓投票紙ハ各別ノ小分包ニ入レテA、B、C及Eノ包ニ加ヘラレ一五一票ノ移讓不能投票紙ハ最後ノ處置ヲサレタルモノトシテ取リ除カル

此處ニ於テ是等ノ候補者ノ得タル投票數ハ次ノ如シ

A	2,678+18=2,696
B	1,670+62=1,732
C	3,142+35=3,177
E	2,056+582=2,638

Bノ得票移讓

（最低位候補者ノ得票移讓（規則十（イ）））

未ダ當選標準點ヲ獲得セル候補者ナク選擧管理者ハ現在投票ノ最低位タルBノ得票ノ配分ニ着手ス

Bノ全得票（一七三二）ガ再ビ調ベラレ順位候補者ノ爲ニ記サレタル次ノ選擇ニ從テ各別ノ小分包ニ排列サル第二選擇ハ一般ニ次ニ有效ナル選擇ナルベシ然シ其ノ第二選擇ガ既ニ排除セラレタル候補者ノ爲ニ記サレタル時ハ第三選擇ガ次ニ有效ナル選擇ナル可シ

移讓不能投票紙ニ就テ別包裝ヲ作ル

結果ハ次ノ如ク判明ス

Aノ爲ニ次ニ有效ナル選擇ヲ示サレタルモノ……三六三票
Cノ爲ニ次ニ有效ナル選擇ヲ示サレタルモノ……五五七票
Eノ爲ニ次ニ有效ナル選擇ヲ示サレタルモノ……六二四票
移讓投票紙總數　一、五四四票
移讓不能投票紙總數　一八八票
Bノ得票總數　一、七三二票

（移讓後ノ處置（規則（十一）（イ）））

移讓投票紙ハ各包ノ小分包ニ入レテA、C、及Eノ包ニ加ヘラレ一八八ノ移讓不能投票紙ハ最後ノ處置ヲナサレタルモノトシテ取除ケラル此處ニ於テ是等ノ候補者ノ得タル得票總數ハ次ノ如シ。

A……2,696＋363＝3,059
C……2,177＋557＝3,734
E……2,638＋624＝3,262

（當選標準點ヲ得タル候補者ノ當選（規則（八）））

Cノ當選

今ヤCハ三、七三四票ヲ有シ當選標準點（三、四六五）ヲ超過スルコト二六九ナリ仍テ當選ス

Cノ過剩移讓

猶補充サル可キ缺員一アリ、而シテA又ハEノ何レガ當選ナルカヲ決スル爲ニCノ過剩ヲ移讓スルノ要アリ（規則（十一）（ロ））

（以前ノ移讓ヨリ生ジタル過剩得票ノ移讓（規則（九）（ロ）（B）））

此ノ目的ノ爲ニBヨリCニ移讓セラレタル五五七票ノ包ガ再調査サレ其ノ上ニ記サレタル次ニ有效ナル選擇ニ從テ小分包ニ擇リ分ラル別ノ小分包ヲ移讓不能投票紙ニ就テモ作ル

結果ハ次ノ如ク判明ス

Aノ爲ニ次ニ有效ナル選擇ヲ示サレタルモノ……一八二票
Eノ爲ニ次ニ有效ナル選擇ヲ示サレタルモノ……二七〇票
移讓投票紙總數……四五二票
移讓不能投票紙總數……一〇五票
總計……五五七票

（移讓サルベキ投票紙ノ比例（規則（九）（ニ）（a）））

移讓投票紙ノ總數（四五二）ガ過剩數（二六九）ヲ超過スルガ故ニ新小分包ノ一部ノミガA及Eニ移讓サルルヲ得而シテ各小分包ヨリ移讓サル可キ投票紙ノ數ハ其ノ包ノ總投票數ニ對シテ過剩數（二六九）ガ移讓投票紙ノ總數（四五二）ニ對スルト同ジ比例ヲ保ツヲ要ス

（規則（九）（ニ）（b））

換言スレバ各小分包ヨリ移讓サルベキ投票數ハ其ノ包ニアル投票數ニ二六九（過剩數）ヲ乘ジ其積ヲ四五二（移讓投票紙ノ總數）ニテ

除スルニ依テ確メラル

方法ハ次ノ如シ。

Aノ小分包ハ一八二票ヲ含ミ

故ニ過剩數ノ分ケ前ハ——

$$182\times\frac{269}{452}=108\frac{142}{452}$$

Eノ小分包ハ二七〇票ヲ含ミ

故ニ過剩數ノ分ケ前ハ——

$$270\,\frac{269}{452}=160\frac{310}{452}$$

總計（Cノ過剩數）……二六九

（過剩得票移讓ニ於ケル端數ノ處置（規則（九）（ニ）（C）））

前記ノ方法ニ依テ決定サルル移讓投票紙ノ數ハ端數ヲ含ム而シテ完全投票紙ノミガ移讓サレ得ルモノナルヲ以テ端數ノ大ナル方ガ一完數トシテ算ヘラル

故ニ移讓投票數ハ次ノ如シ——

Aニ……一〇八票
Eニ……一六一票
總計、Cノ過剩數……二六九票

（移讓投票紙ノ選擇及記入（規則（九）（ニ）（d）及（e）））

A及Eニ移讓サルベキ特定ノ投票紙ハ各小分包ニ最後ニ挿入サレタル者ニシテ故ニ其ノ包ノ上部ニアルモノナリ移讓サルベキ投票紙ハ其ノ移讓ガ何人ヨリ又ハ何人ニ對シ爲サレタカヲ示ス如ク記載サルベシ

（移讓後ノ投票紙ノ處置）

移讓セラレタル投票紙ハ各別ノ小分包ニ入レテA及Eノ包ニ加ヘラル

（規則（十一）（イ））

斯クテ是等ノ候補者ノ得タル投票總數ハ次ノ如シ

得票數
A……3,059＋108＝3,167
E……3,262＋161＝3,423

Cノ得票ハ今ヤ最後ノ處置ヲ爲サレタルモノトシテ取除ケラレ次ノ如ク整理セラル

Cノ得タル原投票……三、一四二
Dヨリ受ケタル投票……三五

（當選候補者ノ當選標準點ハ取除ケラル（規則（十一）（イ）））

Bヨリ受ケ後ニ移讓サレザリシモノ
Aノ小分包ノ殘リ……七四
Eノ小分包ノ殘リ……一〇九
移讓不能投票紙……一〇五
｝二八八
總計Cノ當選標準點　三、四六五

Eノ當選

（空席ノ補充（規則（十二）（ロ）））

缺員數一ノミアリ移讓サルベキ過剩ノ殘リナクEノ總數（三、四二三）ガAノ總數（三、一六七）ヲ超過スルニ依リEハ當選ス

結果表

（結果表（規則（十三）））

此ノ選擧ニ於ケル種々ナル運算ノ詳細ガ追加通知或ハ「結果表」ニ示サル

候補者氏名	第一計算	第二計算		第三計算		第四計算	
	各候補者得票數	Dノ得票移讓	結果	Bノ得票移讓	結果	Cノ過剩移讓	當選候補者名及其ノ順位ヲ示ス最後ノ結果
A	二、六七八	＋一八	二、六九六	＋三六二	三、〇五九	＋一〇八	三、一六七
B	一、六七〇	＋六二	一、七三二	－一、七三二	｜	｜	｜
C	三、一四二	＋三五	三、一七七	＋五五七	三、七三四	－二六九	三、四六五C（第一位當選）
D	八四八	－八四八	｜	｜	｜	｜	｜
E	二、〇五六	＋五八二	二、六三八	＋六二四	三、二六二	＋一六一	三、四二三E（第二位當選）
移讓不能投票紙數	｜	＋一五一	一五一	＋一八八	三三九	｜	三三九
總計	一〇、三九四	｜	一〇、三九四	｜	一〇、三九四	｜	一〇、三九四

（附記ハ＋プラス、－ガ數字ノ上ニアレバマイナス、｜ノミハ無シ）

B、三議員ノ選擧サルル場合

（投票紙ノ排列（規則（五）））

A、B、C、D、E、Fノ六候補者アリト假定セヨ

投票紙（聯合大學選擧區ノ場合混合サレタル後）ハ調査サレ有效投票紙ハ1ノ數字ヲ記サレタル候補者名ノアル各別ノ包ニ排列

（三） 投票及得票移讓ノ結果通知

有效投票紙　一〇、三九四

選出議員數　二

標準點（一候補者ノ當選ニ十分ナル投票數）　三、四六五

サル

第一計算

（投票計算（規則（六）））

各別ノ包ハ計算サレ各候補者ハ自己ノ爲ニ第一選擇ヲ記サレタル各投票紙ニ就テ一票ヲ得計算ノ結果ヲ次ノ如ク假定スルヲ得

	投票數
A	四、一五九
B	一、九五七
C	三、一〇五
D	一、七五四
E	七五四
F	一、二〇五
計	一二、九三四

當選標準點

（當選標準點ノ調査（規則（七）））

有效投票數ハ一二、九三四ト判明ス此ノ總數ヲ四（即チ補充サル可キ缺員數ニ一ヲ超過セル數）ニテ除シ、三二三四（即チ商三、二三三ニ一ヲ加ヘ端數ヲ切捨テタル者）ガ「當選標準點」或ハ一議員ノ當選ニ十分ナル得票數トス

Aノ當選

（當選標準點ヲ得タル候補者ノ當選（規則（八）））

Aノ得票ハ當選標準點ヲ超過ス故ニ當選ト宣言サル

Aノ過剩移讓

（當選候補者ノ過剩移讓（規則（九）））

Aハ九二五ノ過剩得票（即チAノ總得票四、一五九ヨリ當選標準點三、二三四ヲ引キ去リタルモノ）ヲ有ス故ニ此ノ過剩ヲ移讓スル必要アリ（規則九（イ））

Aノ總得票四、一五九ハ調査サレ其レニ示サレタル第二選擇ニ從ヲ各別ノ小分包ニ排列サル。（規則（九）（ロ）（a））各別ノ小分包ガ第二選擇ヲ記サレズ從テ移讓不能ナル投票紙ニ就イテモ作ラル。（規則（九）（ロ））

（C）結果ハ次ノ如ク判明ス

Bノ爲ニ第二選擇ヲ示サレタルモノ……二五五票
Cノ爲ニ第二選擇ヲ示サレタルモノ……二、〇六二票
Dノ爲ニ第二選擇ヲ示サレタルモノ……一五四票
Eノ爲ニ第二選擇ヲ示サレタルモノ……一、六七六票
移讓投票總數……四、一四七票
移讓不能投票總數……一二票
Aノ得票總數……四、一五七票

（移讓サルベキ投票紙ノ比例（規則（九）（ニ）（a）））

移讓投票紙ノ總數（四、一四七）ガ過剩數（九二五）ヲ超過スルガ故ニ各小分包ノ一部ノミガ移讓サルルヲ得而シテ各小分包ヨリ移讓サルベキ投票紙ノ數ハ其ノ包ノ總投票數ニ對シテ過剩數（九二五）ガ移讓投票紙ノ總數（四、一四七）ニ對スルト同ジ比例ヲ保ツヲ要ス換言スレバ各小分包ヨリ移讓サル可キ投票數ハ其ノ包ニアル投票數ニ九二五（過剩數）ヲ乘ジ其ノ積ヲ四、一四七（移讓投票紙ノ總數）ニテ除シテ確メラル

（移讓投票數ヲ確ムル方法（規則（九）（ニ）（b）））

方法ハ次ノ如シ

Bノ小分包ハ二五五票ヲ含ミ故ニ過剩數ノ分前ハ——

$255 \times \frac{925}{4,147} = 56\frac{3,643}{4,147}$

Cノ小分包ハ二、〇六二票ヲ含ミ

故ニ過剰數ノ分前ハ

$2,062 \times \frac{925}{4,147} = 459\frac{3,877}{4,147}$

Dノ小分包ハ一五四票ヲ含ミ

故ニ過剰數ノ分前ハ

$154 \times \frac{925}{4,147} = 34\frac{1,452}{4,147}$

Eノ小分包ハ一、六七六票ヲ含ミ

故ニ過剰數ノ分前ハ

$1,676 \times \frac{925}{4,147} = 373\frac{3,469}{4,147}$

計……九二五票

（過剰得票數ニ於ケル端數ノ處置（規則（九）（二）（c）））

前記ノ方法ニ依テ決定サルル移讓投票數ノ數ハ端數ヲ含ム而シテ完全投票紙ノミガ移讓サレ得ルモノナルヲ以テ是等ノ端數ヲ大ナル順ニ取テ過剰數ニ等シキ移讓投票ヲ作ルモノ迄ヲ完數トシテ算フ

斯クテ上記ノ如クニシテ決定サレタル完全投票數ガ僅カニ九二二、卽チ（56＋459＋34＋373）過剰數九二五、ニ三足ラザルヲ以テ三大端數ガ各完數一トシテ算エラレ移讓サルル投票紙ハ次ノ如クニナル

Bへ……五七票

Cへ……四六〇票

Dへ……三四票

Eへ……三七四票

Aノ過剰總數……九二五票

（移讓投票ノ選擇及記入（規則（九）（二）（d）及（e）））

B、C、D及Eニ移讓サルベキ特定ノ投票紙ハ各小分包ニ最後ニ挿入サレタル者ニシテ故ニ其ノ包ノ上部ニアルモノナリ移讓サル可キ投票紙ハ其移讓ガ何人ヨリ又ハ何人ニ對シ爲サレタルカヲ示ス樣ニ記號サルベシ

（移讓投票紙ノ處置（規則（十一）（イ）））

是等ノ投票紙ハ各別ノ小分包ニ入レテB、C、D及Eノ包ニ加ヘラル

斯クテ是等ノ候補者ノ得タル投票總數ハ次ノ如シ

B……1,957＋57＝2,014

C……3,105＋460＝3,565

D……1,754＋34＝1,788

E……754＋374＝1,128

其ノ小分包ノ殘リノ投票紙（卽チ移讓サレザリシモノ）ハ有效ナル選擇ヲ記サレザル投票紙ト共ニ集メラレ一包トシテAノ當選標準點（三、二三四）ヲ代表シ是等ノ投票紙ハ最後ノ處置ヲ爲サレタルモノトシテ取除ケラル其ノ包ハ次ノ如ク整理サル

B包ノ殘リ……（二五五票ニ五七足ラザル）　一九八

C包ノ殘リ……二、〇六二ニ四六〇足ラザル　一、六〇二

D包ノ殘リ……一五四ニ　三四足ラザル　一二〇

E包ノ殘リ……一、六七六ニ三七四足ラザル　一、三〇二

移讓不能投票紙……一二

計Aノ當選標準點……三、二三四

此ノ移讓ニ含マレタル運算ヲ概括スレバ次表ノ如シ

Aノ過剰移讓

過剰……九二五

移讓投票紙……四、一四七

移讓比例＝$\frac{\text{過剰}}{\text{移讓投票紙}} = \frac{925}{4,147}$

次ニ有效ナル選擇トシテ記入サレタル候補者名	移讓投票紙數	移讓サレタル投票紙數	Aノ標準點トシテ保留サレタル數
B	二五五	五七	一九八
C	二、〇六二	四六〇	一、六〇二
D	一五四	三四	一二〇
E	一、六七六	三七四	一、三〇二
F	—	—	—
移讓投票紙ノ總數	四、一四七	九二五	三、二二二
移讓不能投票紙數	一二	—	一二
計	四、一五九	九二五	三、二三四

移讓完了ニ於ケル投票狀態ハ次ノ如シ

投票

A……三、二三四當選

B……二、〇一四

C……三、五六五

D……一、七八八

E……一、一二八

F……一、二〇五

計……一二、九三四

Cノ當選

Cハ今ヤ三、五六五票ヲ有シ當選標準點ヲ超過ス仍テ當選トス

Cノ過剰移讓

今ヤCノ過剰數（三、五六五ヨリ三、二三四ヲ引キ去リタル數、卽チ三三一）ヲ移讓スルヲ要ス

此ノ目的ノ爲ニAノ過剰ヨリ彼ニ移讓セラレタル四六〇票ノ包ガ再調査サレ其ノ上ニ記サレタル第三選擇ニ從テ擇リ分ケラル結果ハ次ノ如ク判明ス

Bノ爲ニ次ニ有效ナル選擇ヲ示サレタルモノ……四六票

Dノ爲ニ次ニ有效ナル選擇ヲ示サレタルモノ……三二票

Eノ爲ニ次ニ有效ナル選擇ヲ示サレタルモノ……三五四票

Fノ爲ニ次ニ有效ナル選擇ヲ示サレタルモノ……一四票

移讓投票紙ノ總數……四四六

移讓不能投票紙ノ總數……一四

總計……四六〇

各小分包ヨリ移讓サルベキ投票紙ノ數ハ其ノ包ノ數ニ三三一（過剰數）ヲ乘ジ其ノ積ヲ四四六（移讓投票紙ノ總數）ニテ除スルニ依テ確メラル

方法ハ次ノ如シ

Bノ小分包ハ四六票ヲ含ミ

故ニ過剰數ノ分前ハ――

$$46\times\frac{331}{446}=34\frac{31}{223}$$

Dノ小分包ハ三二票ヲ含ミ

故ニ過剰數ノ分前ハ――

$$32\times\frac{331}{446}=23\frac{167}{223}$$

Eノ小分包ハ三五四票ヲ含ミ

故ニ過剰數ノ分前ハ――

$$354\times\frac{331}{446}=262\frac{161}{223}$$

Fノ小分包ハ一四票ヲ含ミ

故ニ過剰數ノ分前ハ――

$$14\times\frac{331}{446}=10\frac{87}{223}$$

總計（Cノ過剰數）……三三一

以前ノ移讓ニ於ケルガ如ク最大ノ端數ハ一完數トシテ取扱ハル移讓サル可キ投票數ハ次ノ如シ

Bヘ	三四
Dヘ	二四
Eヘ	二六三
Fヘ	一〇
總計	三三一

斯クテ是等ノ候補者ノ得タル投票總數ハ次ノ如シ

B	2,514＋34＝2.048
D	1,788＋24＝1,812
E	1,128＋263＝1,391
F	1,205＋10＝1,215

當選候補者ノ投票紙ハ取除ケラル（規則(十一)(イ)）

Cノ投票紙ハ今ヤ最後ノ處置ヲ爲サレタモノトシテ取除ケラレ次ノ如ク整理サル

第一計算ニテ最初ニCノ得タル投票數……三、一〇五

Aヨリ受ケ移讓サレザリシモノ……

B小分包ノ殘リ……一二二

D小分包ノ殘リ……八

E小分包ノ殘リ……九一

F小分包ノ殘リ……四

移讓不能投票紙……一四計一二九

總計Cノ標準點　三、二三四

（Cノ過剰移讓後ニ於ケル狀態）

移讓完了後ニ於ケル投票狀態ハ次ノ如シ

	投票	
A	三、二三四	當選
B	二、〇四八	
C	三、二三四	當選
D	一、八一二	
E	一、三九一	
F	一、二一五	

Fノ得票移讓

（投票ニ於ケル最低位候補者ノ得票移讓（規則(十)(イ)））

選擧管理者ハ最低得票ノ候補者ノ投票紙ヲ分配スルコトニ着手ス故ニ一、二一五票ノFノ包ガ調査サル其ノ中ニDヲ次ニ有效ナル選擇トスル一、〇九四及Bヲ次ニ有效ナル選擇トスル一一〇ノアルコトガ判明ス一一票ニハ次ノ選擇ノ記入ナシ故ニ一、〇九四票ガDニ、一一〇票ガBニ、移讓サレ一一ノ移讓不能投票紙ハ最後ニ處置サレタモノトシテ取除ケラル

現在ノ投票數ハ次ノ如シ

（Cノ得票移讓後ノ投票狀態）

	投票
A	三、二三四
B	二、一五八
C	三、二三四
D	二、九〇六
E	一、三九一
移讓不能投票紙	一一
總計	一二、九三四

Eノ得票移讓

（最低位候補者ノ得票移讓（規則(十)(イ)））

現在Eガ最低位ニシテ他ニ標準點ニ達セル者無シ故ニ選擧管理者ハEノ得票分配ニ着手スEノ總得票ガ調査サルBハ八五六票ニ次ニ有效ナル選擇トシテ記入サルDハ四一四票ニ次ニ有效ナル選擇トシテ記入サレ殘リノ一二一票ニハ有效ナル選擇ノ記入ナシ故ニ八五六票ハBニ四一四票ハDニ移讓サレ一二一ノ移讓不能投票紙ハ最後ニ處置サレタルモノトシテ取除ケラル

Dノ當選

Dノ得票總數ハ標準點ヲ超過ス故ニ當選ナリ

結果表

此ノ選擧ニ於ケル種々ナル運算ノ詳細ガ追加通知或ハ「結果表」ニ示サレル

投票及得票移讓ノ結果通知

有效投票紙……一二、九三四

選出議員數……三

標準點（一候補者ノ當選ニ十分ナル投票數）　三、二三四

候補者數	第一計算 各候補者ノ得票	第二計算 A過剩移讓	第二計算 結果	第三計算 C過剩移讓	第三計算 結果	第四計算 F得票移讓	第四計算 結果	第五計算 E得票移讓	第五計算 當選候補者名及當選順位ヲ示ス最後ノ結果
A	四、一五九	－九二五	三、二三四	－	三、二三四	－	三、二三四	－	三、二三四A（一位當選）
B	一、九七七	＋二七	二、〇〇四	＋四四	二、〇四八	＋一一〇	二、一五八	＋八七六	三、〇三四
C	三、一〇五	＋四六〇	三、五六五	－三三一	三、二三四	－	三、二三四	－	三、二三四C（二位當選）
D	一、七三四	＋六四	一、七九八	＋一四	一、八一二	＋一、〇九四	二、九〇六	＋四二四	三、三三〇D（三位當選）
E	七五四	＋三七四	一、一二八	＋二六三	一、三九一	－	一、三九一	－一、三九一	－
F	一、二〇五	－	一、二〇五	＋一〇	一、二一五	－一、二一五	－	－	－
移讓不能投票紙	－	－	－	－	－	＋一一	一一	＋九一	一〇二
總計	一二、九三四	－	一二、九三四	－	一二、九三四	－	一二、九三四	－	一二、九三四

（附記 ＋ハプラス －ガ數字ノ上ニアルハマイナス －ノミハ無シ）

（規則三）

第二別表

投票紙ノ書式

A、スコットランドヲ除ク

投票紙

※（茲ニ選擧人ノ略サザル氏名トユニヴァーシティ、ディグリー若シアレバカレッヂ、ディグリーヲ記セ）

（一）余甲某※ハ次ノ如ク示サレタル投票ヲ爲ス

候補者	選擇順位
A	
B	
C	
D	
E	
F	

要注意――1ノ數字ヲ投票セントスル候補者氏名ノ反對側ノ正方形內ニ記入シ投票ス可シ又2ノ數字又ハ2、3、ノ數字ヲ選擇順ニ他ノ候補者氏名ノ反對側ノ正方形內ニ記入スルヲ得

次ノ如キ投票紙ハ無效ナリ

（a）1ノ數字ガ記サレズ、又ハ

（b）一名以上ノ候補者氏名ノ反對側ニ1ノ數字ガ記サレタモノ又ハ

（c）1ノ數字及他ノ數字ガ同一候補者氏名ノ反對側ニ記サレタルモノ

（二）余ハ余ガ他ノ投票紙ニ署名セザリシコト及此ノ選擧ニ於テ……大學選擧區ノ爲ニ自身投票セザリシコトヲ宣言ス

十註余ハ又宣言ス

（男子ノ場合）余ガ此ノ總選擧ニ於テ住所資格以外ノ資格ニ就テ投票セザリシコトヲ

（婦人ノ場合）私ガ此ノ總選擧ニ於テ他ノ大學選擧區ノ爲ニ投票セザリシコトヲ

※署名　甲某

住所

一九―年―月―日

余ハ此投票紙（投票紙ハ以前ニ記入サレタルモノ）ガ余ノ知己ナル甲某ニ依テ余ノ面前ニ於テ署名セラレタルコトヲ宣言ス

一九―年―月―日

署名　乙某

住所

註十　此ノ宣言ハ總選擧ニ於テノミ爲サル可キモノトス

B、スコットランドニ於ケル投票紙

……大學投票紙

（※登錄簿ニ於ケル選擧人ノ番號）

※番號

（十此處ニ選擧人ノ略サザル氏名及彼ノ名稱ヲ記セ）

余甲某十ハ次ノ如ク示サレタル投票ヲ爲ス

候補者	選擇順位
A	
B	
C	
D	
E	
F	

要注意――1ノ數字ヲ投票セントスル候補者氏名ノ反對側ニ記入シテ投票ス可シ又2ノ數字又ハ2、3等ノ數字ヲ選擇順ニ他ノ候補者氏名ノ反對側ノ正方形內ニ記入スルヲ得

次ノ如キ投票ハ無效ナリ
(a)1ノ數字ガ記サレズ又ハ
(b)一名以上ノ候補者氏名ノ反對側ニ1ノ數字ガ記サレタルモノ又ハ
(c)1ノ數字及他ノ數字ガ同一候補者氏名ノ反對側ニ記サレタルモノ

余ハ「セント・アンドリュウス」大學、「グラスゴウ」大學、「アパーディーン」大學及「エディンパラ」大學ノ聯合大學選擧區ニ對スル選擧ニ於テ他ノ投票紙ニ署名セザリシコトヲ宣言ス

＊註余ハ又宣言ス
(男子ノ場合)余ガ此ノ總選擧ニ於テ住所資格以外ノ資格ニ就キテ投票セザリシコトヲ
(婦人ノ場合)私ガ此ノ總選擧ニ於テ他ノ大學選擧區ノ爲ニ投票セザリシコトヲ

署名　甲某
住所
一九……年……月……日

余ハ此投票紙(投票紙ハ以前ニ記入セラレタルモノ)ガ余ノ知己ナル甲某ニ依テ余ノ面前ニ於テ署名セラレタルコトヲ宣言ス
一九……年……月……日
署名　乙某
名稱
住所

註＊此ノ宣言ハ總選擧ニ於テノミ爲サルベキモノトス

無能力選擧人ノ爲ノ投票紙
——大學選擧區投票——紙
（登錄簿ノ選擧人番號、竝ニ選擧人ノ略サザル氏名、名稱ヲ記セ）
番號＊

余甲某ハ……………ハ
（ミ不能狀態）
次ノ如ク示サレタル投票ヲ爲シ余ハ治安判事乙某ニ要求シテ此ノ投票紙ニ余ノ爲ニ余ノ指示ニ據テ記入シ余ガ……ミナルニヨリ書クコト不能ノ爲余ノ爲ニ此ノ投票紙及宣言ニ署名スルコトヲ委任セリ

候補者	選擇順位
A	
B	
C	
D	
E	
F	

要注意——1ノ數字ヲ投票セントスル候補者氏名ノ反對側ニ記入シテ投票スベシ又2ノ數字又ハ2、3等ノ數字又ハ數字ヲ

選擇順ニ他ノ候補者氏名ノ反對側ノ正方形內ニ記入スヲ得
次ノ如キ投票ハ無效ナリ
(a)1ノ數字ガ記入サレズ又ハ
(b)一名以上ノ候補者氏名ノ反對側ニ1ノ數字ガ記入サレタルモノ又ハ
(c)1ノ數字及他ノ數字ガ同一候補者氏名ノ反對側ニ記入サレタルモノ

余ハ「セント・アンドリュウス」大學、「グラスゴウ」大學、「アパーディーン」大學及「エディンバー」大學ノ聯合大學選擧區ノ選擧ニ於テ他ノ投票紙ニ署名セザリシコトヲ宣言ス

＊註余ハ又宣言ス
(男子ノ場合)余ガ此ノ總選擧ニ於テ住所資格以外ノ資格ニ就テ投票セザリシコトヲ
(婦人ノ場合)私ガ此ノ總選擧ニ於テ他ノ大學選擧區ノ爲ニ投票セザリシコトヲ

署名　甲某
住所
一九……年……月……日

余乙某……ノ治安判事ニシテ……ニ駐在スル者ハ茲ニ余ノ知己ナル前記ノ甲某ガ余ノ面前ニ於テ前揭ノ宣言ヲ爲シ此ノ投票紙ニ彼ノ爲ニ彼ノ指示ニ據テ記入シ此ノ投票紙ニ彼ノ爲ニ署名スルコトヲ適法ニ要求委任シ仍テ余ガ是ヲ一九——年——月——日ニ甲某ノ面前ニテ爲セルコトヲ宣言ス

署名　乙某……治安判事
駐在……

＊此ノ宣言ハ總選擧ニ於テノミ爲サル可キモノトス。

英國改正選擧法——

國民代表(平等選擧權)法　一九二八年
Representation of the People (Epual Franchise) Act. 1928
國會及地方議會議員選擧權ヲ男女同一ト爲スノ法竝ニ之ニ伴フ改正法（一九二八年七月二日）

一、國會議員選擧權ヲ男女同一ト爲スタメ一九一八年國民代表法（以下之ヲ基礎法ト稱ス）第四條第一項及第二項ヲ削除シ同法第一條及第二條ヲ左ノ通改ム（同法第一條ニ代ル可キ規定）

（一）成年ニ達シ法律上無能力ニアラザル者（男子及女子）ニシテ左ノ各號ノ一ニ揭グル資格ヲ具フル者ハ一選擧區（大學選擧區ヲ除ク）ニ於テ國會議員選擧人トシテ登錄セラルルコトヲ得
（a）一定ノ住所資格ヲ具フルコト
（b）一定ノ營業所資格ヲ具フルコト
（c）營業所資格ニ依リ登錄セラルルコトヲ得ベキ者ノ夫又ハ妻タルコト
（二）一選擧區ニ於テ住所資格又ハ營業所資格ヲ具フルガ爲ニハ

(a)資格完成期間滿了ノ日ニ其ノ選擧區內ニ於テ建物內ニ居住シ又ハ營業所ヲ占有シ

(b)資格完成期間引續キ其ノ選擧區ニ於テ又ハ同一ノパーラメンタリー　ボロー若ハパーラメンタリー　カウンティー又ハ其ノパーラメンタリー　ボロー若ハパーラメンタリー　カウンティート隣接シタルパーラメンタリー　ボロー若ハパーラメンタリー　カウンティー又ハ干潮時ニ於テ最短距離六浬ヲ超エザル水面ニ依リテ隔テラレタルパーラメンタリー　ボロー若ハパーラメンタリー　カウンティー內ノ選擧區ニ於テ住所ヲ有シ又ハ營業所ヲ占有スルコトヲ要ス

本項ノ適用ニ付テハロンドンノアドミニストラティブ　カウンティーハパーラメンタリー　ボロート看做ス

(三)本條ノ營業所トハ年收價格十磅ヲ下ラザル土地又ハ其ノ他ノ建物ニシテ登錄ヲ受クベキ者ノ事務、職業又ハ取引ノ爲ニ占有セラルルモノヲ云フ

(同法第二條ニ代ル可キ規定)

「成年ニ達シ法律上無能力ニアラザル者(男子及女子)ニシテ一選擧區若ハ一選擧區ノ一部ヲナス大學ニ於テ學位(名譽學位ヲ除ク)ヲ受ケタル者又ハスコットランド諸大學ニ付テハ一八六八年ノ人民代表(スコットランド)法第二十七條ノ資格ヲ具備スル者、女子ニ付テハ大學ノ最終試驗ニ合格シ且ツ其ノ合格ノ當時女子ニ學位ヲ授クルコトヲ許サザリシ大學選擧區ノ全部若ハ一部ヲ爲ス大學ニ於テ男子ガ學位ヲ受クルニ必要ナル住所期間大學ガ女子ニ就キ必要トスル條件ニ服シタル者ハ其ノ大學選擧區ニ於テ國會議員選擧人トシテ登錄セラルルコトヲ得」

二、地方議會議員選擧權ヲ男女同一ト爲スタメ基礎法第四條第三項ヲ削除シ同法第三條ヲ左ノ通改ム

「成年ニ達シ法律上無能力ニアラザル者(男子及女子)ニシテ左ノ要件ヲ具フル者ハ一地方議會議員選擧地域ニ於テ地方議會議員選擧人トシテ登錄セラルルコトヲ得」

(a)資格完成期間ノ末日ニ於テ其ノ地域內ニ於テ所有者又ハ賃借人トシテ土地若ハ建物ヲ占有シ

(b)資格完成期間引續キ其ノ地域內ニ又ハ其ノ地域ニシテアドミニストラティブ　カウンティー若ハカウンティー　ボローニアラザルトキハ其ノ地域ノ全部又ハ一部ノ存在スルアドミニストラティブカウンティー若ハカウンティー　ボロー內ニ前號ト同一ノ狀態ニ於テ土地又ハ建物ヲ占有シタルカ又ハ

(c)建物ニ依リテ登錄セラルルコトヲ得ベキ者ノ夫又ハ妻ニシテ該建物內ニ同居スルコト

但シ

(i)本條ノ適用ニ付テハ事務、役務又ハ職業ノタメ住家ニ居住スル者ハ其ノ住家ニシテ其ノ事務役務又ハ職業上ノ主人ノ居住セザル限リ賃借人トシテ其ノ住家ヲ占有スルモノト看做ス

(ii)本條ノ適用ニ付テハ借間人トシテ一室又ハ數室ヲ占有スル者ト雖モ家具無キ狀態ニ於テ借リタルモノナル限リ之ヲ賃借人中ニ包含スルモノトス

(iii)本條c項ノ適用ニ付テハ服務無カリセバ有スベカリシ住所ノ資格ニ依リ登錄セラレタル陸海軍投票人ハ該資格ニ從ヒ居住スルモノト看做ス

三、本法先行規定ノ結果ニ基ヅキ本法別表第一欄ニ揭グル基礎法ノ規定ハ同第二欄ニ揭グル通之ヲ改ム

四、基礎法第八條(登錄セラレタル投票權)第一項ハ之ヲ左ノ通改ム

「(一)一選擧區ニ於テ國會議員選擧人トシテ登錄セラレタル者ハ其ノ登錄期間中(女子ニ在リテハ結婚スルト否トヲ問ハズ其ノ選擧區ニ於ケル)國會議員ノ選擧ニ當リ投票スルコトヲ得但シ總選擧ニ於テハ住所ノ資格ニ依リ登錄ヲ受ケタル選擧區中ノ一選擧區以外ニ於テ又ハ其ノ他ノ資格ニ依リ登錄ヲ受ケタル選擧區中ノ一選擧區以外ニ於テ投票スルコトヲ得ズ」

五、基礎法別表第四號(選擧費用ノ最高限)中「七片」トアルハ之ヲ「六片」ト改ム

六、(一)本法先行規定ヲ直ニ施行スル爲

(a)一九二九年ニ調製スベキ選擧人名簿ニ登錄セラルル可キ者ノ資格完成期間ハ一九一八年乃至一九二六年國民代表法ノ聯合王國各地ニツキ定ムル期日ニ拘ラズスコットランドニ在リテハ一九二八年十二月十五日ヲ以テ終リ其ノ他ニ在リテハ同年十二月一日ヲ以テ終ルモノトス

(b)前項ノ選擧人名簿ハ國民代表法ノ聯合王國各地ニツキ定ムル期日ニ拘ラズ一九二九年五月一日ヲ以テ確定シ北部アイルランドニ在リテハ一九三〇年十二月十五日其ノ他ニ在リテハ一九三〇年十月十五日迄之ヲ据置クモノトス

(二)一九二九年ニ於ケル選擧人名簿調製ニ關シ必要ナリト認ムルトキハ其ノ登錄期日ヲ變更シ及之ニ伴ヒ必要アリト認ムルトキハ之ニ關係アル總テノ法令ヲ改正スルコトヲ得但シ樞密院ノ諮詢ヲ經タル勅令ヲ以テ之ヲ爲スベシ

(三)一九二八年十月十五日(北部アイルランドニ在リテハ十二月十五日)ニ確定スル選擧人名簿ハ一九二九年五月一日迄之ヲ据置キ其ノ以後ハ效力ヲ有セザルモノトス

七、基礎法ヲスコットランドニ適用スル場合ノ特別規定タル基礎法第四十三條第三項ハ之ヲ左ノ通改ム

「(三)本法第三條ノ規定ニ拘ラズ左ノ規定ヲ適用スルモノトス

(a)成年ニ達シ法律上無能力ニアラザル者ニシテ資格完成期間ノ末日ニ於テ且ツ其ノ資格完成期間引續キ左ノ各號ニ揭グル要件ノ一ヲ具フル者ハ一地方議會議員選擧地域ニ於テ地方議會議員選擧人トシテ登錄セラルルコトヲ得

(i)其ノ地域內ニ於テ年收價格十磅ヲ下ラザル地所及相續財產ノ所有者タルコト其ノ土地及相續財產ガ二人以上ノ共有ニ屬シ其ノ年收價格ニシテ十磅ニ共有者ノ人數ヲ乘シテ得タル額ヲ下ラザルトキハ其ノ共有者ハ各々年收價格十磅ヲ下ラザル地所及相續財產ヲ有スルモノト看做ス

(ii)其ノ地域內ニ於テ年收價格十磅ヲ下ラザル地所及相續財

産ノ賃借人タル占有者タルコト其ノ土地及相續財産ガ二人以上ノ共同賃借人ノ共同占有ニ屬シ其ノ年收價格ニシテ十磅ニ共同占有者ノ人數ヲ乘シテ得タル額ヲ下ラザルトキハ其ノ共同占有者ハ各々年收價格十磅ヲ下ラザル土地及相續財産ヲ占有スルモノト看做ス

(iii)其ノ地域内ノ住家ノ所有者又ハ賃借人タル居住占有者タルコト

(iv)其ノ地域内ニ於ケル年收價格十磅ヲ下ラザル借間（家具無キ状態ニ於テ賃借シタル場合）ノ占有者タルコト該借間ガ二人以上ノ共同占有ニ屬シ其ノ總年收價格ニシテ二十磅ヲ下ラザルトキハ其ノ借間人ハ各々十磅ヲ下ラザル年收價格ノ借間ノ占有者ト看做ス

(v)事務、役務又ハ職業ノ爲其ノ地域内ニ於ケル住家ノ居住占有者タルコト但シ其ノ住家ニシテ事務、役務又ハ職業上ノ主人之ニ居住セザル場合ニ限ル

(b)同一パーラメンタリー　カウンティ又ハパーラメンタリー　ボロー内ニ於テ異リタル土地及相續財産、住家又ハ借間ヲ卽時繼續シテ所有又ハ占有スル場合ニ於ケル所有又ハ占有ハ其ノ區域内ノ地方議會議員選擧地域ニ於ケル地方議會議員選擧人トシテノ登錄資格ニ付テハ其ノ地域内ニ於ケル同一土地及相續財産、住家又ハ借間ノ繼續所有又ハ繼續占有ト同一ノ效力ヲ有スルモノトス

(c)本條ノ先行規定ニ依リ建物ノ資格ニ從ヒ地方議會議員選擧地域ノ地方議會議員選擧人トシテ登錄セラル可キ者ノ夫又ハ妻ニシテ其ノ建物内ニ同居スル限リ成年ニ達シ法律上無能力ニアラザルトキハ其ノ選擧區ニ於テ登錄セラルルコトヲ得而シテ本規定ノ適用ニ付テハ廢疾無カリセバ有ス可カリシ住所ノ資格ニ依リ登錄セラレタル海軍又ハ陸軍投票人ハ該資格ニ應シ居住スルモノト看做ス

(b)本條中ノ「所有者」ニハ世襲財産ノ占有者タル相續人、終身賃借人及信託ノ下ニ土地及相續財産ノ賃貸料及利益ヲ受クル者ヲ包含シ終身賃貸借ニ付セラレタル土地及相續財産ノ無條件所有權者又ハ後見人、補佐人、裁判上ノ管理人若ハ委員ヲ含マザルモノトス

「土地及相續財産」ハ評價法ニ於ケルト同一意義トシ「住家」ハ家又ハ家ノ一部ニシテ獨立シタル住居トシテ占有セラルルモノヲ云フ」

八、(一)本法ハ一九二八年ノ國民代表(平等選擧權)法ト稱シ一九一八年乃至一九二六年ノ國民代表法及本法ヲ合シテ國民代表法ト稱ス

(二)本法ハ一九一八年乃至一九二六年ノ國民代表法ト合シテ一體ヲ爲ス

(三)本法ハ一九二八年ニ調製セラル可キ選擧人名簿ニ登錄セラルル者又ハ一九二九年ニ調製セラルル選擧人名簿確定前ニ投票ヲ爲シ得ル者ノ權利ニ影響ヲ與フルコトナシ

(四)本法ハ北方アイルランド議會ノ法律制定權ヲ有セザル事項ニ關スル限リ之ヲ北方アイルランドニモ適用スルモノトス

別表

基礎法ノ改正ニ伴フ修正

基礎法ノ規定　修正

第五條——第三項中「本法ガ其ノ者ニ付キ必要トスル年齡」ヲ「成年」ニ改ム

第七條——第一項(b)號削除

第二十二條——第一項中「別表ニ掲グルモノヲ除クノ外」削除

第三項中「男子」ヲ「者」ニ改ム

第四十三條——第四號削除及第五號中「男子ニ對シ」削除

第二別表——第二部第一番第二番ニ存スル「男子」ヲ「者」ニ改ム

第三番註共削除

大學選擧ニ於ケル宣言ノ項中「男子ノ場合ニ於テハ」及「女子ノ場合ニ於テハ」『此ノ總選擧ニ於テハ他ノ大學選擧區ニ於テ投票シタルコトナシ』削除

第五別表——第一部ニ於ケル投票用紙ノ形式中及第二部ニ於ケル形式A及形式C中ニ於ケル「(男子ノ場合ニ在リテハ)」及「(女子ノ場合ニ在リテハ)」此ノ總選擧ニ於テハ他ノ大學選擧區ニ於テ投票シタルコトナシ」削除

二　英國選擧取締ニ關スル法規

千八百八十三年ノ不正、不法行爲防止法

Corrupt and Illegal Practices Prevention Act,

1883. 46 and 47 vict. C. 51.

國會議員選擧ニ於ケル不正行爲及不法行爲ノ防止ニ關スル法律——一八八三、八、二五、

第一章　不正行爲(Corrupt Practices)——饗應

第一條　一八五四年不正行爲防止法第四條ノ下ニハ議員選擧ニ於テ候補者以外ノ者ハ饗應ノ爲處罰ヲ受クルコトナキ旨規定シアレトモ是等ノ者ヲ處罰スヘキ必要アルヲ以テ同法第四條ヲ左ノ如ク改正ス

一、選擧ニ於テ投票ヲ與ヘシメ若ハ與ヘサラシムル爲不正ニ人ヲ勸誘スル目的ヲ以テ又ハ投票ヲ與ヘ若ハ與ヘサリシコト、投票ヲ與ヘ若ハ與ヘサラムトスルコトヲ理由トシテ選擧ノ時期若ハ其ノ前後ニ於テ自ラ又ハ人ヲ介シテ直接又ハ間接ニ酒食、遊興若ハ食品ヲ不正ニ人ニ供與シ又ハ供與ノ費用ヲ全部若ハ一部支拂フ者ハ饗應ノ罪ヲ犯シタルモノトス

二、不正ニ斯ル酒食、遊興若ハ食品ノ供與ヲ受ケタル選擧人亦饗應ノ罪ヲ犯シタルモノトス

不當ノ勸誘

第二條　投票ヲ爲シ若ハ爲サラシムル目的ヲ以テ又ハ投票ヲ爲シ若ハ爲ササリシヲ理由トシテ直接又ハ間接ニ自ラ若ハ人ヲ介シテ强迫暴行妨礙ヲ爲シ（若ハ爲スヘキ旨ヲ以テ脅迫シ）又ハ物質上精神上ノ損害危害ヲ加ヘ（若ハ加フヘキ旨ヲ以テ脅迫シ）タル者竝誘拐、監禁、詐欺的手段ニ依リ選擧人ノ投票權ノ自由行使ヲ妨礙シ又ハ之ニ依リテ投票ヲ爲シ若ハ爲ササラシムル樣選擧人ヲ强制勸誘若ハ說服スル者ハ不當勸誘ヲ犯シタルモノトス

不正行爲

第三條　本法ニ於テ「不正行爲」トハ左記ノ行爲ヲ謂フ

饗應、不當ノ勸誘、賄賂、詐冒投票(Personation)及詐冒投票ノ教唆、幇助、商議、委托

選擧訴訟ニ於テ自ラ不正行爲ノ罪ヲ犯シタルコトノ發見セラレタル候補者ノ處罰

第四條　州若ハ市ノ選擧ニ關スル選擧訴訟ノ審理ニ際シ選擧裁判所ニ於テ該選擧ニ關シ饗應又ハ不當勸誘以外ノ不正行爲ノ罪カ候補者自身ニ依リ若ハ其ノ情ヲ知リ之ヲ承認シタル下ニ犯サレタルコトヲ報告シ又ハ饗應若ハ不當勸誘ノ罪カ候補者ニ依リ犯サレタルコトヲ報告シタル場合ニ於テハ其ノ候補者ハ當該州市

ニ於テハ永久ニ下院議員ニ選擧セラルル資格ナキモノトス假令選擧セラルルモ其ノ當選ハ無效トス

選擧訴訟ニ於テ運動者(agents corrupt practice)ニ依リテ不正行為ノ罪ヲ犯シタルコトヲ發見セラレタル候補者ノ處罰

第五條　州若ハ市ノ選擧ニ關スル選擧訴訟ノ審問ニ際シ選擧裁判所ニ於テ該選擧ニ關シ候補者カ其ノ運動者ニ依リテ不正行為ノ罪ヲ犯シタルコトヲ報告シタル場合ニ於テハ其ノ候補者ハ當該州市ニ於テハ七年間下院議員ニ選擧セラルル資格ナキモノトス假令選擧セラルルモ其ノ當選ハ無效トス

不正行為ノ為起訴セラレ有罪ト決シタル者ノ處罰

第六條　(一)詐冒投票、其ノ教唆、幇助、商議、受托以外ノ不正行為ヲ為シタル者ハ輕罪ノ罪ヲ犯シタルモノトシ起訴セラレテ有罪ト決スルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百磅以下ノ罰金ニ處ス

(二)詐冒投票、其ノ教唆、幇助、商議、受托ヲ為シタル者ハ重罪ノ罪ヲ犯シタルモノトシ起訴セラレテ有罪ト決スルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス

(三)不正行為ノ為起訴セラレテ有罪ノ宣告ヲ受ケタル者ハ宣告ノ日ヨリ七年間(a)國會議員選擧タルト本法ノ範圍ニ屬スル公職ノ選擧タルトヲ問ハス合衆王國ニ於ケル選擧ニ際シ選擧人トシテ登錄セラレ又ハ投票ヲ為スノ資格ナキモノトス且(b)本法ノ範圍ニ屬スル公職若ハ司法上ノ職ニ就クコトヲ得サス現ニ其ノ職ニ在ル者ハ之ヲ失フモノトス

(四)選擧ニ關シ不正行為ニ付有罪ノ宣告ヲ受ケタル者ハ宣告ノ日ヨリ七年間下院議員ニ選擧セラルルノ資格ナキモノトス既ニ選擧セラレタル者ニ就キテハ其ノ當選ハ宣告ノ日ヨリ無效トス

第二章　不正行為(Illegal practices)——或ハ支辨カ不法行為タル場合

第七條　(一)選擧ニ於テ或候補者ノ當選ヲ計ル目的ヲ以テ左ノ費用ヲ代辨シ又ハ其ノ約束ヲ為スヘカラス

(a)投票所ニ往復スル選擧人ノ為ニスル乘馬若ハ馬車ノ賃借又ハ鐵道賃金其ノ他ニ充ツル費用

(b)意見書、貼札、告示ノ展覽ノ為ニ家屋、土地、建築物若ハ構內ヲ使用スル為又ハ斯カル展覽ヲ為ス為ノ費用

(c)本法別表第一號ニ依リ許サレタル數ヲ超ユル委員室ノ費用

(二)本法ニ依リテ許サレタル例外ハ別トシテ選擧ノ期間若ハ其ノ前後ニ於テ情ヲ知リテ本條ニ違反シタル支辨ヲ為シ若ハ其ノ約束ヲ為シタル場合ニハ其ノ支辨ヲ為シ又ハ其ノ約束ヲ為シタル者ハ不法行為ノ罪ヲ犯シタルモノトス其ノ支辨ヲ受ケタル者若ハ其ノ約束ニ與リタル者亦同シ

(三)支拂勘定書及報告書ヲ展覽ニ供スルコトカ報告(運動)者トシテノ選擧人ノ普通ノ事務ナル場合ニ於テハ其ノ選擧人ニ普通ノ事務手續トシテ支辨ヲ為スコト若ハ其ノ約束ヲ為スコトハ本條ニ謂フ不法行為ト看做サス

最高限度ヲ超過セル費用ハ不法行為トスルコト

第八條　(一)本法ニ依リ許サレタル例外ハ別トシテ選擧ノ期間若ハ其ノ前後ニ於テ候補者又ハ其ノ選擧辨理人(A Candidate or his election agent)ハ選擧ノ行為若ハ事務ニ關シ本法ノ別表第一號ニ列擧セラレタル事項ニ要スル最高限度ノ額ヲ超過スル金額ヲ支辨シ又ハ受取ルコトヲ得ス

(二)候補者又ハ選擧辨理人カ情ヲ知リテ本條ノ規定ニ違反シタルトキハ不法行為ノ罪ヲ犯シタルモノトス

禁止セラレタル者ノ投票及引退ニ關スル虛僞ノ陳述ハ不法行為トスルコト

第九條　(一)本法又ハ他ノ法律ニ依リ投票ヲ禁止セラレタル者ナルコトヲ知リテ自ラ投票ヲ為シ又ハ其ノ者ヲシテ投票セシメタル者ハ不法行為ノ罪ヲ犯シタルモノトス

(二)選擧ノ期間若ハ其ノ前ニ於テ他ノ候補者ノ當選ヲ計ル目的ヲ以テ或ル候補者ノ引退ニ關シテ故意ニ虛僞ノ陳述ヲ為シタル者ハ不法行為ノ罪ヲ犯シタルモノトス

(三)但シ候補者ハ自己ノ選擧辨理人以外ノ運動者 (election agent other agent) ノ犯セル本條ノ不法行為ノ為ニ責ヲ負フコトナシ其ノ當選亦無效トセラルコトナシ

不法行為ノ處罰

第十條　本法前各條若ハ以下ノ條項ニ照シ不法行為ノ罪ヲ犯シタル者ハ有罪宣告ノ下ニ百磅以下ノ罰金ニ處ス且宣告ノ日ヨリ五年間（國會議員選擧タルト本法ノ範圍ニ於ケル公職ノ選擧ナルトヲ問ハス）其ノ不法行為ヲ犯シタル州市內ニ於ケル選擧ニ際シ選擧人トシテ登錄セラレ又ハ投票ヲ為ス事ヲ得サルモノトス

不法行為ニ關スル選擧裁判所ノ判決及其ノ判決ニ依リ有罪ト決シタル候補者ノ處罰

第十一條　一八六八年國會議員選擧法第十一條第十四號ニ於テハ選擧訴訟ニ於テ不正行為ノ嫌疑アルトキハ裁判官ハ左ノ事項ヲ議長(the Speaker)ニ書面ヲ以テ報告スヘキ旨ノ規定アリ

(a)選擧ニ際シ候補者自ラ若ハ情ヲ知リツツ承認シタル下ニ於テ不正行為ヲ犯シタルコトノ證據有リタルコト若ハ無カリシコト並其ノ不正行為ノ性質

(b)不正行為ノ罪ヲ犯シタル證據判明セル者ノ氏名

(c)其ノ選擧訴訟カ問題トナリタル選擧ニ於テ不正行為カ廣キ範圍ニ亘リテ行ハレタルヤ否ヤ若ハ其ノ行ハレタリト信スヘキ理由アリヤ否ヤ

而シテ右ノ規定ヲ不法行為ニ適用スルコト便宜ナルヲ以テ茲ニ左ノ如キ規定ヲ設ケタリ

一八六八年國會議員選擧法第十一條第十四號ハ其ノ規定中不正行為トアルハ本法ニ謂フ不法行為ヲ包含スルモノトシテ改正セラレタルモノトシテ適用セラルヘシ而シテ州若ハ市ノ選擧ニ關スル選擧訴訟ノ審理ノ上選擧裁判所ハ右ノ第十四號（茲ニ改正セラレタル所ニ從ヒ）ニ依ル各事項ヲ書面ヲ以テ議長ニ報告シ且候補者カ其ノ運動者ニ依リ不法行為ノ罪ヲ犯シタリ

ヤ否ヤヲ報告スヘシ

其ノ選擧裁判所ノ報告ノ如何ニヨリテ其ノ結果ヲ定ム即チ

(a)不法行爲カ候補者ニ依リ若ハ其ノ承諾ノ下ニ犯サレタルコトヲ證セラレタル旨ノ報告ナルトキハ其ノ候補者ハ七年間其ノ州市ニ於テ下院議員ニ選擧セラルルノ資格ナキモノトシ假令選擧セラルルモ其ノ當選ハ無效トス

(b)候補者カ其ノ運動者ニ依リテ不法行爲ノ罪ヲ犯シタル旨ノ報告ナルトキハ其ノ候補者ハ其ノ選擧ノ行ハレタル議會ノ期間其ノ州市ニ於テ下院議員ニ選擧セラルルノ資格ナキモノトシ假令選擧セラルルモ其ノ當選ハ無效トス

選擧委員(election Commissioners)ニ關スル法律ノ擴張修正

第十二條 一八五二年ノ選擧委員法(一八六八年選擧法ニテ修正)ニ依レハ兩院共同ノ通告書ニ於テ女王ニ對シ或州市ニ於ケル選擧ニ際シ不正行爲カ擴大ナル範圍ニ亘リテ行ハレタルコト又ハ其ノ行ハレタリト信スヘキ理由アルコトヲ選擧裁判所ヨリ議長ニ報告アリタル旨ヲ奏シ且其ノ通告書ニ指名セラレタル人々ニ同法ニ定メラレタル審査ヲ命セラレンコトヲ請願シタル場合ニ於テハ女王ハ斯カル不正行爲ノ果シテ存在スルヤ否ヤヲ審査スル爲右ニ指名セラレタル人々ヲ選擧委員ニ任命スヘキコトヲ規定セラレ在リ

而シテ右ノ規定ハ之ヲ不法行爲ニモ其ノ適用ヲ及ホスモノトスルコト便宜ナルヲ以テ玆ニ左ノ如キ規定ヲ設クルモノトス

一八五二年ノ選擧委員法ニ依リテ任命セラレタル選擧委員ハ同法ノ「不正行爲」ニハ「不法行爲」ヲ包含スルモノトシテ審査、決定、報告スルコトヲ得ルモノトス

第三章　不法ナル支拂、使用、貸借——不法行爲ノ爲若ハ不法費用ノ供與

第十三條 本法ノ規定ニ反スル本拂本法ニ依リテ許サレタル最高限度ノ額ヲ超過スル費用又ハ斯カル支拂若ハ費用ノ爲ニ使用セラレタル金錢ヲ取代フル爲ニ金錢ヲ情ヲ知リテ供與スル者ハ(本法ニ於テ例外トシテ許サレタル場合ノ外)不法支拂ノ罪ヲ犯シタルモノトス

馬車及馬ノ使用

第十四條 (一)投票所ニ往復スル選擧人ヲ運搬スル目的ヲ以テ公衆驛馬車、貸馬車、之ヲ曳ク爲ニ用フル馬其ノ他ノ動物若ハ自ラ賃貸ノ目的ヲ以テ所持使用スル馬車、馬其ノ他ノ動物ヲ貸シ又ハ使用スヘカラス情ヲ知リテ貸シ又ハ使用スル者ハ不法貸借ノ罪ヲ犯シタルモノトス

(二)本條ニ依リ禁セラレタルモノナルコトヲ知リテ馬車、馬其ノ他ノ動物ヲ投票所ニ往復スル選擧人ヲ運搬スル爲ニ貸借使用スヘカラス犯ス者ハ不法貸借ノ罪ヲ犯シタルモノトス

(三)投票場ニ往復スル爲選擧人若ハ數人ノ選擧人共同ニテ馬車、馬其ノ他ノ動物ヲ貸借使用スルコトハ本法ノ妨クル所ニアラス

(四)何人モ投票場ニ往復スル選擧人ヲ運搬スル爲馬車ヲ無賃ニ

テ使用シタルコトヲ理由トシテ其ノ馬車ノ稅金ヲ支拂ヒ又ハ免許ヲ取ルコトヲ得サルモノトス

候補者ノ不正引退

第十五條 金錢ヲ與フルコト又ハ其ノ約束ヲ報償トシテ不正ニ候補者ニ引退ヲ勸誘シタル者ハ不法支拂ノ罪ヲ犯シタルモノトス斯カル勸誘ニ從テ引退シタル者亦同シ

不法支拂タル費用

第十六條 (一)或ル候補者ノ當選ヲ計ル目的ヲ以テ樂隊、火把（タイマツ）、旗、章旗、帽章、紐章其ノ他區別ノ表彰ノ爲支拂ヲ爲シ又ハ其ノ約束ヲ爲スコトヲ得ス

(二)本法ニ依リテ許サレタル例外ハ別トシテ本條ニ反スル支拂又ハ其ノ約束カ選擧ノ期間若ハ其ノ前後ニ爲サレタル時ハ其ノ支拂ヲ爲シタル者ハ不法支拂ノ罪ヲ犯シタルモノトス其ノ約束ニ關與セル者若ハ其ノ支拂ヲ受ケタル者(其ノ法律ニ反スルコトヲ知レルトキハ)亦同シ

不法傭雇

第十七條 (一)何人モ或候補者ノ當選ヲ計ル目的ヲ以テ本法ノ別表第一號ノ第一若ハ第二ニ記載セラレタル以外ノ目的若ハ性質ノ支拂又ハ本法別表第一號ノ第一若ハ第二ニ認メラレタル以上ノ支拂ヲナス爲ニ從事スルコトヲ得ス

(二)本法ニ依テ許サレタル例外ハ別トシテ選擧ノ期間若ハ其ノ前後ヲ問ハス本條ニ違反シテ人ヲ雇傭シタル者ハ不法雇傭ノ罪ヲ犯シタルモノトス雇ハレタル者(法律ニ反スルコトヲ知レルトキ)亦同シ

貼札ノ署名

第十八條 選擧ニ關スル總テノ貼札（ハツフダ）、揭示書、招牌（ビラ）ハ其ノ表面ニ印刷者竝發行者ノ住所氏名ヲ記載スヘシ其ノ住所氏名ヲ記載セサルモノヲ印刷發行揭示シタル者若ハ之ヲ命シタル者カ候補者若ハ其ノ運動者ナルトキハ不法行爲ノ罪ヲ犯シタルモノトシ若其ノ他ノ者ナルトキハ簡易判決(on Summary Conviction)ニ依リ百磅以下ノ罰金ニ處ス

債權者ノ救濟

第十九條 或ル支拂及其ノ契約ヲ爲スコト竝或ル最高限度ノ額ヲ超過セル支拂及其ノ支拂ヲ享クルコトヲ禁止スル本法ノ規定ハ其ノ契約若ハ支拂受領ノ時ニ本法ニ違反セルコトヲ知ラサリシ債權者ノ權利ニ影響スルコトナシ

酒場、飲食店、學校ノ使用

第二十條 (a)酒類ノ卸賣又ハ小賣ヲ爲ス免許ヲ受ケタル構內

(b)酒類ヲ販賣シ又ハ永續的ノ政黨以外ノ倶樂部協會ノ會員ニ酒類ヲ供給スル構內

(c)飲食物ヲ其ノ場ニテ消費スル爲ニ賣ル構內

(d)國會ヨリ每年補助ヲ受クル公立小學校ノ構內又ハ其ノ一部等ヲ或ル候補者ノ當選ヲ計ル目的ヲ以テ委員室ニ充ツルコトヲ得ス斯カル構內又ハ其ノ一部ヲ委員室トシテ貸借使用シタル者ハ不法貸借ノ罪ヲ犯シタルモノトス委員室トシテ使用スルコトヲ知ツテ貸借シタル者亦同シ

事務室、事務所若ハ公ノ會合ノ爲ニ通常貸借セラルル構內ニシテ別ノ入口ヲ有シ且酒類若ハ飲食物ヲ販賣スル構內ト直接ニ相通セサル場合ニ於テハ本條ヲ適用セス

　不法ノ支拂、雇傭、貸借ノ處罰

第二十一條（一）不法支拂、不法雇傭、不法貸借ノ罪ヲ犯シタル者ハ簡易判決ノ上百磅以下ノ罰金ニ處ス

（二）不法支拂、不法雇傭、不法貸借ノ罪ヲ自ラ犯シタル候補者若ハ選擧辨理人ハ不法行爲ノ罪ヲ犯シタルモノトス

第四章　不正、不法行爲ノ免除——運動者ノ罪ト候補者ノ免除ノ報告

第二十二條　或ル州市ノ選擧ニ關スル選擧訴訟ノ審理ニ際シ選擧裁判所ニ於テ或候補者カ其ノ運動者ニヨリテ饗應、不當勸誘、不法行爲等ノ罪ヲ犯シタルコトヲ報告シ且其ノ候補者カ

（a）候補者若ハ其ノ選擧辨理人カ不正行爲若ハ不法行爲ヲ犯シタルニ非ス報告ニ記載セラレタル罪ハ候補者若ハ其ノ選擧辨理人ノ命令ニ反シ且其ノ承認若ハ默認ナクシテ犯サレタルモノナルコト

（b）候補者及其ノ選擧辨理人カ不正、不法行爲ヲ行フコトヲ防止スルニ相當ノ手段ヲ取リタルコト

（c）報告ニ記載セラレタル罪ハ或ル些細、輕微ニシテ範圍ノ制限セラレタル性質ノモノナルコト、及

（d）他ノ點ニ關シテハ候補者及其ノ運動者側ニ於テ其ノ選擧ニ不正、不法行爲ナカリシコトヲ裁判所ニ證明シタルコトヲ報告シタル場合ニ於テハ其ノ候補者ノ當選ハ其ノ報告ニ記載セラレタル罪ヲ理由トシテ無效トセラルルコトナシ又其ノ候補者ハ本法ノ下ニ於ケル資格喪失ヲ受クルコトナシ

　惡意ナキ行爲ノ除外

第二十三條　請願（Application）ニ依リテ上級裁判所又ハ選擧裁判所ニ適當ト認メラルル證據ニ由リ

（a）候補者、其ノ選擧辨理人其ノ他ノ運動者等ノ行爲若ハ懈怠カ、本法ニ違反セル支拂雇傭（Employment）契約（Engagement）ナルカ、本法ニ許サレタル最高限度ヲ超過セル額ノ支拂受領ナルカ、又ハ其ノ本法ノ何レカノ規定ニ違反セルコトノ理由ニ依リ（本條ノ規定ナカリセハ）不法行爲、不法支拂、不法雇傭、不法貸借トナルヘキコト

（b）斯ル行爲若ハ懈怠カ過誤、偶然ノ誤算又ハ同樣ノ他ノ理由アル原因ニ出テタルモノニシテ善意ノ欠缺（Want of Good Faith）ニ出テタルニ非サルコト

（c）其ノ州市ニ於テ爲セル請願ニ付テノ通告カ適當ト認メラルルカ表示セラルル場合ニシテ且其ノ候補者、選擧辨理人其ノ他ノ運動者カ斯カル行爲若ハ懈怠ニ關スル本法ノ制裁ヲ受クヘキモノニ非サルコト正當ナリト認ムル事情アルトキハ、裁判所ハ是等ノ行爲若ハ懈怠ヲ本法規定ノ例外トシテ許シ從テ是等ノ者ヲ本法ノ制裁ヲ受ケサルモノトナスコトヲ得

第五章　選擧費用——選擧辨理人ノ指名

第二十四條（一）或選擧ニ於ケル指名ノ日若ハ其ノ以前ニ於テ、各候補者ニ依リ又ハ各候補者ノ爲ニ一人ノ辨理人ヲ指名セラルヘシ

（二）候補者ハ自ラ選擧辨理人トナルコトヲ得、其ノ場合ニ於テハ事情ノ許ス限リ、本法中候補者ニ關スル規定竝選擧辨理人ニ關スル規定何レニモ從フヘキモノトス

（三）指名ノ日若ハ其ノ前ニ於テ各候補者ノ選擧辨理人ノ住所氏名ヲ書面ヲ以テ選擧長（The Returning Officer）ニ屆出ツヘシ、選擧長ハ直ニ之ヲ公示スヘシ

（四）各候補者ニ付一人ノ選擧辨理人ヲ指命スヘシ、但シ其ノ指命ハ取消スコトヲ得（候補者自ラ辨理人タルトキト否トヲ問ハス）、指命ノ取消アリタルトキ若ハ辨理人ノ死亡シタル時ハ（選擧ノ前後ヲ問ハス）直ニ他ノ選擧辨理人ヲ指命スヘシ其ノ住所氏名ハ書面ヲ以テ選擧長ニ屆出ツヘシ選擧長ハ直チニ之ヲ公示スヘシ

　選擧副辨理人（Sub-agent）ノ指命

第二十五條（一）本法別表第一號ニ列擧セラレタル選擧ノ場合ニ於テハ其ノ候補者ノ選擧辨理人ハ相異ル投票區ニ於テ行動スル爲數名ノ副辨理人ヲ指名スルコトヲ得

（二）或投票區ニ於ケル事件ニ關シテハ投票辨理人ハ其ノ區ノ副辨理人ヲシテ行動セシムルコトヲ得、而シテ本法ノ事項ニ關シ其ノ投票區ニ於テ副辨理人ノ爲シタル行爲竝副辨理人ニ對シテ爲サレタル行爲ハ選擧辨理人ノ爲シタル行爲竝選擧辨理人ニ對シテ爲サレタル行爲ト看做ス

副辨理人ノ行爲若ハ過失カ若其ノ者カ選擧辨理人ナリトセハ本條ノ不法行爲其ノ他ノ罪ニ當ルヘキ場合ニ於テハ其ノ行爲若ハ過失ハ副辨理人ノ犯シタル不法行爲其ノ他ノ罪トシ從テ副辨理人カ其ノ處罰ヲ受クヘキモノトス、而シテ候補者ハ選擧辨理人カ其ノ行爲若ハ過失ヲ爲シタル場合ト同樣ニ制限ヲ蒙ルモノトス

（三）投票ノ一晝夜前ニ選擧辨理人ハ各副辨理人ノ住所氏名ヲ書面ヲ以テ選擧長ニ屆出ツヘシ選擧長ハ直ニ之ヲ公告スヘシ

（四）副辨理人ノ指名ハ之ヲ指名シタル選擧辨理人カ辨理人タルコトノ止ミタルニ依リ無效トナルコトナシ但シ其ノ候補者ノ現在ノ選擧辨理人ニ依リ取消サルルコトヲ妨ケス副辨理人指名ノ取消アリタルトキ若ハ副辨理人ノ死亡シタルトキハ他ノ副辨理人ヲ指名シ其ノ住所氏名ヲ直ニ書面ヲ以テ選擧長ニ屆出ツヘシ、選擧長ハ直ニ之ヲ公示スルモノトス

　選擧辨理人竝副辨理人ノ事務所

第二十六條（一）選擧辨理人ハ其ノ州市內ニ於テ、副辨理人ハ其ノ區內ニ於テ一事務所ヲ置キ總テノ請求、通知、令狀、召喚及文書ノ送達ヲ受クル所ト爲スヘシ事務所ノ所在ハ其ノ辨理人ノ指名ト同時ニ選擧長ニ屆出ツヘシ選擧長ハ辨理人ノ氏名ト共ニ之ヲ公示スヘシ

(二)事務所ニ交付セラレ且選擧辨理人若ハ副辨理人ニ宛テタル總テノ請求、通知、令狀召喚及文書ハ其ノ辨理人自身ニ宛テ差出サレタルモノト看做ス辨理人ハ其ノ選擧ニ關係アル事件ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル裁判所ニ訴ヘラルヘキモノトス

選擧辨理人ニ依ル契約

第二十七條 (一)選擧辨理人ハ自ラ若ハ其ノ副辨理人ニ依リテ其ノ候補者ノ爲ニ投票代理人(Polling agent)書記、使丁ヲ指名シ、且其ノ候補者ノ爲ニ委員室ヲ賃借スルモノトス

(二)選擧ノ行爲若ハ事務ニ關シテ支拂ヲ受クル契約ハ、其ノ契約カ候補者、選擧辨理人若ハ副辨理人ニ依リテ爲サレタルニ非サル限リハ之ヲ以テ候補者ニ强フルコトヲ得ス、但シ本條ニ依リ契約ヲ强ヒラルルコトナキ場合ト雖候補者ハ其ノ辨理人ノ犯シタル不正若ハ不法行爲ノ制裁ヲ免ルルコトヲ得ス

選擧辨理人ニ依ル支拂

第二十八條 (一)本條ニ於テ許サレタル場合ヲ除クノ外、選擧期間若ハ其ノ前後ニ於テ選擧ニ關スル行爲、事務ニ對スル費用ノ支拂、前渡、手附ヲ與フルコトハ選擧辨理人若ハ副辨理人ニ依リ又ハ之ヲ介シテ爲スノ外候補者、運動者(Any Agent on Behalf of the Candidate)其ノ他ノ者ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ス

(二)候補者以外ノ者カ選擧ニ關スル行爲又ハ事務ニ對スル費用ノ爲ニ供給スル金錢ハ贈與ナルト貸與ナルト若ハ前渡手附ナルトヲ問ハス候補者若ハ選擧辨理人ニ支拂フヘシ、其ノ他ノ者ニ之ヲ支拂フコトヲ得ス

但シ選擧長ヘノ保證ノ提供、選擧長ニ依リテノ支拂若ハ或人カ爲シタル小額ノ支拂ノ返還セラレサル場合ハ本條ヲ適用スヘキモノト看做サス

(三)本條ニ違反シテ支拂、前渡、手附ヲ爲シタル者ハ不法行爲ノ罪ヲ犯シタルモノトス

選擧費用ノ請求及支拂ノ期間

第二十九條 (一)選擧ニ關スル行爲若ハ事務ノ費用ニ付選擧辨理人若ハ副辨理人ノ爲シタル支拂ハ、四十志以下ノ場合ノ外明細勘定書竝領收書ニ依リ之ヲ證明スヘシ

(二)選擧ニ關スル行爲若ハ事務ノ費用ニ付候補者若ハ選擧辨理人ニ對スル請求書ハ本法ニヨリ制限セラレタル時期以内ニ選擧辨理人ニ送致セサルトキハ之ヲ支拂フコトヲ得サルモノトス、而シテ本法ニ依リ許サレタル例外ノ場合ヲ除クノ外、本條ニ違反スル要求ニ對シ支拂ヲ爲シタル選擧辨理人ハ不法行爲ノ罪ヲ犯シタルモノトス

(三)本法ニ依リテ許サレタル場合ヲ除キ、請求書ヲ送致スル爲ニ本法ニ依リ制限セラレタル時期ハ候補者ノ當選カ宣言セラレタル日ノ後十四日トス

(四)選擧ニ關スル行爲若ハ事務ノ費用ニシテ候補者ノ爲ニスル支拂ハ本法ニヨリ制限セラレタル期間内ニ非サレハ支拂フコトヲ得ス

本法ニ依リ許サレタル例外ヲ除キ、本條ニ違反セル支拂ヲ爲シタル選擧辨理人ハ不法行爲ノ罪ヲ犯シタルモノトス

(五)本法ニ依リテ許サレタル場合ヲ除キ、前述ノ費用ノ支拂ノ爲本法ニ依リ制限セラレタル期間ハ候補者ノ當選カ宣告セラレタル日ノ後二十八日トス

(六)本條ニ違反シテ選擧辨理人カ爲シタル支拂カ候補者ノ承認若ハ默認ナクシテ行ハレタルモノナルコトカ證明セラレタル旨ヲ選擧裁判所カ報告シタル場合ニ於テハ、候補者ノ當選ヲ無效トセス本條ニ違反セル支拂ニ由ル本法ノ制限ヲ受ケサルモノトス

(七)選擧辨理人カ本法ニヨリ制限セラレタル期間内ニ送達セラレタル請求書ニ付テ之ヲ爭ヒ、拒絕シ若ハ、二十八日間ノ期間内ニ支拂ハサルトキハ其ノ請求ハ係爭請求ト看做ス

(八)請求者ハ、適當ト認ムルトキハ、係爭請求ノ爲ニ適當ナル裁判所ニ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

其ノ判決ニ從ヒ若ハ裁判所ノ命ニ依リ、候補者若ハ其ノ運動者カ爲シタル支拂ハ本法ニヨリ制限セラレタル期間内ニ支拂ヒタルモノト看做シ、且選擧辨理人ニヨリ支拂ハルヘキモノトセル本法ノ規定ノ例外トス

(九)上級裁判所ニ於テ充分ト認ムル理由アルトキハ、裁判所ハ請求書、候補者若ハ選擧辨理人ノ請願ニ依リ、係爭請求、請求送致ニ付テノ本條ノ期間後ニ送致セラレタル請求若ハ選擧辨理人ニ送致セスシテ、候補者ニ送致スル請求ノ支拂ヲ許可スルコトヲ得

(十)許可命令ニ列擧セラレタル額カ其ノ許可ニ從ヒ候補者若ハ選擧辨理人ニヨリ支拂ハルルトキハ本法ニ依リ制限セラレタル期間内ニ支拂ハレタルモノト看做ス

候補者ニ對スル請求ノ附托

第三十條 選擧ニ關スル行爲若ハ事務ノ費用ニ付候補者若ハ選擧辨理人ニ對シテ係爭請求回復ノ訴訟カ裁判所ニ提起セラレ被告カ其ノ責任ヲ認メ只請求ノ金額ニ付テ爭フ場合ニ於テハ原告ノ請願ニ依リ裁判所カ別段ノ命令ヲ爲スニアラサレハ其ノ金額ハ直ニ賦課トシテ裁判長公仲裁人、書記ニ附托セラレ賦課トシテ適當ト認メラレタル金額カ回復セラルヘキモノトス

候補者ノ個人的費用(Personal Expenses)及些細ナル費用

第三十一條 (一)候補者ハ選擧ニ關スル自己ノ個人的費用トシテ百磅ヲ超エサル額ノ支拂ヲ爲スコトヲ得其ノ以上ノ費用ハ選擧辨理人ニ依リテ支拂ハルヘシ

(二)候補者ハ請求書ヲ送致スル爲ニ本法ニ依リ制限セラレタル期間内ニ前述ノ通リ自ラ支拂ヒタル自己ノ費用額ヲ書面ヲ以テ選擧辨理人ニ通告スヘシ

(三)候補者ノ選擧辨理人ニ依リ書面ヲ以テ委任セラレタル者ハ筆墨紙、郵稅、電報及其ノ他ノ些細ナル費用ニシテ金額カ其ノ委任セラレタル額ヲ超過セサル費用ノ支拂ヲ爲スコトヲ得、

之ヲ超過セル額ハ選擧辨理人ニ依リテ支拂ハルヘシ

(四)委任セラレタル者ノ爲シタル支拂ノ明細書ハ請求書送達ノ爲本法ニ制限セラレタル期間内ニ選擧辨理人ニ送致スヘシ、且勘定書竝領收書ヲ以テ之ヲ證明スヘシ

選擧辨理人ノ補償、選擧長ノ費用

第三十二條 (一)事情ノ許ス限リ選擧辨理人ノ補償ノ請求及其ノ支拂ニ付テハ他ノ債權者ノ場合ト同樣ニ本法ヲ適用ス、其ノ請求額ニ付異議ヲ生スルトキハ本法ニ謂フ所ノ係爭請求トシテ取扱フ

(二)一八七五年國會議員選擧(ノ選擧長ニ關スル)法第四條ニ依リ或候補者ノ件ニ付選擧長カ請求スル費用ノ計算報告ハ同條ニ揭ケラレタル期間内ニ其ノ候補者ノ選擧辨理人ニ交付スルヲ要セス

選擧費用ニ關スル報告竝陳述

第三十三條 (一)候補者當選ノ宣告日ノ後三十五日以内ニ各候補者ノ選擧辨理人ハ別表第二號ノ形式ニ從ヒ左ノ項目ニ付眞實ノ(選擧費用)報告ヲ選擧長ニ交付スヘシ

(a)選擧辨理人ノ爲シタル總テノ支拂ノ記載

但シ勘定書竝領收書ヲ添附スルコト

(b)候補者ノ自ラ支拂ヒタル費用額ノ記載

(c)選擧長ニ支拂ヒタル總額(又ハ請求總額竝係爭額)ノ記載

(d)選擧辨理人ノ知レル、其ノ他總テノ係爭請求ノ記載

(e)選擧辨理人ノ知レル未拂請求ニシテ之ニ關シ上級裁判所ニ請願セラレタルモノ又ハセラレムトスルモノノ記載

(f)選擧ニ關スル行爲、事務ノ費用ノ爲ニ選擧辨理人カ候補者其ノ他ノ者ヨリ受取リタル總テノ金錢、有價證券、若ハ金錢ノ對價物ノ記載、但シ各供與者ノ姓名ヲモ記載ノコト

(二)選擧長ニ報告ヲ交付シタルトキハ、次テ選擧辨理人ハ別表第二號ノ形式ニヨリ治安判事ノ前ニテ陳述ヲ爲スヘシ

(三)候補者カ自ラ選擧辨理人タル場合ニハ候補者ノ支拂ヒタル總テノ金錢、有價證券金錢ノ對價ハ本條報告ニ於テハ選擧辨理人ノ支拂ヒタルモノト看做シ選擧辨理人ノ陳述ヲ要セス選擧費用ニ關スル候補者陳述ヲ別表第二號ニ揭ケタル如ク修正スルモノトス

(四)辨理人カ上述ノ報告ヲ交付シタルト同時又ハ一週間内ニ候補者ハ治安判事ノ前ニテ爲シタル陳述ヲ選擧長ニ交付スヘシ

(五)上述ノ報告及陳述ヲ其ノ期間内ニ交付セサルトキハ、候補者ハ其ノ交付ヲ爲スマテ又ハ交付ノ懈怠ニツキ本法ニ依ル宥恕ヲ與ヘラルルマテ下院ニ列席シ又ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス此ノ規定ニ違反シテ列席シ又ハ投票シタルトキハ其ノ列席又ハ投票シタル日每ニ百磅ノ科料ニ處ス

(六)本法ノ宥恕ヲ與ヘラレスシテ候補者若ハ選擧辨理人カ本條ノ規定ニ從ハサルトキハ不法行爲ノ罪ヲ犯シタルモノトス

(七)候補者若ハ選擧辨理人カ本條ノ陳述ニ際シ知テ虛妄ノ陳述ヲ爲シタルトキハ罪ヲ犯シタルモノトシ、起訴ノ上有罪トナ

ルトキハ故意不正ノ僞誓ニ對スル處罰ヲ受クルモノトス、且斯カル罪ハ本法ノ不正行爲ト看做ス

(八)報告カ選擧長ニ交付セラレタル時ニ於テ候補者カ合衆王國外ニ在ルトキハ歸朝後十四日以内ニ本條ノ陳述ヲ爲シ且直ニ選擧長ニ交付スヘシ、但シ此ノ猶豫アルカ爲選擧辨理人ノ報告及陳述ヲ猶豫スルコトナシ

(九)選擧費用ニ關スル報告ヲ交付シタル後ニ於テ上級裁判所ニ依リ或請求書ノ支拂ヲ爲スコトヲ許サレタル場合ニハ候補者若ハ選擧辨理人ハ支拂後七日以内ニ裁判所ノ支拂許可命令ノ謄本ヲ添ヘ其ノ支拂額ノ報告ヲ選擧長ニ交付スヘシ、其ノ交付ヲ爲ササル時ハ宥恕ナクシテ本條ノ規定ニ從ハサリシモノト看做ス

選擧費用ニ關スル報告、陳述ノ規定ニ從ハサリシ者ノ宥恕

第三十四條 (一)選擧費用ノ報告竝陳述カ交付セラレサルカ、又ハ交付セラルルモ誤謬若ハ虛妄ノ點在ルトキハ

(a)候補者カ上級裁判所又ハ選擧裁判所ニ請願シテ報告、陳述ヲ交付セサリシカ若ハ其ノ記載中誤謬、虛妄ノ點アリシカ又ハ自己ノ病氣若ハ選擧辨理人、副辨理人、書記等ノ不在、死亡、病氣、失策ニ原因スルカ其ノ他同樣ノ理由アル原因ニ出ツルモノナルコト及惡意ニ出テタルニアラサルコトヲ證明シタル場合、又ハ

(b)選擧辨理人カ上級裁判所又ハ選擧裁判所ニ請願シテ自己ノ交付スヘカリシ報告、陳述ヲ交付セサリシコト若ハ其ノ記載中誤謬虛妄ノ點アリシコトカ自己ノ病氣若ハ其ノ候補者ノ前選擧辨理人ノ死亡、病氣若ハ副辨理人、書記等ノ不在、死亡、病氣、失策ニ原因スルカ其ノ他同樣ノ理由アル原因ニ出ツルコト及惡意ニ出テタルニアラサルコトヲ證明シタル場合ニハ

裁判所ハ當該州市ニ其ノ請願ヲ通知シタル後、請願ニ記述セラレタル理由竝請願ノ惡意ニ非サルコトニ付適當ト認メラルル證據ヲ得タルトキハ、交付ノ懈怠、記載ノ誤謬ハ虛妄ニ對シ宥恕ヲ與フル爲、裁判所ノ正當ト認ムル所ニ依リ命令スルコトヲ得

(二)裁判所ニ於テ、選擧辨理人、副辨理人タル者若ハ其ノ解任後ニ於テ、其ノ候補者及選擧辨理人カ夫々本法ノ規定ニ從テ選擧費用ノ報告、陳述ヲ爲スニ付必要ナル明細報告ヲ與フルコトヲ拒ミ又ハ怠ルモノト認ムル場合ニハ、本條ノ宥恕ヲ與フル前ニ是等ノ者ヲ裁判所ニ出席セシメ、報告、陳述ヲ爲シ若ハ明細書ヲ交付スルコト、一定ノ期間内ニ一定ノ人ニ一定ノ方法ニ依リ明細書ヲ交付スヘキコトヲ命シ、又ハ明細事項ニ關シテ訊問スヘキコトヲ命スルヲ得且是等ノ命令ニ從ハサルトキハ五百磅以下ノ罰金ノ支拂ヲ命スルコトヲ得

(三)宥恕ノ命令ヲ與フル場合ニハ、修正セラレタル形式ニヨリ若ハ延長セラレタル期間内ニ報告、陳述ヲ爲スヘキコト及本法ノ目的ヲ達スルニ適當ナリト認ムル他ノ條件事項ニ從フヘ

キコトヲ以テ條件ト爲スコトヲ得

宥恕ヲ與フル命令ニヨリ請求者ハ其ノ點ニ關スル本法ノ制裁ヲ免ルルコトヲ得且報告陳述ニ關スル選擧辨理人ノ行爲、不行爲カ候補者ノ承認、默認ナクシテ爲サレタルコト又ハ其ノ行爲、不行爲ヲ防止スルニ相當ノ手段ヲ講シタルコトカ候補者ニ依リ證明セラルルトキハ裁判所ハ選擧辨理人ノ行爲、不行爲ノ結果タル制裁ヲ候補者ニ免除スルコトヲ得

（四）命令ノ日附（若條件付ナラハ其ノ條件ノ完全ニ充タサレタル日）ヲ以テ本法ニ於テハ宥恕ヲ與ヘタル日附トス

選擧用報告

第三十五條　（一）選擧長ハ選擧辨理人ヨリ選擧費用ノ報告ヲ受理シタル後十日以内ニ其ノ州市ニ發行スル、二個以上ノ新聞紙ニ報告ノ概要ヲ公告シ且報告、陳述竝附屬書類ノ檢閲ノ時及場所ヲ指示スヘシ公告ニ關シテハ候補者ニ其ノ費用ヲ課スルコトヲ得、其ノ額ハ、一八七五年國會議員選擧（選擧長）法ニ許サレタル額ナルヘシ

（二）選擧辨理人ヨリ選擧長ニ送達セラレタル報告、陳述（竝附屬書類）ハ選擧長ノ役所又ハ其ノ指定シタル便宜ノ場所ニ於テ保管スヘシ而シテ、二年間ハ相當ノ理由アル時ニハ一志ノ手數料ヲ徴シテ何人ノ檢閲ニモ供スヘシ、且選擧長ハ要求ニ應シ七十二字ニ付二片ノ代價ヲ以テ何レノ部分ノ謄本ヲモ與フヘシ

二年ノ期間ヲ經過シタルトキハ選擧長ハ報告、陳述（竝附屬書類）ヲ破棄セシムルヲ得、但シ候補者若ハ選擧辨理人ノ要求アルトキハ之ヲ候補者ニ還付スヘシ

第六章　選擧人ノ資格喪失――不正、不法行爲等ヲ犯シタル者ノ投票禁止

第三十六條　或選擧ニ於テ不正行爲、不法行爲、不法雇傭、不法支拂、不法貸借ノ罪ヲ犯シタル者ハ其ノ選擧ニ於テ投票ヲ爲スコトヲ禁ス、假令投票スルモ無效トス

イ、投票ヲ爲スヲ得サル者

第三十七條　本法一八七二年ノ不正行爲（市選擧法）一八八二年市制法第四編若ハ其ノ他公職選擧ノ不正行爲ニ關スル法ノ下ニ於ケル選擧裁判所若ハ選擧委員ノ判決若ハ報告ノ結果トシテ國會議員選擧若ハ其ノ他公職選擧ニ於テ投票ヲ爲ス資格ヲ喪失シタル者ハ斯カル選擧ニ於テ投票ヲ爲スコトヲ禁ス、假令投票スルモ無效トス

ロ、不正行爲、不法行爲ニ關スル報告

第三十八條　（一）選擧裁判所若ハ選擧委員カ或者カ選擧ニ際シ不正若ハ不法行爲ノ犯罪アリタル旨報告スル前ニ其ノ者ニ通知ヲ與ヘ斯カル報告ヲ爲スヘカラサルコトヲ證スル答辯ヲナスノ機會ヲ與フヘシ

（二）選擧委員ヨリ選擧ニ際シ不正、不法行爲ノ罪ヲ犯シタリト報告セラレタル者ハ其ノ報告ニ對シテ控訴スルコトヲ得

（三）控訴院長（Lord Chancellor）ハ其ノ控訴カ選擧訴訟ヲ取扱フ判事ニ依リ聽取セラルヘキヲ命スルコトヲ得、判事ハ犯罪ノ行ハレタル州ノ地ニ赴キ審理決定スヘシ

（四）選擧裁判所ニ關スル一八六八年國會議員選擧法ノ規定ハ此ノ場合判事カ選擧裁判官ナリシモノトシテ適用ス

（五）選擧裁判所若ハ選擧委員ニ依リ選擧ニ際シ不正若ハ不法行爲ノ罪ヲ犯シタル旨報告セラレタル者ハ、刑罰免除ノ證明ヲ得タルト否トヲ問ハス選擧ノ日ニ於テ其ノ罪ヲ犯シタルト同樣ノ制裁ヲ受クルモノトス

但シ或州市ノ選擧ヲ審理スル選擧委員ノ報告ハ選擧裁判所カ選擧訴訟ノ審理ノ上適當ニ選擧セラレタルモノト宣言シタル候補者ノ當選ヲ無效ト爲スコトヲ得ス

（六）治安判事タル者カ選擧ニ關シ不正行爲ノ罪ヲ犯シタル旨選擧裁判所若ハ選擧委員ニ於テ報告シタルトキハ、刑罰免除ノ認證ヲ得タルト否トヲ問ハス、公訴主理者（Director of Public Prosecutions）ハ其ノ不正行爲ノ證據ヲ具シテ其ノ事件ヲ大英國ノ大法官（Lord High Chancellor of G. B.）ニ報告スヘシ且其ノ者カ市長タルノ故ヲ以テ治安判事ノ職ニ在ルトキハ大法官ハ其ノ職ヲ去ラシムコトヲ得

（七）辯護士又ハ其ノ他ノ許可ヲ與フルニ付法律ニ規定アル職業ニ關スル者カ、選擧ニ關シ不正行爲ノ罪ヲ犯シタル旨選擧裁判所又ハ選擧委員ニ於テ報告シタルトキハ其ノ者カ刑罰免除ノ認證ヲ得タルト否トヲ問ハス、公訴主理者ハ其ノ職業上ノ不正行爲ノ審理權ヲ有スル裁判所ニ其ノ事件ヲ提起スヘシ、裁判所ハ其ノ不正行爲ヲ其ノ職業上ノ不正行爲トシテ處置スルコトヲ得

（八）免許法ニ依リ免許狀ヲ有スル者ニ關シテハ

（a）免許職業者（Licensed Person）カ賄賂若ハ饗應ノ罪ヲ犯シタル旨宣告シタル裁判所ニ於テ其ノ罪カ免許構内ニ於テ犯サレタリト認ムルトキハ裁判所ハ免許狀ノ臺帳ニ其ノ罪狀ヲ記入スヘキコトヲ命スヘシ

（b）選擧裁判所又ハ選擧委員ニ於テ免許職業者カ免許構内ニ於テ賄賂若ハ饗應ノ行ハルルヲ知テ許容シタルモノト認ムルトキハ其ノ旨報告スヘシ、而シテ其ノ者カ刑罰免除ノ認證ヲ得タルト否トヲ問ハス、公訴主理者ハ其ノ報告ヲ免許狀ヲ附與シタル免許審査官（Licensing Justices）ニ提起スヘシ、免許審査官ハ其ノ報告ヲ免許臺帳ニ記入スヘキコトヲ命スヘシ

（c）免許狀ノ臺帳ニ本條ノ免許業者ニ關スル宣告又ハ報告カ記入セラレタルトキハ免許裁判官ハ協議ノ上其ノ者ニ免許更新ヲ與フヘキヤ否ヤニ付決定スヘシ

（九）治安判事、辯護士又ハ其ノ他ノ免許職業者カ不正行爲ヲ犯シタル證據カ選擧委員ニ提起セラレタルトキハ選擧委員ハ其ノ事件ヲ公訴主理者ニ報告スヘシ

（十）本條ハ本法、一八八二年ノ市制法第四編ノ下ニ於ケル選擧裁判所ニ適用スヘシ

ハ、不正、不法行爲ニ因リ資格ヲ喪失シタル選擧人ニ關スル選擧人名簿ノ記入

第三十九條　(一)各州市ノ選擧人名簿管理者(Registration Officer)ハ每年、本來國會議員選擧ノ投票權アル者ニシテ本法一八八二年ノ市制法第四編又ハ其ノ他國會議員選擧若ハ公職ノ選擧ニ關スル法律ニ依リ不正行爲又ハ不法行爲ヲ犯シタル旨選擧裁判所又ハ選擧委員ニヨリ報告セラレタル理由ニ因リ投票ヲ禁セラレタル者ノ氏名並記事ヲ記載セル名簿ヲ調製シ且各罪狀ヲ記入スヘシ

(二)右ノ名簿ヲ調製スル爲名簿管理者ハ選擧裁判所又ハ選擧委員ノ報告ヲ左ノ場所ニ於テ審査スヘシ

(a)或州ノ名簿管理者ナルトキハ其ノ州又ハ其ノ州內ノ市ニ於テ

(b)或市ノ名簿管理者ナルトキハ其ノ市ノ所在州又ハ州內ノ各市ニ於テ

(三)名簿管理者ハ名簿ヲ其ノ州市內ノ各教區(Parish)ノ監督者ニ送致スヘシ

監督者ハ其ノ名簿ヲ投票者名簿ト共ニ公告シ且不正又ハ不法行爲ヲ犯シタル者ノ名簿ニ在ル氏名ヲ投票者ノ名簿ヨリ削除シ又ハ名簿ノ謄本中其ノ氏名ノ上ニ「投票拒否」("Objected")ト記入スヘシ

(四)不正、不法行爲名簿ニ記入セラレタル者ハ其ノ削除ヲ要求スルコトヲ得且其ノ州市ノ投票者名簿ニ異議ヲ提起スル權利アル者ハ其ノ名簿ヨリ或者ノ氏名カ削除セラレタルコトニ對シ異議ヲ提起スルコトヲ得、其ノ要求及異議ハ國會議員選擧人名簿ニ關スル規定ノ下ニ於ケル要求及異議ト同樣ノ期間內ニ送致スヘク且同樣ニ處置スヘキモノトス

(五)校正辯護士(Revising Barrister)ハ其ノ要求及異議ヲ決定シ其ノ名簿ヲ校正ス

(六)校正辯護士ニ於テ不正、不法行爲名簿ニ記載セラレサル者ニシテ之ニ記入スヘキ者アリト認ムルトキハ其ノ者ニ反對ノ原因ヲ陳述スルノ機會ヲ與ヘタル後其ノ氏名ヲ名簿ニ記入シ投票者名簿ヨリ削除スルコトヲ得

(七)校正辯護士ハ本條ノ處分ヲ爲スニ當リ單ニ有罪宣告又ハ選擧裁判所若ハ選擧委員ノ報告ニ依リ資格ヲ喪失セルモノナリヤ否ヤヲ決定スルニ止マリ其ノ者カ不正、不法行爲ノ罪ヲ犯シタルヤ否ヤヲ決定スヘキ限リニアラス

(八)不正、不法行爲名簿ハ選擧人名簿ニ添附スヘシ、印刷又ハ公告スルトキハ又之ト共ニ揭載スヘシ

第七章　選擧訴訟ノ手續——不法行爲ヲ申立ツル選擧訴訟ノ提起期間

第四十條　(一)不法行爲ノ申立ニ依リ選擧又ハ當選ニ付選擧訴訟ヲ生スルトキハ一八六八年ノ國會議員選擧法ニ拘ラス其ノ訴訟ハ不法行爲ニ關スルモノニ限リ左ノ期間內ニ提出スヘシ

(a)選擧長カ其ノ議員及選擧辨理人ヨリ選擧費用ニ關スル報告陳述ヲ受理シタル日ノ後十四日間

(b)選擧訴訟ニ於テ不法行爲ニ因リ議員又ハ選擧辨理人ノ上述ノ日以後ニ爲シタル金錢ノ支拂又ハ其ノ他ノ行爲ヲ列擧的ニ申立ツル場合ニハ其ノ訴訟ハ其ノ支拂又ハ行爲ノ日ノ後、二十八日以內ニ提起スヘシ

(二)一八六八年ノ國會議員選擧法ニ定メラレタル期間內ニ提起セラレタル選擧訴訟ハ不法行爲ノ申立ニヨリ選擧人ハ當選ヲ審査スル爲ニ控訴院ノ許可ニ依リ本條ノ下ニ於テ不法行爲ノ申立ニヨル訴訟ヲ提起シ得ル期間內ニ修正スルコトヲ得

(三)本條ハ選擧費用ノ報告陳述ニ關スル罪ニ適用ス

(四)本條ノ規定ニ關シテハ

(a)報告陳述カ同一ノ日ニ爲サレサリシトキハ其ノ最後ニ爲サレタル日

(b)報告陳述ヲ交付スルニ付宥恕ヲ與ヘラレタルトキハ其ノ宥恕セラレタル日、宥恕セラレタル日カ同一ノ日ナラサルトキハ其ノ最後ノ日

ヲ以テ報告陳述カ選擧長ニ受理セラレタル日ト見做ス

(五)本條ニ關スル時日ノ計算ハ一八六八年國會議員選擧法ニ關スル計算方法ニ依ル

選擧訴訟ノ取下

第四十一條　(一)選擧訴訟取下ノ許可ヲ與フル前ニ其ノ訴訟ノ各關係者、辯護士、選擧辨理人ヨリ宣誓書(Affidavit)ヲ提出セシムヘシ、但シ控訴院ハ特別ノ理由アルトキハ特定ノ者ニ付其ノ提出ヲ免除スルコトヲ得

(二)各宣誓書ニハ選擧訴訟ノ取下ニ關シ何等ノ契約又ハ條件ノ結ハレサリシコト並保證ノ爲サレサリシコトヲ記載スヘシ但シ取下ニ關シ法律上ノ契約アリシ場合ニハ其ノ契約ヲ表示スヘシ

(三)請願者及其ノ辯護士ノ宣誓書ニハ取下要求ノ理由ヲ記載スヘシ

(四)選擧訴訟ノ取下ニ關シ契約、條件ヲ結ヒ又ハ保證ヲ爲シ且或支拂ヲ受クヘキコト、或時期ニ於テ議員ヲ辭スヘキコト、若ハ他ノ選擧訴訟ヲ取下クヘキコトヲ報償トシテ其ノ選擧訴訟ヲ取下クル爲ニ契約、條件、保證ヲ爲シタル者ハ輕罪ノ罪ヲ犯シタルモノトシ有罪ノ宣告アルトキハ、二ケ月以下ノ禁錮及二百磅以下ノ罰金ニ處ス

(五)上述ノ宣誓書ハ公訴主理者ニ交付スヘシ裁判所ハ取下許可ニ對スル公訴主理者及其ノ代表者ノ意見ヲ聽取シ且公訴主理者ノ確實ト認メ得ル者ノ誓言ノ證據ヲ容ルルコトヲ得

(六)裁判所ノ意見ニテ訴訟取下ノ申出カ本條ニ於テ禁セラレタル契約、條件、保證ノ結果ト認メラレタル時ハ裁判所ハ一八六八年ノ國會議員選擧法第三十五條不正ナル報償ニ由ル取下ニ關スル規定ニ於ケルト同樣ノ取扱ヲナスコトヲ得

(七)選擧訴訟取下ノ場合ニハ裁判所ハ其ノ意見ニ依リ其ノ取下カ或契約、條件、保證ノ結果ナルコト又ハ或支拂、或時期ニ於ケル議員辭退、他ノ選擧訴訟ノ取下其ノ他ノ報償トシテ爲サレタルコトヲ議長ニ報告シ且取下ニ伴フ事情ヲ陳述スヘシ

(八)原告又ハ被告ニ關スル辯護士、二人以上アルトキハ他ノ辯護士ノ代理人ナルト否トヲ問ハス各宣誓ヲ爲スヘシ

（九）辯護士ナラサル者カ選擧訴訟事件ニ於ケル代理人トシテ法律上ノ行爲ヲナストキハ其ノ者ハ本條ノ宣誓ヲ爲スコトニ付辯護士ト看做ス

選擧訴訟ノ審理續行

第四十二條　選擧訴訟ノ審理ハ其ノ決審ニ至ルマテ引續キ行ハルヘシ其ノ年ノ判事ノ輪番帳（Rota of Judges for the Year）カ終了シタル場合ニ於テモ其ノ審理ニ付テハ其ノ判事ハ引續キ之ニ關スル職權ヲ有ス

選擧訴訟ニ於ケル公訴主理者ノ陪席犯罪者ノ起訴

第四十三條　（一）選擧訴訟ノ審理ニ際シテハ、公訴主理者ハ自ラ又ハ助手ヲ以テ其ノ審理ニ陪席スヘシ且證據調、公訴ニ關スル裁判所ノ命ニ從フ義務アリ

（二）公訴主理者ハ裁判所ノ命令ナクトモ審理事項ニ關シ確實ナル證據ヲ提供シ得ル者アリト認ムルトキハ其ノ者ヲ出頭セシムルコトヲ得且裁判所ノ許可ヲ得テ證人トシテ其ノ者ヲ訊問スルコトヲ得

（三）公訴主理者ハ裁判所ノ命令ナクトモ刑罰免除ヲ受ケタルニ非スシテ不正、不法行爲ノ罪ヲ犯シタル者アリト認ムルトキハ其ノ裁判所ニ起訴スルコトヲ得、若其ノ判事ノ權限以外ノモノト認ムルトキハ他ノ相當ナル裁判所ニ起訴スルコトヲ得

（四）不正、不法行爲ノ爲選擧裁判所ニ起訴セラレタルモノアルトキハ裁判所ハ簡易裁判ニヨリ之ヲ審理スヘシ、有罪トセラルルトキハ本法ノ制裁ヲ受クルモノトス

（五）若起訴セラレタル者カ出廷セサルカ裁判所カ其ノ政權以下ナリト認ムルトキハ他ノ裁判所ニ於テ審理セラルヘシ

（六）（審理ノ手續ニ過キサルヲ以テ略ス）

（七）（右同）

（八）（右同）

選擧訴訟ノ費用ノ支拂ヲ州市等ニ命スルコト

第四十四條　（一）或州市ノ選擧ニ關スル選擧訴訟ノ審理ノ上選擧裁判所ニ於テ、或不正行爲カ其ノ被告ニ依リテ犯サレタルニ非ス且被告ハ其ノ不正行爲ノ犯サルルコトニ對シ之ヲ防止スルニ適當ノ手段ヲ取リタルコトヲ認ムルトキハ裁判所ハ選擧訴訟ノ費用ノ全部又ハ一部ノ支拂ニ付キ正當ト認ムル所ニ從ヒ次ノ命令ヲ爲スコトヲ得

（a）其ノ選擧ニ關シ不正行爲カ廣ク行ハレタリト認ムル場合ニハ費用ノ全部又ハ一部ヲ其ノ州又ハ市ヨリ支拂フヘキモノト命令スルコトヲ得

（b）或人カ金錢其ノ他ノ物ヲ供給スルコトニ依リ廣ク不正行爲ニ與リ、其ノ選擧ニ關シ廣ク不正行爲ノ行ハルルコトヲ奬勵助成シタルコトヲ認證セラレタル場合ニハ裁判所ハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ其ノ者ヨリ支拂フヘキコトヲ命令スルヲ得

（二）或ル者カ不正、不法行爲ヲ犯シタリト認メラレタルトキハ裁判所ハ其ノ訴訟費用ヲ其ノ者ヨリ支拂フヘキコトヲ命令スルコトヲ得

（三）控訴院ニ於ケル訴訟事件ノ費用ニ關スル規定ハ、一八六八年ノ國會議員選擧法及本法ニ於ケル訴訟ノ費用ニ準用ス

第八章　雜ノ部――公訴主理者ニヨル不正、不法行爲ノ起訴

第四十五條　或選擧ニ於テ不正不法行爲カ廣ク行ハレタル旨ノ通知ヲ受ケタルトキハ、公訴主理者ハ一八七九年ノ公訴法ノ規定ニ從ヒ事情ニ應シテ適當ナル調査及起訴ヲ爲スヘシ

僞證ニ因ル資格喪失ノ回復

第四十六條　選擧裁判所又ハ選擧委員ノ報告及其ノ他ノ證人ノ證言ニヨリ不正行爲ニ關スル本法ノ規定ニ依リ資格ヲ喪失シタル者カ其ノ報告證言カ僞證ニ基キタルヲ理由トシテ控訴院ニ請願シタルトキハ控訴院ハ其ノ僞證ニ基キタルモノナルコトヲ認メタルトキハ資格回復ヲ命令スルコトヲ得

投票區及投票所ニ關スル法律ノ修正

第四十七條　（五）州市ヲ投票區ニ分割シ、投票場ヲ配置シ、又ハ其ノ投票區投票場ヲ變更スル爲ニ要スル費用ハ州市ノ選擧人名簿ニ關スル規定、實行ニ於ケル名簿保管者ノ要スル費用ト同樣ノ方法ニヨリ支辨スヘシ

海路ニ依ル選擧人ノ運搬

第四十八條　土地ノ地勢上選擧人カ投票所ニ達スル爲ニ海又ハ其ノ他ノ水路ヲ越エサルヘカラサル場合ニハ本法ノ規定ニ依リ其ノ選擧人ヲ運搬スル方法ヲ用意スルコトヲ妨ケス、其ノ爲ニ要スル支拂額ハ本法ニ許サレタル最高限度ノ額以外トシテ附加スルコトヲ得

本法通過以前ニ選擧委員ハ選擧調査ヲ爲スコトヲ得ス

第四十九條　（省略）

第九章　法律上ノ手續――檢事長ノ取扱ノ不正行爲公訴ニ關スル中央刑事裁判所ニ於ケル審理

第五十條　（省略）

犯罪ノ公訴期間ニ關スル制限

第五十一條　（省略）

不正行爲嫌疑者ヲ不法行爲罪ト爲スコト

第五十二條　不正行爲ノ嫌疑ヲ受ケタル者ハ審理ノ結果不法行爲ノ罪ヲ犯シタルモノトスルコトヲ得不法行爲ノ嫌疑ヲ受ケタル者ハ不正行爲ノ罪ヲ構成スル場合ト雖不法行爲ノ罪ヲ犯シタルモノトスルコトヲ得

不法ノ支拂、雇傭、賃借ノ嫌疑ヲ受ケタル者ハ不正又ハ不法行爲ヲ構成スル場合ト雖不法支拂等ノ罪ヲ犯シタルモノトスルコトヲ得

一八五四年及一八六三年ノ法律ノ適用

第五十三條　（一）一八五四年不正行爲防止法第十、十二、十三條及一八六三年不正行爲防止法第六條ノ賄賂罪ノ公訴ニ關スル規定ハ本法ノ不正行爲ノ罪ノ公訴ニ適用スヘシ

（二）本法ノ下ニ於ケル公訴ニ際シテハ起訴セラレタル者其ノ夫又ハ妻ハ證人トシテ訊問セラルルコトヲ得

簡易裁判ニ依ル公訴及通常裁判所ニ對スル控訴

第五十四條　(一)本法ノ下ニ於テ簡易判決ニ依ル犯罪ハ簡易裁判法ニ規定セラレタル方法ニ依リ公訴スルコトヲ得

(二)簡易裁判(Summary Jurisdiction)ニ依リテ有罪ノ宣告ヲ受ケタルモノハ通常又ハ四季裁判所(General or Quarter-sessions)ニ控訴スルコトヲ得

簡易裁判手續ヲ選擧裁判所ニ適用ノコト

第五十五條　（省略）

控訴院ニ於ケル裁判手續

第五十六條　（省略）

公訴主理者及公訴費用

第五十七條　（省略）

或州市又ハ或人ノ支拂

第五十八條　(一)公訴費用以外ノ或費用ヲ選擧裁判所ノ命令ニ依リ或州市カ支拂フヘキ場合ニハ國庫委員(Commissioners of Her Majesties Treasury)ニ於テ之ヲ支拂ヒ且選擧委員ノ支拂ノ場合ト同樣ノ方法ニ依リ其ノ支拂額ノ補償ヲ受クルモノトス

(二)或費用カ選擧裁判所ノ命令ニ依リ或人ニ依リ支拂ハルヘキ場合ニハ其ノ者ト其ノ支拂ヲ受クヘキ者トノ間ニ於ケル關係ハ單純ナル債務契約トス

第十章　附則――證人ノ答辯ノ義務及刑罰免除ノ認可

第五十九條　（省略）

選擧裁判所又ハ選擧委員ノ報告ニ拘ラス檢事長ノ意見ニ依リ公訴ヲ維持シ得ルコト

第六十條　（省略）

選擧長等ノ義務違反

第六十一條　(一)選擧長又ハ書記カ本法ニ違反スル行爲不行爲ヲ爲シ又ハ犯罪ヲ犯シタル時ハ一八七二年ノ投票法第十一條ヲ適用ス

(二)選擧人名簿管理者カ本法ニ違反スル行爲不行爲ヲ爲シ又ハ罪ヲ犯シタルトキハ一八四三年ノ國會議員選擧人名簿法第九十七條ヲ適用ス

通知ノ公告、送達

第六十二條　(一)本法ノ下ニ於テ選擧長ノ爲スヘキ公告ハ一八七二年投票法ノ規定ニ從フヘシ

(二)選擧ニ關シ控訴院其ノ他ノ選擧裁判所ニ出頭ヲ命スル場合等ノ召喚、通知文書ハ本人ニ交付スルカ又ハ其ノ州内ニ於ケル其ノ者ノ最近ノ住所ニ送達若ハ郵送スヘシ

(三)國會議員選擧ニ關スル一八七二年投票法別表第二號ニ掲ケラレタル通知ノ形式中「其ノ他ノ不正行爲」ノ次ニ「又ハ不法行爲」ヲ加ヘ「一八五四年不正行爲防止法」ノ次ニ「一八八三年不正行爲防止法」ヲ加フ

候補者ノ定義並承認ナクシテ候補者ニ指名セラレタル者ノ救濟

第六十三條　(一)本法ニ依リ修正セラレタル不正行爲防止法ニ於テ「選擧ニ於ケル候補者」並「候補者」トハ夫々選擧ノ際國會議員トナルヘク選擧セラレタル者並其ノ候補者トシテ指名セラレ又ハ選擧ノ勅令公布後若ハ其ノ勅令公布ノ原因タリシ解散、任期終了ノ後自己若ハ他ノ推薦ニ依リ候補者タルコトヲ宣言シタル者ヲ謂フ

(二)但シ他ノ推薦ニ依リ候補者タルコトヲ指名若ハ宣言セラレタル者ハ

(a)指名、宣言カ本人ノ承認ナクシテ爲サレタル場合ニハ、其ノ者カ後ニ其ノ指命宣言ニ同意ヲ與フルカ又ハ當選シタルニ非サレハ本法ノ規定ニ依ル義務ヲ負フコトナシ

(b)指名宣言カ本人ノ承認ナク又ハ不在中ニ爲サレタル場合ニシテ其ノ者カ其ノ選擧ニ關係セサリシトキハ自ラ適當ト認ムル場合ハ本法別表第二號第二部ニ包含セラレタル選擧費用ニ關スル宣言ヲ爲スコトヲ得

選擧辨理人ハ事情ノ許ス限リ選擧上ノ行爲又ハ事務ノ費用ニ關スル本法ノ規定ニ從フヘシ

用語ノ説明

第六十四條　本法ニ於テ文脈上別段ノ解釋ヲ爲スヘキ場合ノ外ハ

「選擧」トハ國會議員ノ選擧ヲ謂フ

「選擧訴訟」トハ一八六八年國會議員選擧法ニ依ル訴訟ヲ謂フ

「選擧委員」トハ一八五二年ノ選擧委員法ニ從テ任命セラレタル委員ヲ謂フ

「投票代理人」トハ一八七二年投票法ニ從テ投票所ニ列席スル爲ニ任命セラレタル候補者ノ代理人ヲ謂フ

「委員室」トハ候補者カ居所トシテ占有スル家又ハ室ヲ包含セス

「個人的費用」候補者ノ選擧ニ於ケル個人的費用トハ選擧ニ關スル其ノ候補者相當ノ旅費、宿泊料ヲ謂フ

其ノ他ノ用語ハ不正行爲防止法ニ於ケルト同一トス

名　稱

第六十五條　(三)本法ハ「一八八三年不正不法行爲防止法」ト稱ス

他ノ法律ノ廢止

第六十六條　（省略）

施行期日

第六十七條　（省略）

蘇格蘭ニ本法ヲ適用ノコト

第六十八條　（省略）

愛蘭ニ本法ヲ適用ノコト

第六十九條　（省略）

本法ノ有效期間

第七十條　（省略）

一八八三年不正不法行爲防止法別表

別表第一號

第一部　適法ナル使用人員（報酬ヲ受クル）

(一)選擧辨理人　一名限

(二)副辨理人　各投票區ニ一名限

(三)投票代理人　各投票所ニ一名限

(四)市邑(Borough)ニ於ケル書記竝使丁各一名

但シ市邑內選擧人數五百ヲ超ユル場合ニハ五百ヲ增ス每ニ各一名ヲ增スコトヲ得其ノ五千ニ滿タサルトキ亦同シ

(五)州(County)中央委員室ニ於ケル書記竝使丁各一名

但シ州內選擧人數五千ヲ超ユル場合ニハ五千ヲ增ス每ニ各一名ヲ增スコトヲ得其ノ五千ニ滿タサルトキ亦同シ

(六)州ニ於ケル書記竝使丁　各投票區ニ各一名限

但シ投票區內ノ選擧人數五百ヲ超ユル場合ニハ五百ヲ增ス每ニ各一名ヲ增スコトヲ得其ノ五百ニ滿タサルトキ亦同シ但シ其ノ者ハ當該投票區以外ニ於テ使用セラルルコトヲ得ス

(七)是等報酬ヲ受クル選擧辨理人、副辨理人、投票代理人、書記使丁ハ選擧人タルト否トヲ問ハス投票スルコトヲ得ス

(八)East Retford, Shoreham, Cricklade, Much Wenlock, Aylesbury 市邑ハ本表ノ適用ニ關シテハ州ト看做ス

第二部　第一部ニ附加セラルヘキ適法ノ費用

(一)一八七五年選擧長法ニ依リ定メラレタル額ヲ超エサル賦課トシテ選擧長ニ支拂フ額

(二)候補者ノ個人的費用

(三)印刷費、廣告費、報告書竝注意書ヲ發行分配スル費用

(四)筆墨紙、使丁、郵便電信ノ費用

(五)公ノ會合ヲ催ス費用

(六)市邑ニ於ケル其ノ委員室ノ費用

但シ委員室ハ各市邑ニ一個トスレトモ市邑內選擧人數カ五百ヲ超ユル場合ニハ五百ヲ增ス每ニ一個ヲ增スコトヲ得其ノ五百ニ滿タサルトキ亦同シ

(七)州ノ中央委員室ノ費用竝州內各投票區ノ委員室ノ費用

第三部　雜費ノ最高限度

第一部第二部以外ノ雜件費全部ニテ二百磅ノ限度ヲ超ヘサル費用但シ本法其ノ他ノ法律ニ依リ犯罪ヲ構成スヘキ事項又ハ禁セラレタル事件ノ爲ニ供スルヲ得ス

第四部　最高限度額

(一)市邑ニ於テハ本表第一、二、三部ニ揭ケタル費用ハ個人的費用及選擧長ニ支拂フヘキ費用ノ外全部ニテ左ノ額ヲ超過スルコトヲ得ス

選擧人名簿ニ於ケル選擧人數	最高限度額
二千人迄	三五〇磅
二千人以上	三八〇磅 (二千人以上ハ一千人ヲ增ス每ニ三〇磅ヲ增ス)

愛蘭ニ於テハ

五百人迄	二〇〇磅
五百人以上千人迄	二五〇磅
千人以上千五百人迄	二七五磅

(二)州ニ於テハ

選擧人名簿ニ於ケル選擧人數	
二千人迄	六五〇磅(英蘭、蘇格蘭) 五〇〇磅(愛蘭)
二千人以上	七一〇磅(英蘭、蘇格蘭) 五四〇磅(愛蘭)
但シ二千人以上ハ千人ヲ增ス每ニ	六〇磅(英、蘇)ヲ增ス 四〇磅(愛)ヲ增ス

第二號　費用陳述ノ形式

第三號　關係法律

不正不法行爲防止法(一八八三年)別表中

別表第二號

第一部　費用ニ關スル宣言ノ形式

A、候補者ノ形式

『小生(何某)ハ(何)年(何)月(何)日ニ於ケル(何)州(市邑)ノ選擧ニ於ケル候補者タルノ故ヲ以テ玆ニ恭シク且誠實ニ宣言ス此ノ選擧ニ於テ小生ノ選擧辨理人ヨリ選擧長ニ交付シタル選擧費用報告ヲ檢シ小生ノ知レル限リニ於テ其ノ報告ノ正シキコトヲ認ム

而シテ小生ハ恭シク且誠實ニ宣言ス右ノ報告ニ表ハレタルモノノ外此ノ選擧ニ關スル行爲若ハ事務ニ付小生及小生ノ知ル限リニ於テ何人モ將タ何レノ俱樂部協會等モ小生ノ爲ニ何等ノ支拂ヲ爲シ又ハ何等ノ報酬、公私ノ職、雇傭若ハ價値アル報償ヲ贈與、約束、提供シタルコトナク又何等ノ負擔ヲ負フコトナキヲ信ス

次ニ小生ハ恭シク且誠實ニ宣言ス小生ハ此ノ選擧ノ目的ノ爲ニ小生ノ選擧辨理人ニ(何)磅ヲ支拂ヘリ而シテ其ノ以外ニ支拂ヒタルコトナシ

而シテ右報告ニ揭ケラレタルモノノ外此ノ選擧ニ關スル行爲若ハ事務ニ付小生ノ利益ノ爲ニ要シタル費用ヲ支辨スル目的ヲ以テ何人モ金錢、有價證券、金錢ノ對價物ヲ小生ノ選擧辨理人又ハ其ノ他ノ者ニ支拂、立替、贈與、供託セサリシコトヲ信ス

而シテ少生ハ恭シク且誠實ニ宣言ス法律ニ依リ許サレタル場合ノ外將來ニ於テ右ニ述ヘタル費用ヲ支辨スル目的ヲ以テ何等支拂、報酬、公私ノ職、雇傭若ハ其ノ他ノ價値アル報償ヲ與フルコトナカルヘシ又斯カル費用ヲ支辨スル爲ニ金錢、有價證券、金錢ノ對價物ヲ供與スルコトナカルヘシ

何　某(宣言者署名)

右ノ者(何)年(何)月(何)日本官ノ面前ニ於テ署名且宣言ス

治安判事　(署　名)
何　某

B、選擧辨理人ノ形式

『小生(何某)ハ(何)年(何)月(何)日ニ於ケル(何)州(市邑)ノ選擧ニ於ケル候補者(何某)ノ選擧辨理人タルノ故ヲ以テ玆ニ恭シク且誠實ニ宣言ス小生ハ此ノ選擧ニ於テ小生カ選擧長ニ交付セムトスル選擧費用報告ヲ檢シ小生ノ知ル限リニ於テ右報

告ノ正シキコトヲ信ス

而シテ小生ハ恭シク且誠實ニ宣言ス右ノ報告ニ表ハレタル者ノ外此ノ選擧ニ關スル行爲若ハ事務ニ付小生及小生ノ知ル限リニ於テ何人モ將タ何レノ倶樂部協會等モ右候補者ノ爲ニ何等ノ支拂ヲ爲シ又ハ何等ノ報酬、公私ノ職、雇傭若ハ價値アル報償ヲ贈與、約束、提供シタルコトナク又何等ノ負擔ヲ負フコトナキヲ信ス

次ニ小生ハ恭シク且誠實ニ宣言ス小生ハ選擧ノ目的ノ爲ニ右候補者ヨリ（何）磅ヲ受領セリ而シテ其ノ以外ニ受領シタルコトナシ

而シテ右報告ニ揭ケラレタルモノノ外此ノ選擧ニ關スル行爲若ハ事務ニ付右候補者ノ利益ノ爲ニ要シタル費用ヲ支辨スル目的ヲ以テ何人モ金錢、有價證券、金錢ノ對價物ヲ小生ノ手ニ若ハ其ノ他ノ者ノ手ニ支拂、立替、贈與、供託セサリシコトヲ信ス

何　　某

右ノ者（何）年（何）月（何）日本官ノ面前ニ於テ署名且宣言ス

治安判事

何　　某』

C、選擧費用報告ノ形式

『小生「甲」ハ（何）年（何）月（何）日ニ於ケル（何）州（市邑）ノ選擧ニ於ケル候補者「乙」ノ選擧辨理人タルノ故ヲ以テ其ノ選擧ニ於ケル右候補者ノ選擧費用ニ關シ左ノ通報告ス

收入ノ部	
一、前記候補者ヨリ受領	何磅
一、（丙）ヨリ受領	何磅
（選擧費用トシテ個人、倶樂部、協會等ヨリ受領セル金錢、有價證券、金錢ノ對價物ニ付其ノ人名等及額ヲ列記スルコト）	
支出ノ部	
一、右選擧ニ於ケル賦課トシテ右州（市郡）ノ選擧長（丁）ニ支拂	何磅
一、候補者（乙）ノ自ラ支拂ヒタル個人的費用	何磅
一、選擧辨理人トシテ小生ノ支拂ヒタル個人的費用	同
一、選擧辨理人トシテ小生ノ受領セル報酬	同
一、（　）ノ投票區ノ副辨理人トシテ（戊）ニ支拂（各副辨理人ヘノ支拂ニ付人名ト額ヲ列記）	同
一、投票立會代理人トシテ（某）ニ支拂	同
一、書記トシテ（某）ヘ幾日分ノ日當	同
一、使丁トシテ（某）ヘ幾日分ノ日當	同
一、左ノ者ヘノ支拂	
某ヘ（印刷費）	同
某ヘ（廣告費）	同
某ヘ（筆墨紙費）	同
一、郵税	同
一、電報料	同
左ノ借室料	同
公會開催ノ爲	同
委員室トシテ	同
一、雜件費（人名、額ヲ理由ト共ニ列記スルコト）	同

追テ

一、係爭要求（人名、額、理由）	同
一、未拂要求（人名、額、理由）	同

甲（署名）

國會議員選擧ニ於ケル賄賂、饗應及不當勸誘ニ關スル諸法律ノ集成竝改正法律（一八五四、八、一〇）

第二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ賄賂罪トシテ之ヲ處罰スヘシ

（一）投票ヲ爲スコト若ハ爲ササルコトヲ投票者ニ勸誘スル目的ヲ以テ直接若ハ間接ニ自ラ又ハ代理人ヲ以テ投票者、其ノ代理者若ハ其ノ他ノ者ニ金錢或ハ價値アル報償ヲ贈與、貸與シ若ハ其ノ約束ヲ爲シ又ハ供與、契約ヲ爲シ若ハ調達ヲ約シ又ハ調達ニ盡力スヘキコトヲ約シタル者

投票者カ投票ヲ爲シタルカ若ハ爲ササリシコトヲ理由トシテ右ノ如キ不正ノ行爲ヲ爲シタル者

（二）投票ヲ爲スコト若ハ爲ササルコトヲ投票者ニ勸誘スル目的ヲ以テ直接又ハ間接ニ自ラ若ハ代理ノ者ヲ以テ、投票者又ハ其ノ代理ノ者若ハ其ノ他ニ公私ノ職ヲ供與周旋シ若ハ其ノ同意ヲ爲シ又ハ之ヲ提供、約束シ又ハ周旋ヲ約束竝盡力スヘキコトヲ約束シタル者

投票者カ投票ヲ爲シ若ハ爲ササリシコトヲ理由トシテ右ノ如キ不正行爲ヲ爲シタル者

（三）或人ノ當選ヲ得ルコト若ハ或投票者ノ投票ヲ得ルコトニ盡力スヘキコトヲ人ニ勸誘スル目的ヲ以テ直接若ハ間接ニ自己又ハ代理ノ者ヲ以テ上述ノ如キ贈與、貸借、供與、契約、調達ヲ爲シタル者

（四）斯ノ如キ贈與、貸借、供與、契約、調達ヲ條件トシテ若ハ其ノ結果トシテ或人ノ當選ヲ得ルコト若ハ或投票者ノ投票ヲ得ルコトニ盡力シタル者

（五）全部又ハ一部ヲ選擧ニ於テ賄賂ニ費ス目的ヲ以テ人ノ爲ニ金錢ヲ立換ヘ支拂ヒ、若ハ支拂ハシメタル者又ハ選擧ニ於テ賄賂ニ費サレタル金錢ヲ免除若ハ償還スル人ノ爲ニ情ヲ知リテ金錢ヲ支拂ヒ若ハ支拂ハシメタル者

違反シタル者ハ輕罪ノ罪ヲ犯シタルモノトス「蘇格蘭ニ於テハ禁錮及罰金刑ニ該當ス」且訴訟費用ノ全額ト共ニ百磅ヲ告訴シタル者ニ交付スヘキモノトス但シ選擧ニ關シ眞ニ適法ナル費用ノ爲ニ支拂ヒ若ハ支拂フコトヲ約束シタル金錢ハ上述ノ規定ノ適用ヲ受クヘキ限ニ在ラス

第三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ賄賂罪トシテ之ヲ處罰スヘシ

（一）選擧ニ於テ投票ヲ爲シ若ハ其ノ約束ヲ爲シタルカ又ハ投票セサリシカ若ハ投票セサルコトヲ約束シタル爲ニ選擧ノ期間若ハ其ノ前ニ於テ直接若ハ間接ニ自己又ハ他人ヲシテ金錢、

贈與、貸借若ハ價値アル報償其ノ他公私ノ職ヲ自己ノ爲ニ若ハ人ノ爲ニ受取リ同意シ若ハ約束シタル者

（二）投票ヲ爲シ若ハ爲ササリシコト又ハ投票ヲ爲シ若ハ爲ササル樣勸誘シタルノ理由ヲ以テ選擧後直接間接ヲ問ハス候補者又ハ其ノ代理人ヨリ金錢若ハ價値アル報償ヲ受ケタル者

違反シタル者ハ輕罪ノ罪ヲ犯シタルモノトス（蘇格蘭ニ於テハ禁錮及罰金刑ニ該當ス）且訴訟費用ノ全額ト共ニ、十磅ヲ告訴シタル者ニ交付スヘキモノトス

第四條　選擧セラルル目的ヲ以テ若ハ選擧セラレタル理由ヲ以テ又ハ投票ヲ爲シ若ハ爲ササル樣不當ニ投票者其ノ他ノ者ヲ勸誘スル目的ヲ以テ若ハ投票者カ投票ヲ爲シタルカ爲ササリシカ若ハ爲サムトシ爲ササラムトスルコトノ理由ヲ以テ選擧ノ期間若ハ其ノ前後ニ於テ自己又ハ他人ヲ以テ若ハ其ノ他ノ方法ニ依リ直接若ハ間接ニ酒食、遊興若ハ食料品ヲ人ニ贈與供與シ若ハ之カ補助ヲ爲シ若ハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ支拂ヒタル候補者ハ饗應ノ罪ヲ犯シタル者トシ訴訟費用ト共ニ、五十磅ヲ告訴シタル者ニ交付スヘキモノトス

且不正ニ斯カル酒食ノ遊興、食料品ヲ享受シタル投票者ハ其ノ選擧ニ於テ投票ヲ爲スノ資格ヲ失フ假令投票ヲ爲スモ無效トス

第五條　投票ヲ爲サシメ若ハ爲サシメサル目的ヲ以テ又ハ投票ヲ爲シタルカ若ハ爲ササリシコトヲ理由トシテ直接若ハ間接ニ自己又ハ他人ヲ以テ他人ニ暴行檢束ヲ加ヘ若ハ危害損害ヲ與ヘタルカ又ハ是等ノ行爲ヲ爲スヘキ旨ヲ以テ脅迫シタル者及誘拐、監禁、若ハ詐僞的手段ヲ以テ選擧ニ於ケル投票人ノ投票權ノ自由行使ヲ妨碍シタル者ハ不當勸誘罪ヲ犯シタルモノトシ輕罪ノ刑ニ處ス「蘇格蘭ニ於テハ罰金禁錮ノ刑トス」且訴訟費用ト共ニ五十磅ヲ告訴シタル者ニ交付スヘキモノトス

第八條　州、市邑ノ選擧ニ於テ投票權ヲ有スルモノハ自ラ承諾スルニ非サレハ其ノ州、市邑ノ選擧ニ際シ特別警保官ノ職ニ就クコトヲ强ヒラルルコトナシ

且之ヲ拒絕シタルカ爲ニ制裁ヲ受クルコトナシ

人民代表法　Representation of the People Act（一八六七）

第十一條　選擧ノ期間若ハ其ノ前六ケ月以内ニ於テ或候補者ノ爲ニ運動者、書記、使丁等トシテ報酬ヲ受ケ選擧ノ目的ノ爲ニ召抱、雇傭、使用セラレタル選擧人ハ其ノ選擧ニ於テ投票ヲ爲スコトヲ得サルモノトス、投票ヲ爲ストキハ輕罪ノ刑ニ處ス

第四十九條　或者ヲ投票人トシテ名簿ニ登錄セラルル樣其ノ者ノ投票ヲ將來ノ選擧ニ利用セムカ爲ニ直接若ハ間接ニ不正ニ其ノ者ノ爲ニ課稅ヲ支拂ヒタル者及投票ヲ爲サシメ若ハ爲ササラシムル爲直接若ハ間接ニ或投票者ノ爲ニ課稅ヲ支拂ヒタル候補者若ハ其ノ他ノ者ハ賄賂罪トシテ之ヲ罰ス

右ノ支拂ノ爲ニ利益ヲ享ケタル者及之ニ關與セル者亦同シ

第五十條　選擧長若ハ其ノ代理者、助手、書記ハ其ノ州、市邑ノ國會議員選擧ニ於ケル候補者ノ運動者ト爲ルコトヲ得ス違反シタル者ハ輕罪ノ刑ニ處ス

國會議員選擧法　Parliamentary Election Act（一八六八）

第四十四條　本法選擧訴訟ノ審理ニ於テ候補者カ其ノ選擧ノ事務ノ爲ニ運動者若ハ代理人トシテ自ラ或者ヲ雇入レタル場合ニシテ其ノ者カ雇入ノ前七年內ニ於テ或適法ナル法廷ニ於テ不正行爲ノ罪ヲ爲シタルモノト判決セラレタルカ又ハ下院ノ委員ニ依リ若ハ選擧訴訟ニ於ケル判事ノ報告若ハ、一八五二年ノ選擧委員法ニ依ル委員ノ報告ニ依リテ不正行爲ノ罪ヲ犯シタリト報告セラレタル者ナリシコトヲ知リテ之ヲ雇入レタルコトヲ證明セラレタル場合ニハ其ノ候補其ノ當選ハ無效トス

國會議員選擧（選擧長）法（一八七五）

第二條　選擧長ハ選擧ノ目的ノ爲ニ適當ニ要シタルモノニシテ別表第一號ニ揭ケタル事務及費用ニ關シ其ノ表ニ揭ケタル額ヲ超エサル費用ノ賦課ヲ爲スコトヲ得

其ノ賦課ハ各候補者等分ニ之ヲ支拂フヘシ、候補者一人ナルトキハ其ノ候補者之ヲ支拂フ、候補者ノ指名カ本人ノ承諾ナクシテ爲サレタル場合ニハ其ノ指名ニ署名シタル者各自ニ之ヲ分擔スヘシ

第三條　選擧長ハ適當ト認ムル場合ニ於テハ本法ノ規定ニ依リ支拂ハルヘキ賦課ノ爲ニ保證金ヲ提供セシムルコトヲ得

保證金ノ額ハ本法別表第三號ニ揭ケタル額ヲ超ユルコトヲ得ス

別表第一號　選擧長ノ賦課（ノ限度）

（第一部州及 Aylesbury 外五ノ市邑及市邑ノ聯合ノ場合）

	磅志片	（第二部市邑）磅志片
選擧通知ノ準備及發行ノ費用	二、二、〇	二、二、〇
指名用紙ノ準備及供給ノ費用	一、一、〇	一、一、〇
指名及投票宣言ノ場ニ往復ノ旅費（一哩ニ付）	〇、一、〇	―
一投票場借入設備損害補償ノ費用	其ノ必要ノ費用額、必要額	
一投票場建設並設備費	七、七、〇	七、七、〇
各投票函ノ購入費	一、一、〇	一、一、〇
（樣內ノ區分一、一、〇右借用〇、五、〇）		
各投票函ノ借用費	〇、五、〇	〇、五、〇
各投票場ノ筆疊紙費	〇、一〇、〇	〇、一〇、〇
投票用紙ノ印刷供給ノ費用（千枚ニ付）	一、一〇、〇	一、一〇、〇
各印章費	〇、一〇、〇	〇、一〇、〇
名簿寫費	必要ナル寫シ文ノ費用、必要額	
各投票管理者ノ費用	三、三、〇	三、三、〇
各投票場ノ一書記費用	一、一、〇	一、一、〇
追加各書記費用（其選擧場ノ投票人五百人以上ノトキ）	一、一、〇	一、一、〇
Clerk of Crown ヘノ報告費	一、一、〇	一、一、〇
通知ノ準備及發行費用（全部）	二、〇、〇 （三千人以上千人每ニ一磅）	一、〇、〇 （千人以上千人每ニ一磅）
投票函ヲ投票場ヨリ開票ノ場所迄ノ運搬費（一哩ニ付）	〇、一、〇	―
選擧ノ行爲ニ關スル補助者費用	二五、〇、〇 （三千人以上千人每ニ三磅）	二〇、〇、〇 （千人以上千人每ニ二磅）
（無競爭ノ場合ハ）	「右ノ五分ノ一」	

投票管理者及書記ノ旅費（一哩ニ付）	〇、一、〇	—
ニ各候補者ニ關スル選擧費用ノ計算ノ受領及發行費	二、二、〇	二、二、〇
其ノ他ノ總テノ費用	一、〇、〇〇（千人以上千人毎ニ二磅）	一、〇、〇〇（千人以上千人毎ニ一磅増）
（無競爭ノ場合　ナシ）		

別表第三號　選擧長ノ要求シ得ル保證金ノ限度

		州及 Contributry 市邑	市邑
名簿ニ掲ケラレタル選擧人	一、〇〇〇人以下	一五〇磅	一〇〇磅
同	一、〇〇〇以上二、〇〇〇以下	二〇〇	一五〇
同	二、〇〇〇— 四、〇〇〇	二七五	二〇〇
同	四、〇〇〇— 七、〇〇〇	四〇〇	二五〇
同	七、〇〇〇—一〇、〇〇〇	五五〇	三〇〇
同	一〇、〇〇〇—一五、〇〇〇	七〇〇	四五〇
同	一五、〇〇〇—二〇、〇〇〇	八〇〇	五〇〇
同	二〇、〇〇〇—三〇、〇〇〇	九〇〇	六〇〇
同	三〇、〇〇〇以上	一、〇〇〇	七〇〇

投票法（Ballot Act）（一八七二）

第二條　投票ノ際投票紙ノ表裏ニ公印（Official Mark）ヲ附シ投票場（Polling Station）内ニ於テ投票人ニ交付ス投票者ハ投票用紙ニ祕密ニ記入シ之ヲ折リ疊ミテ封シタル上投票管理者（Presiding Officer）ノ面前ニテ裏面ノ公印ヲ示シテ投票函ニ投スヘシ

投票結了シタルトキハ投票函ヲ閉鎖シ之ヲ選擧長（Returning Officer）ノ保管ニ移ス

選擧長ハ候補者ノ立會代理人ノ面前ニテ投票函ヲ開キ各候補者ノ得票ヲ計算シ最多數ノ投票ヲ得タル候補者ノ當選ヲ宣言シ且其ノ氏名ヲ The Clerk of The Crown in Chancery ニ報告スヘシ

第五條　各市邑（Borough）ノ地方官憲ハ必要ト認ムル場合ニハ投票ニ便宜ナル様ニ市邑ヲ投票區（Polling Districts）ニ分割ス

州及市邑ノ地方官憲カ投票區又ハ投票地(Polling Places)ニ關スル命令ヲ發シタルトキハ其ノ寫シヲ Secretary of State ニ送致シ兩院ニ提示セシムヘシ

本條ノ地方官憲トハ、一八六七年人民代表法第三十四條ノ下ニ於ケル投票區分割ノ權能ヲ有スル官憲ヲ謂フ

第八條　選擧長ハ本法ノ規定ニ從テ指名用紙投票場、投票函、投票用紙、印判投票人名簿寫シ等ヲ準備スヘシ且本法ニ依リ選擧ヲ行フニ必要ナル職員ヲ任命シ之ニ給與ヲ爲シ且其ノ他必要ノ處置ヲ爲スヘシ

知事カ選擧ノ爲ニ區劃ヲ定メラレタル二以上ノ州ノ選擧長ナル場合ニハ其ノ州ニ於ケル選擧ニ關スル全部若ハ一部ノ事項ニ付適當ノ代理者ヲ任命ス

第九條　投票場ニ於テ不正ヲ爲シ又ハ投票管理者ノ指揮ニ從ハサル者アルトキハ直ニ投票管理者ノ命令ニ依リ警察官ハ其ノ者ヲ

投票場ヨリ退去セシム

第十條　投票管理者及書記ハ投票者ニ質問ヲ爲シ且宣誓ヲ爲サシムル職權ヲ有ス

第十四條　國會議員選擧ノ市邑ト市會議員選擧ノ市邑トカ全部若ハ一部其ノ區域ヲ同シクスルトキハ其ノ一方ノ投票函ヲ他方ノ選擧ノ場合ニ無料ニテ使用スルコトヲ得

別表第一號

一五、各投票地（Polling Place）ニ於テハ選擧長ハ其ノ投票地ニ於テ投票スヘキ選擧人ニ適應スル個數ノ投票場（Polling Station）ヲ設備スヘシ

一九、選擧長ハ各投票場ノ位置及投票場ニ於テ投票ヲ爲スヘキ投票者及投票方法ヲ公告スヘシ

二一、選擧長ハ各投票場ヲ管理スル爲ニ各一人ノ投票管理者ヲ任命スヘシ、投票管理者ハ其ノ投票場内ノ秩序ヲ維持シ同一時ニ入場スル選擧人ノ數ヲ定メ且書記候補者ノ立會代理人及警察官以外ノ者ノ入場ヲ拒ムヘシ

二九、投票管理者ハ投票結了シタルトキハ直ニ候補者ノ立會代理人ノ面前ニテ

(一)各投票函(閉鎖シタルマヽ鍵ヲ附シ)
(二)不用ノ投票用紙及汚損シタル投票用紙
(三)投票用紙(Tendered)
(四)投票人名簿寫シ及投票用紙ノ控紙
(五)投票用紙(Tendered)ノ表及不具猶太人文盲ノ爲投票管理者ノ記入シタル投票ノ表ヲ別々ニ包裝シ自ラ封印ヲ捺シ且候補者ノ立會代理人カ要求スルトキハ其ノ者ノ封印ヲ施シ之ヲ選擧長ニ引渡スヘシ

三〇、包裝ト共ニ投票管理者ハ自己ニ委託セラレタル投票用紙ノ數、投票函内ニアル用紙ノ數不用ノ用紙、汚損シアル用紙等ニ關スル計算書ヲ添附スヘシ

三一、各候補者ハ投票計算ニ立會フ代理人ヲ指名スルコトヲ得

三二、選擧長ハ投票結了後速カニ候補者ノ立會代理人ノ面前ニテ投票計算ノ準備ヲ爲シ且候補者ノ立會代理人ニ投票ノ計算ヲ開始スル時ト場所トヲ書面ヲ以テ通知スヘシ

三三、選擧長、其ノ助手、書記、候補者ノ立會代理人及選擧長ノ許可シタル者ノ外投票計算ニ列席スヘカラス

三四、投票ノ計算ヲ爲ス前ニ選擧長ハ候補者ノ立會代理人ノ面前ニ於テ各投票函ヲ開キ投票ヲ取出シ其ノ數ヲ計算シ且記載シタル上各投票函内ニ在リシ投票ヲ全部混同スヘシ

三五、選擧長ハ投票ノ計算ヲ出來得ル限リ繼續シテ行フヘシ、但シ選擧長及立會人カ別段ノ合意ヲ爲ササル限リ午後七時ヨリ午前九時マテノ時間ヲ除外ス

三六、選擧長ハ無效ノ投票ヲ拒否ス

三七、計算結了シタルトキハ選擧長ハ計算シタル投票及拒否シタル投票ヲ別個ニ封シテ封印ヲ爲スヘシ、選擧長ハ投票人名簿寫、投票用紙控紙等ノ包裝ヲ開封スヘカラス、但シ

先ニ記載シタル投票用紙、不用並汚損用紙等ト對照シ各投票管理者ノ投票用紙ノ計算報告ヲ點檢スヘシ

三八、選擧長ハ投票用紙ノ各包裝ヲ關係書類ト共ニ（Clerk of Crown in Chancery）ニ送致スヘシ且各包裝ニ其ノ選擧ノ行ハレタル州市名、選擧ノ日附及各包裝ノ內容ヲ記スヘシ

四四、國會議員トシテ選擧セラレタル者ノ當選報告ハ選擧長ノ署名セル當選證明書ヲ以テス

不正不法行爲防止法（一八八三）

第四十七條　（一）各州ヲ投票區ニ區分シ各投票區（Polling Districts）ノ投票地（Polling Place）ハ可成州內ニ居住スル各選擧人カ其ノ住所ヨリ三哩ヲ超ヘサル距離內ニ於テ達シ得ル地ニ定ムヘシ

但シ百名以下ノ選擧人ノ爲ニ一投票區ヲ設クルコトヲ要セス

（二）各州ニ於ケル投票區區分權アル地方官憲（Local Authority）ハ時々其ノ州ヲ投票區ニ區分シ投票地ヲ定メ本條ノ主旨ニ應スル樣其ノ投票區及投票地ヲ變更スヘシ

（三）市邑ニ於ケル投票區區分權アル地方官憲ハ時々本條ノ主旨ニ應スル樣次ノ方法ニ依リ其ノ投票區及投票地ヲ變更スヘシ

（ａ）市邑內ノ各選擧人ハ其ノ住所ヨリ一哩ヲ超エサル距離內ニ於テ投票ヲ爲シ得ルコト、但シ三百名以下ノ選擧人ノ爲ニ、一投票區ヲ設クルコトヲ要セス

（ｂ）East Retford, Shoreham, Cricklade, Much Wenlock 及 Aylesbury ノ市邑ニ居住スル各選擧人ハ其ノ住所ヨリ三哩ヲ超エサル距離內ニ於テ投票ヲ爲シ得ルコト但シ百名以下ノ選擧人ノ爲ニ、一投票區ヲ設クルコトヲ要セス

（四）一八七二年投票法第五條ハ本條ニ加ヘラレタルモノトシテ適用ス

（五）州、市邑ヲ投票區ニ區分シ投票地ヲ定ムル爲ニ地方官憲ノ要スル費用ハ選擧人名簿ニ關スル費用ト同樣ノ方法ニ依リ支拂フヘシ

三　英國選擧法要旨（拔抄）

第四項　選擧ノ開始

五三五　各選擧ニ於ケル第一ノ形式ハ選擧施行令ノ發布ナレトモ選擧ハ或ル目的ノ爲ニ（註一）夫レヨリ以前ニ開始スト考ヘラル選擧開始ノ時期如何ハ關係政黨ヲシテ選擧法違反ノ責ヲ負ハシムルカ如ク各場合ニ於ケル事實問題ニシテ其ノ標準ハ競爭カ「適當ニ切迫セル」（Reasonably Imminent）ヤ否ヤニ在リ（註二）

故ニ選擧施行令ノ發布モ選擧通達ノ公布モ亦以テ選擧開始ノ時期ヲ定ムルモノト看做スヲ得ス、又指名期日（The Nomination Day）モ之レカ標準トナスニ足ラス

選擧ハ通常少クトモ選擧施行令發布以前ニ於テ開始ス「選擧開始ノ時期」ト選擧事務ノ管理及取扱」（The Conduct Management of an Election）開始ノ時期トハ之ヲ區別セサルヘカラス之ヲ要スルニ或ル特定ノ人カ候補者トナルノ時期如何ハ各場合ニ付テ考慮スヘキモノナリ

（註一）其ノ必要ナル所以ハ議員選擧法ニ關シテ生スル事件例ハ一八八三年ノ不正不法行爲防止法（The Corrupt and Illegal practices prevention act）ノ下ニ是等ノ行爲ヲ敢テ爲ス場合等ニ於テ屢之レヲ見ルトコロ。「選擧期間」ナル語ハ同法令中諸所ニ是又見ルトコロナリ

（註二）エルチン、アンド、ナイルン事件（一八九五年）參照

選擧ハ適當ニ切迫シアラサルヘカラス、サレハ立法部ハ指名前ニ生スル諸種ノ出來事ニ少クトモ餘リ遠カラサル期間ヲ以テ其ノ標準トセリ。何時競爭ヲ開始シ其ノ候補者タルコトヲ初ムルカハ各自ノ任意ナリ。遠キ他鄉ノ人ニシテ或ル選擧區ニ來リタル者ハ會合ヲ開ク等ノコトヲ爲サハ以テ候補者タルコトヲ認メラルルニ難カラス之レ隣鄉ニ於ケル住民ト少シク事情ヲ異ニスルトコロナリ

第五項　議員候補者

五三六　候補者トハ選擧セラレムコトヲ要求スル者ノ謂ニシテ法律上議員ノ選擧候補者タル資格ヲ有スル者ハ必スヤ法律上議院ノ一員タルヘキ資格ヲ有スルモノナラサルヘカラス

然レトモ被選擧資格ナキ者ト雖事實上候補者トナリテ其ノ地位ニ伴フ責任ト權利トヲ有スルコトヲ得ヘシ

議員選擧ニ於テ何人カ候補者タルカノ問題ノ重要ナル所以ハ主トシテ其ノ者カ候補者ノ責任ニ關スル不正及不法行爲防止法令ニ違反セサルヤ否ヤヲ決スルニ於テ存ス

同法令ニ於テ他ニ妨ケナキ限リ「選擧ニ於ケル候補者」（Candidate at an Election）トハ其ノ選擧ニ於テ國會議院議員トシテ選擧セラレタル者ヲ指シ「候補者」（Candidate）トハ其ノ選擧ニ於テ候補者トシテ指定セラレタル者卽其ノ選擧ニ於テ選擧施行令發布ノ日及其ノ以後並解散缺員ノ結果更ニ選擧施行令發布ノ後ニ自ラ候補者トシテ立チ又ハ他人ニヨリテ宣言セラレタル者ヲ謂フ

然レトモ其ノ同意ヲ得スシテ指定又ハ宣言セラレタル場合ニハ同法令上其ノ者ニ何等責任アリト解スルヲ得ス

但シ其ノ後ニ至リテ同意ヲ與ヘ又ハ選擧セラレタル時ハ此ノ限ニ在ラス

又若其ノ者ノ同意ヲ得ス又ハ其ノ不在中ニ指定又ハ宣言セラレ而モ該選擧ニ何等關係ナキ時ハ一定ノ形式ニヨリ選擧費ニ關シテ適宜ニ宣言ヲ爲スコトヲ得＝曰、其ノ不在中ニ指定又ハ宣言セラレタルモノニシテ自ラ選擧ニ關セサリシコト或ハ又彼自身並他人モ彼ノ爲ニ何等支辨セシコトナク又選擧事務ニ關シテ何等責任ヲ負ハサリシコト或ハ其ノ選擧事務代理人タル者ニ何等金錢又ハ保證金等モ與ヘシ事ナキコト又選擧ニ關シテ何人ノ支出シタル金額ニ付テモ全ク相關スルコト無カリシコト而シテ又將來斯ル目的ノ爲ニ何等支出スルコトナカルヘキコト等斯ノ如キ宣言ニシテ爲サレタル時ハ事務代理人ハ選擧事務取扱ノ費用ニ付テハ恰モ候補者カ其ノ同意ニヨリテ指定又ハ宣言サレタル

ト同樣事情ノ許ス限リ法ノ規定ニ從ハサルヘカラス

候補者ハ帝國外ニ在ル時ハ指名ノ後ト雖選擧ノ爲ニ定メラレタル期間内ニ自ラ辭スルヲ得又罷メラルルコト有リ

候補者タラムトスル希望ヲ有スル者カ解散又ハ缺員ノ前ニ不法ノ行爲ヲ爲スモ實際選擧施行令發布ノ後或ハ解散缺員ノ後ニ於テ、候補者トシテ指定又ハ宣言セラレタル場合ニハ候補者トシテ責任ヲ有セス

五三七　候補者トナリテハ其ノ候補者タル身分 (Candidature) カ何日ニ初マルカヲ確ムルハ其ノ責任ノ開始ヲ定ムル上ニ於テ最重要事トナル

缺員ノ生スル以前又ハ議會ノ解散前及政治的會合ニヨリ候補者トシテ定メラレタル以前ニモ前掲法令ニ所謂候補者タルヲ得ヘシ然レトモ候補者タラムトスル企圖ヲ有スル時ニ於テ必スシモ候補者トナルニ非ス

凡ソ候補者ト認ムルニハ選擧ニ關シテ經費ヲ支辨シ初ムルヤ否ヤニ依リテ定ムルヲ得ヘシ

「選擧」(Election) ト云フハ候補者ノ考ニ於テ確定セル選擧ヲ意味ス、勿論斯クノ如キ選擧ノ期日ハ全ク不確定ナルモノトス兎ニ角候補者トシテノ有責期間ハ適當ナル限界ヲ有セサルヘカラス(註一)

然レトモ選擧ノ確定シタル眞ノ日時ハ重要ナルモノニ非ス候補者タル地位ノ開始期ハ夫レヨリ以前ニ於テ存シ而カモ其ノ幾日以前ナルカハ各場合ニ於ケル事情及事實ニヨルヘキモノトス(註二)開始期ノ問題ハ其ノ日ニ現存スル事實ニヨリテ定マリ既往ノ事情ニヨルコトヲ得ス(註三)

斯ノ如クニシテ候補者ヲ立ツルノ經費ト候補者トナリタル時ニ其ノ選擧ヲ求ムル爲ノ經費トハ自ラ異ルモノトス(註四)

然レトモ經費ノ名義上ノ目的ハ候補者ヲ立ツルニアルモ其ノ實際ノ目的ハ選擧ヲ計ルニアレハ同法令ノ適用ヲ受ク

(註一)　候補者カ其ノ承認ヲ與ヘタル運動者ノ不正、不法行爲ニ對シテ責任ヲ負フヘキ期間ニハ適當ナル制限ナカルヘカラス一八九五年ニ於テ「一八九六年ノ候補者」タラムト企ツル者カ違法ニ人ヲ使用シテ選擧人ニ自己ヲ推薦セシムル行爲ヲ爲サシムル能ハスト云フヲ得ス

(註二)　ランカスター區事件(一八九六年)參照

其ノ幾日以前ナルカハ特ニ其ノ選擧區又ハ其ノ近隣ニ於ケル候補者ノ位置ニ依ラサルヘカラス

或ル地方ニ現住シ又ハ其ノ兩親カ其ノ地方ニ住居シ或ハ其ノ地ノ被雇勞働者タル人ノ行爲並經費ハ異郷人ニシテ候補者タラムカ爲ニ其ノ地ニ來ル者ノ行爲並經費ト同樣ニ取扱フコトヲ得ス其ノ後者ニ屬スル人カ候補者タルヲ得ルハ經費ヲ支給シ而シテ候補者トシテ立ツコトヲ知ラシムル時ニ於テナリ

(註三)　ランカスター區事件　政治的集會ハ巨額ノ金錢ヲ出シテ其ノ立テムト欲スル候補者ノ利益ヲ計リ而カモ何人ヲシテモ候補者トシテ責任ヲ負ハシメサルコトヲ得

(註四)　ノルウイッチ事件(一八八六年)

九月二十一日未タ候補者タルノ承諾ヲ得サル前ニ會合ヲ開キテ候補者タラムコトヲ求ムルノ提議ヲナサムコトヲ決シ而シテ後ニ人ヲ使用シテ此ノ提議ニ署名ヲ求メタリ越ヘテ十月十二日第二回ノ會合ヲ開キ候補者トシテ立タムコトヲ要求シ其ノ同意ヲ得タリ

此ノ前後二回ニ於ケル會合ノ費用ハ被訴願人カ選擧費トシテ返還スヘキモノニ非スト爲セリ

第六項　選擧事務代理人(Election Agent)及復代理人(Sub-Agent)ノ任命

五三八　指名當日或ハ其ノ以前ニ候補者ト公衆トニ對シテ責任ヲ負フヘキ適當ナル人ハ各候補者ニヨリテ或ハ各候補者ノ爲ニ選擧事務代理人ト名ケラレ各候補者ノ爲ニ存スルモノトス

各候補者ハ自ラ選擧事務代理人ト稱スルコトヲ得ヘク此ノ場合ニハ事務代理人トシテノ責任ヲ有ス

指名ノ日或ハ其ノ以前ニ候補者或ハ其ノ他ノ者ハ事務代理人ノ氏名及住所ヲ選擧管理者ニ届出テ管理者ハ更ニ之ヲ公示セサルヘカラス

選擧事務代理人ハ各候補者ニ就キ唯一人ニ限リ之ヲ指定シ得ヘシ然レトモ其ノ指定ハ選擧事務代理人カ候補者自身タルト否トヲ問ハス之ヲ取消スコトヲ得

選擧以前選擧中又ハ其ノ後ニ於テ事務代理人指定ノ取消又ハ死亡ノ場合ニハ更ニ他ノ事務代理人ヲ指定シテ其ノ住所氏名ヲ選擧管理者ニ届出テ選擧管理者ハ之ヲ公示セサルヘカラス

斯クテ指定セラレタル事務代理人一人ハ法律上給付ヲ受クルコトヲ得

五三九　郡(County)部ニ於テ選擧事務代理人ハ一選擧區ニ付キ復代理人一人ヲ指定スルコトヲ得選擧區ニ於ケル諸種ノ事件ニ關シテ事務代理人ハ其ノ區内ニ於テハ復代理人ニヨリテ之ヲ行ハシムルヲ得而シテ其ノ時ニ於ケル復代理人ノ責任トソレニ對スル候補者ノ責任ハ事務代理人ノ場合ト同樣ナリ

投票ノ前一日ヲ以テ事務代理人ハ其ノ復代理人ノ住所氏名ヲ選擧管理者ニ届出テ選擧管理者ハ更ニ之ヲ公示スルヲ要ス復代理人ノ指定ハ其ノ指定シタル選擧事務代理人カ自ラ職ヲ辭スルモ其ノ指定シタル復代理人ノ指定ハ無效トハナラス

然レトモ候補者ノ立テル間ハ事務代理人ハ之ヲ取消スコトヲ得ヘシ而シテ斯クノ如キ取消又ハ復代理人ノ死亡ノ場合ニハ更ニ他ノ復代理人ヲ指定シ其ノ住所氏名ヲ選擧管理者ニ届出テ管理者ハ之ヲ公示セサルヘカラス

市部(Borough)ニ於ケル選擧ニ付テハ復代理人ハ存セス

五四〇　郡部又ハ市部ニ於ケル選擧ニ於テ事務代理人ハ其ノ郡又ハ市ノ内ニ或ハ隣接ノ郡内ニ事務所又ハ一定ノ場所ヲ設ケ又復代理人ハ其ノ地方或ハ隣接ノ郡内ニ之ヲ設ケテ執レモ要求、通知、命令、召集、文書、ハ凡テ此ノ所ニ受領ス

而シテ其ノ事務所ノ所在地ハ事務代理人ノ指定ト同時ニ之ヲ選擧管理者ニ届出テ事務代理人ノ氏名ヲ公示スル際ニ之ヲ記載ス

ルヲ要ス

要求、通知、命令、召集又ハ文書ニシテ其ノ事務所ニ配布セラレ又ハ事務代理人ト復代理人ニ宛テラレタルモノハ孰レモ其ノ者ニ關スルモノト看做サル

而シテ斯クノ如キ事務代理人ニ對スル訴訟ニシテ其ノ關與セシ選擧ニ付テ生シタル事件ニ關スルモノハ其ノ事務所所在地ノ地域ヲ管轄スル裁判所ニ於テ之ヲ掌ル

五四一　有給ノ事務代理人及復代理人ハ共ニ投票スルコトヲ得ス

第七項　補助人（Assistant）（Workers）及代理人（Agents）

五四二　事務代理人ト（郡部ノ場合）ニ復代理人トノ外ニ候補者ハ一定數ノ有給補助者（註一）ヲ使用スルヲ得是等補助者ハ選擧人タルコトヲ得レトモ投票スルコトヲ得ス（註二）

而シテ若未成年者ナル場合ニ於テハ其ノ兩親モ同樣投票ヲ禁止セラル而カモ是等ハ必シモ候補者カ責任ヲ負フヘキ代理人タルニ非ス

又其ノ外不定數ノ無給ノ幇助者(Workers or Helpers)ヲ使役スルコトヲ得ヘク是等ハ投票權ヲ有シ而シテ其ノ使用ノ範圍カ候補者カ責任ヲ負フ代理人ト同程度ニアリヤ否ヤハ事實ノ問題トス

（註一）　一八八三年ノ不正不法行爲防止法

直接候補者ノ選擧運動ノ爲ニ非スシテ會場ノ準備ヲ爲スカ如キ單ニソレニ附隨スル通常ノ勞務ヲ爲ス爲ニ使用サレタル人ハ此ノ限ニ非ス

（註二）　前掲法令參照其ノ當時自ラ進ムテ投票シタルモ選擧ノ後ニ謝禮ヲ受ケタル時ハ不法行爲ト目セラル（サウス、ウエスト、エセックス事件）

然レトモ一度給付ヲ受ケテ或ル資格ノ下ニ使用セラレタル時ハ候補者ニ對シテ其ノ人ノ勤務ヲ爲ス權利ニ何等制限アルコトナシ

唯復代理人ニ非サル限リ選擧費支拂ノ爲ニ使用スルヲ許ササルノミ

五四三　各投票所ニ於テハ投票事務代人一人ニ限リ有給者ヲ使用スルコトヲ得

市部ニ於テハ選擧者五百名ニ付キ有給ノ書記(Clerk)一人ト使者(Messenger)一人トヲ法律上使用スルコトヲ得

郡部ニ於テハ中央委員會（Central Committee Room）ニ於テ法律上書記一人、使者一人ヲ使用スルヲ得又選擧者ノ數カ五千ヲ超過スル時ニハ選擧者五千ニ對スル書記使者各一人ヲ超ヘサル程度ニテ之ヲ使用スルコトヲ得

郡部ニ於ケル各選擧區ニ於テハ書記使者各一人ツツ之ヲ使用スルコトヲ得或ハ選擧區ニ於ケル選擧人ノ數ヲ五百ヲ超過スル時ハ各五百ニ對シテ各一名ノ書記及使者ヲ使用スルコトヲ得

而シテ郡部ニ於テ雇ハレタル書記及使者ハ其ノ必要ニ應シ孰レノ選擧區ニ於テモ使役スルコトヲ得ルモノトス

候補者カ選擧ノ時ニ秩序ヲ維持シ財産ヲ保護スルカ爲ニ人ヲ使用シテ之ニ給付ヲ與フルコトニ付テハ何等規定スル所ナシ（註）

（註）　事務代理人カ候補者ノ催シタル會合ノ秩序維持ノ爲人ヲ使用シテ之ニ給付ヲ爲スハ不法ノ處置ト看做サル然レトモ無給ノ者ハ之ヲ使役スルモ不可ナク而シテ非常ナル秩序紊亂ノ虞アル時ハ特殊ノ警察官タル宣誓ヲ爲サシムルヲ以テ其ノ策ノ得タルモノトス

五四四　無給ノ補助者(Workers)ト事務代人ニ關シテハ何等法律的制限ナシト雖適當スル人ヲ選擇シ其ノ行爲ヲ監督スルノ責任ヲ負ハシム

事務代理ニ關スル議院一般法（Parliamentary Common Low of Agency）ノ下ニ於ケル候補者ノ責任ハ此ノ事件ニ特別ナル原則ニ因ルモノニシテ刑事民事ニ行ハルル原則トハ異ル

此ノ原則ニ依レハ事實上選擧事務取扱委員會ノ一部員ニシテ其ノ勤務ハ直接間接候補者又ハ其ノ代理人ニヨリテ承認セラレ又ハ利用セラレタル時ハ其ノ有給タルト無給タルトヲ問ハス候補者ハ其ノ者ノ行爲ニ對シテ責任ヲ有ス（註一）

嚴格ナル標準ハ候補者カ或ル選擧事務ヲ爲サシムルカ爲代理人ヲ使役委任シタル乎或ハ其ノ結果ヲ利用シタルヤ否ヤニアリ

選擧事務ノ重要ナル部分ニシテ候補者自身カ爲スヘキモノハ之ヲ他人ニ委託シタル時ハ少クトモ其ノ者ハ事務代理人ト推定セラル然レトモ補助人ハ凡テ代理人タルニ非ス（註二）

候補者カ代理人ヲ選擇竝監督スルニ當リテ爲シタル注意其ノ他凡テノ事情ハ各場合ニ於テ之ヲ酌量セサルヘカラス（註三）

若候補者ノ妻ニシテ選擧ニ干與スルニ於テハ直ニ以テ事務代理人タルヘシ

代理ニハ諸種ノ程度アリテ唯特別ノ目的ノ爲ニスル代理人モ有リ得ヘシ事務代理人ノ代理人ハ概ネ候補者ノ代理人タルコトヲ得ヘキモ必シモ常ニ然ルニ非ス

（註一）　ノルウイツチ事件參照　之レ主人ト婢僕トニ關スル法律ニ於テ行ハルル原則ト同樣ナリ候補者カ禁止スルモ代理人ニシテ之ニ服從セサル場合ニハ之ニ對シテ責任ヲ負ハサルヘカラス

（一八六九年タウントン事件）

然レトモ他ニ代理關係ノ存セサル以上ハ候補者カ單ニ其ノ行爲ヲ防止スル爲干渉セサリシト雖以テ有責ナリト云フ能ハス（一八六九年ウエスハリー事件）

候補者カ或ル特定人カ其ノ事務代理人トナルコトヲ絕對ニ拒絕スルトモ以テ代理人タルコトヲ妨クルニ足ラス（一八七四年ストラウド事件）

諸種ノ事情ヲ調査綜合シテ代理關係ヲ認ムルコトヲ得

候補者ハ或ル人ノ行爲ヲ利用シ置キ乍ラ之ヲ拒絕スルヲ得サルモノトス

（註二）　一八八六年ガルウエー事件參照土地ノ差配人ハ必シモ選擧事務ニ關シテ代理人タルニ非ス（タムウオスー事件）

又選擧事務ニ關シテ雇傭サレタル人ハ必シモ事務代理人ト看做スヲ得ス（ウインゾル事件）

ハルトルプール事件ニ於テハ補助者ト委員會トノ間ニ確定シ

タル聯絡ノ存スル時ハ以テ代理タルノ證據トスルヲ得ヘシト爲セリ

（註三） 候補者カ補助ヲ求ムル爲ニ發シタル書面ノ效力ハ特殊ノ事情ニ基クモノナリ然レトモ斯ル信書ノ證據アルニ於テハ代理關係ノ設定ニ一歩ヲ進メタルモノト謂フヘシ（ブラックバーン事件）。

單ニ候補者ノ地位カ聯絡セルモ當該候補者カ不法行爲ニ付テ嫌疑ナキニ於テハ未タ決定ヲ與フルニ足ラス（マルコルム對バリー事件）

候補者ヨリ金錢支辨ノ爲ニ符札ヲ受取リタル時ハ廣キ範圍ニ於テ代理關係ヲ設定シタルモノト認ムルヲ得ヘシ

或ル候補者ノ爲ニ賄賂ヲ爲シ投票者勸誘ヲ繼續スルコトヲ許サレタル特定人カ代理人ナルヤ否ヤニ關シテハ異論アリタリ（グレートヤルマウス區事件）

「サンダーランド」區事件ニ於テ「ボロツク」ノ意見ニ依レハ候補者ノ事務代理人カ或ル他人ノ虛言ヲ採用シ勸誘狀ニ於テ之ヲ利用シタル時ハ候補者ト其ノ代理人トハ之ニ對シテ責任ヲ有スヘキモノトス然レトモ或ル人カ自己ノ辯護ノ爲ニ虛言ニ非サル陳述ヲ公ニシ後ニ至リテ候補者カ之ヲ以テ自己ノ選擧ニ有利ナリト考ヘ之カ發送ヲ申出テタル時ハ以テ其ノ人ヲ事務代理人ト認ムルコトヲ得ス（スワンシー事件）

運動者（Canvassers）

投票ヲ爲サシメ又ハ爲サザラシメムカ爲ニ運動スル者ハ或ハ選擧事務代理人タルコトアリ又然ラサルコトアリ然レトモ現在運動ヲ爲セル時ハ代理關係アリト推定シ得ヘシ

而シテ候補者ノ明示默示ノ依頼ニヨリテ運動ヲ爲セルノ事實ハ以テ代理人タル充分ナル證據トナル

然レトモ單ニ運動セルコトノ事實ハ未タ決定ヲ與フルニ足ラス特ニ候補者自身ニ於テ勸誘運動ヲ爲セル時ニ於テ然リトス

單ニ委員會ノ一員タル理由ニヨリ決定シ得サルトスルモ諸種ノ事情ト綜合スル時ハ代理關係ヲ知ルコトヲ得（註一）

政治的會合ニシテ若候補者ト密接ノ關係ヲ有スルニ於テハ以テ選擧事務代理人タリ得ヘシ（註二）

然レトモ亦候補者ノ事務代理人タラスシテ候補者ノ屬スル黨派ノ事務代理人トナリテ候補者ノ爲ニ運動スルモ不可ナシ而シテ若候補者カ其ノ行爲ヲ承認スルニ於テハ彼ノ代理人ノ行爲ニ對スルト同樣之ニ對シテ責任ヲ有ス

事務代理ハ投票ノ終結ト共ニ消滅スルヲ當トスレトモ特ニ密約アルトキハ此ノ限ニ非ス

事後ニ爲シタル代理人ノ陳述ハ候補者ノ不利ナル證言トナラス

（註一） 特ニ其ノ委員會ニシテ候補者ノ主タル代人ヨリ文書ニテ訓令ヲ與ヘラレタル場合（ダブソン事件）或ハ候補者自身ト密接ノ關係ヲ有スル時ニ於テ代理關係ヲ認ムルコトヲ得然レトモ若候補者ト密接ナル關係アルコトヲ證スルコト能ハサル時ハ特ニ大ナル委員會ノ場合ニ於テ然ラストス

委員會ノ一員カ大運動ヲ公然爲ス時ハ以テ代理人タル推定ヲ强ムルニ足ル（一八七四年ダーハム事件）

單ニ委員會ニ出入シタルコト及其ノ委員會ノ標札ヲ有スルコトニ因リテ直ニ代理タル確定ヲ爲スニ足ラス（メードストーン區事件） 普通法ノ契約ノ訴訟ニ於テ選擧事務委員會ノ會員タルコトカ候補者ノ責任ニ及ホス效果ニ付テ「ハニーウッド」對「ギーリー」事件ヲ參照スヘシ

（註二） 候補者カ其ノ會ノ基金全部ヲ供給スル場合ニ責任ヲ有スルハ一層明瞭ナルコトトス（タラスコット對ビバン事件）

此ノ種ノ會合ニ於テハ候補者ノ定マルヤ否ヤ選擧ノ結了スル迄直ニ其ノ活動ヲ中止スルコトヲ以テ得策トス

（ロチエスター區事件參照）

第八項 指　名（Nomination）

五四五 國會議員ノ有效ナル選擧ノ前提條件トシテ候補者ハ適當ニ文書ヲ以テ指名（Nomination in Writing）セラレサルヘカラス

選擧管理者ハ所要ノ指名用紙ヲ具ヘサルヘカラス而シテ選擧施行ノ通知アリタル日ヨリ選擧當日ニ至ル迄毎日午前十時ヨリ午後六時ノ間ニ於テ選擧管理者カ定メタル二時間及選擧ノ爲ニ指定セラレタル時間内ニ登錄シアル選擧者ヨリ指名用紙ノ要求アリタル時ハ之ヲ與ヘサルヘカラス然レトモ然スシモ選擧管理者カ提供シタル用紙ヲ用フルヲ要セス其ノ用紙ト同一ノ形式ヲ有スルモノナラハ可ナリ

五四六 指名票ニ二人ノ登錄シタル選擧人カ提議者（proposer）及補助者（Seconder）トシテ署名シ同選擧區ニ於ケル八人ノ登錄シタル選擧人カ其ノ指名ニ同意スル爲ニ署名セサルヘカラス而シテ選擧ニ定メラレタル期間ニ候補者自ラ或ハ其ノ提議者又ハ助手ハ之ヲ選擧管理者ニ呈出スルヲ要ス若右三者以外ノ者カ之ヲ呈出シタル時ハ何等效力ヲ有セスシテ其ノ指名サレタル候補者ノ選擧ハ無效トス

各候補者ハ別個ノ指名票ニ依リテ指名セラレサルヘカラス然レトモ同一選擧人ハ缺員アル指名票ニハ幾枚ニテモ署名スルコトヲ得若選擧者カ缺員アル指名票以上ニ亘リテ署名シタル時ハ其ノ正當ノ數ヲ超過セサル前ニ署名シタルモノハ有效ナレトモ其ノ以後ニ署名シタルモノハ無效トス指名票ニ候補者ヲ記載スルニ當リテハ選擧管理人ガ候補者ノ其ノ人ナルヲ表示スルニ適當ナリト認ムル方法ニ於テセサルヘカラス卽其ノ氏名住所族稱職業ヲ記載スルヲ要ス而シテ其ノ氏名ヲ記スルニハ其ノ本名ヲ先キニシ洗禮ノ時ニ附シタル名ハ後ニスルヲ要ス

指名票ニ對スル異議ハ候補者ニ關スル記載カ不充分ナル爲或ハ規則ト一致セサル理由ニヨリ選擧管理者又ハ其ノ他ノ人カ指名票ヲ呈出シタル時又ハ其ノ後直ニ申立ツルニ非サレハ之ヲ許サス

提議者、補助者、贊成者ノ場合ニハ「クリスチアンネーム」ハ全部記載スルヲ要セス其ノ氏名ハ登錄ノ形式ニ於テスルコトヲ要セス同一候補者ヲ指名スルニ多クノ指名票ヲ用フルヲ得而シテ其ノ中一枚カ正當ニ記載シアル時ハ之ヲ以テ足レリトスルナリ

候補者ノ氏名ハ提議者、助手カ指名票ニ署名シタル後ニ於テモ

記入スルコトヲ得然レトモ一旦選擧管理者ニ呈出シタル以上ハ署名者全部ノ同意ヲ得ルニ非サレハ何等變更ヲ加フルコトヲ得ス

五四七　指名票ニヨリテ指名サレタル候補者ト其ノ提議者ト助手及候補者ニ依リテ選ハレタル他ノ一人ハ選擧ノ爲ニ定メラレタル期間内事務ヲ執ルコトヲ得ルモ其ノ以外ノ人ヲ使用スルヲ選擧管理者ヲ補助スル目的ノ外ニハ之ヲ許サス

五四八　選擧ノ爲ニ定メラレタル時ノ一時間經過ノ後、候補者ノ數カ缺員ナキニ至リタル時ハ選擧管理者ハ進ムテ選擧ノ爲ニ指名セラレタル候補者ヲ布告シ其ノ氏名ヲ（The Clerk of The Crown Chancery）ニ報告セサルヘカラス、然レトモ若其ノ時ノ經過ノ後ニ定數以上ノ候補者カ立チタル時ハ管理人ハ選擧ヲ延期シテ投票ニ依ルヲ要ス）

五四九　候補者ハ選擧ノ爲ニ定メラレタル期間内ニ於テハ選擧管理者ニ署名届出ツルニヨリテ辭退スルコトヲ得ルモ同期間以後ニ於テハ之ヲ許サス

候補者カ帝國内ニ不在中候補者トシテ指定セラレタル時ハ其ノ不在ノ宣言書ト共ニ選擧管理者ニ署名届出テ候補ヲ辭退シ得ヘシ選擧期間内ニ指定セラレタル候補者カ正當ニ辭退シタル時ハ選擧管理者ハ該候補者ノ氏名ト其ノ指名票ニ署名シタル者ノ氏名ヲ指名選擧セラレタル者ト同樣告示セサルヘカラス

五五〇　選擧管理者ハ指名票ヲ受領シタル時ハ候補者トシテ指名サレタル者ノ氏名ヲ公示シ、提議者ト補助者ハ候補者ノ氏名ト併セテ其ノ氏名ヲ選擧場ニ指定セラレタル建物ニ明瞭ニ掲示スルヲ要ス

五五一　候補者ノ氏名ハ一定ノ方式ニ依ルニ非サレハ其ノ投票ハ無效ナルモノトス

選擧期間内ニ選擧管理者ニ呈出シタル指名票ハ選擧時期經過前又ハ其ノ後一時間内ニ管理者又ハ其ノ他ノ者カ反對ヲ表示スルニ非サレハ所定ノ形式ニ據レルモノト看做サル

選擧管理者ハ指名票ニ關スル異議ノ正當ナリヤ否ヤヲ裁決ス而シテ其ノ之ヲ拒絕スル裁決ニ對シテハ更ニ異議ヲ述フルヲ許サス

然レトモ其ノ異議ヲ正當ト認メタル時ハ之ヲ訴願ニ附シテ再審セサルヘカラス

五五二　若指名ニシテ亂暴騷擾等ノ爲ニ妨ケラレタル時ハ管理者又ハ其ノ正當ノ代表者ハ其ノ地ニ於ケル投票ヲ翌日ニ延期シ尚必要ノ場合ニハ騷擾ノ終止スル迄延期シ更ニ其ノ時ニ至リテ選擧管理者又ハ代表者ハ事務ヲ續行スルモノトス斯クテ指名ノ終結シタル日ヲ以テ選擧ノ爲ニ定メタル日トナス投票開始ノ日モ夫レニ從テ計算ス然レトモ之ヲ延期シテ日曜日ニ至ルヲ得ス若其ノ日カ日曜復活祭前ノ日曜或ハ「クリスマス」ニ當ル時ハ其ノ日ニハ之ヲ爲サス更ニ翌日ニ之ヲ延期セサルヘカラス

五五三　選擧管理者ハ選擧ノ爲ニ適當ニ爲シタル勤務竝其ノ費用ニ關シテ法律ニ定メラレタル額ヲ超過セサル報酬ヲ要求シ又其ノ報酬ニ對スル保證ヲ請求スルコトヲ得ヘシ

管理者カ保證金ヲ要求スル際ニハ左ノ各項ニ依ラサルヘカラス

（一）選擧ノ爲ニ定メラレタル二時間ノ經過後管理者ハ指名セラレタル候補者ノ數ヲ公示シ而シテ定數以上ノ候補者カ指名セラレタル時ハ保證金ノ金額ヲ其ノ間ニ均分ス

（二）指名セラレタル候補者ハ該二時間後次ノ一時間内ニ其ノ保證金ヲ給與ス

（三）若候補者ニシテ定メラレタル保證金ヲ與ヘサルトキハ候補ヲ罷メタルモノト看做サル

（四）保證金ヲ交付スル者ハ何人ニテモ可ナリ

（五）保證金ハ法貨或ハ選擧ノ開カルル區ニ於テ通常流通スル銀行券ヲ以テ之ヲナシ得ヘシ若管理者ノ同意ヲ得レハ他ノ如何ナル方法ニテモ可ナリ

（六）管理者カ受クヘキ額以上ノ保證金カ積マレタル時ハ其ノ殘額ハ最後ニ至リテ之ヲ提供シタル者ニ支拂フ

選擧ノ爲ニ指定セラレタル二時間ノ終リニ候補者カ議員定數以上ニ超エサル時ハ其ノ要求シ得ル最高額ハ二十五磅ナリ

五五四　以上ノ規定ハ大學ノ場合ニハ適用セス大學ニ於テハ最初擧手ノ形式ニヨル然レトモ何レノ黨派モ投票ニヨラムコトヲ要求スルヲ得ヘシ

第九項　選擧ノ自由ト不正不法運動ノ防止 (Freedom of Election and the Prevention of Corrupt and Illegal Practices)

第一目　概說

五五五　武力、害惡、脅嚇等ニ依リテ選擧ヲ防害スルコトハ古代ノ法令ニヨリテ既ニ禁止セラレシ所ナリ然レトモ貴族ヲモ含メテ凡テノ臣民ハ其ノ適當ト思惟スルモノヲ選擧セシムル爲適法ノ勢力ヲ利用シテ勸誘ヲナスコトヲ得、而シテ選擧期間内ニ於テ（投票日ニ至ル迄竝當日ヲモ含ム）選擧者勸誘ノ爲ニ行ハルル普通ノ方法ハ集會ヲ開キ公告ヲ爲シ手帖ヲ配付スル等ニシテ或ル制限（註）ニ從ヒ且選擧自由ノ原則ト背反セサル限リ孰レモ法律上正當ト認メラル同一條件ノ下ニ投票者運動即投票場ニ伴ヒ來ルコトヲ主タル目的ト爲ス行爲及特定ノ候補者ノ爲ニ投票ヲ要求スルコトハ其ノ自身ニ於テハ全ク適法ナリトス

（註）不法行爲（Illegal Practices）ハ選擧費ノ濫費ヲ防止スルヲ以テ主タル目的ト爲シ、不正行爲（Corrupt Practices）トハ其ノ性質ヲ異ニス、從テ二者又其ノ結果ニ於テ差異アリ然レトモ之カ違反行爲ハ孰レモ候補者竝其ノ事務代理人以外ノ者カ之ヲ犯スモ敢テ候補者ノ地位ヲ失ハシメサルモ「一般ノ不正行爲或ハ「一般ノ脅嚇行爲」（General Corruption or General Intimidation）アリタル時ハ次ニ述フルカ如ク假令候補者竝其ノ代人ハ全ク關與セサリシト雖其ノ選擧ハ無效ナリトス

五五六　選擧事務代理ノ問題ト全ク離レテ法律上選擧ヲ無效ナラシムル一般不正行爲アリ

故ニ候補者ノ事務代理人ト何等關係ヲ有セスト雖廣キ範圍ニ亘ル贈賄行爲アリタル場合ハ公明正大ナル選擧ナリト云フヲ得サルヲ以テ斯ノ如キ選擧ハ無效タリ

各選擧有權者ハ其ノ最モ適當ナリト思惟スル候補者ヲ定メテ之ニ投票ヲ爲シ得ヘキハ法理上竝政策上當然ノコトナリトス

影響(Influence)ニ正ト不正ノ別アリ贈賄、饗應、不當ナル壓迫等ハ其ノ後者ニ屬シ法律上是等ノ行爲ハ選擧ヲシテ無效ナラシム故ニ選擧區ニ於テハ廣キ範圍ニ亘リテ賄賂行ハレ其ノ何處ヨリ出テタルヲ知ルコトヲ得スト雖兎ニ角公衆一般ノ敗賄シタルコトヲ證明シ或ハ投票者ヲ誘致スル爲ニ凡テノ地方ニ饗應ヲ催シ無償ニテ飲酒セシメタルコトヲ證明シ得ルトキハ其ノ選擧ハ效力ヲ有セサルモノトス之法ノ精神ニ違反スレハナリ

斯ル場合ニ於テハ候補者ニ何等過失ナシト雖投票者カ一般不正ノ爲ニ有效ナル投票ヲ爲スノ能力ナキニ至ルカ故ニ其ノ選擧ハ無效ナリトス

一般ノ饗應ハ贈賄ト同樣ニ取扱ハル、然レトモ裁判所ハ前者ヲ以テ後者ヨリモ一時的性質ノモノト看做セリ

不正行爲ハ選擧セラレタル人ノ爲ニ爲スモノナラサルヘカラス裁判所ハ不正行爲ノ結果如何ヲ見ル爲ニ特殊ノ事情殊ニ其ノ絕對多數ニ付テ之ヲ調査ス

五五七　恐喝行爲カ一般ニ亘リテ廣ク行ハレ投票カ選擧區ノ公明ナル意見ヲ表示スルコト能ハサル時ニハ其ノ選擧ハ無效トナル然レトモ恐喝ノ程度ハ通常ノ男氣ヲ有スル人カ之ニヨリテ投票ヲ妨ケラレタル程度ノモノタルヲ要ス若恐喝行爲ニシテ地方的部分的ニ行ハレタルノ理由ヲ以テシテハ選擧ハ無效トナラス單ニ一人カ恐喝ニヨリテ投票ヲ罷ムルモ未タ充分ニ非ス然レトモ恐喝カ一般ニ行ハレタルトキハ其ノ結果ニ影響スルトコロナカリシヲ證明スルノ責任ハ選擧人全體ニアリ若選擧ニ影響ヲ及ホス能ハサリシコトヲ證明スルニ於テハ選擧ハ依然有效ナリ然レトモ實際影響ヲ被ラサリシ事實ヲ證明スルノミニテハ未タ完全ト云フヲ得ス

精神的不當ノ影響ハ一般恐喝ト同一原理ニ基ク一般ノ贈賄、饗應行爲ト同等ニ率スルニハ其ノ範圍廣キニ及ヒ該選擧區一般ニ亘リ爲ニ選擧ノ自由ヲ害セラレタリト裁判官ノ認定シタルモノナラサル可カラス(註)

(註)スタワーブリツヂ事件ニ於ケル法律ノ解釋ニ曰「恐喝ト不當ノ誘致」ノ理由ノ下ニ選擧ヲ無效ナラシムル爲ニハ

(一)暴行カ候補者自身又ハ其ノ事務代理人ニヨリテ教唆サレタルモノナルコト

(二)其ノ及ヒタル程度カ完全ナル選擧ノ自由ヲ妨ケタルコト

議院ニ於ケル委員會亦同一ノ原理ヲ採用セリ

第二目　不正行爲（Corrupt Practices）

五五八　不正行爲（Corrupt Practices）ト不法行爲（Illegal）ナル語ハ議院法（Act by Parliament）ニ定メラレタル特殊ノ犯罪ヲ表ハスモノナリ若候補者自身又ハ其ノ事務代理人ニシテ之ヲ犯ストキハ其ノ選擧ハ爲ニ無效ニ歸ス

五五九　贈賄ハ不正ナル行爲ナリ

次ニ揭クル如キ者ハ贈賄ノ犯罪アリト看做ス

(一)　投票者ヲシテ投票セシメ又ハ投票ヲ罷メシムル爲ニ其ノ勞ヲ執ル者又ハ其ノ他ノ者ニ直接間接自身(註一)又ハ其ノ爲ニスル他ノ者ヲ以テ金錢若ハ其ノ他ノ有利條件ヲ(註二)供與シ、或ハ供貸與セムコトヲ約シ又ハ提出シ周旋スヘキコトヲ約シ或ハ周旋ニ盡力スヘキコトヲ約スル者及斯ル投票者カ投票シ又ハ投票スルコトヲ罷メタルコトニ對シテ不正ニ右ノ如キ行爲ヲ爲ス者(註三)

(二)　投票者ヲシテ投票セシメ又ハ投票ヲ罷メシムル爲ニ投票者又ハ其ノ爲ニスル者又ハ其ノ他ノ人ニ對シテ事務所、場所又ハ勞務ヲ供與、周旋シ又ハ供與、周旋セムコトヲ約スル者及選擧ニ於テ投票シ又ハ投票ヲ罷メシメムカ爲ニ右ノ如キ行爲ヲ爲ス者

(三)　或ル者ヲ議員ニ選出シ或ハ選擧ニ於テ投票者ノ投票ヲ周旋シ又ハ周旋セムコトヲ力メシムル爲ニ自身又ハ其ノ他ノ者ヲ用キテ直接、間接、贈與、申込、約束、周旋等ヲ爲ス者

(四)　斯ノ如キ贈與、貸與、申出、約束、周旋等ノ結果或ル者ヲ議員ニ選出スル爲及投票者ノ投票ヲ得ムカ爲周旋、從事、約束、盡力スル者

(五)　選擧ニ於テ贈與ノ爲ニ使用スル目的ヲ以テ或ル他ノ者ニ金錢ヲ立テ替ヘ支拂ヒ又ハ支拂ハシムル者或ハ選擧ニ於ケル贈賄ノ爲ニ全部又ハ一部要シタル金錢ヲ返還スル爲情ヲ知リテ支辨シ又ハ支辨セシムル者

然レトモ選擧ニ關シテ善意ニ費シタル候補者ノ適法ノ經費ニ對シテ支辨シ又ハ支辨スルコトヲ約シタル金錢ハ此ノ限ニ非ス

(六)　選擧ニ於テ投票シ、投票スルコトニ同意シ又ハ投票ヲ罷ムル爲ニ選擧ノ前又ハ選擧ノ間ニ金錢贈與、貸與、有價物或ハ事務所、場所、勞務ヲ自己又ハ他人ヲシテ受領シ又ハ受領ノ約束ヲ爲セシ者(註四)

(七)　投票シ又ハ投票ヲ罷メタルカ爲又ハ他ノ者ヲ勸メテ投票セシメ或ハ之ヲ罷メシムル爲ニ選擧ノ後ニ直接、間接、自身又ハ其ノ爲ニスル他ノ者ニヨリ金錢其ノ他ノ有價物ヲ受領スル者

(八)　投票者トシテ登錄セシメ因テ以テ將來ニ於ケル選擧ニ於テ其ノ投票ヲシテ有能ナラシムル目的ヲ以テ或ル人ノ爲ニ直接、間接、稅ヲ納ムル者、及投票者ヲシテ投票セシメ又ハ之ヲ罷メシムル目的ヲ以テ直接、間接、納稅ヲ爲ス候補者又ハ其ノ他ノ者竝其ノ支辨ヲ受ケタル者

(註一)　候補者自ラ投票者ニ切符ヲ與ヘ代理人ヨリ金錢ト引キ替フヘキコトヲ約シタル時ハ裁判所ハ斯ル代理人ヲ以テ贈賄犯ト爲セリ(一八五二年カンターバリー事件)

候補者カ事務代理人トシテ他ノ者ヲ使用セサル時ニ於テハ其ノ候補者ニ對シテ贈賄ヲ以テ訴フコトハ一層容易ナルコトナリトス

（註二） 選擧ノ後ニ爲シタル贈賄行爲ハ之ヲ證明スルコト困難ナリト雖明ニ之ヲ證明シ得タル時ハ以テ選擧ヲ無效ナラシムルニ足ル（ハルウキッチ事件參照）

投票者カ豫期セシ如ク候補者ヨリ不正ノ支辨ヲ受ケタル場合ニ爲シタル投票ハ議院委員會ニ於テ無效トセリ（ダブリン事件）

（註三） 本文ニ「者」ナル語ハ集會、結社ヲモ包含ス

若會合カ不正行爲ヲ爲シタル時ハ夫レニ關係シタル各員ハ罰金其ノ他ノ刑ヲ科セラルベシ

（註四） 契約(Contract for)ト申込(offer)トハ之ヲ區別セサルヘカラス投票者カ其ノ投票ヲ賣ラムトノ申込ハ犯罪ニ非ス（マロー事件）

一方ヨリ金錢ヲ提出セラレ他方ニ對シテハ若金錢ヲ與ヘラルルニ於テハ之ニ投票スヘシト申出テタル場合、委員會ハ其ノ爲シタル投票ヲ無效ト認メサリキ

五六〇 候補者又ハ其ノ事務代理人カ贈賄行爲ヲ爲シタル證據アルニ於テハ如何ニ事輕微ナリト雖以テ選擧ヲ無效タラシムルニ足ル

裁判官ハ事情ノ如何ニ拘ラス自由酌量ノ餘地ヲ有セス。之レ事務代理人ノ爲セル饗應及不當影響ノ場合ト異ル所ナリ故ニ贈賄事件ノ裁判ニ於テハ明瞭確實ナル證據ヲ要求スヘク單ニ嫌疑ノミヲ以テハ完全ナリト云フヲ得ス又被告ノ自白モ決定的ノモノニ非ス然レトモ贈賄ハ事件ノ事情ニヨリテ類推スルヲ得ヘク裁判所ハ刑事事件ニ適用スルカ如キ嚴密ナル拘束ヲ受クルコトナク共謀者ノ不確實ナル證言ニ依リテモ尙裁判スルコトヲ得

裁判所ハ各事件ニ於テ先ツ似而非者ヲ除外シ其ノ眞ノ性質ヲ追求ス斯ノ如クニシテ假裝ノ慈善（註一）雇傭（註二）購買（註三）ハ以テ不正行爲ヲ隱蔽スルニ足ラス

裁判所ハ此ノ問題ニ付テ確定シタル定義ヲ附スルヲ避ケ各事件ニ於ケル詳細ナル事實ヲ調査シテ事件ノ眞相ヲ發見スルニ力メタリ贈賄事件ニ必要ナル證據ハ一般的性質ノモノタラサルヘカラサレトモ現ニ特定ノ人カ贈賄セラレタルコトヲ示スヲ要ス唯一般不正事件ニシテ結果ニ影響シタリト想像セラルル程度ニ行ハレ爲ニ選擧ヲ無效ナラシムルモノハ此ノ例外タリ、然リト雖一般的證據ハ以テ特種行動ノ性質ニ關シテ推定ヲ與フルニ足ルモノナリ

（註一） 公平ナル慈善ハ適法ナリ（マルドン事件）假裝ノ慈善ハ贈賄ノ特殊巧妙ナル形式ナリト唯單ニ選擧者ニ贈物ヲ爲スカ如キハ違法ニ非ス（一八八三年プライマウス訴願事件）

選擧ニ於テ候補者ノ爲シタル假裝ノ慈善ハ贈賄行爲ナルヘケレトモ、非常ナル困難ニ際シ單獨ニ生シタル事件ハ斯ク看做サレサルコトアリ（ウインゾル事件）

候補者ノ代理人ニヨリテ慈善ノ目的タル資格ナキ人ニ對シテ爲セル石炭ノ分配ハ贈賄行爲ト認ム（マルコルム對パリー事件）

（註二） 多數ノ使者ヲ雇ヒ其ノ勞務ニ相應セサル過分ノ報酬ヲ與フルコトハ贈賄ト看做サル（一八五七年ケンブリッヂ事件）

現今ニ於テハ有給使者ノ數ハ法律ニ依リテ定マル

何等勞務ノ提供ヲ爲ササル者ノ假裝的雇傭ヲ爲スハ以テ選擧ヲ無效タラシム（バックストン對ガルフイット事件）

然レトモ事務代理人ニ對スル給付ノ超過ハ贈賄ト看做サス（ユーガル事件）

投票者ヲシテ登錄セシムル爲ニ爲ス支辨ハ善意ノ時ハ正當ナリ

（註三） 投票ヲ誘致スル爲過當ノ金額ヲ以テ、豚馬等ヲ買フカ如キ之レナリ（コッカーマウス事件）又何等目的ナクシテ部屋ヲ貸借スルコトハ贈賄行爲ト認ム（ハッダースフイールド事件）旅館ノ貸借ヲ裝ヒテ館主ノ投票ヲ得ムトスルハ又同一ニ取扱ハレタリ（サンドウイッチ事件）

五六一 投票者ヲシテ投票セシムル爲ニ旅行費ヲ支辨スルハ贈賄行爲ニシテ或ル條件ノ下ニ於テハ不法行爲トナルナリ

候補者自身又ハ其ノ事務代理人カ賄賂トシテ之ヲ爲シタルコトノ證據アリタル時ハ許スヘカラサル不法行爲ナリ使用主カ其ノ使用ニ係ル選擧者ヲシテ投票セシムル目的ノ爲ニ適當ナル期間休業セシメ而カモ夫レカ爲ニ賃銀ヲ控除セサルハ違法ノ行爲ニ非ス但シ雇主ノ事業ニ何等損害ヲ與フルコトナキ限リ當時其ノ使用スル凡テノ者ニ對シテ一樣ニ之ヲ行ヒ而カモ其ノ許可ハ特定候補者ノ爲ニ投票セシムヘク之ヲ與ヘ又特定候補者ノ投票サルルコトヲ妨クルカ爲ニ之ヲ拒絶スルコトナキヲ要ス

五六二 正當ナル要求ニ對スル支辨ハ輕々ニ賄賂行爲ト看ルヘキニ非ス

賄賂行爲ノ日時ハ單ニ酌量スヘキ一事情タルニ過キスシテ選擧ノ前後ニ爲シタルコトハ凡テ之ヲ斟酌セサルヘカラス（註）候補者ノ爲ニスルヲ裝ヒテ實際ハ候補者ヲ瞞着スルカ爲ニ爲シタル不正行爲ハ候補者カ責任ヲ負フヘキ賄賂罪ニ非ス

選擧ノ結果ニ對スル賭事ハ賄賂タルコトアリ然レトモ一ニ動機ノ正、不正ニヨリテ之ヲ決スヘキモノナリ

（註）『何時カ余カ候補者ニ立ツ時ニ余ニ投票スヘキヲ約スルニ於テハ此ノ五磅ヲ與フヘシ』ト而シテ十年後ニ候補者ニ立チタル時ハ之ヲ賄賂行爲ト看做ス（ストラウド事件）

五六三 饗應ハ不正行爲ナリ次ニ揭クル如キ者ハ饗應犯ト認メラル

（一） 或者又ハ其ノ他ノ者ヲシテ投票セシメ又ハ投票ヲ罷メシメ或ハ投票シ又ハ投票ヲ罷メタル爲或ハ投票セムトシ又ハ投票ヲ罷メントシタルカ爲選擧以前選擧中又ハ其ノ後ニ直接間接ニ肉、飮料、饗宴、糧食ヲ供與シ或ハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ支給スル者

（二） 斯ノ如キ肉、飮物、馳走、食料ヲ受クル者

一般ノ人望ヲ博シ以テ投票ニ影響ヲ及ホサシメムトスルカ如キ饗應ハ不正ノ行爲ナリ

五六四 饗應犯ノ要件ハ其ノ不正ナルニ在リ饗應ハ實際ニ於テハ屢不正タラサルアリ又不正タラサル推定ヲ受クルコトアリ若饗應カ政治的會合ニ於ケル偶然ノ出來事ナルニ於テハ犯罪ト認ムヘカラス然レトモ單ニ饗應ヲ爲シ其ノ投票ニ影響セシメムトスルノ會合ハ不正ナルモノナリ

然レトモ適度ノ茶菓ヲ供シテ集會ニ人ヲ誘致スルハ必シモ不正ニ非ス

公然之ヲ行ヒ投票者ニ非ル者ヲ招待ニ加ヘタルコト、價値ナキ者カ之ニ出席セサリシコト等ハ不正饗應ノ爲訴願セラレタル者ノ有利ナル條件トナル又其ノ行爲ノナサレタル時期如何ハ適當ナル資料タリ得ヘシ

不正行爲ハ選擧ノ爲長キ以前ニ行ハレタルノ故ヲ以テ不正タラスト云フヲ得ス然レトモ其ノ行爲カ選擧ニ影響ヲ及ホサシムル目的ヲ以テ爲サレタルヤ否ヤヲ決スルニハ時ノ要素ハ大ニ必要トナル單ニ饗應スヘシトノ約束モ不正行爲トナルコトアリ習慣ハ單ニ特定人ノ企望ヲ決スル上ニ於テ多少斟酌セラルルニ止マル

不正饗應ノ行爲ハ賄賂行使ト異リ候補者自身カ夫レニ對シテ有罪ナラサル限リ事情ニヨリ裁判所ニテ免除セラルルコトアリ

五六五　不當ノ影響ハ又不正行爲ナリ之ニ當ル者次ノ如シ

（一）　直接、間接、自身又ハ其ノ爲ニスル他ノ者ニヨリテ腕力、強暴、抑制ヲ利用シ又ハ利用セント脅シ或ハ肉體的又ハ精神的迫害ノ損害ヲ加ヘ若ハ加ヘムト脅シ以テ投票セシメムトシ若ハ之ヲ罷メシメムトシ又ハ投票セシメ或ハ之ヲ罷メシメタル者

（二）　誘拐、脅迫、詐僞、謀計等ニヨリテ選擧者ノ投票ノ自由ヲ妨害スル者、又ハ之ニヨリテ選擧者ヲシテ投票セシメ又ハ罷メシメタル者

五六六　詐稱(personation)ハ又不正行爲ナリトス

次ニ揭クル者卽之ナリ

（一）　選擧ニ於テ投票紙ニ他ノ生存セル者又ハ既ニ死亡シタル者若ハ擬制ニ係ル氏名ヲ記載スル者

（二）　選擧ニ於テ一度投票シタルニ同一選擧ニ於テ自己ノ氏名ヲ以テ更ニ投票ヲ爲ス者

詐稱罪ヲ幇助、教唆、共謀、依頼スルモ亦不正行爲ナリ投票セシムル目的ヲ以テ管理者カ其ノ氏名ヲ登錄シタル時ニ假令其ノ氏名カ眞實ノモノニ非スト雖其ノ氏名ヲ投票紙ニ表示スルハ其ノ者ニ取リテハ詐稱ニ非ス

五六七　故意（Mens Rea）ハ詐稱ニ於ケル重要分子トス事務代理人カ其ノ勸誘ニカカル投票者ヲ以テ登錄簿ニ記載セル氏名ノ人ナリト固ク信シタルニ於テハ假令該投票者自ラハ實際ハ當人ニ非ルコトヲ知レリト雖不正行爲トシテ責任ヲ有セス同原理ニ基キ知ラスシテ他人ノ氏名ヲ以テ投票シタルニ單ニ詐稱ノ罪ノミヲ以テ問ハルルニ於テハ其ノ投票ハ無效ニ非ス何トナレハ知ラスシテ他人ノ氏名ヲ以テ投票スルコトハ詐稱ノ罪ニ數ヘラレサレハナリ

然レトモ候補者カ雇ヒタル事務代理人ニシテ故意ニ投票者ヲ詐稱セシメテ投票ヲ得ル等ノコトヲ爲シタル事實カ一度證明セラルルニ於テハ該候補者ハ其ノ選擧ヲ取扱フニ斯ル者ヲ使用シタルコトニ付テ責ヲ負フヘキモノトス

五六八　登錄簿ニ記載セラレタル者カ投票ヲ爲ササルニ投票ハ其ノ者ノ名ニ於テ爲サレタルコトノ證明アリテ他ニ何等證憑ナキニ於テハ該投票ハ無效ナリトス

五六九　詐稱ノ證據ハ代理關係ノ證明以前ニ之ヲ爲ササルヘカラス代理ノ有無ニ關係ナク一般的不正行爲ヨリ類推シテ詐稱カ廣ク行ハレタルノ理由ヲ以テハ法律上選擧ヲ無效タラシムルコト能ハス

五七〇　候補者又ハ其ノ事務代理人カ選擧ノ後ニ爲スヘキ宣言ニ於テ虛僞ノ陳述ヲ爲ストキハ又不正行爲ナリトス

五七一　候補者ノ事務代理人ノ爲シタル詐欺ハ法律上選擧ヲ無效タラシム

第三目　不正行爲(Illegal practices)

五七二　或ル候補者ノ選擧ヲ求ムル目的ヲ以テ馬車、鐵道其ノ他ノモノヲ用キテ選擧者ヲ投票場ニ運送スルカ爲ニ金錢ヲ支辨シ或ハ其ノ約束ヲ爲スハ特ニ裁判所ニヨリテ許サルル例外ニ非ル限リハ違法行爲ト看做サル但シ其ノ選擧區ノ性質上、其ノ地ニ住所ヲ有スル選擧者カ海灣ヲ渡ラスシテハ投票場ニ到達スルコトヲ得サル地ニ於テハ此ノ禁止的規定アルカ爲ニ選擧者ヲ運送スルノ設備ヲ爲スヲ許ササルノ謂ニ非ス

此ノ規定中ニハ候補者ノ選擧ヲ得ルノ目的ヲ以テ投票者ヲ投票場ヘ運送スルカ爲ニ遠路ヨリ來レル馬ヲ休マシメテ之ニ秣ヲ與フルカ爲ニスル支拂若ハ支拂ノ契約ヲ含ム

斯ル禁止セラレタル支拂又ハ其ノ契約ヲ知リツツ選擧ノ前後又ハ選擧中、之ヲ爲シ或ハ議院法(The Act of P.)ニ反スルコトヲ知ルト否トニ拘ハラス不法行爲ナリト認ム斯ル支拂ヲ受クル者或ハ該契約ノ當事者ハ法令違反ノ行爲タルヲ知レル以上ハ同一罪名ヲ以テ論セラル

五七三　選擧ヲ計ルノ目的ヲ以テ家屋、土地、建物或ハ廣告注意書等ヲ貼付スヘキ構造物ノ使用ニ對スル支拂若ハ支拂ノ契約ハ前記ノ如キ除外ノ無キ場合ハ不正行爲ト看做ス但シ支拂ヲ受ケテ是等ノ廣告ヲ爲スコトカ選擧者ノ常業ナル時及該支拂及支拂ノ契約カ通常ノ順序ニヨリテ爲サレタル時ハ此ノ限リニ非ス支拂者及受領者各自ノ責任ニ伴フ條件ハ前ノ場合ト同様ナリ

五七四　選擧ヲ計ル爲ニ法定數以上ノ委員室ニ對スル支拂及支拂ノ約束ハ又不正行爲ナリ只此ノ場合ニ於テ支拂ヲ爲ス者ト共ノ受領者ノ責任ニ關スル條件ハ前二ノ場合ト同一ナリ

法律上貸借シ得ヘキ委員室ノ數ハ市部ニ於テハ一、市部ニ於ケル選擧人ノ數カ五百ヲ超ユル時ハ滿五百名ノ選擧人ニ對スル一個ノ割合若之ヲ超ユル時ハ五百ニ滿タサルモ一個ヲ設クルコトヲ得郡部ニ於テハ中央委員室一、之ニ加フルニ各選擧區ニ一個ノ委員室選擧區ニ於テ選擧人ノ數カ五百ヲ超ユル時ハ第一ノ五百ヲ超ユル滿五百ニ對シテ各一個ヲ設クルコトヲ得

支拂又ハ支拂ノ契約ヲ爲ササル委員室ノ數ニハ何等ノ制限ナシ

五七五　候補者又ハ其ノ選擧事務代理人カ選擧中又ハ其ノ後ニ選擧事務ニ關シテ故意ニ法定ノ最高額以上ノ支拂ヲ爲シ又ハ經費ヲ要シタル時ハ、前ニ述ヘタル如キ例外ヲ除クノ外又下法ノ行爲ナリ

此ノ最高額ニ包含セラレサル經費ニ三種アリ候補者個人ノ經費

管理者ニ對スル報酬及法律上許サレタル例外的場合ニ於テ選擧者ヲ海ヲ渡リテ投票地ニ運送スルノ經費之ナリ

市部ニ於テハ登錄セル選擧者ノ數カ二千ヲ超過セサル時ハ其ノ最高額ハ三百五十磅ニシテ二千ヲ超ユル時ハ最高額三百八十磅而シテ二千以上ハ各滿二千ニ對シテ三十磅ヲ加フ（愛蘭ニテハ其ノ額小）郡部ニ於テ選擧者ノ數、二千ヲ超過セサル時ハ最高額ハ六百五十磅二千ヲ超ユル時ハ七百十磅、二千以上ハ滿二千ニ對シテ各六十磅ヲ增ス（愛蘭ニテハ其ノ額小）

五七六　議院法ニヨリテ投票ヲ禁止セラレタルヲ知リテ自ラ投票シ又ハ之ヲシテ投票セシムルハ不法行爲ナリ

然レトモ事務代理人ニ非ル者之ヲ爲シタル時ハ候補者、之ニ對シテ責任ヲ有セス又其ノ選擧ハ無效ニ非ス

五七七　選擧前又ハ選擧中候補者引退ノ虛僞ノ記載ヲ公布シ以テ他ノ候補者ノ選擧ヲ計ルハ不法ノ行爲ナリ

然レトモ事務代理人以外ノ者カ之ヲ犯シタル時ハ候補者ハ之ニ對シテ責任ヲ有セス又其ノ選擧ハ有效ナリ

五七八　候補者又ハ其ノ事務代理人カ選擧ニ關スル公告揭示ニシテ印刷者、廣告者ノ住所氏名ノ缺ケタルモノヲ印刷發行シタル時ハ不法ノ行爲ナリ

犯罪者カ候補者又ハ其ノ事務代理人ニ非レハ百磅ヲ超エサル罰金ヲ卽時課徵セラル然レトモ之レハ不法行爲ニ非ルナリ

五七九　選擧前選擧中、又ハ其ノ後ニ選擧事務ニ關シテ選擧事務代理人自身又ハ其ノ副代理人以外ノ者カ（註一）負ヒタル費用ニ對スル支拂、立替又ハ保證ニシテ候補者事務代理人或ハ其ノ他ノ者カ爲スニ於テハ法律上許容セラレタル例外ヲ除クノ外孰レモ不法行爲ナリ

而シテ選擧事務ニ關シテ贈與、貸金、預金等ノ爲ニ生シタル費用ニ付テ候補者以外ノ者ノ支辨シタル金錢カ候補者又ハ其ノ事務代理人以外ノ者ニ支拂ハルルニ於テハ不法行爲ナリトス

然レトモ選擧管理者ニ爲ス保證金ノ交付又ハ其ノ支辨ハ此ノ限ニ非ス又何人カカ法律上正當ニ生シタル小額ノ經費ニ對シテ自己ノ金ヲ以テ爲シタル支出（再ヒ返還セラレサル以上）ハ上記制限ノ外ニ在リ

玆ニ謂フ小額ノ經費トハ運動者カ選擧區ヲ勸誘スルカ爲ニ馬車ヲ雇ヒ或ハ郵便物ニ對シテ支拂フカ如キ小額ニシテ支拂者カ返還ヲ希望セサルモノヲ云フ

事務代理人カ候補者ノ選擧運動ノ爲ニ不法ナル經費ヲ出シ而シテ候補者カ其ノ助力ニヨリテ當選シタル時ハ選擧訴訟ニ於テ其ノ效力ヲ失フニ至ル

裁判所ハ各場合ニ於テ該支拂カ選擧ノ事務取扱ニ關スルモノナルヤ否ヤヲ調査ス故ニ候補者ニ立テムカ爲ニ開キタル會合ノ費用及其ノ旨候補者ニ要求スルノ費用ハ選擧ニ關スル經費ニ非ルナリ

候補者及其ノ屬スル黨派ノ利益ノ爲ニ市部ノ登錄ニ關スル經費竝候補者ノ政見公告ノ爲ニスル新聞紙ノ發行ハ全ク選擧ニ關スル經費ニ非ス其ノ果シテ經費ナリヤ否ヤハ裁判官ノ職權ヲ離レ

テ一ニ事實問題ナリトス

（註）事務代理人ニ非ル者カ誤リテ之ヲ支辨シタル時ハ其ノ金錢ハ返還ヲ受ケ、善意ナルニ於テハ裁判所ハ其ノ無罪ナルヲ認メタリ（一九〇一年モンマウス區事件）

五八〇　選擧事務代理人カ選擧事務取扱ニ關シテ生シタル費用ヲ法定期間以外ニ支拂ヒ又ハ法定期間內ニ送達セラレサルノ理由ヲ以テ拒ミタル要求ヲ後ニ至テ支拂フ時ハ不法行爲ナリトス

法律ニヨリテ認メラレタル例外ヲ除クノ外要求ヲ送達スルニ定メラレタル期間ハ候補者カ當選ノ公示ヲ得タル後十四日以內ニシテ其ノ支拂ノ爲ニ定メラレタル期間ハ二十八日以內トス

然レトモ候補者カ其ノ支拂ニ許可又ハ默可ヲ與ヘシコトナキヲ證明スルニ於テハ其ノ選擧ハ無效ニ非ス又候補者ハ單ニ其ノ理由ノミニヨリテ法律上諸種ノ能力ヲ喪フモノニ非ス

五八一　候補者又ハ其ノ事務代理人カ選擧費ノ報告及公示ニ關スル規定ニ違反スル時ハ法ニ認メラレタル特別ノ場合ノ外ハ不法行爲ナリトス

五八二　候補者ノ選擧ニ影響セシムルノ目的ヲ以テ議員選擧ノ前又ハ其ノ期間ニ該候補者ノ個人的性格或ハ行爲ニ關シテ虛僞ノ陳述ヲ公ニシタル時ハ不法行爲ナリトス而シテ斯ル虛僞ノ陳述ヲ公ニスル集會ノ指導者ハ同樣有罪ナリトス

選擧ニ影響スルモノト推定セラレタル陳述ニシテ例ハ獵區ニ於テ候補者カ狐ヲ射タリトカ、或ハ禁酒區民ニ候補者カ飮酒セシメタリ等ノ如キ虛僞ノ報告ニ對シテハ法律上何等責任ヲ負ハス

然レトモ之カ爲ニハ候補者ノ政治的性格竝行爲ニ關スルモノヨリモ個人的性格ニ關スルモノナルコトヲ要ス

該虛僞ノ陳述カ反對黨ノ爲シタル同性質ノ陳述ニヨリテ煽動セラレタルト否トハ敢テ關スル所ニ非ス

其ノ用ヰタル言語ハ其ノ通常ノ眞意ニヨリテ解釋スヘク徒ラニ擧義ニ拘泥スヘキニ非ス

若其ノ陳述カ眞實ナルコトヲ信スヘキ充分ナル根據ヲ有シ又實際斯ク信シタルコトヲ證明スルヲ得ル場合ハ不法行爲ノ責任ナキモノトス而シテ各場合ニ於テ其ノ受ケタル通知ノ性質ニヨリテ之ヲ決ス

然レトモ玆ニ規定スル違法行爲ト雖其ノ事務代理人以外ノ代理人カ之ヲ犯シタル時ハ候補者ハ何等之ニ對シテ責任ヲ負フトコロニアラス且其ノ資格ヲ制限サルルコトナク又其ノ選擧ハ無效トナラス

但シ、候補者又ハ其ノ事務代理人カ斯ル不法行爲ヲ爲スノ權限ヲ附與シ又ハ同意シ或ハ斯ル虛僞ノ陳述ノ公布ニ對シテ支拂ヲ爲シタル時ハ此ノ限ニ非ス且選擧訴願ニ於テ斯ル虛僞ノ陳述ヲ公布スルコトニヨリテ該候補者ノ選擧ニ大ニ利スルトコロアリタルコトヲ發見シタル時ハ此ノ限ニ非ス

議員選擧施行令發布ノ日ト選擧ノ行ハレタル日トノ間ニ選擧區ニ於テ開カレタル政治的會合ノ當時暴行ヲ爲シ若ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシメ以テ其ノ目的タル事務ノ進行ヲ妨ケタル時ハ不法行爲ナリトス

五八三　候補者又ハ其ノ事務代理人カ不法ノ支拂（Illegal payment）不法ノ使役（Illegal Epmloyment）若ハ不法ノ借用（Illegal Hiring）等ハ孰レモ不法行爲ヲ以テ論セラル

第四目　不法ノ支拂不法ノ使用

五八四　一八八三年ノ不正、不法行爲防止法（The Corrupt and Illegal Practices Prevention Act）ノ規定ニ反スル支出又ハ法律ニヨリテ認メラレタル最高額ヲ超ユル經費又ハ支出若ハ經費ヲ償還スル爲情ヲ知リテ金錢ヲ供與シタル者ハ不法ナリトス

但シ議院法（The Act of Parliament）ニ依リテ認メラレタル例外ノ場合ハ此ノ限ニ非ス又選擧事務代理人若ハ復代理人以外ノ者カ候補者ノ爲ニ給付ヲ爲シ以テ投票事務代理人、書記、使丁ヲ使用シタル時ハ其ノ支拂ハ不法ナリ

而シテ候補者カ情ヲ知リテ金錢ヲ供與シタル時ハ上揭例外ヲ除クノ外凡テ不法ナリトス

又事務代理人若ハ副代理人以外ノ者カ候補者ノ爲ニ委員室ヲ貸借シタル時ハ其ノ支拂ハ同樣不法ナリ

選擧事務取扱ニ關スル經費ノ契約ハ候補者又ハ其ノ事務代理人及其ノ副代理人カ之ヲ締結スルニ非レハ候補者ヲ拘束セス然レトモ此ノ契約ヲ强制シ能ハサルコトハ其ノ事務代理人カ犯シタル不正不法行爲ノ結果ニ對シテ候補者ニ責任ナシト謂フニ非ス

五八五　選擧ノ爲若ハ之ニ關シテ又ハ之ニ附隨シテ生シタル個人的經費ノ百磅以上ノ額ヲ候補者カ故意ニ支出シタル時ハ以テ不法支出ト認メラル

五八六　金錢ヲ支拂ヒ又ハ支拂ノ約束ヲ爲シ其ノ候補者タルコトヲ辭退セシメタル時ハ不法ノ支辨ニシテ若候補者又ハ其ノ代理人モ之ニ關シテ責任アル時ハ不法ノ行爲ナリトス

五八七　選擧前選擧中又ハ其ノ後ハ候補者ノ選擧ヲ計ル目的ヲ以テ樂隊、炬火、旗、帽章「リボン」其ノ他ノ徽章ニ對スル支拂又ハ支拂ノ契約ハ裁判所ニ於テ許サレタル例外ノ場合ヲ除クノ外不正ノ支出ニシテ又候補者若ハ事務代理人カ有罪ナルニ於テハ不法ノ行爲ナリトス

右契約ニ於ケル當事者又ハ其ノ支辨ヲ受クル者ハ其ノ法律違反ノコトタルヲ知レル以上又不法支出ニ付テ責任アリトス

五八八　選擧ニ於テ候補者ノ選擧ヲ計ラムカ爲ニ法ニヨリテ認メラレタル目的及一定ノ資格以外、或ハ議院法ニ因リテ許サレタル支出以外ニ人ヲ使用シテ之ニ給與シ若ハ給與ノ約束ヲ爲スハ不法ノ使用ニシテ又若事務代理人カ之ニ付テ責任アルニ於テハ不法行爲タリ

既ニ述ヘタル法律上正當ト認メラレタル支出ニ加フルニ印刷、發行費、廣告費、文房具、使信郵便、電信ノ費用及公ノ集會ヲ開クノ費用等ハ法律上正當ナリトス

其ノ他法律上ノ經費ハ種々ノ事件ニ付テ生シ得ヘシ然レトモ全體ニテ最高額ニ百磅ヲ超ユルヲ得ス又金額ハ法律ニヨリテ定メラレタル最高額ヲ超過セサルヲ要ス是等ノ制限ニ違反シタル支出ハ不法ノモノニシテ候補者又ハ其ノ事務代理人カ責任アル時ハ以テ不法ノ行爲ナリトス

五八九　選擧ノ前後又ハ選擧中法ノ規定ニ違反シテ人ヲ使用シタル時ハ、裁判所ニヨリテ許サレタル例外ヲ除クノ外其ノ使用主ハ不法使用ノ責ヲ負ヒ、使用セラレタルモノニシテ法規ニ違反シテ雇ハレタルヲ知レル時ハ又不法使役ニ付テ責任アリトス

故ニ候補者ノ選擧ヲ增進スルノ目的ヲ以テ、辯士ハ支拂ヲ受ケ又ハ支拂ノ約束ヲ以テ使用サルルコトヲ得ス運動者モ其ノ目的ノ爲ニ同一條件ニ依リテ使用サルルコトヲ得ス然レトモ法律上正當ニ使用サルル者又ハ法律上正當ノ目的ノ爲ニ支給ヲ受ケ使用サルル者ハ市民トシテ運動スル權利ヲ喪ハス故ニ其ノ支給ヲ受ケタル運動ニ非ル限リ勸誘運動スルコトヲ得ルハ敢テ問フ所ニアラス

第五目　不法ノ貸借

五九〇　選擧者ヲ投票所トノ間、運送スル爲其ノ目的ニ使用セラルルコトヲ知リテ公衆馬車、貸馬車及其ノ挽馬其ノ他ノ動物並賃貸用ノ自己所管又ハ使用ノ馬其ノ他ノ動物ヲ貸與又ハ使用セシメ又ハ同一目的ノ爲ニ其ノ所有者カ賃貸使役スルコトヲ法律上禁止セラレタルヲ知リ馬其ノ他ノ動物ヲ借用又ハ使用スル時ハ、不法ノ貸借ニシテ候補者ト其ノ事務代理人カ之ニ關シ責任アル時ハ不法行爲ナリトス

然レトモ此ノ規定ハ選擧者ノ一人又ハ數人カ共同シテ投票場間ノ運送ノ爲ニ馬其ノ他ノ動物ヲ貸借又ハ使用スルコトヲ禁止スルモノニ非ス

選擧者ヲ投票場トノ間ニ運送スル爲ニ支拂又ハ支拂ノ約束ヲ爲サスシテ馬車ヲ雇ヒタル時ハ單ニ其ノ理由ニヨリテ稅ヲ拂フノ義務ナク又特許ヲ取消サルルコトナキモノトス

五九一　候補者ノ選擧ヲ計ル目的ヲ以テ委員室ニ用フルカ爲ニ次ニ記載スル如キ建物ノ孰レカヲ貸借又ハ使用スル時ハ不法行爲ナリトス

（一）　酒類ノ卸賣小賣ノ特許ヲ受ケタル家屋

（二）　永久的ノ政治的團體ニ非ル俱樂部又ハ團體ノ人々ニ酒類ヲ販賣又ハ供給スル處

（三）　其ノ建物ニテ飮食物ヲ消費販賣スル處

特許ヲ受ケタル建物ニ付テハ若シ委員室事務所又ハ公ノ集會等ヲ開ク等ノ爲ニ之ヲ貸シタル建物ノ一部ニシテ別個ノ入口ヲ有シ飮食物ノ販賣又ハ供給セラルル部分ト何等直接ノ聯絡ナキ時ハ之レカ例外トス

（四）　每年議院ノ許諾ヲ得ル公立小學校ノ建物又ハ其ノ一部分、校長ノ舍室ハ其ノ校內ニアル時ハ此ノ中ニ包含セラル然レトモ其ノ舍宅ニシテ寄附者カ地代ヲ受ケサル時ハ管理者ハ每年議會ノ承認ヲ受クル場合ト雖尙校舍ノ一部分ヲナササルモノトス

投票期間委員タル人々カ右四種孰レカノ家屋ニ集合スルノ事實アリタル時ハ其ノ者亦責任ヲ負フヘキモノトス

支拂又ハ支拂ノ契約及一定ノ最高額ヲ超ユル金額ノ支拂又ハ經費ノ負擔ヲ禁スル如上ノ規定ハ契約ヲ締結シタル當初之カ法規違反ノコトタルヲ知ラサリシ者ニ對シテハ其ノ權利ニ何等影響ヲ及ホササルモノトス

大正十三年五月十日施行衆議院議員總選擧買收犯罪者ニ對スル科刑異同調

原審言渡刑	人員	控訴審言渡刑（確定）																													
		懲役五月	懲役三月	禁錮七月	禁錮六月	禁錮四月	禁錮三月十五日	禁錮三月	禁錮二月十五日	禁錮二月	禁錮一月二十日	禁錮一月十五日	禁錮一月十日	禁錮一月	罰金三百五十圓	罰金二百圓	罰金百九十圓	罰金百八十圓	罰金百七十圓	罰金百五十圓	罰金百三十圓	罰金百二十圓	罰金百圓	罰金八十圓	罰金七十圓	罰金六十圓	罰金五十圓	罰金四十圓	罰金三十圓	罰金二十圓	免訴	無罪
懲役五月	一	一																														
懲役三月	二		一					一																								
禁錮十月	一			一																												
禁錮八月	一																															一
禁錮六月	二				一	一																										
禁錮五月	三							二																								一
禁錮四月	七					三		一		一	一	一																				
禁錮三月十五日	一						一																									
禁錮三月	二七							八	三	一		二	二	一		三										二						五
禁錮二月十五日	一															一																
禁錮二月	五八									一九				六		一四	四						九	一								五
禁錮一月十五日	二															二																
禁錮一月	四六													六		一三				三		二	一二		一		一				一	七
罰金三百五十圓	一														一																	
罰金三百圓	一															一																
罰金二百五十圓	一									一																						
罰金二百圓	一七															一四				一										一		一
罰金百九十圓	一																一															
罰金百八十圓	七																	七														
罰金百七十圓	三																三															
罰金百五十圓	二〇																			一八			一									一
罰金百三十圓	一																				一											
罰金百二十圓	九																		一			三		一								四
罰金百圓	二二																					一	一六				一					四
罰金八十圓	一五																							五								一〇
罰金七十圓	三																								一				一			一
罰金六十圓	七																									一						六
罰金五十圓	八																												三			五
罰金四十圓	七																											一				六
罰金三十圓	五																												三			二
罰金二十圓	二九																													一二		一七
無罪	二																										二					
合計	三一一	一	一	一	一	四	一	一二	三	二二	一	三	二	一三	一	四八	八	七	一	二二	一	六	三八	七	二	三	四	一	七	一三	一	七六

備考　（一）本表ハ豫審請求ニ係ル買收犯罪者ニシテ控訴ヲ爲シタル人員中控訴審ニ於テ確定シタル者ニ對スル第一審ト控訴審トノ言渡刑ノ異同ヲ示シタルモノトス

（二）本表中ノ懲役刑ハ衆議院議員選擧法違反罪ト刑法犯罪トノ併合罪ニ依リ處斷セラレタルモノトス

[illegible]

（一）本表中ノ[illegible]

[illegible]

昭和五年二月二十日施行衆議院議員總選擧 買收犯罪者ニ對スル科刑異同調

控訴審言渡刑（確定）＼原審言渡刑	懲役六月	懲役五月	懲役四月	懲役三月	懲役二月	懲役一月十五日	懲役一月	禁錮七月	禁錮六月	禁錮五月	禁錮四月	禁錮三月	禁錮九十日	禁錮二月十五日	禁錮二月十日	禁錮二月	禁錮一月二十日	禁錮一月十五日	禁錮一月十日	禁錮一月
人員	三	一	六	七	八	二	二	一	八	九	二八	六七	一	四	一	八一	一	三	一	二一
懲役六月	三																			
懲役五月		一																		
懲役四月			二							僞證罰金五百円 一										
懲役三月											僞證罰金三百円 一									僞證罰金六十円 一
懲役二月			一	一	一															
懲役一月					一	一														二
禁錮六月									二		一									
禁錮五月								一	一	二										
禁錮四月			一								三					一				
禁錮三月			二						四	六	四	二八	一							
禁錮二月二十日																一				
禁錮二月十五日												一		一						
禁錮二月十日															一					
禁錮二月				三		一			一		七	一〇		三		四〇				
禁錮一月二十日																	一			
禁錮一月十五日												一								
禁錮一月					三		一					一				一				四
罰金千圓																				
罰金八百圓																				
罰金七百圓																二				
罰金六百圓											一	一				一				
罰金五百圓												四								一
罰金四百五十圓																				
罰金四百圓				三								三				二				一
罰金三百五十圓																二				
罰金三百圓												五				一七		一		
罰金二百七十圓																				
罰金二百五十圓												二				二			一	二
罰金二百四十圓																				
罰金二百圓											一	六				五				二
罰金百八十圓																				
罰金百七十圓																				
罰金百六十圓																				
罰金百五十圓					一							三				三				五
罰金百四十圓																				
罰金百三十圓																				
罰金百二十圓																一				
罰金百圓					一		一									三		一		
罰金八十圓																				
罰金七十圓																		一		一
罰金六十圓																				二
罰金五十圓																				
罰金四十圓																				
罰金三十圓																				
罰金二十五圓																				
罰金二十圓																				
罰金十圓																				
無罪					一						一	二								

控訴審言渡刑（確定）＼原審言渡刑	罰金千圓	罰金八百圓	罰金七百圓	罰金六百五十圓	罰金六百圓	罰金五百圓	罰金四百五十圓	罰金四百圓	罰金三百五十圓	罰金三百圓	罰金二百五十圓	罰金二百圓	罰金百八十圓	罰金百七十圓	罰金百五十圓	罰金百三十圓	罰金百二十圓	罰金百圓	罰金八十圓	罰金七十圓	罰金六十圓	罰金五十圓	罰金四十圓	罰金三十五圓	罰金三十圓	罰金二十五圓	罰金二十圓	罰金十圓	無罪	合計
人員	一	五	四	一	四	一三	二	一九	三	四〇	一八	五三	四	五	六三	一二	一〇	四九	五七	一二	四〇	三三	五四	一	四四	二	六	三	一	八〇九
懲役六月																														三
懲役五月																														一
懲役四月																														三
懲役三月																														二
懲役二月																														三
懲役一月																														四
禁錮六月																														三
禁錮五月						一																								五
禁錮四月																														一四
禁錮三月															一															四六
禁錮二月二十日																														一
禁錮二月十五日																														二
禁錮二月十日																														一
禁錮二月																														六五
禁錮一月二十日																														一
禁錮一月十五日																														一
禁錮一月																													一	一一
罰金千圓	一																													一
罰金八百圓		五																												五
罰金七百圓			二																											四
罰金六百圓					二																									五
罰金五百圓			二		一	八																								一六
罰金四百五十圓							一																							一
罰金四百圓					一			七																						一七
罰金三百五十圓								一																						三
罰金三百圓						一		八		二九		二										一								六四
罰金二百七十圓									一																					一
罰金二百五十圓									二		八																			一七
罰金二百四十圓							一																							一
罰金二百圓								三		五	八	二八																		五八
罰金百八十圓												三	一																	四
罰金百七十圓														三																三
罰金百六十圓												一																		一
罰金百五十圓										四	二	五		一	三															二五
罰金百四十圓															二															二
罰金百三十圓															一	九														一〇
罰金百二十圓				一								一		一	五		七													一六
罰金百圓						一						八	二		三	一		三一												六三
罰金八十圓												一	一		五	一	三	一	三一	一			二							四六
罰金七十圓																		三	一九											二四
罰金六十圓																		三	二		三〇									三七
罰金五十圓						一						一						七	二	六		二五								四二
罰金四十圓																		一	一	三	七	三	三五							五〇
罰金三十圓																					一	四	九		三八					五二
罰金二十五圓																										二				二
罰金二十圓																							八	一	六		一			一六
罰金十圓																											一	二		三
無罪												二			四			三	二	一	二						四	一		二三

備考　本表ハ豫審請求ニ係ル買收犯罪者ニシテ控訴ヲ爲シタル人員中控訴審ニ於テ確定シタル者ニ對スル第一審ト控訴審トノ言渡刑ノ異同ヲ示シタルモノトス

司法研究第二部第一回研究員報告書集

（大正十五年）

第二輯

一、無政府共産主義者に對する刑事上の處分　判事　上田　操
　　社會進化に伴ふて發生する犯罪に就て　檢事　飯澤　高
　　勞働爭議と犯罪　檢事　岡沼　扶
　　團體的犯罪に就て　判事　藤山富一
二、犯罪捜査に關する學理的考察　檢事　樫田忠美
　　刑事涉外事件の取扱に關する事項　檢事　松藤正憲
三、入會權に就て　判事　兩角誠英
　　主意的論理に就て　判事　山口嘉夫
　　小作爭議に就て　判事　加藤朔太郎
　　水に就ての法律的考察　判事　吉田　肇

四、	我陪審法に依る公判手續殊に陪審に對する說示に就て	判事　坂野千里
	陪審と證據法	判事　岩野稔
	我國に於ける少年不良化の原因に就て特に其統計的考察	判事　辻三省
五、	港灣犯罪に就て	檢事　有安堅三
	犯人の懸賞搜査に關する理論及び實際	檢事　大園竹四郎
	醫事法制に就て	判事　黒瀨善治
六、	（雇傭契約に就て）勞働法上に於ける二箇の合意	判事　柳川昌勝
	香具師に關する事項	檢事　市原分
	犯罪性變質者と其處遇	檢事　船津宏
	改正民事訴訟法に於ける職權に依る證據調と立證責任論との關係	判事　石黒忍

第二回研究員報告書集

第五輯

（昭和二年）

一、	我陪審公判手續に於ける問に就て	判事　齋藤悠輔
	土地陷落に因る鑛業權者の賠償責任	判事　小野謙次郎
二、	民事裁判の基本問題としての具體的妥當性	判事　片山通夫
	抗告（民事）に就て	判事　中島奬
三、	取引所に於ける取引の實相及之に關する法律問題	判事　小林右太郎
四、	水平運動竝に之に關する犯罪の研究	檢事　長谷川寧
五、	犯罪の內部原因特に心理錯綜に就て	檢事　長谷川瀏
	各國立法例に於ける保安處分	檢事　木寺義通
	法の社會醫學的研究	判事　淺野英明
	親族法上の訴訟原因に關する考察	判事　蔭山鐐次郎
六、	改正民事訴訟法の準備手續に就て	判事　柴田健太郎
	勞働法の原則（殊に勞働契約に就て）	判事　永井雄倘
七、	取引所を中心とする犯罪の研究	檢事　小山起三
	鐵道犯罪に就て	檢事　黒川英夫

八、取引所に於ける取引の實狀と之に關する法律問題の研究（主として有價證券取引所に就て）　檢事　遠藤常壽

九、土地制度に關する歴史的考察（第一部）　判事　橋川光子

十、
- 二元主義文書僞造理論の研究　判事　飯塚敏夫
- 內地に於ける朝鮮人と其犯罪に就て　檢事　新井育三

第三回研究員報告書集

第八輯

（昭和三年）

一、
- 民事裁判の新傾向　判事　安田忠治
- 水利權に關する考察　判事　酒巻良一
- 私法上に於ける代理類似の諸場合と其責任關係　判事　小幡儉介
- 民事訴訟參加　判事　岩澤彰二郎

二、
- 放火犯罪に就て（主として東北地方に於ける放火犯罪の考察）　檢事　市川季熊
- 所謂監獄部屋の研究　檢事　石田廣
- 我國に於ける自由刑執行の累進的階級制度　典獄　椎名通藏

三、特別諸法規に關する判例等研究　檢事　岩淵彰郎

四、
- 刑の量定に就て　判事　小泉敏次
- 責任能力と精神病　檢事　鷲山半之助
- 自由刑の執行と刑務作業　檢事　渡部武
- 國際共產黨の組織と戰術　檢事　勝山內匠

五、
- 民事訴訟に於ける證據に就て（證據法に關する一二の問題）　判事　遠藤剛一
- 民事の執行事務に就て　判事　吉野淑計
- 民事裁判より觀たる無盡講　判事　熊谷直之助
- 賴母子講及之に關する犯罪の研究　檢事　藤原末作

六、思想的犯罪に對する研究　判事　坂本英雄

七、
- 輓近社會思想の變革　判事　安齋保
- 刑罰の變遷と贖罪制度　判事　山村仁
- 少年犯罪に就て　檢事　石黑信彥